

DocuCentre SC2021 ユーザーズガイド



Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
RSA および BSAFE は、EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。
Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

ライセンスについては、"ライセンスについて" (P.26) に記載してあります。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書のなかで△と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

本機には偽造防止機能が搭載されているため、まれに原稿によっては適切なコピーやスキャンデータが得られないことがあります。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

目次

目次.....	3
1 お使いいただく前に	9
はじめに	10
マニュアル体系.....	11
本書の使い方	12
本書の構成.....	12
本書の表記.....	13
安全にご利用いただくために.....	15
電源およびアース接続時の注意	16
設置時の注意.....	17
操作上の安全.....	20
消耗品取り扱い上の注意.....	21
警告および注意ラベルの貼り付け位置.....	23
規制について.....	24
電磁波障害対策自主規制について	24
受信障害について	24
高調波自主規制について.....	24
環境について.....	24
ライセンスについて	26
JPEG コードについて.....	26
Libcurl について	26
FreeBSD について.....	26
WIDE DHCP Client について.....	27
RSA BSAFE について.....	29
MD5 について	29
ICC Profile Header について.....	29
JPEG Library について.....	30
Math Library について	30
法律上の注意事項	32
2 環境の設定	33
使用できる環境について	34
プリント機能.....	34
スキャン機能.....	34
ファクス機能.....	35
インターフェースケーブル.....	36
USB インターフェイスでの接続.....	36
Ethernet インターフェイスでの接続.....	36
ネットワーク環境を設定する.....	38
本機の IP アドレス (IPv4) を設定する	38
本機の IP アドレス (IPv6) を設定する	39
IP アドレス設定ツールを使用する場合.....	40
使用するポートを起動する.....	41

CentreWare Internet Services を利用する	42
CentreWare Internet Services	42
使用できる環境と設定	42
CentreWare Internet Services を起動する	43
プリントドライバー、スキャンドライバーをインストールする	44
プリントドライバーをインストールする	44
スキャンドライバーをインストールする	44
アンインストール	45
3 機械の構成	47
各部の名称と働き	48
正面と左側面	48
右側面と背面	49
内部	50
自動両面原稿送り装置	51
電源について	52
電源を入れる	52
電源を切る	52
節電モードについて	53
節電モードに移行する	53
節電モードから復帰する	53
操作パネルについて	54
タッチパネル - メニュー画面	55
ユーザー制限	56
文字入力について	57
操作パネルに表示されたキーボードを使用する	57
数字ボタンを使用する	57
オプション品の構成などを設定する	58
冷却モード	60
4 用紙のセット	61
用紙について	62
各トレイで使用できる用紙	62
使用できる用紙の種類	63
使用できない用紙	65
用紙の保管と取り扱い	65
用紙をセットする	67
トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする	67
トレイ 5（手差し）に用紙をセットする	68
用紙サイズを変更する	70
トレイ 1、トレイ 2 の用紙サイズを変更する	70
用紙の設定を変更する	72
5 コピー機能	75
コピー操作の流れ	76
原稿をセットする	76
詳細項目を設定する	79

部数を入力する.....	80
コピーを開始する.....	81
自動回転について.....	81
コピー中の操作.....	82
実行中のコピーをキャンセルする.....	82
ジョブの状態を確認する.....	82
ID カードコピー.....	83
コピーの詳細設定.....	85
カラーモード.....	86
トレイ選択.....	86
倍率選択.....	87
両面 / 片面選択.....	89
濃度調整.....	89
原稿の画質.....	90
シャープネス.....	90
彩度.....	91
地色除去.....	92
仕分け.....	92
原稿サイズ.....	93
まとめて1枚.....	95
わく消し.....	96
6 ファクス機能.....	97
ファクス操作の流れ.....	98
原稿をセットする.....	98
宛先を指定する.....	100
詳細項目を設定する.....	101
ファクスを開始する.....	102
ファクス送信中の操作.....	103
送信中のファクスを中止する.....	103
ジョブの状態を確認する.....	103
ファクス受信中の操作.....	104
受信中のファクスを中止する.....	104
ファクスの詳細設定.....	105
濃度調整.....	106
送信画質.....	106
オンフック.....	107
両面原稿送り.....	107
読み取りサイズ.....	107
時刻指定通信.....	108
ポーリング受信.....	109
送信シート.....	110
手動送信する.....	111
ファクス宛先表を登録する.....	112
操作パネルから登録する.....	112
CentreWare Internet Services から登録する.....	114
時刻を指定してファクスを送信する.....	118

ドライバーから送信する (ダイレクトファクス)	120
ファクスを受信する	122
受信モードについて	122
ファクス受信の用紙をセットする	122
自動受信ファクスで自動的に受信する	122
自動受信電話 / ファクスまたは自動受信留守電 / ファクスで自動的に受信する	122
外付け電話を使用して手動受信する	122
メモリーに受信する	123
セキュリティ受信モードを使用する	124
ファクス通信管理レポート	127
7 スキャン機能	129
スキャン操作の流れ	130
原稿をセットする	130
スキャン機能を選択する	133
コンピューターへスキャンデータを転送する	134
操作パネルを使ってスキャンする - WSD スキャン	134
TWAIN ドライバーを使ってスキャンする	135
WIA ドライバーを使ってスキャンする	135
ネットワーク上でスキャン機能を使用する	137
概要	137
ログイン名とパスワードを設定する (SMB のみ)	138
共有フォルダを作成する (SMB のみ)	139
宛先表を使用して保存先を設定する	140
スキャンデータをネットワークに転送する	145
メールにスキャンデータを添付する	147
メール設定を行う	147
新しいメールアドレスを登録する	147
メールにスキャンデータを添付する	149
スキャン中の操作	150
実行中のジョブをキャンセルする	150
ジョブの状態を確認する	150
スキャナーの詳細設定	151
8 プリント機能	153
プリントドライバーの主なプリント機能	154
プリントする	155
プリント中の操作	156
プリントジョブをキャンセルする	156
9 仕様設定	157
本機のメニューを理解する	158
レポート / リスト	158
メーター	159
管理者設定	159
初期値設定	184

トレイ管理.....	193
言語設定.....	198
自動階調補正.....	199
パネルロック機能.....	201
パネルロックを有効にする.....	201
パネルロックを無効にする.....	203
コピー、ファクス、スキャンへのアクセスを制限する.....	205
節電設定を設定する.....	208
ファクスの送受信中に他の機能を使用する.....	210
工場出荷時の設定にリセットする.....	211
10 機械確認.....	213
消耗品確認.....	214
表示言語の選択.....	215
本機の IP アドレスの確認.....	216
メーター確認.....	217
レポート / リストの印刷.....	218
11 ジョブ確認.....	221
実行中 / 実行待ちのジョブを確認する.....	222
ファクス送信予約のジョブを確認する.....	222
実行中のジョブをキャンセルする.....	222
実行待ちのファクスジョブをキャンセルする.....	223
12 日常の管理.....	225
消耗品を交換する.....	226
トナーカートリッジを交換する.....	228
トナー回収ボトルを交換する [R5].....	230
ドラムカートリッジを交換する.....	233
本機を清掃する.....	233
本体外部の清掃.....	233
本体内部 (LED プリントヘッド部) の清掃.....	233
タッチパネルの清掃.....	235
原稿カバー、原稿ガラスの清掃.....	236
原稿押さえ部、原稿読み取りガラスの清掃.....	236
原稿送り装置のローラー部の清掃.....	237
本機を点検する.....	238
CentreWare Internet Services を利用して機械の点検を行う.....	238
StatusMessenger.....	238
13 トラブル対処.....	241
トラブルと思ったら.....	242
機械本体のトラブル.....	243
画質のトラブル.....	247
コピーのトラブル.....	253
コピーできない.....	253
思ったとおりのコピー結果にならない.....	253

プリント時のトラブル.....	256
プリントできない.....	256
思ったとおりのプリント結果にならない.....	256
ファクスのトラブル.....	258
スキャナーのトラブル.....	260
スキャンドライバー / ユーティリティのトラブル.....	262
エラーコード.....	263
用紙が詰まった場合.....	270
左側面上部カバー [A] での紙づまり.....	270
左側面下部カバー [B] での紙づまり.....	271
トレイ 1、トレイ 2 での紙づまり.....	272
トレイ 5 (手差し) での紙づまり.....	273
原稿が詰まった場合.....	274
ヘルプを利用する.....	276
操作パネルのメッセージ.....	276
製品情報を取得する.....	276
14 付録.....	277
主な仕様.....	278
プリント可能領域.....	284
オプション製品一覧.....	285
注意 / 制限事項について.....	286
本機使用上の注意 / 制限.....	286
コピー機能使用上の注意 / 制限.....	287
ファクス機能使用上の注意 / 制限.....	287
スキャン機能使用上の注意 / 制限.....	288
プリント機能使用上の注意 / 制限.....	288
保守サービスについて.....	289
トータルサービス契約.....	289
スポット保守.....	289
補修用性能部品の保有期間について.....	289
入力できる文字一覧.....	290
JIS X 0201 (英数字 (半角) と記号 (半角) のみ).....	290
JIS X 0208.....	291
索引.....	301

1 お使いいただく前に

この章では、本書の使い方、安全にお使いいただくための注意事項、法律上の注意事項などについて説明しています。

• はじめに.....	10
• マニュアル体系.....	11
• 本書の使い方	12
• 安全にご利用いただくために.....	15
• 規制について	24
• 環境について	24
• ライセンスについて	26
• 法律上の注意事項	32

はじめに

このたびは DocuCentre SC2021（以降、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご利用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

機械管理者のパスワードは、本機の設置後すぐに変更することをお勧めします。
設定方法については、"パネルロック機能" (P.201) を参照してください。

マニュアル体系

本機には、次のマニュアルを用意しています。

本機同梱マニュアル

■ **ユーザーズガイド（本書）（ソフトウェア / 製品マニュアル）**

『ユーザーズガイド』では、コピー / プリント / ファクス / スキャン機能の操作方法、用紙のセット方法、日常の管理、仕様設定、トラブル対処、ネットワークの設定方法などについて説明しています。

■ **簡単操作ガイド（冊子）（ソフトウェア / 製品マニュアル）**

『簡単操作ガイド』では、本機の基本的な操作方法、日常の管理やトラブル対処などについて説明しています。

■ **マニュアル（HTML）（ソフトウェア / 製品マニュアル）**

プリントドライバーのインストール手順、プリンターの環境設定方法などについて説明しています。

本書の使い方

本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、コピー / プリント / ファクス / スキャン機能の操作などについて記載しています。

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

- 1 お使いいただく前に
本書の使い方、ライセンスについて説明しています。
- 2 環境の設定
本機を操作するために必要な環境について説明しています。
- 3 機械の構成
各部の名称、電源の入 / 切、節電機能などの、本機の基本的な操作について説明しています。
- 4 用紙のセット
本機で使用できる用紙の種類や、用紙をセットする方法などについて説明しています。
- 5 コピー機能
コピーの基本的な操作方法と、機能について説明しています。
- 6 ファクス機能
ファクスの基本的な操作方法と、機能について説明しています。
- 7 スキャン機能
スキャンの基本的な操作方法と、機能について説明しています。
- 8 プリント機能
プリントの基本的な操作方法について説明しています。
- 9 仕様設定
初期設定の変更方法について説明しています。
- 10 機械確認
本機のエラー情報を確認する方法や、レポートをプリントする方法について説明しています。
- 11 ジョブ確認
ジョブの状態を確認したり、ジョブを削除したりする方法について説明しています。
- 12 日常の管理
消耗品を交換する方法や、本体を清掃する方法について説明しています。
- 13 トラブル対処
本機に何らかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明しています。

■ 14 付録

本機の主な仕様、オプション製品、注意 / 制限事項などについて説明しています。

本書の表記

- 本書に記載している画面や本体のイラストは、各種オプション製品が装着された状態のものです。使用している機械の構成によっては、表示されない項目や使用できない機能があります。
- 各種ドライバーやユーティリティソフトウェアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記 : 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足 : 補足事項を記述しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

" " : 本書内にある参照先を表しています。

- CD-ROM、機能、タッチパネルのメッセージなどの名称や入力文字などを表しています。

[] : 本機のタッチパネルに表示されるフォルダー、ファイル、アプリケーション、ボタンやメニューなどの名称を表しています。

- コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。

< > ボタン : 操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。

< > キー : コンピューターのキーボード上のキーを表しています。

> : 操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。

例：「[仕様設定] > [初期値設定] > [コピー設定] を選択します。」は、「[仕様設定] を選択して、[初期値設定] を選択したあと、[コピー設定] を選びます。」という手順を省略して記載したものです。

- コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。

例：「[スタート] > [検索] > [他のコンピュータ] で検索します。」は、「[スタート] ボタンをクリックして、[検索]、[他のコンピュータ] を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。

- 本文中では、原稿または用紙の向きを、次のように表しています。

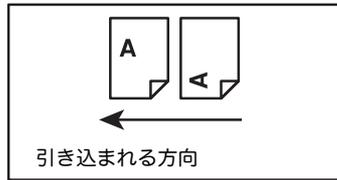
たて置き

- 本機の正面から見て、原稿や用紙をたて長にセットした状態を表しています。

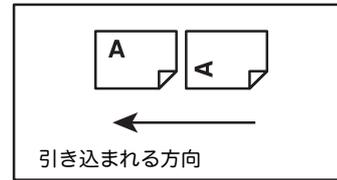
よこ置き

- 本機の正面から見て、原稿や用紙をよこ長にセットした状態を表しています。

たて置き



よこ置き



安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

⚠ 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

お使いいただく前に

1

各警告図記号は以下のような意味を表しています

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



❗記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



電源およびアース接続時の注意

警告

本機のデータプレートが示す電源を使用してください。電源が問題なく接続できるかどうか、お近くの電力会社にご相談ください。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため機械の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 850mm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事 (D 種) を行っている接地端子

アース接続は必ず、「電源プラグを電源につなぐ前に」行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、「電源プラグを電源から切り離してから」行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械には D 種以上の接地工事を必ず実施してください。



電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。



機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにもものを載せないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。

また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

注意



機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



連休などで長期間、機械（ファクシミリ機能など）をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。なお電源スイッチを切った場合は、ファクシミリによる受信ができなくなりますのでご注意ください。



1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
- 電源コードにきれつや擦り傷などがいないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

設置時の注意

警告



機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

 **注意**



以下のような場所には機械を設置しないでください。

- 発熱器具に近い場所
- 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 調理台や加湿器のそばなど

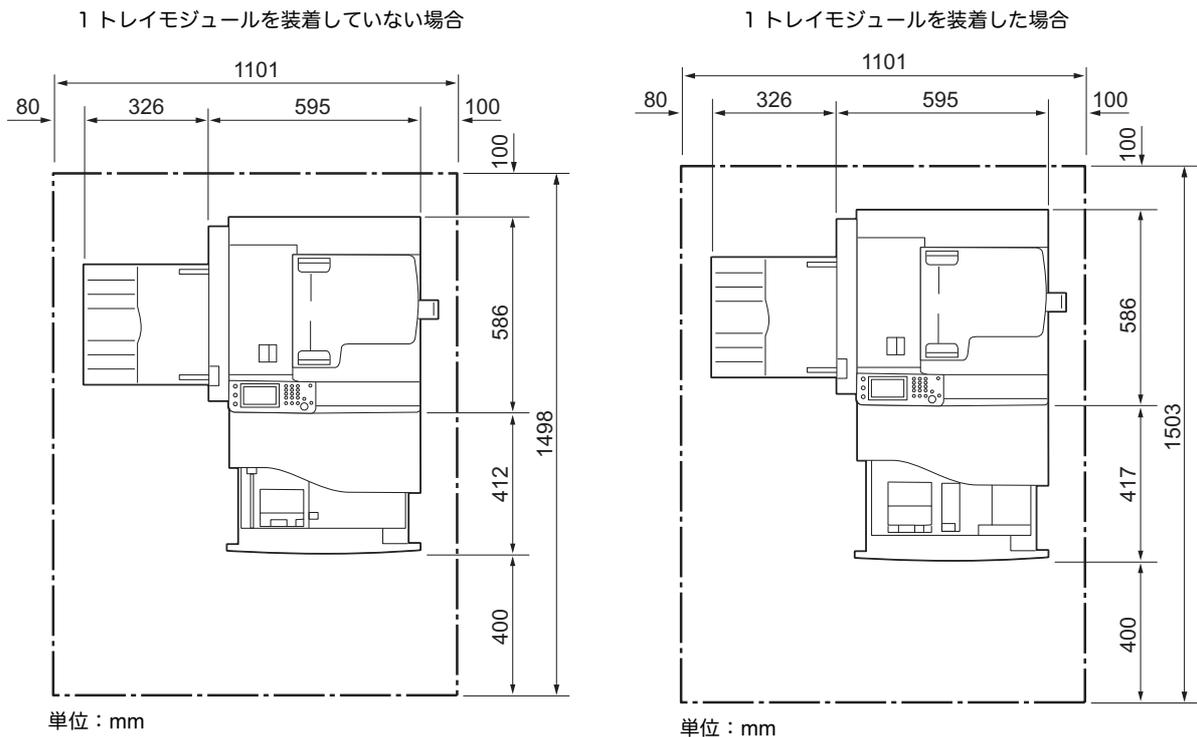


機械は、付属製品を含めた総質量 85kg に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。



機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、右図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

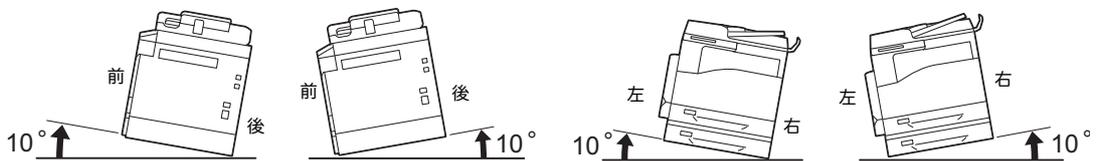


お使いいただく前に

1



機械を10度以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



機械を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。
ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。



機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

その他



本機器の使用環境は次のとおりです。

温度：10～32℃

湿度：15～85%

ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

操作上の安全

警告



この説明書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。



この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 機械の内部に水が入ったとき
- 機械が水をかぶったとき
- 機械の部品に損傷があったとき



機械の隙間や通気口に物を入れないでください。

また、以下のものは、機械の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。



機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



オプションのスタンド（専用キャビネット）を装着している場合、複数の用紙トレイを同時に引き出すと、不意に機械が押された場合に機器全体が傾き、転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出して使用して下さい。



トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。



付属のメディア（CD-ROM、DVD等）は、メディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

⚠ 注意

- 
 機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。
 特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。
- 
 機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があります。ケガや感電の原因となるおそれがあります。
- 
 機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- 
 書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。
- 
 機械を移動するときは、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- 
 換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。
 換気や通風を十分行うように心がけてください。

お使いいただく前に

1

消耗品取り扱い上の注意

⚠ 警告

- 
 消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。
- 
 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。
 本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。
 大量にこぼれた場合、お近くの弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- 
 トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。
 使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- 
 トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。
 使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

注意

 ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。

 ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。

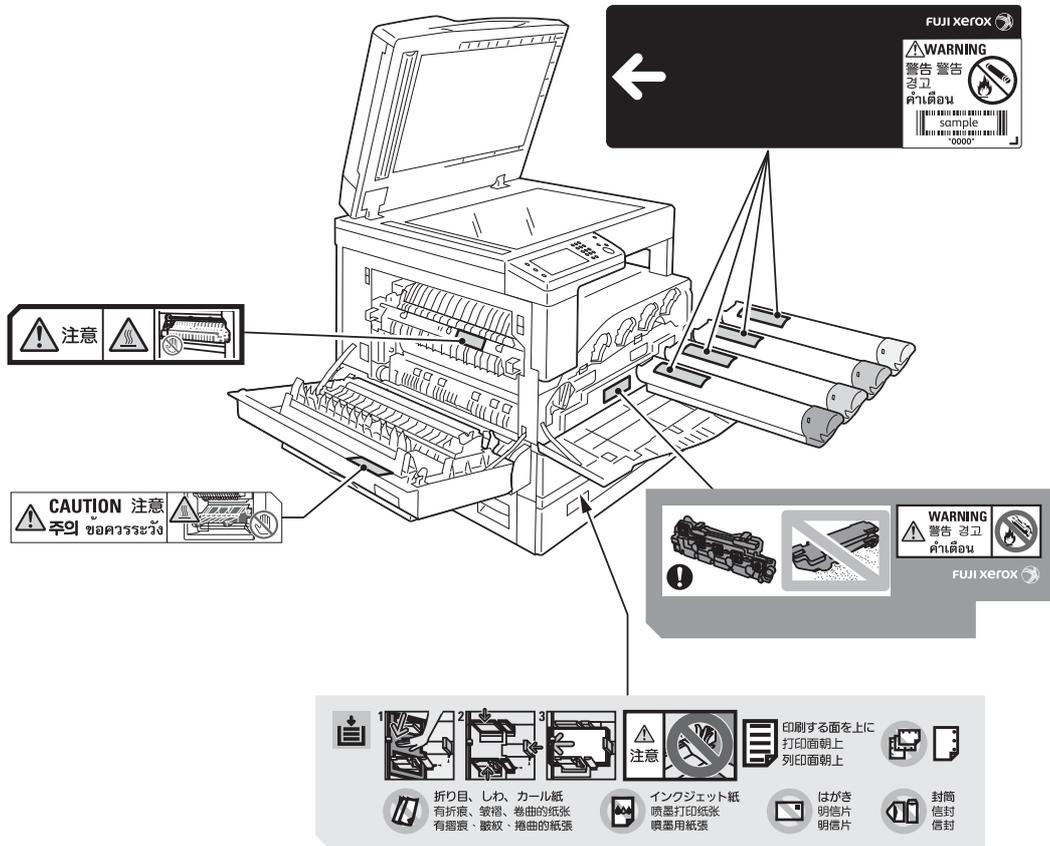
 次の事項に従って、応急処置をしてください。

- トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置



機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。
特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



お使いいただく前に

1

規制について

電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。

電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値)に適合しています。

環境について

- 弊社は本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。
- 回収したトナーカートリッジ、トナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となったトナーカートリッジ、トナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジ、トナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。
- 粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマーク複写機・プリンタなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用に推奨しております DocuCentre SC2021 トナーを使用し、試験方法 Blue Angel RAL UZ-171:2012 の付録 S-M に基づき試験を実施しました。)
- 機器の稼働音が気になる場合は、壁や仕切り等で区切られた場所に設置されることをお勧めします。(表示 A 特性音響パワーレベル LWAd が 63dB を超える場合

は音が気になると言われていました。本商品の稼働音を数値で確認されたい場合は、弊社までお問い合わせください。)

ライセンスについて

ここでは、ライセンスについて説明します。必ずご確認ください。

JPEG コードについて

本プリンターのソフトウェアには、the Independent JPEG Group で作成されたコードの一部を利用しています。

Libcurl について

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2006, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

FreeBSD について

本製品には、FreeBSD のコードの一部が搭載されています。

The FreeBSD Copyright

Copyright 1994-2006 The FreeBSD Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE FREEBSD PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FREEBSD PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the FreeBSD Project.

WIDE DHCP Client について

WIDE Project DHCP Implementation
Copyright (c) 1995 Akihiro Tominaga
Copyright (c) 1995 WIDE Project
All rights reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided only with the following conditions are satisfied:

1. Both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.
2. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.
3. Neither the name of WIDE Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE DEVELOPER "AS IS" AND WIDE PROJECT DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE. ALSO, THERE IS NO WARRANTY IMPLIED OR OTHERWISE, NOR IS SUPPORT PROVIDED.

Feedback of the results generated from any improvements or extensions made to this software would be much appreciated.

Any such feedback should be sent to:

Akihiro Tominaga
WIDE Project
Keio University, Endo 5322, Kanagawa, Japan
(E-mail: dhcp-dist@wide.ad.jp)

WIDE project has the rights to redistribute these changes.

RSA BSAFE について



本機は、EMC コーポレーションの RSA® BSAFE® ソフトウェアを搭載しています。

MD5 について

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose.

It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

ICC Profile Header について

Copyright (c) 1994-1996 SunSoft, Inc. Rights Reserved

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SUNSOFT, INC. OR ITS PARENT COMPANY BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of SunSoft, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without written authorization from SunSoft Inc.

JPEG Library について

Independent JPEG Group's free JPEG software

This package contains C software to implement JPEG image encoding, decoding, and transcoding. JPEG is a standardized compression method for full-color and gray-scale images.

The distributed programs provide conversion between JPEG "JFIF" format and image files in PBMPLUS PPM/PGM, GIF, BMP, and Targa file formats. The core compression and decompression library can easily be reused in other programs, such as image viewers. The package is highly portable C code; we have tested it on many machines ranging from PCs to Crays.

We are releasing this software for both noncommercial and commercial use. Companies are welcome to use it as the basis for JPEG-related products. We do not ask a royalty, although we do ask for an acknowledgement in product literature (see the README file in the distribution for details). We hope to make this software industrial-quality --- although, as with anything that's free, we offer no warranty and accept no liability. For more information, contact jpeg-info@jpegclub.org.

Contents of this directory

jpegsrc.vN.tar.gz contains source code, documentation, and test files for release N in Unix format. jpegsrcN.zip contains source code, documentation, and test files for release N in Windows format. jpegaltui.vN.tar.gz contains source code for an alternate user interface for cjpeg/djpeg in Unix format. jpegaltuiN.zip contains source code for an alternate user interface for cjpeg/djpeg in Windows format. wallace.ps.gz is a PostScript file of Greg Wallace's introductory article about JPEG. This is an update of the article that appeared in the April 1991 Communications of the ACM. jpeg.documents.gz tells where to obtain the JPEG standard and documents about JPEG-related file formats. jfif.ps.gz is a PostScript file of the JFIF (JPEG File Interchange Format) format specification. jfif.txt.gz is a plain text transcription of the JFIF specification; it's missing a figure, so use the PostScript version if you can. TIFFTechNote2.txt.gz is a draft of the proposed revisions to TIFF 6.0's JPEG support. pm.errata.gz is the errata list for the first printing of the textbook "JPEG Still Image Data Compression Standard" by Pennebaker and Mitchell.

jdosaobj.zip contains pre-assembled object files for JMEMDOS.ASM. If you want to compile the IJG code for MS-DOS, but don't have an assembler, these files may be helpful.

Math Library について

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business. Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

=====

copysignf.c:* Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. math_private.h:* Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. powf.c:* Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. scalbnf.c:* Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
 - 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - 役所または公務員の印影、署名、記名。
 - 私人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合※を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
 - (1) 複製 紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
 - (2) 改変 紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
 - (3) 送信 電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

※法律に定める例外にあたる場合の例

- 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とし複製する場合。
- 国立図書館、私立図書館、学校附属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
- 学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

2 環境の設定

この章では、本機の使用環境について説明します。

補足 ・この章に記載された、設定が必要なオプション製品については、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

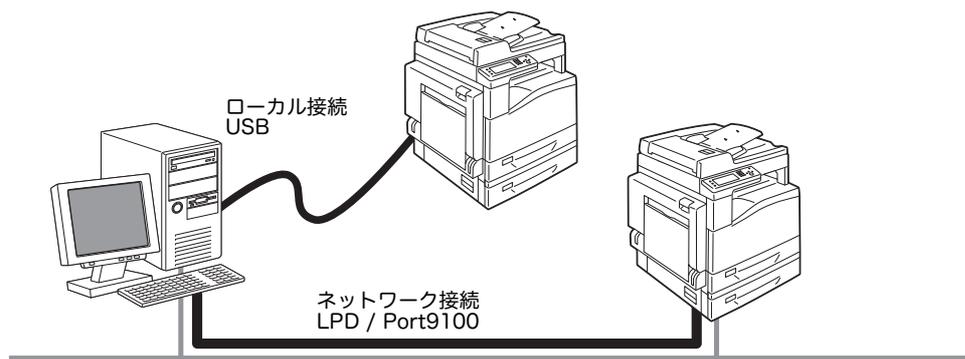
- 使用できる環境について 34
- インターフェイスクーブル 36
- ネットワーク環境を設定する 38
- 使用するポートを起動する 41
- CentreWare Internet Services を利用する 42
- プリントドライバー、スキャンドライバーをインストールする 44

使用できる環境について

本機のプリント、スキャン、ファクス機能を使用するために必要な環境設定について説明します。

プリント機能

本機は、直接コンピューターと接続するとローカルプリンターとして、ネットワークに接続するとネットワークプリンターとして使用できます。



■ ローカルプリンターとして使用する場合

USB ケーブルで本機とコンピューターを接続します。

■ ネットワークプリンターとして使用する場合

TCP/IP プロトコルを使用して、ネットワーク上で接続されたコンピューターから印刷します。

ネットワークプリンターとして使用する場合は、使用するポートを起動する必要があります。

- LPD：ポートとして、LPD を使用している場合に使用します。
- Port9100：ポートとして、Port9100 を使用している場合に使用します。

TCP/IP の設定方法："ネットワーク環境を設定する" (P.38)

ポートの起動方法："使用するポートを起動する" (P.41)

スキャン機能

本機では、次のスキャン機能が利用できます。

■ USB での接続

■ PC アプリケーションでスキャンする場合

PC アプリケーションを使用して、コンピューターに本機でスキャンした原稿を取り込みます。

本機能を利用するには、ソフトウェア / 製品マニュアルからスキャンドライバーをインストールする必要があります。

- 補足
- ・インストールするときは、ソフトウェア / 製品マニュアルのマニュアル (HTML ファイル) で手順を確認してから、実行してください。
 - ・本機能は、Windows のみに対応しています。

設定方法："コンピューターへスキャンデータを転送する" (P.134)

■ ネットワークでの接続

■ メール送信先

SMTP プロトコルを使用して、本機でスキャンした原稿を、添付ファイルとして送信します。

設定方法："メールにスキャンデータを添付する" (P.147)

■ ネットワークスキャン

FTP または SMB プロトコルを使用して、コンピューターの共有フォルダーに、本機でスキャンした原稿を保存します。

設定方法："ネットワーク上でスキャン機能を使用する" (P.137)

ファクス機能

補足 ・ファクス機能は、Model-CPFS およびファクスキットが装着されている Model-CPS でのみ利用できます。

注意 / 制限："ファクス機能使用上の注意 / 制限" (P.287)

本機でファクス通信できるのは、次の通信網です。

- 公衆電話回線網 (PSTN)
- PBX

また、本機でファクス機能を利用するには、[日付] の設定が必要です。

時間の設定方法："時刻設定" (P.173)

ファクス番号の設定方法："ファクス番号" (P.167)

インターフェースケーブル

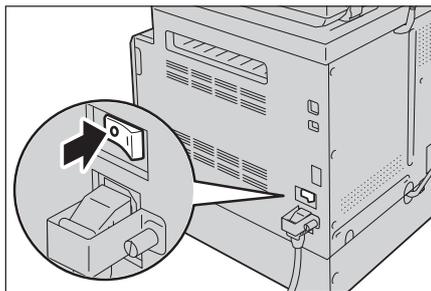
本機をコンピューターと直接接続する場合は、USB ケーブルを使います。本機とネットワークを接続する場合は、ネットワークケーブルを使います。

USB インターフェイスでの接続

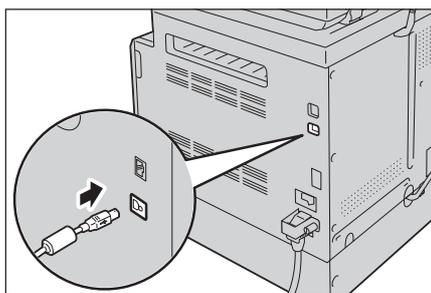
USB インターフェイスは、USB2.0 に対応しています。
接続方法は、次のとおりです。

- 1 電源スイッチの [O] 側を押して、電源を切ります。

補足 ・タッチパネルが消えていることを確認します。

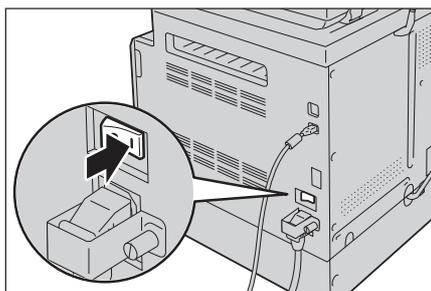


- 2 USB ポートに、USB ケーブルを接続します。



- 3 コンピューターに、USB ケーブルのもう一方のコネクターを接続します。

- 4 電源スイッチの [I] 側を押して、電源を入れます。

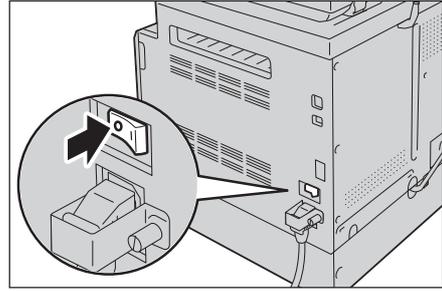


Ethernet インターフェイスでの接続

Ethernet インターフェイスは、100BASE-TX と 10BASE-T に対応しています。
接続方法は、次のとおりです。

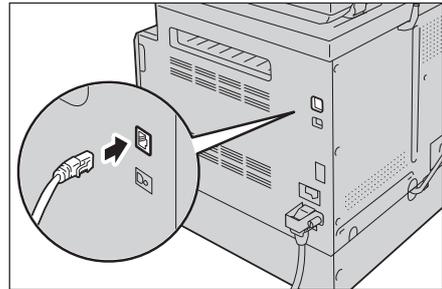
- 1** 電源スイッチの [O] 側を押して、電源を切ります。

補足 ・タッチパネルが消えていることを確認します。

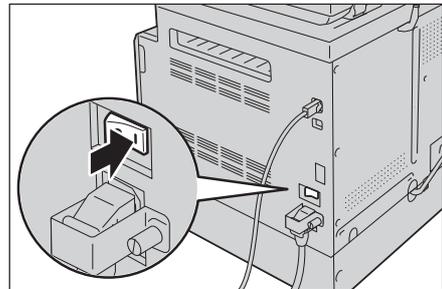


- 2** Ethernet ポートに、ネットワークケーブルを接続します。

補足 ・お使いのネットワークの接続形態に合ったネットワークケーブルをご用意ください。ネットワークケーブルを交換する場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。



- 3** 電源スイッチ [I] 側を押して、電源を入れます。



ネットワーク環境を設定する

TCP/IP プロトコルを使用するのに必要な設定について説明します。

補足 ・本機は、IPv6 ネットワーク環境で、IPv6 アドレスを使用できます。詳しくは、"本機の IP アドレス (IPv6) を設定する" (P.39) を参照してください。

■ 本機側の設定

- ・ IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と相談のうえ、設定してください。
- ・ ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。

■ コンピューター側の設定

- ・ IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と相談のうえ、設定してください。
- ・ NIS (Network Information Service) の管理下で使用されているホストで、ネットワーク (IP アドレスなど) の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

本機の IP アドレス (IPv4) を設定する

TCP/IP プロトコルを使用するためには、IP アドレスの設定が必要です。

初期設定では、本機が自動的に IP アドレスを取得します。

そのため、DHCP サーバーがあるネットワーク環境では、本機をネットワークに接続すると、自動的に IP アドレスが設定されます。

システム設定リストを印刷して、IP アドレスがすでに設定されているかどうかを確認してください。

IP アドレスは次の方法でも確認できます。

- ・ タッチパネル上のメッセージ
- ・ [この複合機について] 画面
- ・ CentreWare Internet Services

システム設定リストの印刷方法："レポート / リストの印刷" (P.218)

タッチパネル上のメッセージについて："タッチパネル - メニュー画面" (P.55)

[この複合機について] での確認方法："本機の IP アドレスの確認" (P.216)

CentreWare Internet Services についての詳細は、CentreWare Internet Services オンラインヘルプを参照してください。

注記 ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はおお客様の負担になりますのでご了承ください。

本機の IP アドレスが設定されていない場合、本機の操作パネルで IP アドレスを設定するか、ソフトウェア / 製品マニュアル内の IP アドレス設定ツールから設定します。

補足 ・DHCP で運用する場合は、IP アドレスが変更されていることがあります。定期的に IP アドレスを確認してください。

・本機では、BOOTP サーバーや RARP サーバーを使用して、自動でアドレス情報を取得することができます。この場合は、操作パネルで、[IP アドレスの取得方法] を [BOOTP] または [RARP] に変更してください。

IP アドレス設定ツールの使用方法については、"IP アドレス設定ツールを使用する場合" (P.40) を参照してください。

操作パネルからの IP アドレスの設定方法については、"TCP/IP 設定" (P.164) を参照してください。

本機の IP アドレス (IPv6) を設定する

本機は、IPv6 ネットワーク環境で、IPv6 アドレスを使用できます。

本機の工場出荷時の IP アドレスは、IPv4 に設定されています。本機を IPv6 ネットワーク環境で使用するには、IP アドレスを IPv6、または [デュアルスタック] に設定します。本機を再起動すると自動的に IPv6 アドレスが設定されます。

システム設定リストを印刷して、IPv6 アドレスを確認してください。

IP アドレスは次の方法でも確認できます。

- [この複合機について] 画面

- CentreWare Internet Services

システム設定リストの印刷方法："レポート / リストの印刷" (P.218)

[この複合機について] での確認方法："本機の IP アドレスの確認" (P.216)

CentreWare Internet Services から設定を行う方法についての詳細は、CentreWare Internet Services オンラインヘルプを参照してください。

注記 ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

本機に固定の IPv6 アドレスを設定する場合、次の方法があります。

- IP アドレス設定ツールを使用します。
- 操作パネルを使用して、手動で設定します。＜機械確認＞ボタンを押します。[仕様設定] タブから、[管理者設定] > [ネットワーク設定] > [Ethernet] > [IP 動作モード] を選択します。[IP 動作モード] を [IPv6]、または [デュアルスタック] に設定します。
- CentreWare Internet Services を使用して、手動で設定します。IP アドレスが自動的に設定されているか確認するために、システム設定リストを印刷します。次に、IP アドレスを使用して、CentreWare Internet Services にアクセスします。[プロパティ] タブから [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [IP 動作モード] を選択します。[IP 動作モード] を [IPv6]、または [デュアルスタック] に設定します。[IP アドレスの取得方法] が [手動] に設定されていると、IPv6 アドレスを手動で入力できます。

IP アドレス設定ツールの使用方法："IP アドレス設定ツールを使用する場合" (P.40)

操作パネルからの IP アドレスの設定方法："TCP/IP 設定" (P.164)

CentreWare Internet Services から設定を行う方法についての詳細は、CentreWare Internet Services オンラインヘルプを参照してください。

注記 ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

IP アドレス設定ツールを使用する場合

本機の IP アドレスを、ソフトウェア / 製品マニュアルに収められている IP アドレス設定ツールで設定する方法について説明します。

重要 ・IP アドレス設定ツールを使用する場合、本機が使用されていないことを確認してください。

- 1 ソフトウェア / 製品マニュアルの CD-ROM をコンピューターで読み込みます。
ランチャーが起動します。
- 2 [管理者ツール] タブの管理者ツールから [IP アドレス設定ツールの起動] を選択し、
[起動 / インストール] をクリックします。
IP アドレス設定ツールが起動します。
- 3 画面に従って設定します。
設定が正常に適用されていれば、本機は再起動します。
- 4 次のいずれかの方法により、設定手順完了後に、指定された IP アドレスを確認します。
 - ・ システム設定リストの印刷方法 : " レポート / リストの印刷 " (P.218)
 - ・ [この複合機について] での確認方法 : " 本機の IP アドレスの確認 " (P.216)
 - ・ CentreWare Internet Services についての詳細は、CentreWare Internet Services オンラインヘルプを参照してください。

注記 ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

使用するポートを起動する

使用するポートは、CentreWare Internet Services の [ポート起動] で設定します。使用できるポートは、次のとおりです。

ポート名	内容
LPD	[有効] を選択して、LPD ポートを使用します。
Port9100	[有効] を選択して、Port9100 ポートを使用します。
IPP	[有効] を選択して、IPP ポートを使用します。
WSD* プリント	[有効] を選択して、WSD* プリントポートを使用します。
WSD* スキャン	[有効] を選択して、WSD* スキャンポートを使用します。
FTP	[有効] を選択して、FTP ポートを使用します。
Bonjour	[有効] を選択して、Bonjour を使用します。
Telnet	[有効] を選択して、Telnet を使用します。
SNMP	[有効] を選択して、SNMP を使用します。
宛先表の一括登録	[有効] を選択して、宛先表の一括登録を使用します。
StatusMessenger	[有効] を選択して、StatusMessenger を使用します。
SNTP	[有効] を選択して、SNTP を使用します。

* :「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

CentreWare Internet Services から設定を行う方法についての詳細は、CentreWare Internet Services オンラインヘルプを参照してください。

注記 ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

CentreWare Internet Services を利用する

CentreWare Internet Services

CentreWare Internet Services とは、TCP/IP 環境でネットワーク上に接続されたコンピュータで、Web ブラウザーを使用して、本機の状態を確認したり、設定を変更したりできるサービスです。

CentreWare Internet Services を使用方法についての詳細は、CentreWare Internet Services オンラインヘルプを参照してください。

注記 ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

補足 ・本機の IP アドレスの設定が必要です。IP アドレスの設定方法："ネットワーク環境を設定する" (P.38)



*: 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

使用できる環境と設定

■ オペレーティングシステムと Web ブラウザーについて

CentreWare Internet Services は、次の Web ブラウザーで動作することを確認しています。

オペレーティングシステム	Web ブラウザー
Windows® 8.1	Windows® Internet Explorer® 11
Windows® 8	Windows® Internet Explorer® 10
Windows® 7	Windows® Internet Explorer® 8
Windows Vista®	Windows® Internet Explorer® 7

■ Web ブラウザーの設定

本機のアドレスを指定することをお勧めします。

補足 ・プロキシサーバーを経由して本機のアドレスを指定すると、応答が遅くなったり画面が表示されないことがあります。これらの問題が発生したときは、本機の IP アドレスを Web ブラウザーで指定し、プロキシサーバーを使用しないようにします。設定方法については、お使いの Web ブラウザーのヘルプを参照してください。

また、CentreWare Internet Services を正しく動作させるために、Web ブラウザーで次のように設定する必要があります。

ここでは、Internet Explorer 11 を例に説明します。

- 1 [ツール] メニューから [インターネットオプション] を選択します。
- 2 [全般] タブにある [設定] の [インターネット一時ファイル] をクリックします。
- 3 [保存しているページの新しいバージョンがあるかどうか確認する] の [Web サイトを表示するたびに確認する]、または [Internet Explorer を開始するたびに確認する] を選択します。
- 4 [OK] をクリックします。
- 5 [インターネットオプション] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。

CentreWare Internet Services を起動する

CentreWare Internet Services の起動方法は、次のとおりです。

- 1 コンピューターを起動して、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレス、または URL を入力し、<入力> キーを押します。

CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。

- IP アドレスの入力例 (IPv4)



- IP アドレスの入力例 (IPv6)



- URL の入力例



- 補足
- お使いのネットワークが DNS (Domain Name System) を使用し、ドメイン名サーバーに本機のホスト名が登録されている場合、ホスト名とドメイン名を組み合わせたインターネットアドレスを使用して本機に接続することができます。たとえば、ホスト名が「myhost」でドメイン名が「example.com」の場合、インターネットアドレスは「myhost.example.com」となります。
 - ポート番号を指定する場合は、IP アドレスまたはインターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
 - Web ブラウザーによっては、IPv6 アドレスを直接入力できない場合があります。
 - HTTPS には対応していません。

プリントドライバー、スキャンドライバーをインストールする

プリントドライバーをインストールする

本機から印刷するために、ソフトウェア / 製品マニュアルからプリントドライバーをインストールします。

CD-ROM には、次のプリントドライバーが収められています。

プリントドライバー名	内容
FX DocuCentre SC2021 PCL6	ソフトウェア / 製品マニュアルの [トップページ] タブの [プリンター / ファクスドライバーのインストール] をクリックするとインストールが開始されます。プリントドライバーはソフトウェア / 製品マニュアルの CD-ROM に入っています。インストール方法については、CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。標準のプリントドライバーです。

スキャンドライバーをインストールする

本機とコンピューターを直接 USB で接続している場合、スキャンしたデータをコンピューターに取り込むことができます。

ソフトウェア / 製品マニュアルには TWAIN 対応および WIA (Windows Imaging Acquisition) 対応のスキャンドライバーが収められています。

ソフトウェア	内容
TWAIN 対応および WIA (Windows Imaging Acquisition) 対応のスキャンドライバー	スキャンドライバーはソフトウェア / 製品マニュアルの CD-ROM に入っています。インストール方法については、CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。なお、スキャンドライバーをインストールしたときは、必ず直後にコンピューターを再起動してください。
宛先表ツール	ソフトウェア / 製品マニュアルの [その他のツール] タブの [宛先表ツールのインストール] を選択して、[起動 / インストール] ボタンをクリックするとインストールが開始されます。 原稿をファクスで送信する際に宛先登録を行うことができます。宛先情報を宛先表ツールに登録して、本機に保存すると宛先が選択できます。 プリンター上、または CentreWare Internet Services で登録されているファクス受信者の電話番号も検索できます。 設定項目については、宛先表ツールのヘルプを参照してください。

スキャンドライバーをインストールするには、ソフトウェア / 製品マニュアルにある [マニュアル / 製品情報] タブの 「マニュアル (HTML 文書)」 をクリックし、手順を確認してください。

補足 ・本機能は、ネットワーク環境では利用できません。

・本機能は、Windows のみに対応しています。

アンインストール

■ プリントドライバーのアンインストール

プリントドライバーは、ソフトウェア / 製品マニュアルのアンインストールツールを使ってアンインストールできます。詳しくは、ソフトウェア / 製品マニュアルの『マニュアル (HTML 文書)』を参照してください。

■ その他のソフトウェアのアンインストール

ソフトウェア / 製品マニュアルからインストールした、その他のソフトウェアをアンインストールする場合は、各ソフトウェアの Readme ファイルを参照してください。Readme ファイルは、ソフトウェア / 製品マニュアルの『製品情報 (HTML 文書)』から表示できます。

3 機械の構成

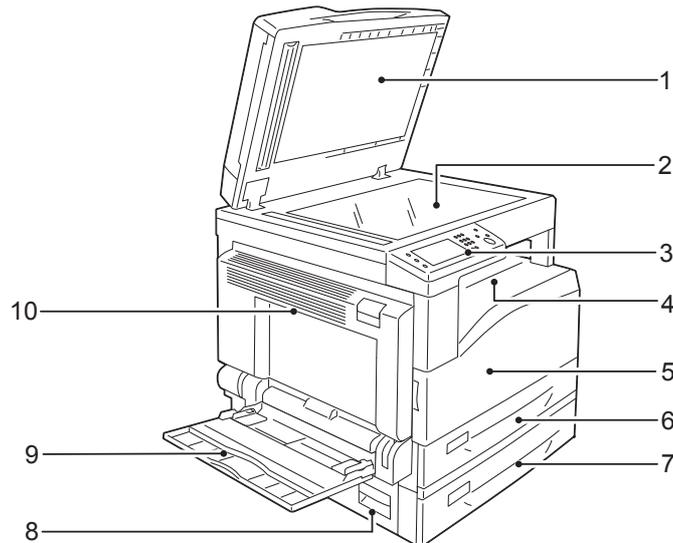
この章では、各部の名称、電源の入 / 切、操作パネルの使い方など、本機の基本的な操作について説明しています。

- 各部の名称と働き 48
- 電源について 52
- 節電モードについて 53
- 操作パネルについて 54
- ユーザー制限 56
- 文字入力について 57
- オプション品の構成などを設定する 58
- 冷却モード 60

各部の名称と働き

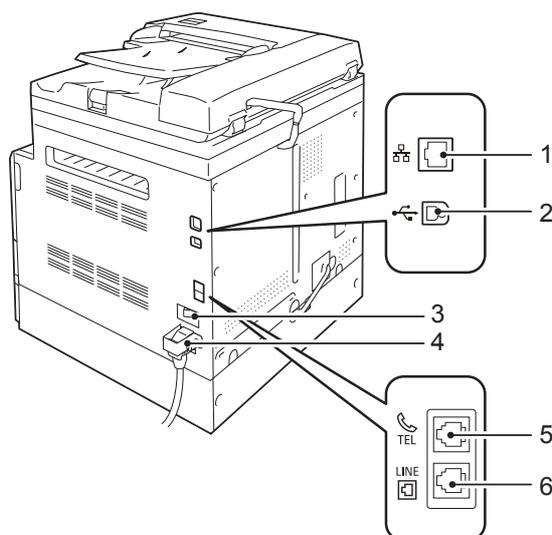
本機の、各部の名称と働きについて説明します。

正面と左側面



番号	名称	内容
1	原稿カバー	原稿を押さえます。
2	原稿ガラス	原稿をセットします。
3	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルがあります。 詳細について："操作パネルについて" (P.54)
4	排出トレイ	コピーやプリントされた用紙が、印字面を下にして排出されます。
5	フロントカバー	消耗品を交換するときに開けます。
6	トレイ 1 (標準トレイ)	用紙をセットします。
7	トレイ 2 (1トレイモジュール) (オプション)	オプションのトレイです。用紙をセットします。
8	左側面下部カバー [B]	トレイ 2 に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
9	トレイ 5 (手差し)	用紙をセットします。引き出すことができます。
10	左側面上部カバー [A]	詰まった用紙を取り除くときに開けます。 補足 ・本機が正常に動作しているときは、カバーはロックされています。カバーを開けるには、スリープモードを解除して、電源を切ってください。

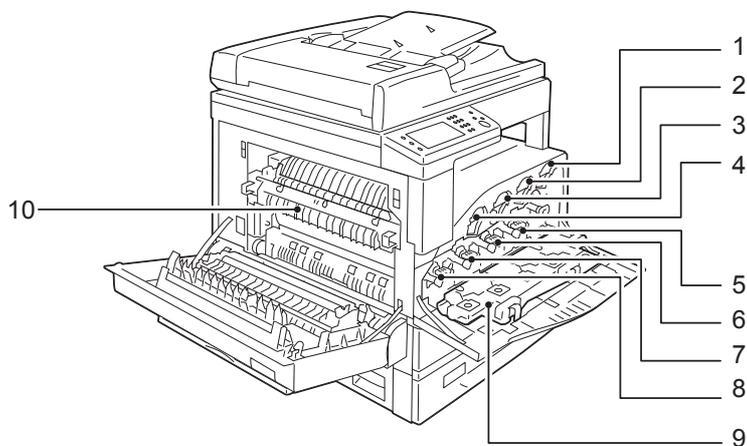
右側面と背面



番号	名称	内容
1	イーサネットインターフェイスコネクタ	ネットワークケーブルを接続します。
2	USB インターフェイスコネクタ	USB 2.0 用ケーブルを接続します。
3	電源スイッチ	本機の電源を入 / 切します。 詳細について："電源について" (P.52)
4	電源コードコネクタ	電源コードを接続します。
5	TEL コネクタ	電話機を接続します。電話機以外の機器（ファクス機等）を接続しないでください。
6	LINE	一般回線（内線も可）を接続します。

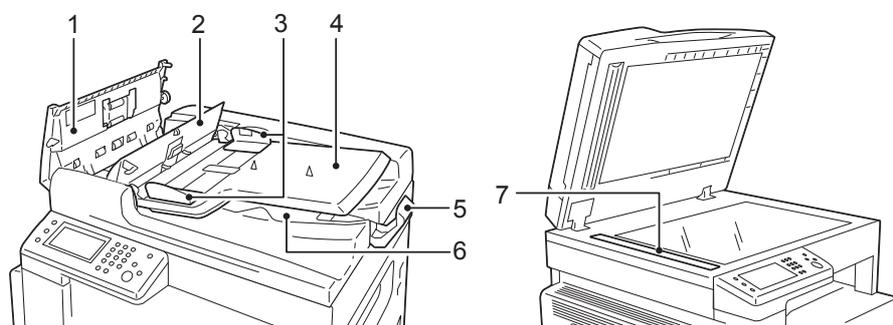
補足 ・TEL コネクタおよびLINE は、Model-CPFS およびファクスキットが装着されている Model-CPS で利用できます。

内部



番号	名称	内容
1	トナーカートリッジイエロー [Y]	イエロートナー（画像形成剤）が入っています。
2	トナーカートリッジマゼンタ [M]	マゼンタトナー（画像形成剤）が入っています。
3	トナーカートリッジシアン [C]	シアントナー（画像形成剤）が入っています。
4	トナーカートリッジブラック [K]	ブラックトナー（画像形成剤）が入っています。
5	ドラムカートリッジイエロー [R4]	イエロートナー用感光体がセットされています。
6	ドラムカートリッジマゼンタ [R3]	マゼンタトナー用感光体がセットされています。
7	ドラムカートリッジシアン [R2]	シアントナー用感光体がセットされています。
8	ドラムカートリッジブラック [R1]	ブラックトナー用感光体がセットされています。
9	トナー回収ボトル [R5]	使用済みのトナーを回収します。
10	定着ユニット	トナーを用紙に定着させます。 注記 ・高温なので触れないように注意してください。

自動両面原稿送り装置



番号	名称	内容
1	左側カバー	詰まった用紙を取り除くときに開けます。
2	内カバー	詰まった用紙を取り除くときに開けます。
3	原稿ガイド	原稿の端をそろえます。
4	原稿送りトレイ	原稿をセットします。
5	原稿受けストッパー	排出された原稿の飛び出しを防ぎます。
6	原稿受けトレイ	原稿が排出されます。
7	原稿読み取りガラス	原稿を読み取ります。

補足 ・本文中では、「自動両面原稿送り装置」を「原稿送り装置」と表します。

電源について

電源を入れる

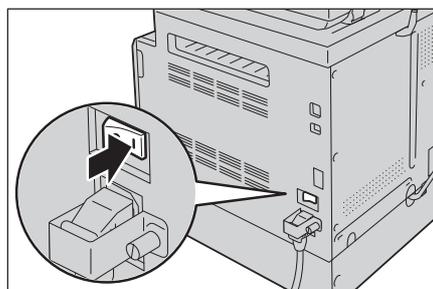
電源の入れかたについて説明します。

本機は電源を入れてから約 41 秒ほどでコピー、プリント、ファクスができる状態になります。機械の構成によっては、もう少し時間がかかることもあります。

- 1 電源スイッチの [|] 側を押して、電源を入れます。

補足

- ・「お待ちください」が表示されているときは、本機はウォームアップ中です。この間は、使用できません。
- ・電源ケーブルが本機とコンセントに正しく接続されているか確認してください。



電源を切る

電源の切りかたについて説明します。

注記

- ・次の状態の場合は、電源を切らないでください。電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。

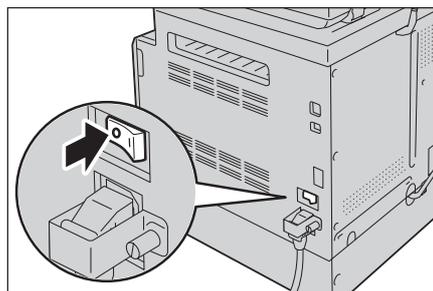
- データの受信中
- プリント処理中
- コピー中
- スキャン中

・本機の動作停止後、10 秒たってから、電源を切ってください。

補足

- ・電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、画面消灯後、15 秒待ってから入れてください。

- 1 電源を切る前に、コピー、またはプリントが完全に終了していることを確認します。また、<データ>ランプが消えていることを確認します。
- 2 電源スイッチの [O] 側を押して、電源を切ります。



節電モードについて

本機には、一定時間コピーやプリントデータを受け付けないときに、自動的に消費電力量を下げて電力を節約する、節電モードがあります。

節電モードには、「低電力モード」と「スリープモード」があります。

注記 ・定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間等に大きく左右されます。節電モードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなる場合があります。詳しい情報については、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

■ 低電力モード

低電力モードは、完全には電源を落としますが、定着ユニットの温度をオフ時とレディー時の中間に制御するなどにより、消費電力とウォームアップタイムのバランスをとります。

■ スリープモード

スリープモードは、コントローラー以外の電源をオフにして、消費電力を最低の値に下げます。

節電モードに移行する

節電モードに移行すると、タッチパネルは消灯し、操作パネルの<節電>ボタンが点灯します。

本機では、低電力モードおよびスリープモードに移行する時間を、それぞれ設定できます。

注記 ・定着ユニットの寿命は、本機への通電時間などに大きく左右されます。節電モードへの移行時間を長く設定すると、通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなる場合があります。詳しくは、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

低電力モードとスリープモードの移行時間の設定方法："節電設定"(P.172)



節電モードから復帰する

節電モードを解除する方法は、次の通りです。

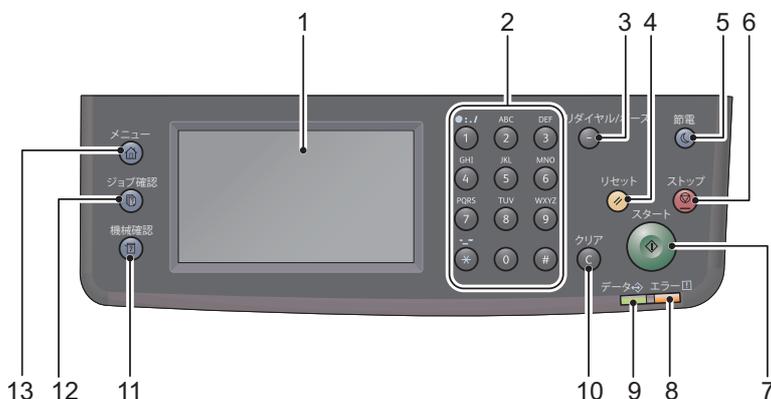
本機では、次の状態のときに節電モードが解除されます。

補足 ・節電モード解除後もタッチパネルが消灯したままの場合があります。タッチパネルは、*が付いている状態のときに点灯します。

- <節電>ボタンを押す*
- 本機でエラーが検知される*
- 本機を再起動する
- FAX/ ジョブを受信する
- 外付け電話機の受話器をとる

操作パネルについて

操作パネルの各部の名称と働きについて説明します。



番号	名称	働き
1	タッチパネル	操作に必要なメニューや、本機の状態を表すメッセージなどが表示されます。
2	数字ボタン	コピー枚数などの数字を入力するときに押します。
3	<リダイヤル/ポーズ>ボタン	ファクス番号をリダイヤルするときに押します。 宛先を入力する場合に、番号の間にポーズを入れたりするときに押します。
4	<リセット>ボタン	表示されている各機能の設定を初期値に戻したり、入力された数字を削除するときに押します。
5	<節電>ボタン	本機がしばらく使用されず、消費電力をおさえるために節電モードに移行すると、点灯します。 節電モードに移行するとき、節電モードから復帰するときに押します。
6	<ストップ>ボタン	実行中のジョブ、失敗したジョブをキャンセルするときに押します。
7	<スタート>ボタン	原稿の読み込みを開始するときや、各設定の値を確定するときに押します。
8	<エラー>ランプ	システムエラーが発生したときに点滅します。また、紙づまりや用紙切れなど、システムエラー以外の問題が発生したときに点灯します。
9	<データ>ランプ	ファクスデータの送受信中に点滅します。また、蓄積されたファクスデータがあるときに点灯します。
10	<クリア>ボタン	入力した数値を一つ削除するときに押します。
11	<機械確認>ボタン	レポートを印刷したり、消耗品の状態や IP アドレスといった本機の情報を確認したりするときに押します。
12	<ジョブ確認>ボタン	実行中のジョブ、実行待ちのジョブを確認、キャンセルするときに押します。
13	<メニュー>ボタン	メニュー画面を表示するときに押します。

タッチパネル - メニュー画面

<メニュー>ボタンを押して表示されるメニュー画面上の表示やボタンについて説明します。



- メッセージエリア
本機の状態、エラーメッセージ、本機に設定されている IP アドレスを表示します。
- トナー残量表示
トナーの残量を 6 段階で表示します（各色のトナー残量：100%、80%、60%、40%、20%、0%）。このアイコンを選択すると [消耗品] タブが表示されます。
- 機能ボタン
[コピー]、[メール送信]、[スキャナー]、[ファクス]、[ID カードコピー] といった機能の設定を行うことができます。

ユーザー制限

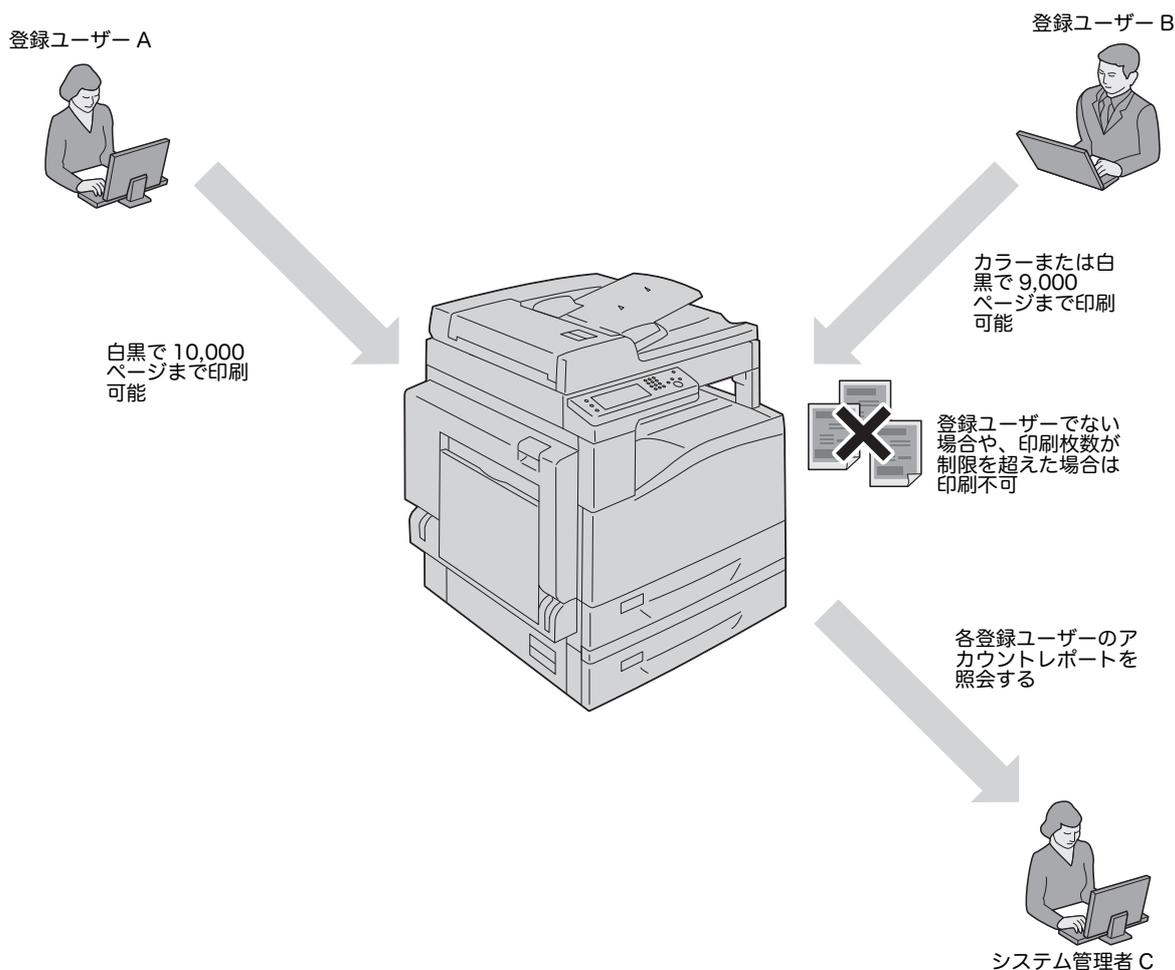
ユーザー制限には、使用できる操作に制限を設ける認証機能や、認証をもとに使用を制御するアカウント管理機能があります。

次のイラストは、プリント集計管理を使用したときの本機の働きを表したものです。

コピー集計管理を使用してコピー機能を制限することもできます。

コピー集計管理の詳細について："コピー集計管理" (P.178)

プリント集計管理の詳細について："プリント集計管理" (P.178)



- 補足
- ・プリンターのユーザー制限設定は、CentreWare Internet Services で設定できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。
 - ・ユーザー制限を使用して印刷するには、プリントドライバーを設定する必要があります。詳しくは、ドライバーのヘルプを参照してください。
- 注記
- ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

文字入力について

操作パネルに表示されるキーボードと数字ボタンの使い方について説明します。

操作パネルに表示されたキーボードを使用する

操作中、テキスト入力の画面が表示されることがあります。ここでは、文字を入力する方法について説明します。

補足 ・キーボードのレイアウト設定を QWERTY、AZERTY、QWERTZ から選択できます。
キーボードレイアウトの設定方法："キーボードレイアウト" (P.198)

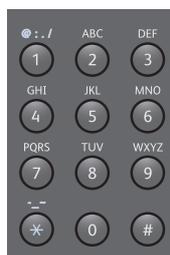


アルファベット、数字、記号を入力することができます。

項目	内容
アルファベット、数字を入力する	大文字を入力するときは  を選択します。小文字入力に戻るときは、もう一度  を選択します。
記号を入力する	 を選択します。
スペースを入力する	 を選択します。
文字を削除する	1文字ずつ削除するには  を選択します。

数字ボタンを使用する

操作中に数字を入力する場合があります。たとえば、コピー枚数を指定したり、ファクス番号を直接入力したりする場合などです。



使用可能な文字

数字ボタンを使用して、0～9、*や#といった文字を入力することができます。

入力した数字を変更する

間違った数字を入力したときは、<クリア>ボタンを押して、最後に入力した数字または文字を削除します。そのあと、正しい数字を入力します。

オプション品の構成などを設定する

本機のオプション構成をプリントドライバーに読み込むことができます。
オプションを変更した場合は、本機の構成情報を更新してください。

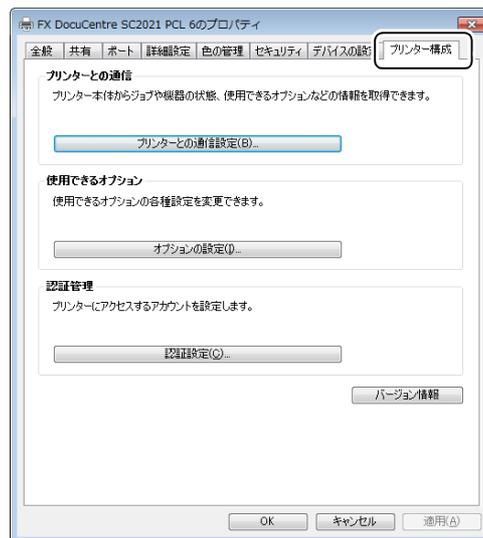
Ethernet インターフェイスを使用する

本機のオプション品の構成をプリントドライバーに読み込む方法は、次のとおりです。

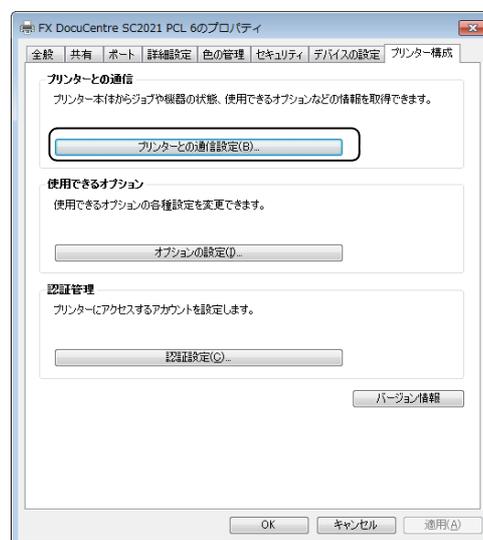
- 補足
- ・本機能を使用する場合は、SNMP ポートを起動に設定してください。(初期設定：起動)
 - ・本機の情報を読み取れなかった場合や、USB インターフェイス接続を使用している場合、構成の情報を手動で設定します。詳しくは、プリントドライバーのヘルプを参照してください。

次の手順は Windows 7、PCL 6 を例にしています。この手順はオペレーティングシステムやプリントドライバーによって異なります。

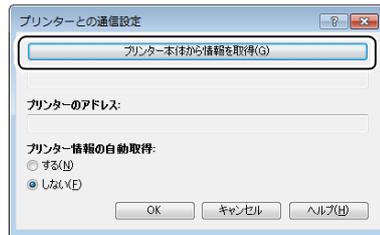
- 1 [スタート]>[デバイスとプリンター]を選択します。
- 2 DocuCentre SC2021 のプリンターアイコンを右クリックし [プリンターのプロパティ] を選択します。
- 3 [プリンター構成] タブをクリックします。



- 4 [プリンターとの通信設定] をクリックします。



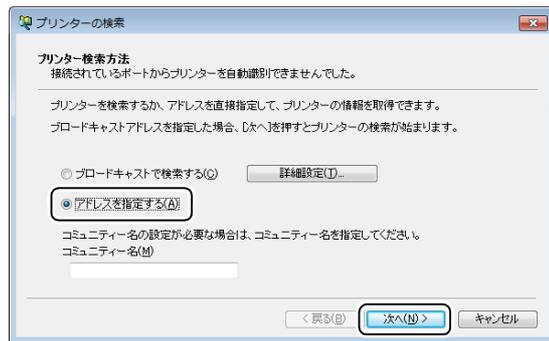
- 5 [プリンター本体から情報を取得]をクリックします。



■ [プリンター検索方法]が表示された場合

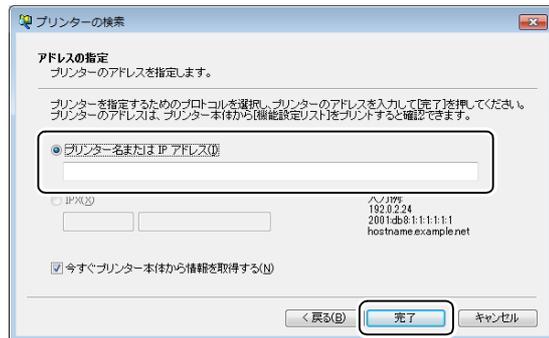
本機の情報が入力ドライバーに読み込まれていません。次の操作を行ってください。

- 1) [アドレスを指定する]を選択して、[次へ]をクリックします。



- 2) [プリンター名またはIPアドレス]に、プリンター名またはIPアドレスを入力します。

- 3) [完了]をクリックします。

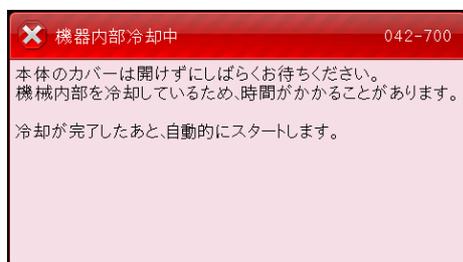


- 6 [OK]をクリックします。

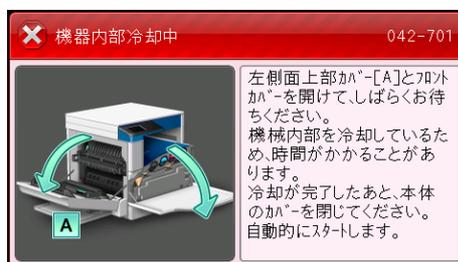
冷却モード

本機内部の温度が上昇しすぎた場合、冷却モードに入ります。冷却モードに入ると、次のいずれかの画面がタッチパネルに表示されます。

画面 A



画面 B



内部の温度が下がると、これらの画面は消えます。画面が消えるまで待ってください。

室内の温度が高いと、本機の温度が下がるまで時間がかかります。室温を下げてください。

- 注記
- ・画面 A: 冷却モード中は、本機内部のファンが熱を逃がします。本機のフロントカバーを開いたり、電源を切ったりしないでください。
 - ・画面 B: 冷却モード中は画面に表示されるカバーを開けてください。冷却時間が短縮されません。

4 用紙のセット

この章では、本機で使用できる用紙の種類、用紙の取り扱いに関する注意事項、用紙の補給方法などについて説明します。

- 用紙について 62
- 用紙をセットする 67
- 用紙サイズを変更する 70
- 用紙の設定を変更する 72

用紙について

本機で使用できる用紙について説明します。

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機の性能を効果的に活用するために、弊社推奨の用紙をご利用いただくことをお勧めします。

なお、推奨の用紙以外を使用するときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

△ 警告

電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

重要 ・水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくは、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

各トレイで使用できる用紙

用紙トレイ	メートル坪量 / 連量	給紙可能枚数 *1	おもな用紙種類 *2
トレイ 1 (標準)	60 ~ 90 g/m ² 連量 : 51.6 ~ 77.4 kg	280 枚 (27 mm まで)	再生紙 (60-89 g/m ²) 普通紙 (60-90 g/m ²)
トレイ 2 (1 トレイモジュール) (オプション)	60 ~ 256 g/m ² 連量 : 51.6 ~ 220.1 kg	560 枚 (54 mm まで)	再生紙 (60-89 g/m ²) 普通紙 (60-90 g/m ²)
トレイ 5 (手差し)	60 ~ 216 g/m ² 連量 : 51.6 ~ 185.7 kg	100 枚 (10 mm まで)	上質紙 (90-105 g/m ²) 厚紙 1 (106-169 g/m ²) 厚紙 2 (170-256 g/m ²) コート紙 1 (106-169 g/m ²) コート紙 2 (170-256 g/m ²) ラベル紙 (106-256 g/m ²)

*1 : 弊社 P 紙の場合

*2 : トレイ 5 (手差し) で使用できる用紙のメートル坪量の上限は、216 g/m² です。

重要 ・プリントドライバーで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙でプリントしたり、適応していない用紙を用紙トレイにセットしてプリントしたりすると、紙づまりの原因になります。適正なプリントをするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。

補足 ・メートル坪量とは、1 m² の用紙 1 枚の質量をいいます。

・連量とは、四六判 (788 × 1,091mm) の用紙 1,000 枚の質量をいいます。

■ 選択できる用紙サイズ

- ・ 最大 : A3、11 × 17" (非定型サイズ : 297 × 432 mm)
- ・ 最小 : A5 (非定型サイズ : 89 × 98 mm)

■ 両面プリントについて

自動両面プリントできる用紙種類は、次のとおりです。

用紙種類（紙質）
普通紙（60-90 g/m ² ）
上質紙（90-105 g/m ² ）
厚紙 1（106-169 g/m ² ）

使用できる用紙の種類

標準紙

一般に使用されている用紙（一般紙と呼びます）にコピーやプリントをする場合は、規格に合った用紙を使用してください。より鮮明にコピーやプリントするためには、弊社では次の標準紙を推奨しています。

用紙名	メートル坪量 (g/m ²)	用紙種類	補足
P 紙	64	上質紙	社内配布資料や一般事務用など、業務系オフィスから一般オフィスまで幅広く活用いただける用紙です。
G70	67	再生紙	古紙パルプを 70% と多く配合したリサイクルコピー/プリンター用紙です。
C2r	70	再生紙	古紙パルプを 70% 配合の再生紙で、不透明度が高く、裏写りが少ない見やすさです。
V-Paper	64	上質紙	-

準標準紙

標準紙以外にも、次の用紙を使用できます。

用紙名	メートル坪量 (g/m ²)	用紙種類	補足
C2	70	上質紙	フルカラーとモノクロの両方を鮮やかに表現します。不透明度が高く、裏写りが少ない見やすさです。
SG	67	再生紙	-
GR100	67	再生紙	古紙パルプ配合率：100%、ISO 白色度 70% のグリーン購入法適合（総合評価値：85）用紙です。

4 用紙のセット

適用可能紙

用紙名	メートル坪量 (g/m ²)	用紙種類	補足
W-Paper	64	上質紙	白色度の高い上質紙で、社内文書や社外向けプレゼンテーション資料に高級感をもたせることができます。裏写りも目立たず両面プリントにも適しています。また、「エコ商品ねっと」対応で環境面も配慮された用紙です。
Ncolor081	81	上質紙	ナチュラルな高白色度と高不透明性で、カラープリント／コピーの幅広い用途に対応します。優れた長期保存性です。
GR70-W	67	再生紙	-

標準紙、準標準紙以外にも、次の用紙を使用できます。

用紙名	メートル坪量 (g/m ²)	用紙種類	補足
SP	60	上質紙	-
P 厚口	78	上質紙	-
Color Copy	100	上質紙	-
Ncolor104	104	上質紙	ナチュラルな高白色度と高不透明性で、カラープリント／コピーの幅広い用途に対応します。優れた長期保存性です。
Color Copy	120	上質紙	-
Color Copy	160	上質紙	-
Color Copy	200	上質紙	-
OK プリンス上質	209	上質紙	-
Ncolor209	209	上質紙	ナチュラルな高白色度と高不透明性で、カラープリント／コピーの幅広い用途に対応します。優れた長期保存性です。
Color Copy	250	上質紙	-
カラーペーパー	64	カラー用紙	-
郵便はがき	-	はがき	-
郵便はがき往復	-	はがき	-
郵便はがき 4 連	-	はがき	-
FX はがき用紙 (往復用)	-	はがき	往復用は A4 にはがき 2 枚分 7 桁の郵便番号欄がプレプリントされたミシン目入りの用紙です。

用紙名	メートル坪量 (g/m ²)	用紙種類	補足
4 連郵便年賀はがき (再生紙)	-	はがき	-
Ncolor 封筒 (長形 3 号、角形 2 号、洋長形 3 号)	-	封筒	カラープリンターで直接プリントが可能です。プリンター内部でしわや折れが発生することが少ない封筒です。

使用できない用紙

弊社が推奨していない用紙を使用すると、紙づまりや故障の原因になります。弊社が推奨する用紙をご使用ください。

- 湿っている、または濡れている用紙
- すでに他のプリンター、コピー機でプリントされた用紙
- しわ、折れ、破れがある用紙
- 平らでない、または留め金がついている封筒
- 表面処理が施された色紙
- パルプ紙や繊維の多い、荒い表面の用紙
- パンチで穴が開けられた用紙
- OHP フィルム

用紙の保管と取り扱い

■用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

- 用紙はキャビネットの中など、湿気が少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙づまりや画質不良の原因になります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。このとき、防湿剤を入れることをお勧めします。
- 用紙は、折れや曲がりを防ぐために、水平に保管してください。

■用紙トレイにセットするときは、次のことに気を付けてください。

- 用紙トレイにセットする前に、用紙の束はきちんとそろえてください。
- 折れ、しわが入った用紙は使用しないでください。
- 波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。
- 1 つの用紙トレイに異なるサイズの用紙を重ねてセットしないでください。
- 印刷面になるべく触らないように注意してください。印刷面に皮脂が付着すると、印刷結果に影響をおよぼすことがあります。やむを得ないときは、指サックや手袋などをご使用ください。
- トレイ 5 (手差し) から厚紙の給紙をする場合、縦長にセットすることをおすすめします。正しく給紙されない場合、用紙の先端を上向きに丸めてください。
- 用紙トレイに用紙をセットする場合、用紙上限線を超えないように注意してください。紙づまりの原因になります。

- トレイ 5 にセットした厚紙 1 または厚紙 2 が紙づまりを起こしたときは、用紙を減らすか、裏返してください。

用紙をセットする

用紙トレイに用紙をセットする方法について説明します。

■用紙トレイにセットする用紙の種類について

用紙トレイにセットした用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知しますが、用紙の種類は、設定が必要です。通常、各用紙トレイは、「普通紙」が設定されています。異なる紙質の用紙をセットする場合は、設定を変更してください。また、トレイ 5（手差し）とトレイ 2（オプション）には [ユーザー定義サイズ] として、非定形サイズの用紙を設定できます。

用紙種類の変更："用紙の設定を変更する" (P.72)

■自動トレイ選択について

プリントの場合は、プリントドライバーの設定画面で、[用紙 / 出力] タブの [用紙] 内の [用紙トレイ選択] から [自動] を選択してください。機械が原稿サイズ、方向を基に、適切な用紙トレイを自動的に選択します。これを、「自動トレイ選択」と呼びます。

コピーの場合に自動トレイ選択を有効にするには、[トレイ選択] で [自動] を選択します。

この自動トレイ選択機能で、該当する用紙トレイが複数ある場合、トレイ 5（手差し）>トレイ 1>トレイ 2 の順で選択されます。選択される用紙トレイの優先順位は [トレイの優先順位] から設定できます。

補足 ・1トレイモジュール（オプション）が装着されている場合にのみ、[トレイ 2] が表示されます。

・トレイ 5（手差し）使用時には、用紙サイズは自動的に判別されません。タッチパネルから用紙設定を指定してください。設定方法："トレイ 5（手差し）" (P.194)

[トレイの優先順位] の設定方法："トレイの優先順位" (P.198)

トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする

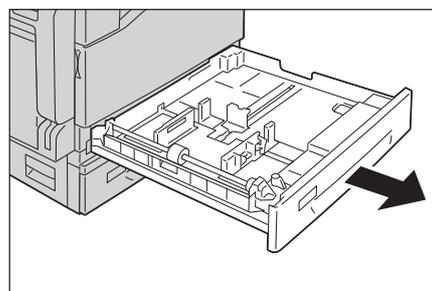
トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする方法は、次のとおりです。

コピー中、プリント中に用紙がなくなり画面にエラーが表示されたときは、用紙トレイに用紙を補給してください。用紙を補給するとコピーやプリントが再開されます。

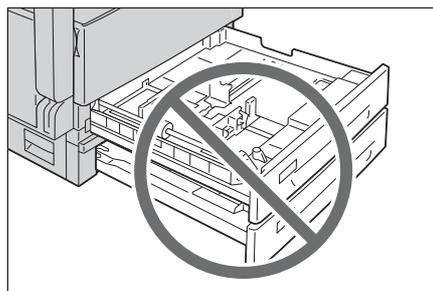
補足 ・用紙トレイにセットする前に、用紙をよくさばいてください。用紙をさばくことで、紙づまりを起こしにくくします。

用紙サイズおよび方向の変更："トレイ 1、トレイ 2 の用紙サイズを変更する" (P.70)

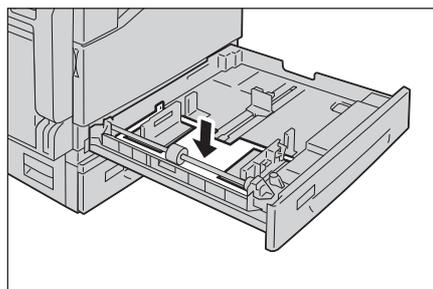
1 用紙トレイを、止まる位置まで引き出します。



- 重要**
- ・コピー中、プリント中にはジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。
 - ・用紙トレイに残っている用紙の上に、異なるサイズや種類の用紙を補給しないでください。紙づまりや用紙セットの誤りの原因になることがあります。
 - ・すべての用紙トレイを同時に引き出すと、機械全体が傾き、転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

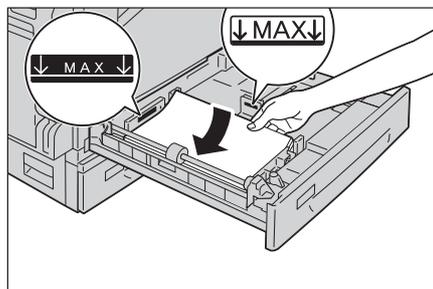


- 2** トレイ 1 に用紙をセットするには、金属プレートを下に押しします。



- 3** プリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

- 重要**
- ・用紙をセットする場合、用紙上限線を超えないように注意してください。紙づまりや故障の原因となります。
 - ・トレイ 1、トレイ 2 右端にある空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙づまりや故障の原因になります。



- 4** 用紙トレイが止まるまでゆっくりと押し込みます。

- 重要**
- ・用紙トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。用紙トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

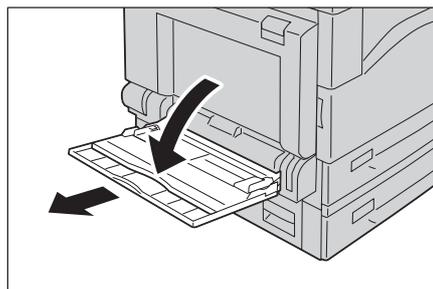
トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする

トレイ 1、トレイ 2 にセットできない用紙にプリントするときは、トレイ 5 (手差し) を使用します。トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする方法は、次のとおりです。プリントするには、プリントドライバーを使用して [用紙 / 出力] タブで詳細を設定します。セットする用紙の用紙種類も指定します。

- 重要**
- ・紙づまりや用紙サイズの間違いを防ぐために、用紙がなくなるまで包装紙から用紙を取り出さないでください。
- 補足**
- ・用紙トレイにセットする前に、用紙をよくさばいてください。用紙をさばくことで、紙づまりを起こしにくくします。

- 1** トレイ 5 (手差し) を開けます。

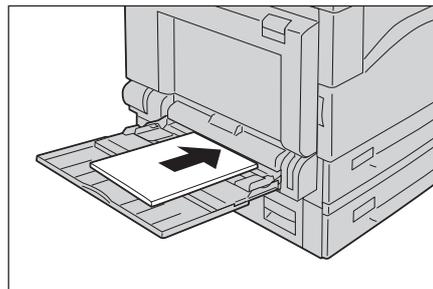
- 補足**
- ・必要に応じて、延長トレイを引き出します。



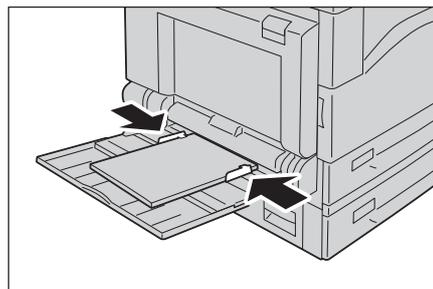
- 2 プリントされる面を下に向けて、用紙が軽く奥に当たるまで差し込みます。

重要

- ・異なる種類の用紙はセットしないでください。
- ・用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因となります。
- ・厚紙の種類によっては機械に送れなかったり、希望どおりの画質にならなかったりすることがあります。



- 3 用紙サイズ合わせガイドを、セットした用紙に軽く合わせます。



用紙サイズを変更する

トレイ 1、トレイ 2 の用紙サイズを変更する方法について説明します。

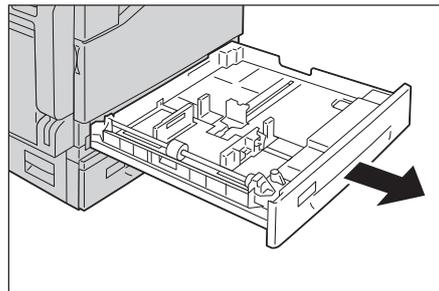
- 重要** ・異なるサイズの用紙はセットしないでください。
- 補足** ・トレイ 1、トレイ 2 にはあらかじめ用紙種類（紙質）が設定されています。通常は、[普通紙]が設定されています。異なる紙質の用紙に変える場合は、印字品質を保つため、セットする用紙に合わせて、紙質の設定を変更してください。紙質の設定方法：“用紙の設定を変更する” (P.72)

トレイ 1、トレイ 2 の用紙サイズを変更する

トレイ 1、トレイ 2 に用紙のサイズを変更する方法は、次のとおりです。

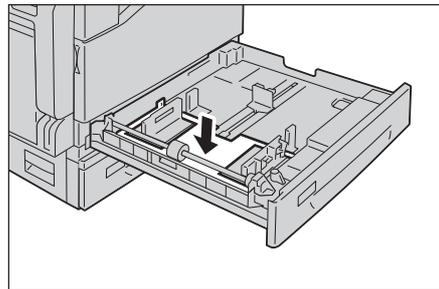
1 用紙トレイを、止まる位置まで引き出します。

- 重要** ・コピー中、プリント中にはジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。
- ・用紙トレイに残っている用紙の上に、異なるサイズや種類の用紙を補給しないでください。紙づまりや用紙セットの誤りの原因になることがあります。

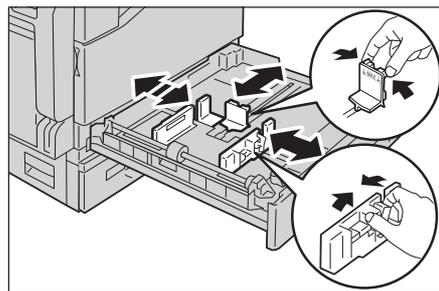


2 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

3 トレイ 1 に用紙をセットするには、金属プレートを下に押しします。

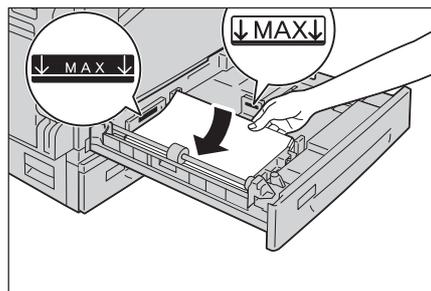


4 2 か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。



5 プリントする面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

重要 ・用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因となります。



6 用紙トレイが止まるまでゆっくりと押し込みます。

重要 ・用紙トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。用紙トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

補足 ・用紙トレイには、用紙サイズに応じて、ラベルを貼ります。

用紙の設定を変更する

用紙トレイの用紙種類（紙質）の設定を変更する方法について説明します。

トレイ 1、トレイ 2 にはあらかじめ用紙種類（紙質）が設定されています。通常は、[普通紙] が設定されています。同じ用紙トレイで、紙質を変えても印字品質を維持するために、紙質に合う設定に変更してください。

詳しくは、" 使用できる用紙の種類 " (P.63) を参照してください。

トレイ 5 の用紙サイズ設定方法 : " トレイ 5 (手差し) " (P.194)

- 1 <機械確認> ボタンを押します。



- 2 [仕様設定] タブを選択します。



- 3 [トレイ管理] 内の [トレイ設定] を選択します。



- 4 使用する用紙トレイを選択します。



5 [用紙種類] を選択し、使用する紙質を選択します。

補足

- ・トレイ 5 (手差し) を選択した場合は、[用紙サイズ] と [用紙種類] が表示されません。サイズを変更する場合は、[用紙サイズ] を選択してください。非定型サイズを使用する場合は、[用紙サイズ] の設定を [ユーザー定義サイズ] にし、用紙のサイズを指定します。
- ・非定型サイズの封筒を使用する場合は、フラップ部を除いた封筒のサイズを [ユーザー定義サイズ] に入力してください。

6 使用する紙質を選択します。

7 [OK] を選択します。



5 コピー機能

この章では、コピー機能と操作について説明します。

- コピー操作の流れ 76
- コピー中の操作 82
- ID カードコピー 83
- コピーの詳細設定 85

コピー操作の流れ

原稿をセットしたり、詳細項目を設定したりする基本的なコピー操作の流れについて説明します。

- 補足
- ・本機は、CIS センサーで原稿を読み取ります。CIS センサーは焦点深度が浅く、原稿をセットする位置や、原稿の種類によって、画質に差異が生じます。次のことに気を付けてください。
 - 画質を優先する場合は、原稿送り装置ではなく、原稿ガラスをお使いください。
 - カールした原稿、立体物、書籍などは、原稿ガラスに密着させてセットしてください。

原稿をセットする

原稿をセットするには、次の2つの方法があります。

- 補足
- ・原稿の天部（上側）が奥にくるようにセットしてください。

■原稿送り装置

- ・1枚もの
- ・複数枚の原稿

■原稿ガラス

- ・1枚もの
- ・本などの冊子

原稿送り装置

■使用できる原稿サイズ

原稿送り装置にセットできる原稿は、定形サイズだけです。

原稿送り装置に原稿をセットすると、自動的に原稿サイズを検知します。検知できる定形サイズは、A3□、B4□、A4□、A4□、B5□、B5□*、A5□、11 × 17"□、8.5 × 14"□*、8.5 × 13"□*、8.5 × 11"□、8.5 × 11"□、八開□、十六開□、十六開□*です。

- 補足
- ・*のついた原稿サイズは、原稿サイズ検知切替を行うことで自動的に検知されます。次の原稿サイズのいずれかを選択できます。詳しくは、「原稿サイズ検知切替」(P.173)を参照してください。

- B5（初期値）または十六開
- 8.5 × 14"（初期値）または 8.5 × 13"

・原稿送り装置に両面原稿をセットするとき、[原稿のとじ方]が正しく設定されているか確認してください。

■使用できる原稿の種類（質量）

原稿送り装置では、38～128 g/m²（両面原稿では、50～128 g/m²）の原稿を読み取ることができます。

原稿送り装置は次の枚数に対応します。

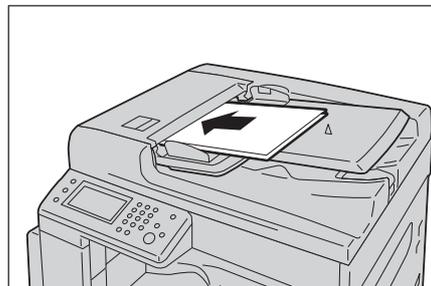
原稿の種類	枚数
薄め (38-80 g/m ²)	110 枚
厚め (81-128 g/m ²)	75 枚

注記 ・サイズが異なる複数枚の原稿、折り目、しわのある原稿、切り貼り原稿、カール紙、裏カーボン紙は、紙づまりの原因になりますので、原稿ガラスを使用してください。

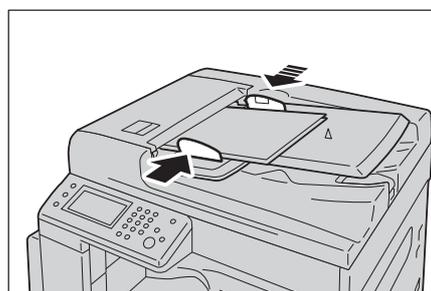
原稿送り装置に原稿をセットする方法は、次のとおりです。

原稿は、1枚もの、または複数枚の原稿をセットできます。

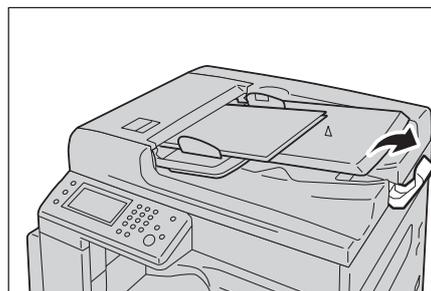
- 1 原稿をセットする前に、クリップやホチキスを外します。
- 2 コピーする面（両面原稿の場合はおもて面）を上に向けて、原稿送り装置の中央にセットします。



- 3 原稿ガイドを移動して、原稿の両側に合わせます。



- 4 原稿受けストッパーを開きます。



原稿ガラス

■自動検知できる原稿サイズ

[原稿サイズ]を[自動]に設定すると、自動的に原稿を検知します。

自動検知する原稿サイズは、A3□、B4□、A4□、A4□、B5□、B5□、A5□、11 × 17"□、8.5 × 11"□、八開□、十六開□、十六開□です。

補足 ・本機は原稿のサイズや拡大倍率に応じて、自動的に適する用紙がある用紙トレイを判断します。

■使用できる原稿サイズ

[原稿サイズ]で選択できる原稿サイズは、次のとおりです。

A3□、B4□、A4□、A4□、B5□、B5□、A5□、11 × 17"□、8.5 × 14"□、8.5 × 13"□、8.5 × 11"□、8.5 × 11"□、八開□、十六開□、十六開□です。

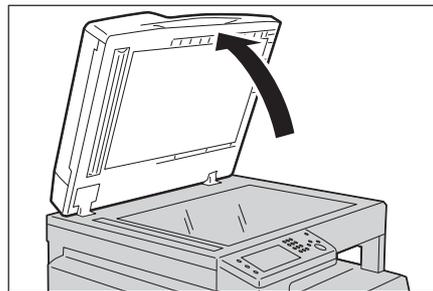
⚠注意

書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。

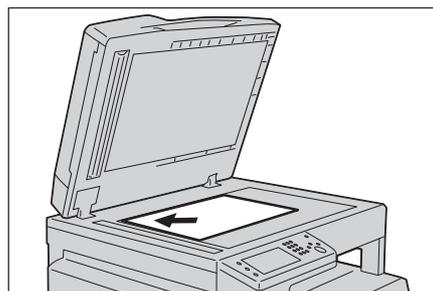
原稿ガラスに原稿をセットする方法は、次のとおりです。
1枚ものの原稿、または本などの冊子をセットできます。

1 原稿カバーを開けます。

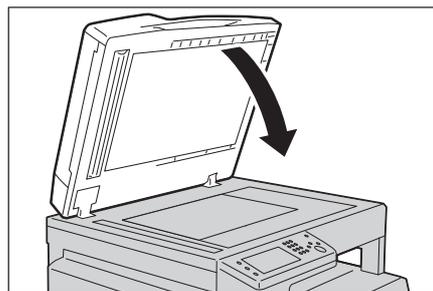
注記 ・原稿ガラスを使用した場合、作業終了後は、原稿カバーを閉じてください。



2 コピーする面を下に向けて、原稿ガラスの左上に合わせて原稿をセットします。



3 原稿カバーを閉じます。



詳細項目を設定する

補足 ・コピー機能を利用する場合に、パスワードによる認証が必要なことがあります。パスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。

1 <メニュー>ボタンを押します。



2 [コピー] を選択します。

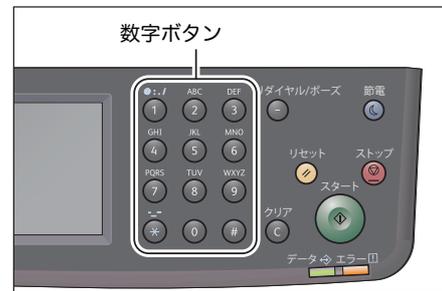


3 必要に応じて、詳細項目を設定します。
"コピーの詳細設定" (P.85) を参照してください。

部数を入力する

コピー部数は、999 部まで入力できます。

1 数字ボタンでコピー部数を入力します。



入力した部数がタッチパネルに表示されます。



補足 ・入力を間違えた場合は、<クリア>ボタンを押して、入力し直します。



コピーを開始する

1 <スタート>ボタンを押します。

注記 ・原稿送り装置に原稿をセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。

補足 ・問題が発生すると、タッチパネル上にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージについては、"エラーコード" (P.263) を参照してください。



原稿ガラスに原稿をセットした場合

■ 複数枚の原稿をコピーするとき

複数枚の原稿をコピーするとき、次のいずれかの設定を選択すると、1回の開始操作で続けてコピーすることができます。

- ・ 仕分け：ソート (1部ごと)
- ・ 両面 / 片面選択：片面 -> 両面 / 両面 -> 両面
- ・ まとめて1枚：2アップ
- ・ IDカードコピー

原稿が原稿ガラスにセットされていると、タッチパネルに次の原稿のセットを促すメッセージが表示されます。次の原稿がある場合、原稿を交換し、[次原稿あり]を選択します。原稿を読み込み終わったら、[出力開始]を選択します。

自動回転について

コピー機能には自動回転機能があります。原稿の向きが、用紙トレイにセットされている用紙の向きと異なっても、読み取ったデータを回転させて、用紙に収まるようにコピーします。

次のような場合に、この機能を設定できます。

- ・ トレイ選択が自動に設定されている
- ・ 拡大倍率が自動に設定されている
- ・ 拡大倍率が「100%」に設定されていて、原稿と用紙のサイズが同じ
- ・ 「まとめて1枚」機能を使用している

上記のいずれにも設定されていない場合、本機は自動回転を実行しないため、画像が欠けることがあります。

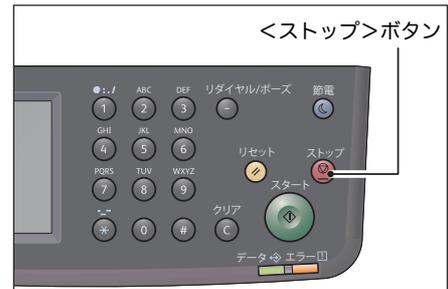
コピー中の操作

実行中のコピーのキャンセルや、実行待ちのジョブを確認したり、キャンセルしたりすることができます。

実行中のコピーをキャンセルする

実行中のコピーをキャンセルする方法は、次のとおりです。

- 1 <ストップ>ボタンを押します。



ジョブの状態を確認する

コピーの実行中、およびコピーが開始されない（実行待ち）ときに、ジョブの状態を確認できます。

補足 ・実行中、実行待ちのジョブをキャンセルすることができます。
ジョブ画面での操作："実行中のジョブをキャンセルする" (P.222)

- 1 <ジョブ確認>ボタンを押します。

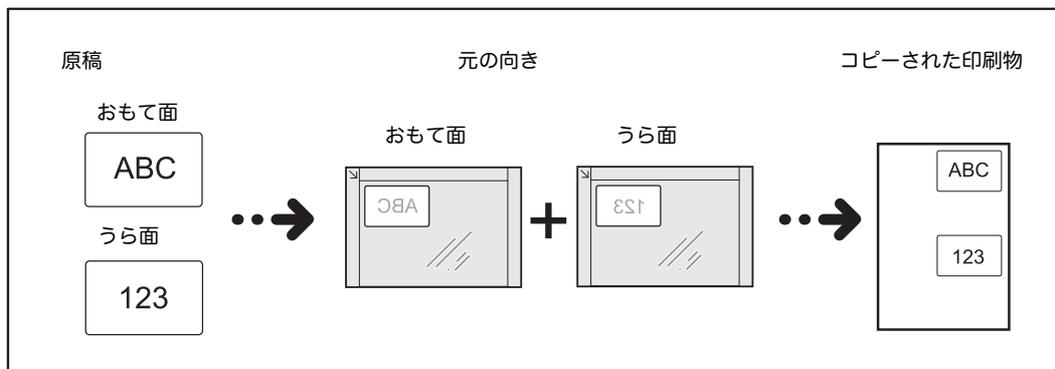


- 2 ジョブの状態を確認します。



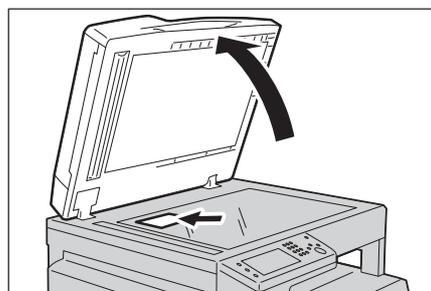
ID カードコピー

名刺、社員証といった ID カードの両面を、用紙の片面のみにコピーできます。
この機能を使用するには [ID カードコピー] を選択します。



ID カードコピー機能を使用するには次の手順に従ってください。

- 1 原稿ガラス左奥の角から最低 5 mm 離れた位置に ID カードのおもて面を下向きに置き、原稿カバーを閉じます。
ID カードを原稿ガラスの角に近づけすぎると、ID カードの端を正しくコピーできないことがあります。



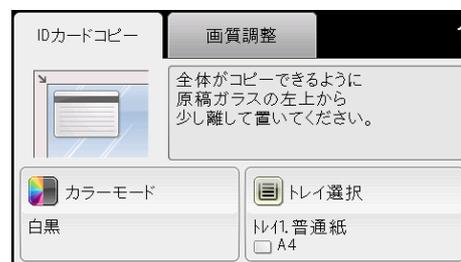
- 2 <メニュー>ボタンを押します。
- 3 [ID カードコピー] を選択します。



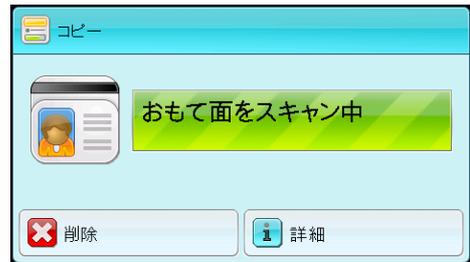
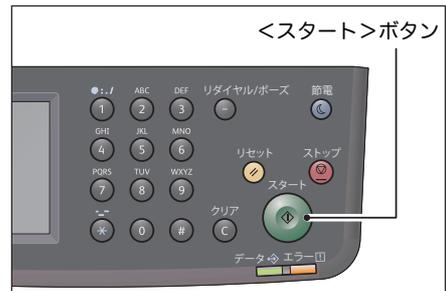
- 4 必要に応じて、詳細項目を設定します。

- [ID カードコピー] タブ
 - カラーモード
 - トレイ選択
- [画質調整] タブ
 - 濃度調整
 - シャープネス
 - 彩度
 - 地色除去

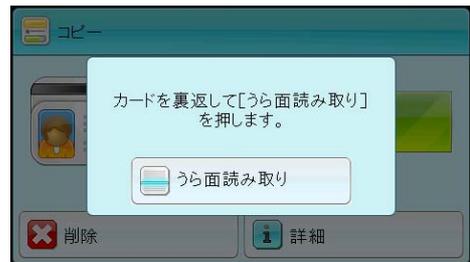
詳細について: " コピーの詳細設定 " (P.85)



- 5 <スタート>ボタンを押します。



- 6 IDカードのもう一方の面を続けて読み込むには、読み込みたい面を原稿ガラスの左上から少し離れた位置に置き、原稿カバーを閉じます。
- 7 [うら面読み取り] を選択します。



コピーの詳細設定

コピーの詳細機能について説明します。

タブ	設定項目	目的	参照ページ
コピー	カラーモード	カラーコピー、白黒コピーのどちらかを選択します。	P.86
	トレイ選択	用紙トレイを選択します。	P.86
	倍率選択	コピーする原稿のサイズを拡大、縮小します。	P.87
	両面 / 片面選択	両面印刷時のとじ方向を決めます。	P.89
画質調整	濃度調整	コントラストを調節して、コピー濃度を変更します。	P.89
	原稿の画質	コピーの品質を選択します。	P.90
	シャープネス	シャープさを調整して、画質をシャープまたはソフトにします。	P.90
	彩度	色の量を調節して、彩度を変更します。	P.91
	地色除去	原稿の背景にある地色を除去します。	P.92
出力	仕分け	出力した原稿をソートします。	P.92
	原稿サイズ	原稿サイズの初期値を設定します。	P.93
	まとめて1枚	2ページ分の原稿を、1ページにまとめてコピーします。	P.95
	わく消し	コピー画像の上下の余白を設定します。	P.96

補足 ・初期値の変更と変更方法："初期値設定"(P.184)

1 <メニュー>ボタンを押します。



2 [コピー]を選択します。



3 必要に応じて、設定項目を選択します。

カラーモード

カラーコピー、白黒コピーのどちらかを選択します。

- 1 [コピー] タブの [カラーモード] を選択します。



- 2 [フルカラー]、または [白黒] を選択し、[OK] を選択します。



注記 ・カラーモードの初期値は [白黒] です。カラーでコピーするときは、[フルカラー] に変更してください。

補足 ・[コピー] の [サービスロック] が [カラーのみロック] に設定されていると、カラーコピーはパスワードによって保護されます。[カラーモード] が [フルカラー] に設定され、<スタート> ボタンを押したのちに 4 桁のパスワードを入力する必要があります。

トレイ選択

用紙トレイを選択します。

- 1 [コピー] タブの [トレイ選択] を選択します。



- 2 使用する設定を選択し、[OK] を選択します。



補足 ・太字は工場出荷時の設定です。

自動	自動的に選択された用紙トレイから給紙します。
トレイ 5 (手差し)	トレイ 5 (手差し) から給紙します。
トレイ 1	トレイ 1 から給紙します。

トレイ 2	トレイ 2 から給紙します。
-------	----------------

補足 ・1トレイモジュール（オプション）が装着されている場合にのみ、[トレイ 2]が表示されます。

倍率選択

原稿を原稿ガラス、原稿送り装置からコピーするとき、25%～400%の範囲で拡大、縮小できます。

補足 ・縮小コピーをするとき、コピーした用紙の下部に黒い線が現れることがあります。

1 [コピー] タブの [倍率選択] を選択します。



2 使用する設定を選択し、[OK] を選択します。



■ mm 系の場合

補足 ・太字で示した設定が工場出荷時の初期設定です。

100%
自動 %
50% A3 → A5
70% A3 → A4, B4 → B5
81% B4 → A4, B5 → A5
86% A3 → B4, A4 → B5
115% B4 → A3, B5 → A4
122% A4 → B4, A5 → B5
141% A4 → A3, B5 → B4
200% A5 → A3

■ inch 系の場合

100%
自動 %
64% 8.5 × 11" → 5.5 × 8.5"
70% A3 → A4, B4 → B5
78% 8.5 × 14" → 8.5 × 11"
94% A3 → 11 × 17", A4 → 8.5 × 11"
129% 8.5 × 11" → 11 × 17"
141% A4 → A3, B5 → B4
180% 4 × 6" → 8.5 × 11"
200% A5 → A3

補足 ・ 、 または数字ボタンで値を入力することで、25～400%の範囲で1%単位の倍率を指定することもできます。拡大倍率の詳細については次の表を参照してください。

コピー 原稿	A5	B5	A4	B4	A3
A5	100%	122%	141%	172%	200%
B5	81%	100%	115%	141%	163%
A4	70%	86%	100%	122%	141%
B4	57%	70%	81%	100%	115%
A3	50%	61%	70%	86%	100%

両面 / 片面選択

両面印刷時のとじ方向を決めます。

- 1 [コピー] タブの [両面 / 片面選択] を選択します。



- 2 使用する設定を選択し、[OK] を選択します。



補足 ・太字で示した設定が工場出荷時の初期設定です。

片面 -> 片面			片面、または両面コピーを選択し、両面の場合はとじかたを指定します。
片面 -> 両面	とじ方向	長辺とじ	
		短辺とじ	
両面 -> 片面	とじ方向	長辺とじ	
		短辺とじ	

原稿ガラスを使用していて [片面 -> 両面]、または [両面 -> 両面] に設定されているとき、<スタート>ボタンを押すと用紙の追加を求められます。

次の原稿がある場合、原稿を交換し、[次原稿あり] を選択するか、<スタート>ボタンを押します。

濃度調整

コントラストを調節して、コピー濃度を変更します。

- 1 [画質調整] タブを選択し、[濃度調整] を選択します。

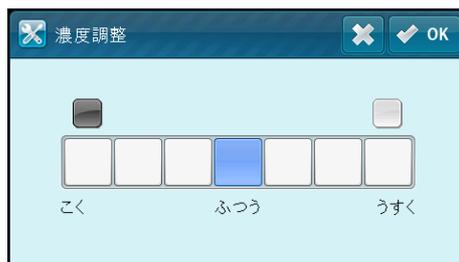


- 2 [濃度調整] バーで濃度を選択し、[OK] を選択します。

濃度は、[こく]と[うすく]の間で7段階に分けられています。

バーの左側にあるセルを選択すると原稿のコピー濃度が濃くなり、右側のセルを選択すると原稿のコピー濃度が薄くなります。

補足 ・太字で示した設定が工場出荷時の初期設定です。



こく +3	淡い鉛筆で書かれている原稿など、濃度の薄い原稿におすすめです。
こく +2	
こく +1	
ふつう	標準的な原稿におすすめです。
うすく +1	濃度の濃い原稿におすすめです。
うすく +2	
うすく +3	

原稿の画質

コピーの品質を選択します。

- 1 [画質調整] タブを選択し、[原稿の画質] を選択します。



- 2 使用する設定を選択し、[OK] を選択します。



補足 ・太字で示した設定が工場出荷時の初期設定です。

文字 / 写真	写真と文字をコピーするときに使用します。
文字	文字をコピーするときに使用します。
写真	写真をコピーするときに使用します。

シャープネス

シャープさを調整して、画質をシャープまたはソフトにします。

- 1 [画質調整] タブを選択し、[シャープネス] を選択します。



- 2 使用する設定を選択し、[OK] を選択します。



補足 ・太字で示した設定が工場出荷時の初期設定です。

つよく	画質を元の原稿よりシャープにします。
ふつう	画質は原稿と同じです。
よわく	画質を元の原稿よりソフトにします。

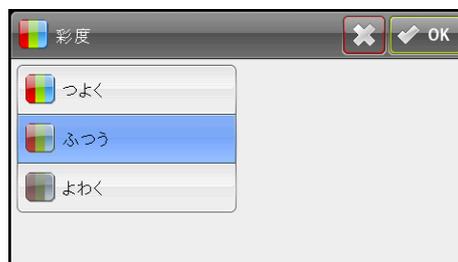
彩度

色の量を調節して、彩度を変更します。

- 1 [画質調整] タブを選択し、[彩度] を選択します。



- 2 使用する設定を選択し、[OK] を選択します。



補足 ・太字で示した設定が工場出荷時の初期設定です。

つよく	元の原稿より色の鮮やかさの度合いを強くします。
ふつう	画質は原稿と同じです。
よわく	元の原稿より色の鮮やかさの度合いを弱くします。

地色除去

原稿の背景にある地色を除去します。

- 1 [画質調整] タブを選択し、[地色除去] を選択します。



- 2 [する] を選択し、[OK] を選択します。



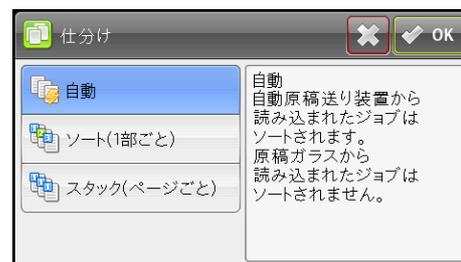
仕分け

出力した原稿をソートします。たとえば、3 ページの原稿を 2 部コピーする場合、3 ページ分まとめて出力したのちに、2 部目をまとめて出力します。

- 1 [出力] タブを選択し、[仕分け] を選択します。



- 2 使用する設定を選択し、[OK] を選択します。



補足 ・太字で示した設定が工場出荷時の初期設定です。

自動	原稿送り装置に原稿をセットした場合、ソートします。
ソート (1 部ごと)	ソートします。
スタック (ページごと)	ソートしません。

原稿ガラスを使用していて [ソート (1 部ごと)] に設定されているとき、<スタート> ボタンを押すと、次の用紙をセットするよう促すメッセージが表示されます。

- 1) 新たにコピーしたい原稿がある場合、新しい原稿をセットし、[次原稿あり]を選択するか、<スタート>ボタンを押します。
- 2) 読み込みが完了したら、[出力開始]を選択します。

原稿サイズ

原稿サイズの初期値を設定します。

- 1 [出力] タブを選択し、[原稿サイズ] を選択します。



- 2 使用する設定を選択し、[OK] を選択します。



■ mm 系の場合

補足 ・太字で示した設定が工場出荷時の初期設定です。

自動
<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)
<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (297 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (257 × 182 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)
<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (270 × 195 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (195 × 270 mm)
<input type="checkbox"/> (11 × 17")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)
<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)

■ inch 系の場合

補足 ・太字で示した設定が工場出荷時の初期設定です。

自動
<input type="checkbox"/> (11 × 17")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)
<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)
<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)
<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (297 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (257 × 182 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)
<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (270 × 195 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (195 × 270 mm)

まとめて1枚

2 ページ分の原稿を、1 ページにまとめてコピーします。

- 1 [出力] タブを選択し、[まとめて1枚] を選択します。



- 2 使用する設定を選択し、[OK] を選択します。



補足 ・太字で示した設定が工場出荷時の初期設定です。

しない	まとめて1枚プリントを実行しません。
2 アップ	2 ページ分の原稿を、1 ページにまとめてコピーします。

原稿ガラスを使用していて [2 アップ] に設定されているとき、<スタート>ボタンを押すと用紙の追加を求められます。

次の原稿がある場合、原稿を交換し、[次原稿あり] を選択するか、<スタート>ボタンを押します。

わく消し

コピー画像の上下の余白を設定します。

- 1 [出力] タブを選択し、[わく消し] を選択します。



- 2 [-]、または [+] を選択するか、数字ボタンを使用して、設定したい数字を入力します。



補足 ・太字で示した設定が工場出荷時の初期設定です。

上下	2 mm (0.1") 0 → 50 mm (0 → 2.0")	1 mm (0.1 inch) 単位で値を指定します。
左右	2 mm (0.1") 0 → 50 mm (0 → 2.0")	1 mm (0.1 inch) 単位で値を指定します。
中央	0 mm (0") 0 → 50 mm (0 → 2.0")	1 mm (0.1 inch) 単位で値を指定します。

6 ファクス機能

この章では、ファクスの機能について説明します。

補足 ・ファクス機能は、Model-CPFS およびファクスキットが装着されている Model-CPS で利用できます。

• ファクス操作の流れ	98
• ファクス送信中の操作	103
• ファクス受信中の操作	104
• ファクスの詳細設定	105
• 手動送信する	111
• ファクス宛先表を登録する	112
• 時刻を指定してファクスを送信する	118
• ドライバーから送信する (ダイレクトファクス)	120
• ファクスを受信する	122
• セキュリティ受信モードを使用する	124
• ファクス通信管理レポート	127

ファクス操作の流れ

ここでは、原稿をセットしたり、宛先を指定したり、詳細項目を設定したりする基本的なファクス操作の流れについて説明します。

重要 ・ファクス機能を使用するには、[日付]の設定が必要です。詳しくは"時刻設定"(P.173)を参照してください。

原稿をセットする

原稿をセットするには、次の2つの方法があります。

補足 ・原稿の天部(上側)が左にくるようにセットしてください。

■原稿送り装置

- ・1枚もの
- ・複数枚の原稿

■原稿ガラス

- ・1枚もの
- ・本などの冊子

原稿送り装置

■使用できる原稿サイズ

原稿送り装置にセットできる原稿は、定形サイズだけです。

原稿送り装置に原稿をセットすると、自動的に原稿サイズを検知します。自動検知できる定形サイズは、A3□、B4□、A4□、A4□、B5□、B5□*、A5□、11×17"□、8.5×14"□*、8.5×13"□*、8.5×11"□、8.5×11"□、八開□、十六開□、十六開□*です。

補足 ・*のついた原稿サイズは、原稿サイズ検知切替を行うことで自動的に検知されます。次の原稿サイズのいずれかを選択できます。詳しくは、"原稿サイズ検知切替"(P.173)を参照してください。

- B5(初期値)または十六開

- 8.5×14"(初期値)または8.5×13"

・サイズが異なる原稿を複数枚セットした場合は、一番大きい原稿のサイズで読み取ります。

・自動検知できる原稿サイズと送信時の用紙サイズは異なります。詳しくは、"読み取りサイズ"(P.107)を参照してください。

■使用できる原稿の種類(質量)

原稿送り装置では、38～128 g/m²(両面原稿では、50～128 g/m²)の原稿を読み取ることができます。

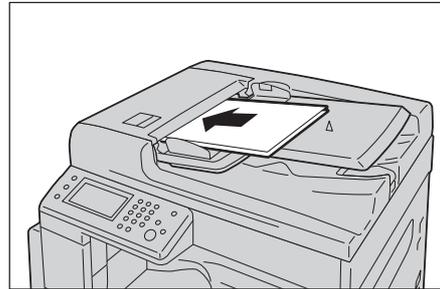
原稿送り装置は次の枚数に対応します。

原稿の種類 (g/m ²)	枚数
薄め (38-80 g/m ²)	110枚
厚め (81-128 g/m ²)	75枚

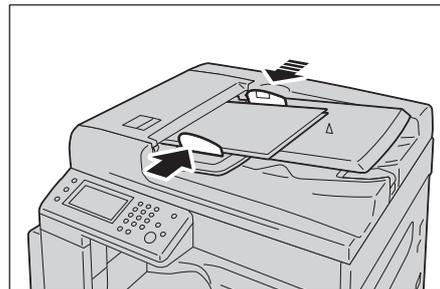
重要 ・サイズが異なる複数枚の原稿、折り目、しわのある原稿、切り貼り原稿、カール紙、裏カーボン紙は、紙づまりの原因になりますので、原稿ガラスを使用してください。

原稿送り装置に原稿をセットする方法は、次のとおりです。
原稿は、1枚もの、または複数枚の原稿をセットできます。

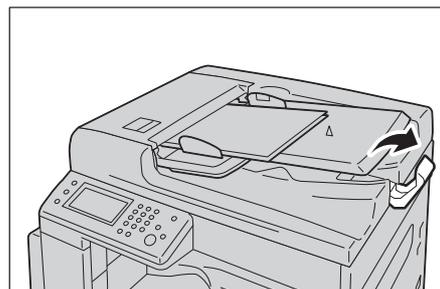
- 1 原稿をセットする前に、クリップやホチキスを外します。
- 2 読み取る面（両面原稿の場合はおもて面）を上に向けて、原稿送り装置の中央にセットします。



- 3 原稿ガイドを移動して、原稿の両側に合わせます。



- 4 原稿受けストッパーを開きます。



原稿ガラス

■自動検知できる原稿サイズ

[読み取りサイズ]を[自動]に設定すると、自動的に原稿を検知します。

自動検知する原稿サイズは、A3□、B4□、A4□、A4□、B5□、B5□、A5□、11 × 17"□、8.5 × 11"□、八開□、十六開□、十六開□です。

■使用できる原稿サイズ

[読み取りサイズ]で選択できる原稿サイズは、A3□、B4□、A4□、B5□、A5□、八開□、11 × 17"□、8.5 × 14"□、8.5 × 13"□、8.5 × 11"□です。

重要 ・自動検知できる原稿サイズと送信時の用紙サイズは異なります。詳しくは、「読み取りサイズ」(P.107)を参照してください。

△注意

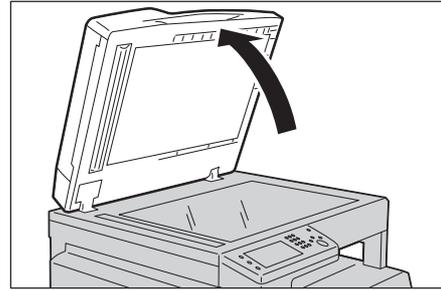
書籍などの厚手の原稿をファクスするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。

原稿ガラスに原稿をセットする方法は、次のとおりです。

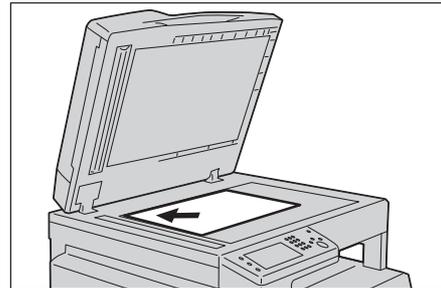
1 枚ものの原稿、または本などの冊子をセットできます。

1 原稿カバーを開けます。

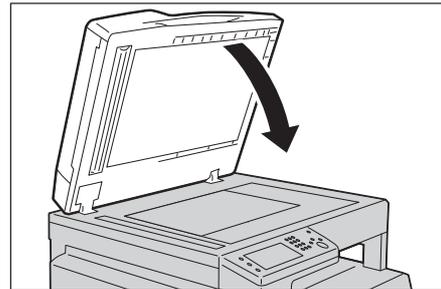
重要 ・原稿ガラスを使用した場合、作業終了後は、原稿カバーを閉じてください。



2 読み取る面を下に向けて、原稿ガラスの左奥の角に合わせて原稿をセットします。



3 原稿カバーを閉じます。



宛先を指定する

宛先の指定方法は、次のとおりです。

重要 ・ファクス送信時は宛先をご確認のうえ、送信してください。

1 <メニュー>ボタンを押します。

2 [ファクス]を選択します。



■ 数字ボタンで指定する

直接ファクス番号を入力して、宛先を指定します。

- 1) 数字ボタンでファクス番号を入力します。
- 補足
- ・入力した数字を削除するときは、<クリア> ボタンを押します。
 - ・入力できるファクス番号は、最大 50 桁までです。



■ 短縮番号で指定する

宛先表に登録している短縮番号の番号 (001 ~ 200) を入力して、宛先を指定します。

- 1) [] ボタンを選択します。
 - 2) 数字ボタンで短縮番号を入力します。
- 補足
- ・入力した数字を削除するときは、<クリア> ボタンを押します。



■ 宛先表で指定する

ファクス番号を選択するには、[] ボタンを選択し、次のいずれかを選択します。

- ・ 機器の宛先表 - 宛先：ファクス番号を個々に選択し、[OK] を選択します。
- ・ 機器の宛先表 - 宛先グループ：登録した電話番号グループを選択し、[OK] を選択します。
- ・ ネットワークの宛先表を検索：LDAP サーバーから検索したファクス番号を選択し、[OK] を選択します。

- 補足
- ・宛先表を選択するためには、ファクス番号を登録する必要があります。
 - ・LDAP サーバーの宛先表を使用する場合は、[ファクスサーバー宛先表] を [する] に設定する必要があります。詳しくは、"サーバーのファクス宛先表検索" (P.176) を参照してください。

詳細項目を設定する

- 補足
- ・ファクス機能を利用する場合に、パスワードによる認証が必要なことがあります。パスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。

1 必要に応じて、詳細項目を設定します。

例：[オプション] タブの詳細項目設定
 詳細項目："ファクスの詳細設定" (P.105)



ファクスを開始する

1 <スタート>ボタンを押します。

- 重要** ・原稿送り装置に原稿をセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。
- 補足** ・原稿を読み取り中にメモリーがいっぱいになった場合は、送信と読み取りを中止し、ファクスをキャンセルします。
- ・1回の操作で読み取りできる原稿の最大面数は、次のとおりです。
- 原稿ガラスを使用した場合：100 面
 - 原稿送り装置を使用した場合：165 面（片面）
 - 原稿送り装置を使用した場合：330 面（両面）
- 蓄積されたジョブのメモリーがいっぱいになると、読み取りできる面数は制限されます。
- ・問題が発生すると、タッチパネル上にエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。



複数枚の原稿をファクス送信するとき

原稿が原稿ガラスにセットされていると、タッチパネルに次の原稿のセットを促すメッセージが表示されます。次の原稿がある場合、原稿を交換し、[次原稿あり]を選択します。原稿の読み込みが終わったら、[送信開始]を選択します。

ファクス送信中の操作

送信中のファクスを中止したり、送信待ちのジョブを確認したり、中止したりすることができます。

送信中のファクスを中止する

送信中のファクスを中止する方法は、次のとおりです。

- 1 <ストップ>ボタンを押します。



ジョブの状態を確認する

ファクスの送信中、およびファクスが開始されない（送信待ち）ときに、ジョブの状態を確認できます。

補足 ・送信中、送信待ちのジョブをキャンセルすることができます。

ジョブ画面での操作："実行待ちのファクスジョブをキャンセルする" (P.223)

- 1 <ジョブ確認>ボタンを押します。



- 2 ジョブを選択します。



- 3 [詳細] を選択し、ジョブの状態を確認します。

ファクス受信中の操作

受信中のファクスを中止することができます。

受信中のファクスを中止する

受信中のファクスを中止する方法は、次のとおりです。

- 1 <ストップ>ボタンを押します。



補足 ・実行中ジョブ 画面でも受信したファクスをキャンセルできます。
実行中ジョブ 画面上の操作： " 実行中のジョブをキャンセルする " (P.222)

ファクスの詳細設定

ファクス機能で設定できる項目について説明します。

タブ	設定項目	内容	参照ページ
ファクス	濃度調整	コントラストを調節して、読み取り濃度を変更します。	P.106
	送信画質	読み取り時の解像度を設定します。	P.106
	オンフック	手動で送受信します。	P.107
	両面原稿送り	両面読み取り時のとじ方向を決めます。	P.107
オプション	読み取りサイズ	原稿のサイズを設定します。	P.107
	時刻指定通信	時刻を指定して送信します。	P.108
	ポーリング受信	相手に蓄積されている文書を本機の操作で受信します。	P.109
	送信シート	ファクスに表紙をつけます。	P.110

補足 ・変更項目と変更方法："ファクス設定" (P.192)

- 1 <メニュー>ボタンを押します。



- 2 [ファクス] を選択します。



- 3 必要に応じて、詳細項目を設定します。



濃度調整

読み取り濃度を、7段階から設定できます。

- 1 [ファクス] タブの [濃度調整] を選択します。



- 2 濃度を選択し、[OK] をクリックします。

- **こく +1、こく +2、こく +3**

濃い濃度で読み取ります。淡い色が主体の原稿のときに選択します。

- **ふつう**

原稿と同じ程度の濃度で読み取ります。

- **うすく +1、うすく +2、うすく +3**

薄い濃度で読み取ります。濃い色が主体の原稿のときに選択します。



送信画質

読み取り解像度を設定します。

- 1 [ファクス] タブの [送信画質] を選択します。



- 2 解像度を選択し、[OK] を選択します。

- **標準画質**

文字が標準サイズ of 原稿に適しています。

- **高画質**

小さな文字や細かい図がある原稿に適しています。

- **超高画質**

非常に細かい文字や画像のある原稿に適しています。相手機が超高画質に対応している場合のみ有効です。

- 補足
- ・ 超高画質モードでファクスを送信すると、相手機は最高解像度で受信します。
 - ・ 画質を高解像度にする、データのサイズが大きくなり、一度にファクスできる面数が少なくなります。



■ 写真

写真画像のある原稿に適しています。

オンフック

手動でファクスを送受信します。

手動による送信の操作："手動送信する" (P.111)

手動による受信の操作："外付け電話を使用して手動受信する" (P.122)

両面原稿送り

片面原稿か両面原稿かを設定できます。

- 1 [ファクス] タブの [両面原稿送り] を選択します。



- 2 読み取り方法を選択し、[OK] を選択します。

■ 片面

片面原稿の際には、[片面] を選択します。

■ 両面

両面原稿の際には、[両面] を選択します。
とじ方向を次の中から選択できます。

- 長辺とじ
- 短辺とじ



読み取りサイズ

ファクス送信する原稿サイズを設定します。原稿サイズにより、送信サイズが自動的に指定されます。

- 1 [オプション] タブを選択し、[読み取りサイズ] を選択します。



- 2 原稿サイズを選択し、[OK] を選択します。

■ 自動

原稿が定形サイズの場合は、自動的に原稿サイズを検知します。検知された原稿サイズによって、送信時の用紙サイズが決定されます。



原稿サイズ		送信時の用紙サイズ
原稿ガラスにセット	原稿送り装置にセット	
A5□、B5□、A4□*、A4□、8.5 × 11"□*、8.5 × 11"□、十六開□、十六開□	A5□、B5□、B5□、A4□*、A4□、8.5 × 11"□*、8.5 × 11"□、十六開□	A4□
B4□、B5□	B4□	B4□
A3□、11 × 17"□、八開□	A3□、11 × 17"□、八開□、十六開□	A3□

*:読み取った A4□と 8.5×11□サイズの原稿は、90 度回転して A4□原稿として送信されます。

補足 ・原稿ガラスにセットしている場合に、原稿サイズが検知できないときは、原稿サイズの選択画面が表示されます。任意の原稿サイズを選択してください。選択した原稿サイズによっては、原稿が用紙に収まらなかったり、原稿の周りの影が写り込む場合があります。
・原稿送り装置では、定形サイズ以外の原稿は使用できません。

■ 定型サイズ

あらかじめ設定されている原稿サイズから、セットした原稿のサイズを設定できません。

時刻指定通信

指定した時刻に本機に蓄積された文書を送信します。

補足 ・指定できる時刻の範囲は、00:00 から 23:59 (12 時間制に設定している場合は、1:00 ~ 12:59 AM/PM) です。
・日付の指定はできません。

- 1 [オプション] タブを選択し、[時刻指定通信] を選択します。



- 2 [する] を選択します。

補足 ・本機能を使用しない場合は、[しない] を選択します。



- 3 数字ボタンで時刻を入力して、[OK] を選択します。



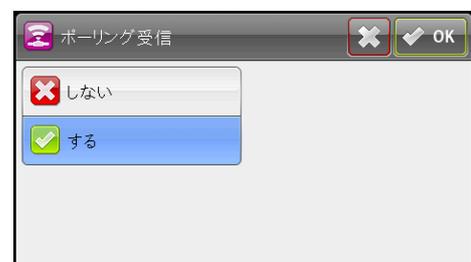
ポーリング受信

受信したいときに相手機からファクスを受信できます。

- 1 [オプション] タブを選択し、[ポーリング受信] を選択します。



- 2 [する] を選択し、[OK] を選択します。



送信シート

ファクスに表紙をつけることができます。

- 1 [オプション] タブを選択し、[送信シート] を選択します。



- 2 [付ける] を選択し、[OK] を選択します。



手動送信する

手動でファクスを送信する方法について説明します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 <メニュー>ボタンを押します。



- 3 [ファクス] を選択します。



- 4 原稿の状態に合わせて解像度を調節します。

詳しくは、"送信画質" (P.106) を参照してください。

詳しくは、"濃度調整" (P.106) を参照してください。

- 5 [オンフック] を選択し、[手動送信] を選択します。

補足 ・[オンフック] は、[読み取りサイズ] が [自動] 以外に設定されているときに選択できません。

- 6 数字ボタンを使用して相手のファクス番号を入力します。

短縮ダイヤルまたは宛先表を使用して、宛先を選択することもできます。

補足 ・<リダイヤル/ポーズ>を押して、ファクス番号にポーズを入れることができます。

- 7 <スタート>ボタンを押して、ファクス送信を開始します。

補足 ・<ストップ>ボタンを押して、送信中のジョブをキャンセルすることができます。

ファクス宛先表を登録する

操作パネルまたは CentreWare Internet Services から、ファクスの宛先を登録します。

補足 ・宛先表ツールから宛先を登録することもできます。詳細は、宛先表ツールのヘルプを参照してください。

操作パネルから登録する

操作パネルから宛先を登録する方法について説明します。宛先は、200 件まで登録できます。

宛先を登録する：

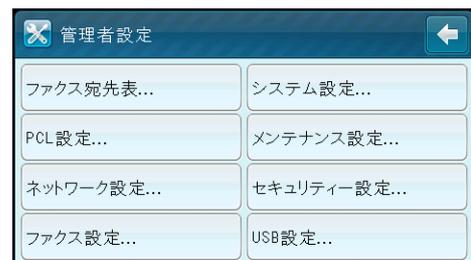
- 1 <機械確認> ボタンを押します。



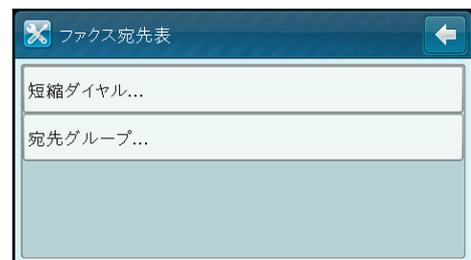
- 2 [仕様設定] タブを選択し、[管理者設定] を選択します。



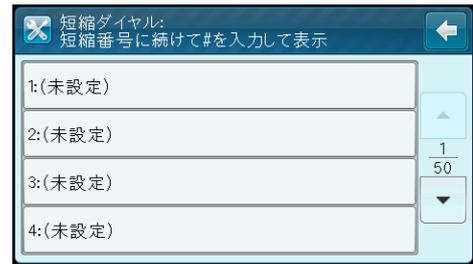
- 3 [ファクス宛先表] を選択します。



- 4 [短縮ダイヤル] を選択します。

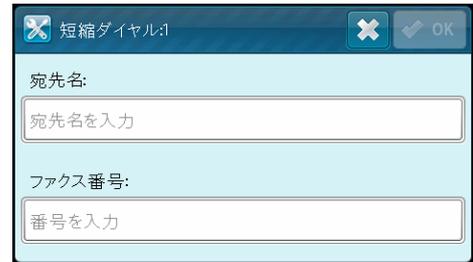


5 未設定の番号を選択します。



6 [宛先名を入力] ボックスを選択し、宛先名を入力して、[OK] を押します。

補足 ・宛先名は、英数字（半角）または記号（半角）で 32 文字まで入力できます。



7 [番号を入力] ボックスを選択し、ファクス番号を入力して、[OK] を押します。

8 [OK] を押します。

宛先をグループ登録する：

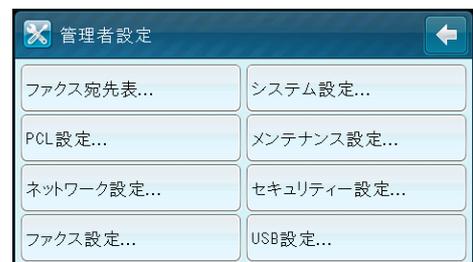
1 <機械確認> ボタンを押します。



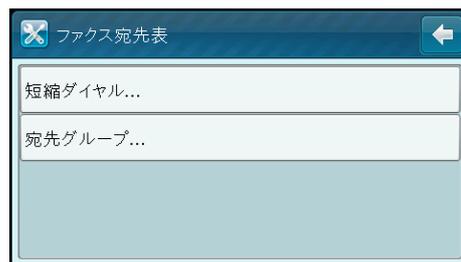
2 [仕様設定] タブを選択し、[管理者設定] を選択します。



3 [ファクス宛先表] を選択します。



4 [宛先グループ] を選択します。



5 未設定の番号を選択します。

6 [グループ名を入力] ボックスを選択し、宛先グループ名を入力し、[OK] を選択します。

補足 ・グループ名は、英数字（半角）または記号（半角）で32文字まで入力できます。

7 [宛先表から追加] を選択し、グループ登録する宛先を選択します。

8 [OK] を選択し、もう一度 [OK] を選択します。

CentreWare Internet Services から登録する

CentreWare Internet Services から宛先を登録する方法について説明します。

次の手順は Windows 7 を例にしています。手順はオペレーティングシステムによって異なります。

宛先を登録する：

1 Web ブラウザーを起動します。

2 アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、< Enter >キーを押します。

3 [宛先表] タブをクリックします。

ユーザー名とパスワードの入力を求められたら、正しいユーザー名とパスワードを入力します。



- 4 [ファクス宛先表] で、[ファクス短縮番号] をクリックします。
- 5 未登録の短縮番号の [新規登録] をクリックします。
 補足 ・使用しなくなった宛先は、[削除] をクリックし、削除できます。



- 6 [名前] と [電話番号] を入力します。
 補足 ・名前は、英数字（半角）または記号（半角）で 32 文字まで入力できます。
- 7 [新しい設定を適用する] をクリックします。

宛先をグループ登録する：

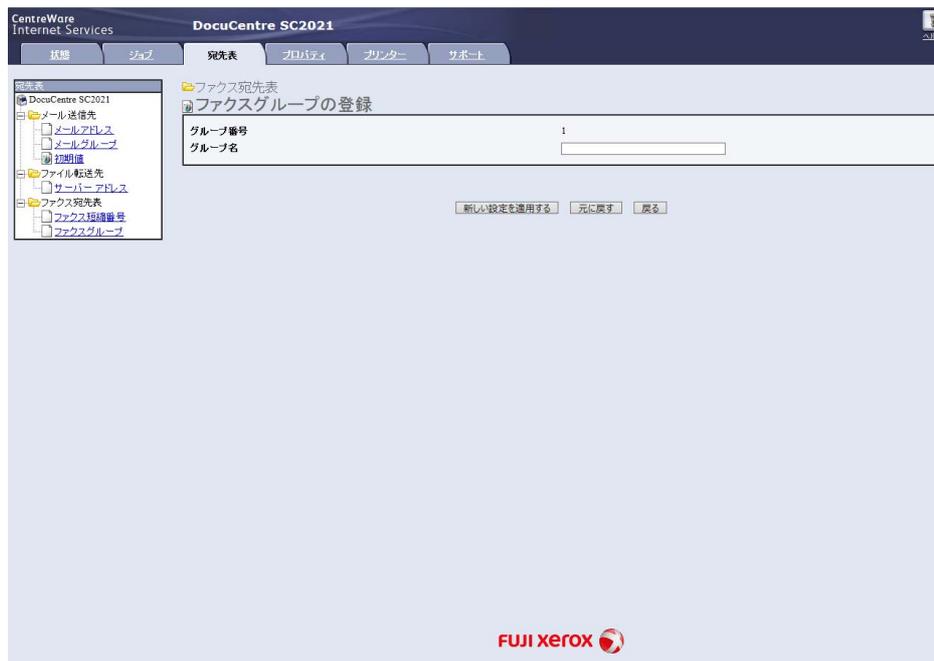
- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、< Enter >キーを押します。
- 3 [宛先表] タブをクリックします。
ユーザー名とパスワードの入力を求められたら、正しいユーザー名とパスワードを入力します。



- 4 [ファクス宛先表] で、[ファクスグループ] をクリックします。

5 未登録のグループ番号の [新規登録] をクリックします。

補足 ・使用しなくなったグループは、[削除] をクリックし、削除できます。



6 [グループ名] を入力します。

補足 ・グループ名は、英数字（半角）または記号（半角）で 32 文字まで入力できます。

7 [新しい設定を適用する] をクリックします。

時刻を指定してファクスを送信する

時刻指定通信モードでは、読み取った原稿を保存して、指定した時刻に送信することができます。電話料金の安い深夜を利用して通信するときなどに便利です。

- 1 原稿をセットします。
- 2 <メニュー>ボタンを押します。



- 3 [ファクス] を選択します。



- 4 原稿の状態に合わせて解像度を調節します。

詳しくは、"送信画質" (P.106) を参照してください。

詳しくは、"濃度調整" (P.106) を参照してください。



- 5 [オプション] タブを選択し、[時刻指定通信] を選択し、[する] を選択します。



- 6 数字ボタンで送信開始時刻を入力し、[OK] を選択します。



7 [ファクス] タブを選択します。



8 数字ボタンで宛先のファクス番号を入力します。

[短縮ダイヤル] または [短縮グループダイヤル] を使用することもできます。



9 <スタート> ボタンを押して、データを読み取ります。

いったん時刻指定送信モードを起動すると、読み取った原稿は全てメモリーに保存され、指定した時刻に送信されます。時刻指定送信モードでファクス送信が完了すると、メモリー内のデータは消去されます。

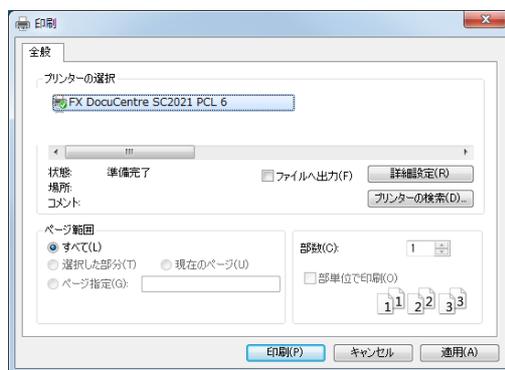
補足 ・本機の電源を入れ直した場合、保存された原稿は、本機の再起動後すぐに送信されます。

ドライバーから送信する（ダイレクトファクス）

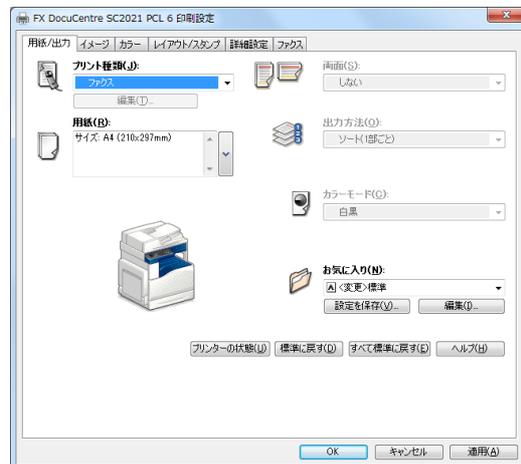
ファクスドライバーをインストールすると、Microsoft® Windows® 搭載のコンピュータからファクスを直接送信できます。

- 補足
- ・ダイレクトファクスは、通常のファクス同様、白黒原稿のみに対応しています。カラー原稿は白黒に変換されます。
 - ・お使いのアプリケーションによっては、ダイアログボックスやボタンの名称が次の手順のものとは異なる場合があります。
 - ・ファクスドライバーは PCL 6 ドライバーにインストールされています。

- 1 送信したいファイルを開きます。
- 2 アプリケーションから印刷ダイアログボックスを開き、プリンター名を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。



- 4 [用紙 / 出力] タブの [プリント種類] ドロップダウンリストから [ファクス] を選択します。



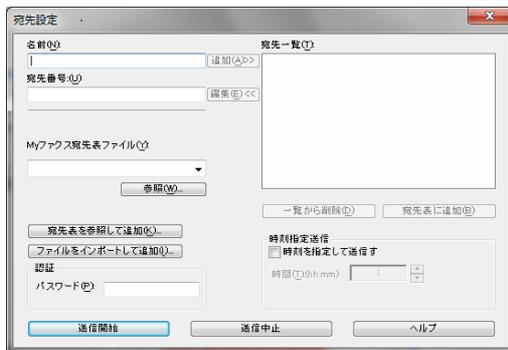
- 補足
- ・設定についての詳細は、ファクスドライバーのヘルプを参照してください。

5 [ファクス] タブを選択します。



6 [OK] をクリックして [FX DocuCentre SC2021 PCL 6 印刷設定] ダイアログボックスを閉じ、[印刷] をクリックします。

[宛先設定] ダイアログボックスが表示されます。



7 宛先を次のいずれかの方法で指定します。宛先指定方法の詳細については、ドライバーのヘルプを参照してください。

- 1) 名前とファクス番号を直接入力します。
- 2) 宛先表からファクス番号を選択します。
 - 宛先表を参照して追加: [My ファクス宛先表ファイル] に指定したファイルに保存されたファクス番号リストが表示されます。
 - ファイルをインポートして追加: ソースファイル (CSV ファイル、WAB ファイル、MAPI など) または LDAP サーバーを選択できます。(LDAP サーバー: "サーバーのファクス宛先表検索" (P.176))

補足 ・ファクス機能がパスワードでロックされている場合、[パスワード] にパスワードを入力して、ファクスを送信します。

ファクスを受信する

受信モードとその他ファクス受信方法について説明します。

補足 ・お使いの回線がナンバー・ディスプレイに対応している場合でも、本機の操作パネル上に相手の電話番号は表示されません。

受信モードについて

補足 ・自動受信 / ファクスまたは自動受信留守電 / ファクスを利用するには、外付け電話などを本機背面の TEL コネクタに接続します。

メモリーがいっぱいになると、ファクスを自動的に受信できなくなります。

ファクス受信の用紙をセットする

用紙トレイへの給紙方法は、プリント、ファクス、コピーいずれの場合も同じです。

自動受信ファクスで自動的に受信する

工場出荷時、本機は自動受信ファクスに設定されています。

指定された時間が経過すると、本機は自動受信ファクスに入り、ファクスを受信します。

呼び出し後、本機がファクスモードに入るまでの時間を変更するには、"受信設定" (P.167) を参照してください。

自動受信電話 / ファクスまたは自動受信留守電 / ファクスで自動的に受信する

自動受信電話 / ファクスまたは自動受信留守電 / ファクスを利用するには、外付け電話を本機背面の TEL コネクタに接続する必要があります。

相手がファクスを送信する場合、自動的にファクスを受信します。

補足 ・自動受信留守電 / ファクスに設定し、外付け電話が応答しなかった場合、指定された時間が経過すると、本機はファクスモードに入ります。

外付け電話を使用して手動受信する

本機背面の TEL コネクタに外付け電話を接続している場合、外付け電話で通話中の相手から、ファクスを受信できます。

外付け電話に着信を受け、ファクスの発信音が聞こえたら、2桁のリモート受信コードを押すか、または [オンフック] の [手動受信] を選択し、<スタート>ボタンを押します。

本機がファクスを受信します。

まだファクスの発信音が聞こえる場合、もう一度2桁のリモート受信コードを押してください。

リモート受信コードは、工場出荷時は [しない] に設定されています。2桁の番号は変更することができます。受信コード変更方法："リモート受信" (P.170)

補足 ・外付け電話のダイヤル方式を、DTMF (プッシュ方式 / トーン方式) に設定してください。

メモリーに受信する

本機は、コピーやプリント中にファクスを受信することができます。コピーやプリント中、または用紙やトナーがなくなっている場合、本機は受信したファクスをメモリーに保存します。コピーやプリントが終了、またはトナーカートリッジの補給が完了したら、ファクスがプリントされます。

補足 ・送受信メモリーは 4MB です。これを超えるサイズの受信はできません。

セキュリティ受信モードを使用する

受信したファクスを、第三者の目に触れさせたくないときに設定します。[セキュリティ受信]でセキュリティ受信モードを有効にすると、受信したファクスのプリントを制限することができます。セキュリティ受信モードでは、受信したファクスがメモリーに保存されます。セキュリティ受信モードを無効にすると、保存されたファクスがプリントされます。

セキュリティ受信モードを有効にする：

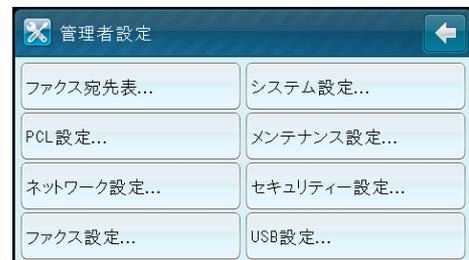
- 1 <機械確認>ボタンを押します。



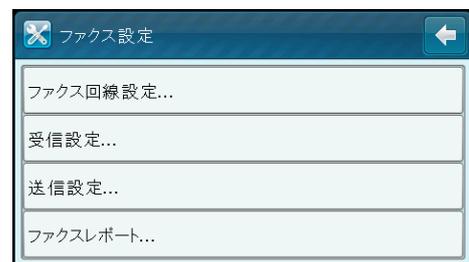
- 2 [仕様設定] タブを選択し、[管理者設定] を選択します。



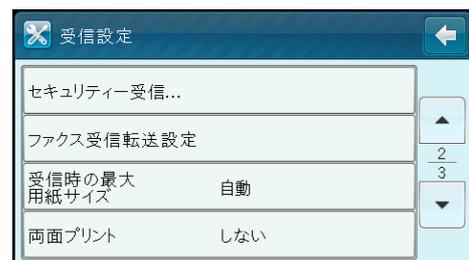
- 3 [ファクス設定] を選択します。



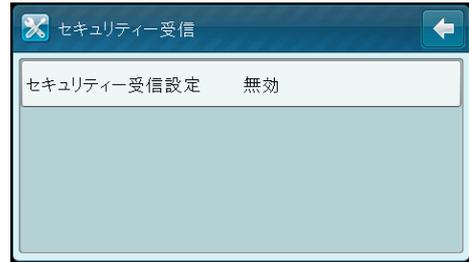
- 4 [受信設定] を選択します。



- 5 [セキュリティ受信] を選択します。



- 6 [セキュリティー受信設定] を選択します。



- 7 [有効] を選択し、[OK] を選択します。



- 8 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力して、[OK] を選択します。

機械確認メニューのトップに戻るには、<リセット>ボタンを押します。

セキュリティー受信モード時にファクスを受信した場合、ファクスはメモリーに保存されます。[実行中ジョブ] 画面で [セキュリティー受信] が表示され、ファクスが保存されていることをお知らせします。



受信文書を印刷する：

- 1 <ジョブ確認>ボタンを押します。



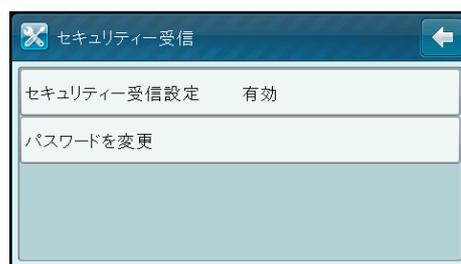
- 2 [セキュリティーファクス受信] を選択します。

- 3 暗証番号を入力し、[OK] を選択します。

メモリーに蓄積されたファクスがプリントされます。

セキュリティ受信モードを無効にする：

- 1 "セキュリティ受信モードを使用する"
(P.124) の手順 1 から 6 に沿って、[セキュリティ受信設定] メニューにアクセスします。



- 2 [無効] を選択し、[OK] を選択します。
機械確認メニューのトップに戻るには、<リセット> ボタンを押します。



ファクス通信管理レポート

ファクス通信管理レポートとは、送受信が正常に終了したかどうかを確認するためのレポートです。相手局名や通信結果 / 状態が発信と着信に分けて記録されます。
 ファクス通信管理レポートの印刷方法："レポート / リストの印刷" (P.218)

項目		内容
送信	No.	発信の連番がそれぞれ記録されます。
	文書番号	通信を受け付けたときに、自動的に付けられる文書の番号が記録されます。
	相手	通信した相手の情報が次の優先順位で記録されます。 1. 短縮番号に登録した宛先名 (宛先を短縮番号で指定したときのみ) 2. フルダイヤルで入力した電話番号 3. リモート ID 4. 通信モード ・ リモート ID とは、相手局が通知する電話番号。
	開始時間	通信が開始された時刻が記録されます。 同報送信の場合は、1 件目の送信開始時間が記録されます。
	所要時間	通信が開始されてから終了するまでに要した時間が記録されます。同報送信の場合は、全送信先の合計通信時間が記録されます。
	ページ	送信したページ数が記録されます。 「/」より左は正常に送信完了した枚数、右は読み取った総ページ数が記録されます。
	モード	通信したときのモードが記録されます。 G3、SG3、ECM、*G3、*SG3、*ECM (* は送信データがモノクロに変換されたことを示す)、空欄 (情報なし)
	通信内容	通信内容を記録します。 再送信 (再送信のとき)、同報 (同報送信のとき)、転送 (転送のとき)、空欄 (通常の実送のとき)
	通信結果	通信結果を記録します。 良好 (正常終了)、話中 (話中、リダイヤル回数オーバー)、自動再送 (再送信設定されたジョブが再送信回数の制限内)、キャンセル (中断)、要相手確認 (相手側が受信不可)、要再送信 (再送信回数オーバー)、XXX-XXX (通信エラー) ・ キャンセルは、ユーザーがジョブをキャンセルした場合。 ・ XXX-XXX は、エラーコードを表示。
	合計	発信完了ページ数の合計を記録します。

項目		内容
受信済み	No.	着信の連番がそれぞれ記録されます。
	文書番号	通信を受け付けたときに、自動的に付けられる文書の番号が記録されます。
	相手	通信した相手の情報が次の優先順位で記録されます。 1. リモート ID 2. 通信モード • リモート ID とは、相手局が通知する電話番号。
	開始時間	着信の呼び出しがあった時刻を記録します。
	所要時間	通信が開始されてから終了するまでに要した時間が記録されます。
	ページ	受信したページ数が記録されます。
	モード	通信したときのモードが記録されます。 G3、SG3、ECM、*G3、*SG3、*ECM (*は送信データがモノクロに変換されたことを示す)、空欄 (情報なし)
	通信内容	通信内容を記録します。 ポーリング (ポーリング受信のとき)、転送 (転送のとき)、 空欄 (通常の受信のとき)
	通信結果	通信結果を記録します。 良好 (正常終了)、プリントキュー (印刷待ち)、削除完了 (印刷せずに削除)、キャンセル (中断)、要再受信 (受信エラー)、転送待機中 (転送待ち)、転送中 (転送中)、転送済み (転送完了)、XXX-XXX (通信エラー) • XXX-XXX は、エラーコードを表示。
	合計	受信完了ページ数の合計を記録します。

7 スキャン機能

この章では、スキャンの機能について説明します。

- スキャン操作の流れ 130
- コンピューターへスキャンデータを転送する 134
- ネットワーク上でスキャン機能を使用する 137
- メールにスキャンデータを添付する 147
- スキャン中の操作 150
- スキャナーの詳細設定 151

スキャン操作の流れ

ここでは、原稿をセットしたり、詳細項目を設定したりする基本的なスキャン操作の流れについて説明します。

原稿をセットする

原稿をセットするには、次の2つの方法があります。

補足 ・原稿の天部（上側）が左にくるようにセットしてください。

■ 原稿送り装置

- ・ 1枚もの
- ・ 複数枚の原稿

■ 原稿ガラス

- ・ 1枚もの
- ・ 本などの冊子

注記 ・コンピューターから操作するスキャンの場合
コンピューターを操作するために、原稿をセットしたまま本機から離れる場合は、十分に注意してください。他のユーザーが誤って操作した場合、原稿の紛失および情報漏えいのおそれがあります。できるだけ、本機に近い場所でコンピューターの操作をしてください。また、スキャン完了後は、すべての原稿が揃っていることを確認してください。

原稿送り装置

■ 使用できる原稿サイズ

原稿送り装置には、定形サイズの原稿をセットできます。

原稿送り装置に原稿をセットすると、自動的に原稿サイズを検知します。自動的に検知できる定形サイズは、A3□、B4□、A4□、A4□、B5□、B5□*、A5□、11 × 17"□、8.5 × 14"□*、8.5 × 13"□*、8.5 × 11"□、8.5 × 11"□、八開□、十六開□、十六開□*です。

補足 ・*のついた原稿サイズは、原稿サイズ検知切替を行うことで自動的に検知されます。次の原稿サイズのいずれかを選択できます。詳しくは、「原稿サイズ検知切替」(P.173)を参照してください。

- B5（初期値）または十六開

- 8.5 × 14"（初期値）または 8.5 × 13"

・複数枚のサイズが異なる原稿をセットした場合は、一番大きい原稿のサイズで読み取ります。

・原稿送り装置に両面原稿をセットするとき、[両面原稿送り]が設定されていることを確認してください。設定されておらず画像の向きの修正が必要な場合、コンピューター上で修正してください。

・クライアント側のアプリケーションにスキャンデータを転送する場合、原稿サイズは自動的に検知されません。手動で原稿サイズを設定してください。

■ スキャンドライバーで使用できる原稿サイズ

A3 (297 × 420 mm)、A4 (210 × 297 mm)、A5 (148 × 210 mm)、B4 (257 × 364 mm)、B5 (182 × 257 mm)、8.5 × 11"、8.5 × 14"、11 × 17"、8.5 × 13"、八開、十六開、カスタム

■使用できる原稿の種類（質量）

原稿送り装置では、38～128 g/m²（両面原稿では、50～128 g/m²）の原稿を読み取ることができます。

原稿送り装置は次の枚数に対応します。

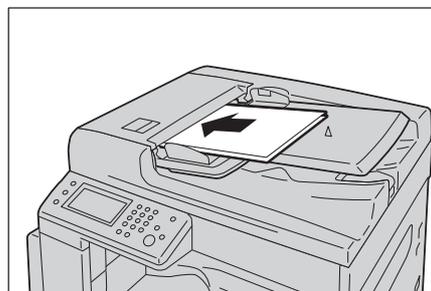
原稿の種類 (g/m ²)	枚数
薄め (38-80 g/m ²)	110 枚
厚め (81-128 g/m ²)	75 枚

重要 ・サイズが異なる複数枚の原稿、折り目、しわのある原稿、切り貼り原稿、カール紙、裏カーボン紙は、紙づまりの原因になりますので、原稿ガラスを使用してください。

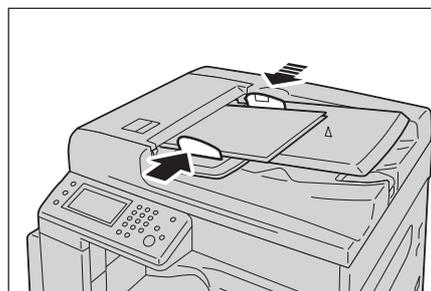
原稿送り装置に原稿をセットする方法は、次のとおりです。

原稿は、1枚もの、または複数枚の原稿をセットできます。

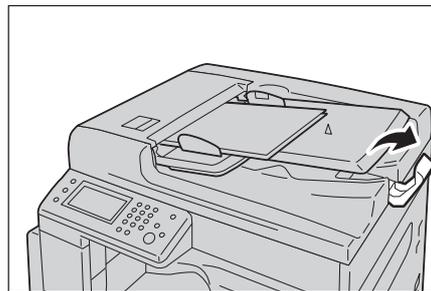
- 1 原稿をセットする前に、クリップやホチキスを外します。
- 2 スキャンする面（両面原稿の場合はおもて面）を上に向けて、原稿送り装置の中央にセットします。



- 3 原稿ガイドを移動して、原稿の両側に合わせます。



- 4 原稿受けストッパーを開きます。



原稿ガラス

■ 自動検知できる原稿サイズ

[原稿サイズ] を [自動] に設定すると、自動的に原稿を検知します。

自動検知する原稿サイズは、次のとおりです。

A3□、B4□、A4□、A4□、B5□、B5□、A5□、11 × 17"□、8.5 × 11"□、八開□、十六開□、十六開□

■ 使用できる原稿サイズ

[原稿サイズ] で選択できる原稿サイズは、A3□、B4□、A4□、A4□、B5□、B5□、A5□、11 × 17"□、8.5 × 14"□、8.5 × 13"□、8.5 × 11"□、8.5 × 11"□、八開□、十六開□、十六開□です。

補足 ・ [原稿サイズ] を [自動] に設定している場合、定形サイズ以外の原稿を原稿ガラスにセットすると、エラー画面が表示されます。この場合、メニューから [原稿サイズ] を選択して、手で原稿サイズを選択してください。選択した原稿サイズによっては、原稿が用紙に収まらなかったり、原稿の周りの影が写り込む場合があります。

■ スキャンドライバーで使用できる原稿サイズ

A3 (297 × 420 mm)、A4 (210 × 297 mm)、A5 (148 × 210 mm)、B4 (257 × 364 mm)、B5 (182 × 257 mm)、8.5 × 11"、8.5 × 14"、11 × 17"、8.5 × 13"、八開、十六開、カスタム

△ 注意

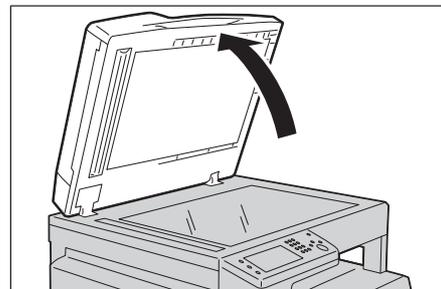
書籍などの厚手の原稿をスキャンするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。

原稿ガラスに原稿をセットする方法は、次のとおりです。

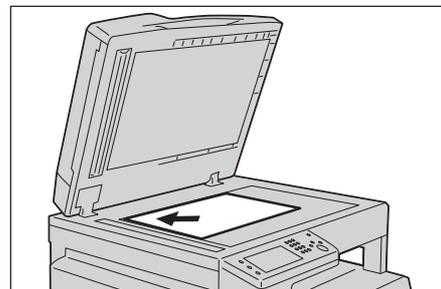
1 枚ものの原稿、または本などの冊子をセットできます。

1 原稿カバーを開けます。

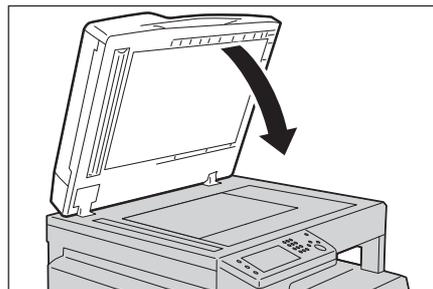
重要 ・ 原稿ガラスを使用した場合、作業終了後に、原稿カバーを閉じてください。



2 読み取る面を下に向けて、原稿ガラスの左奥の角に合わせて原稿をセットします。



3 原稿カバーを閉じます。



スキャン機能を選択する

選択できるスキャン機能は次のとおりです。

スキャン機能	参照ページ
コンピューターへスキャンデータを転送する	P.134
ネットワーク上でスキャン機能を使用する	P.137
メールにスキャンデータを添付する	P.147

補足 ・スキャンしたデータのファイル名は、「YYYYMMDDHHMMSS. 拡張子」で表示されま
す。YYYY：西暦（4桁）、MM：月（2桁）、DD：日（2桁）、HH：時（2桁）、MM：分
（2桁）、SS：秒（2桁）となります。

コンピューターへスキャンデータを転送する

スキャンデータをコンピューターへ転送する方法について説明します。

- 注記
- ・コンピューターから操作するスキャンの場合
コンピューターを操作するために、原稿をセットしたまま本機から離れる場合は、十分に注意してください。他のユーザーが誤って操作した場合、原稿の紛失および情報漏えいのおそれがあります。できるだけ、本機に近い場所でコンピューターの操作をしてください。また、スキャン完了後は、すべての原稿が揃っていることを確認してください。

操作パネルを使ってスキャンする - WSD スキャン

WSD (Web Services on Devices) を利用したネットワーク上で、本機がコンピューターに接続されている場合、WSD スキャン機能を使用してスキャンデータをコンピューターへ転送できます。

次の手順は Windows 7 を例にしています。

- 補足
- ・WSD スキャンを使用するには、WSD 接続のセットアップが必要です。
 - ・WSD* は、Windows Vista®、Windows 7、Windows 8 のみに対応しています。
 - *:「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

WSD スキャンの準備

本機とコンピューターを準備して、WSD 接続を使用します。

■ 本機の設定確認

WSD スキャン機能を使用するには、[WSD スキャン] を [有効] に設定する必要があります。詳しくは、「プロトコル設定」(P.165) を参照してください。

■ コンピューターの準備

- 補足
- ・Windows 8 の場合、コンピューターは自動的に本機へ WSD 接続します。本機を手動でインストールする必要はありません。

- 1 [スタート] > [コンピューター] > [ネットワーク] をクリックします。
- 2 本機のアイコンを右クリックし、[インストール] をクリックします。
本機が WSD 接続されます。

WSD スキャンの手順

- 1 原稿をセットします。
- 2 <メニュー> ボタンを押します。
- 3 [スキャナー] を選択します。
- 4 [WSD 保存] を選択します。
- 5 [▼] を選択し、スキャンデータを転送したいコンピューターを選択します。
- 6 [イベント] を選択し、[スキャン]、[メール送信先]などを指定します。
- 7 <スタート> ボタンを押して、スキャンデータの転送を開始します。

TWAIN ドライバーを使ってスキャンする

本機は、TWAIN ドライバーを使用したスキャンに対応しています。次の手順は Windows 7 を例にしています。手順はオペレーティングシステムや Microsoft Office のバージョンによって異なります。

補足 ・本機が USB ケーブルでコンピューターに接続されているか確認してください。

次のスキャン手順はクリップオーガナイザを例にしています。

- 1 本機に原稿をセットします。
- 2 [スタート]>[すべてのプログラム]>[Microsoft Office]>[Microsoft Office ツール]>[Microsoft クリップ オーガナイザ] をクリックします。
- 3 [ファイル]>[オーガナイザにクリップを追加]>[スキャナまたはカメラから] をクリックします。
- 4 [デバイス] の [スキャナまたはカメラから図を挿入] ダイアログボックスで、本機を選択します。
- 5 [カスタム挿入] をクリックします。
- 6 [給紙方法] と画像の種類を選択し、[プレビュー] をクリックしてプレビューを表示します。
補足 ・[給紙方法] から [ドキュメント フィーダー] を選択すると、[プレビュー] は非表示になり、選択できません。
- 7 [スキャン] をクリックしてスキャンを開始します。
スキャンデータが生成されます。

WIA ドライバーを使ってスキャンする

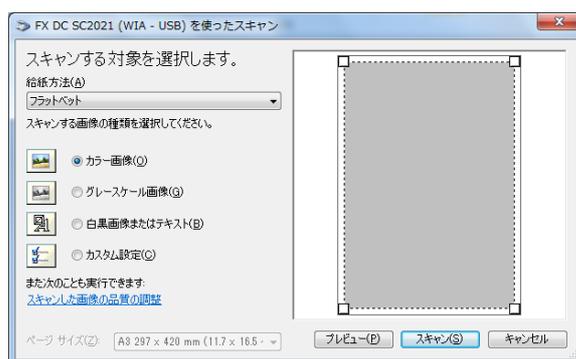
本機は、Windows Image Acquisition (WIA) ドライバーを使用したスキャンにも対応しています。WIA とは、Windows XP 以降のオペレーティングシステム が提供する標準コンポーネントのひとつで、デジタルカメラやスキャナーで使用できます。TWAIN ドライバーとは違い、WIA ドライバーでは、他のソフトウェアを使用せずにスキャンデータを処理することができます。

補足 ・本機が USB ケーブルでコンピューターに接続されているか確認してください。

・Windows Image Acquisition (WIA) ドライバーは、Windows にのみ対応しています。

描画ソフトウェアからスキャンする

- 1 本機に原稿をセットします。
- 2 Windows のペイントなどの描画ソフトウェアを起動します。
補足 ・Windows Vista をお使いの場合、ペイントではなく Windows Photo Gallery をご使用ください。
- 3 [ペイント]>[カメラまたはスキャナーから取り込み] をクリックします (Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Vista の場合、[ファイル]>[カメラまたはスキャナーから取り込み] をクリックします)。
[FX DC SC2021 (WIA - USB) を使ったスキャン] ウィンドウが表示されます。
補足 ・画面はお使いのオペレーティングシステム によって異なる場合があります。



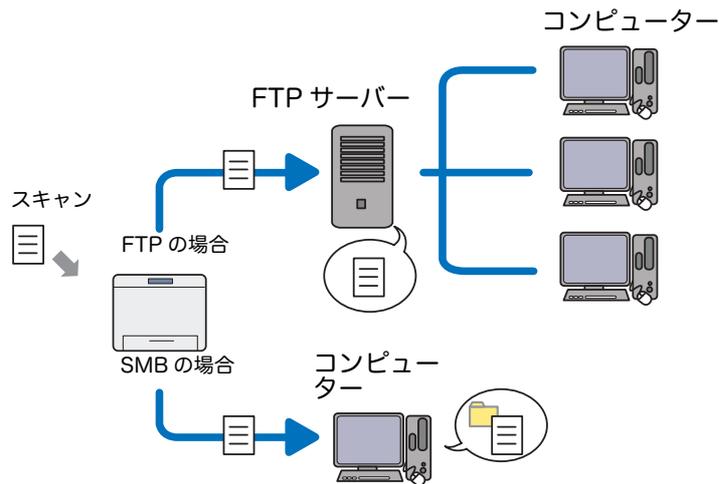
- 4 [給紙方法] で、[ドキュメント フィーダー] または [フラットベット] を選択します。
補足 ・原稿送り装置にセットした原稿をスキャンしたい場合、[ドキュメント フィーダー] を選択してください。原稿ガラスにセットした原稿をスキャンしたい場合、[フラットベット] を選択してください。
- 5 スキャン設定を選択して、[スキャンした画像の品質の調整] をクリックすると、[詳細プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 6 明るさやコントラストなど任意のプロパティを選択し、[OK] をクリックします。
- 7 [スキャン] をクリックしてスキャンを開始します。
- 8 [ペイント] メニューから [保存] をクリックします。
- 9 画像名を入力し、出力フォーマットと保存場所を選択します。

ネットワーク上でスキャン機能を使用する

ネットワーク上でスキャン機能を使用する方法について説明します。

概要

ネットワークスキャン（サーバー / コンピューター）機能を使用することで、文書をスキャンして FTP または SMB プロトコルからネットワーク上のコンピューターに転送することができます。



CentreWare Internet Services または宛先表ツールを使用して、サーバーの種類を選択と、スキャンデータの保存先を指定することができます。

ネットワークスキャン（サーバー / コンピューター）機能を使用するには、次の項目が必要となります。

- SMB の場合

SMB 経由でデータを転送するには、お使いのコンピューターにフォルダー共有機能のある次のオペレーティングシステムのいずれかが搭載されている必要があります。

補足 ・ Windows Server 2003, Mac OS X 10.5 は、IPv4 のみに対応しています。
 ・ Mac OS X の場合、共有ユーザーアカウントが必要です。

Mac OS X 10.5/10.6/10.7、OS X 10.8/10.9/10.10

Windows Server 2003

Windows Server 2008

Windows Server 2008 R2

Windows Server 2012

Windows Server 2012 R2

Windows Vista

Windows 7

Windows 8

Windows 8.1

- FTP の場合

FTP 経由でデータを転送するには、次のいずれかの FTP サーバーと、その FTP サーバーのアカウント（ログイン名とパスワード）が必要となります。

補足 ・ Windows Server 2003、Windows Vista、Mac OS X 10.5 は、IPv4 のみ対応していません。

Microsoft Internet Information Services 5.1 の FTP サービス

Windows Server 2003

Microsoft Internet Information Services 6.0 の FTP サービス

Windows Vista、Windows Server 2008

Microsoft Internet Information Services 7.0 の FTP サービス

Windows 7、Windows Server 2008 R2

Microsoft Internet Information Services 7.5 の FTP サービス

Windows 8、Windows Server 2012

Microsoft Internet Information Services 8.0 の FTP サービス

Windows 8.1、Windows Server 2012 R2

Microsoft Internet Information Services 8.5 の FTP サービス

Mac OS X 10.5/10.6/10.7、OS X 10.8/10.9/10.10

Mac OS X の FTP サービス

FTP サービスの設定方法については、システム管理者にお問い合わせください。

ネットワークスキャン（サーバー / コンピューター）機能を使用するには、次の手順に従ってください。

- SMB を使用する場合：

手順	内容	参照ページ
1	ログイン名とパスワードを設定する（SMB のみ）	P.138
2	共有フォルダを作成する（SMB のみ）	P.139
3	宛先表を使用して保存先を設定する	P.140
4	スキャンデータをネットワークに転送する	P.145

- FTP：

手順	内容	参照ページ
1	宛先表を使用して保存先を設定する	P.140
2	スキャンデータをネットワークに転送する	P.145

ログイン名とパスワードを設定する（SMB のみ）

ネットワークスキャン（サーバー / コンピューター）機能には、有効かつ空でない認証パスワードが設定されたユーザーログインアカウントが必要です。ログインユーザー名とパスワードを確認してください。

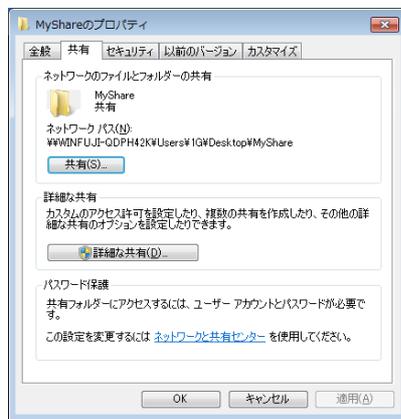
ログインの際にパスワードを使用しなかった場合、ユーザーアカウント上でパスワードを作成する必要があります。次の手順は Windows 7 を例にしています。手順はオペレーティングシステムによって異なります。

- 1 [スタート] > [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [保護者による制限の設定] をクリックします。
- 3 [ユーザーアカウント] をクリックします。
- 4 [アカウントのパスワードの作成] をクリックして、パスワードをログインアカウントに追加します。

共有フォルダを作成する (SMB のみ)

フォルダーを共有して、スキャンデータを保存する方法は次のとおりです。次の手順は Windows 7 を例にしています。手順はオペレーティングシステムによって異なります。

- 1 お使いのコンピューター上の任意のディレクトリーにフォルダーを作成します (フォルダー名の例: MyShare)。
- 2 フォルダーを右クリックし、[プロパティ] を選択します。



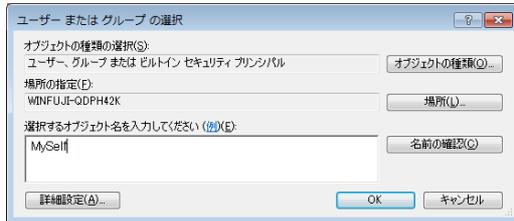
- 3 [共有] タブをクリックし、[詳細な共有] をクリックします。
- 4 [このフォルダーを共有する] にチェックを入れます。
- 5 [共有名] ボックスに、共有名を入力します。

補足 ・この共有名は書き留めておいてください。次の設定手順で使用します。

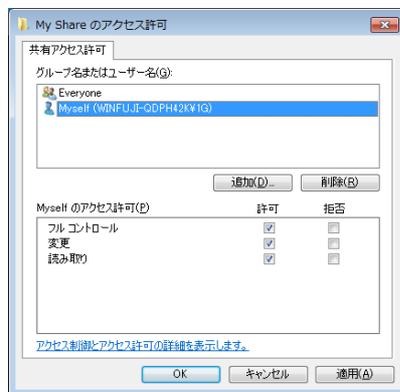


- 6 [アクセス許可] をクリックして、書き込み権限をフォルダーに設定します。
- 7 [追加] をクリックします。

- 8 [詳細設定] をクリックしてユーザーログイン名を検索するか、[選択するオブジェクト名を入力してください] ボックスにユーザーログイン名を入力して、[名前の確認] をクリックして確認します (ユーザーログイン名の例 : MySelf)。



- 9 [OK] をクリックします。
- 10 あらかじめ入力したユーザーログイン名をクリックします。[フルコントロール] にチェックを入れます。これで文書をこのフォルダーへ送信できるようになります。
補足 ・ [Everyone] をユーザーログイン名として使用しないでください。



- 11 [OK] をクリックします。
- 12 [OK] をクリックして、[詳細な共有] ダイアログボックスを終了します。
- 13 [閉じる] をクリックします。

補足 ・ サブフォルダーを追加するには、作成したフォルダーに新しいフォルダーを作成してください。
例 : フォルダー名 : MyShare、第 2 階層フォルダー名 : MyPic、第 3 階層フォルダー名 : John
ディレクトリ内は MyShare\MyPic\John となります。

フォルダー作成後、"宛先表を使用して保存先を設定する" (P.140) に進んでください。

宛先表を使用して保存先を設定する

CentreWare Internet Services あるいは 宛先表ツールを利用して、ネットワークスキャン (サーバー / コンピューター) 機能を使用するための設定ができます。

次の手順は Windows 7 を例にしています。手順はオペレーティングシステムによって異なります。

保存先の設定を開始する前に、本機やコンピューターなどの IP アドレスを控えておいてください。

補足 ・ 設定できるサーバー / コンピューターは 32 台までです。

CentreWare Internet Services を使用する

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、< Enter > キーを押します。
本機のウェブページが表示されます。
- 3 [宛先表] タブをクリックします。
ユーザー名とパスワードの入力を求められたら、正しいユーザー名とパスワードを入力します。



- 4 [ファイル転送先] で、[サーバー アドレス] をクリックします。

5 未使用の番号を選択して、[新規登録] をクリックします。

[サーバー アドレスの登録] ページが表示されます。

次の情報を入力してください。

1	名前	[サーバー アドレス] 上に表示させる名前を入力します。入力できる名前は 32 文字以内の英数記号です。
2	サーバータイプ	お使いのコンピューターの共有フォルダーに文書を保存する場合、[コンピュータ (SMB)] を選択します。 FTP サーバーをお使いの場合は、[サーバー (FTP)] を選択します。
3	サーバーアドレス	共有しているコンピューターまたは FTP サーバーの、サーバー名または IP アドレスを入力します。 例： • [コンピューター (SMB)] の場合： サーバー名：myhost IP アドレス：192.168.1.100 • [サーバー (FTP)] の場合： サーバー名：myhost.example.com (myhost：ホスト名、example.com：ドメイン名) IP アドレス：192.168.1.100
4	サーバーポート	サーバーポート番号を入力します。番号が不明な場合、初期値 (SMB：139、FTP：21) を入力してください。

5	ログイン名	お使いのコンピューターの共有フォルダー、またはFTPサーバーへのアクセス権のあるユーザーアカウント名を入力します。入力できるユーザーアカウント名は 97 文字以内の英数記号です。
6	ログインパスワード	上記のユーザーアカウント名に対応するパスワードを入力します。 補足 ・空のパスワードでは、ネットワークスキャン（サーバー / コンピューター）機能が有効になりません。有効なパスワードが設定されていることを確認してください。（ログインアカウントへのパスワード追加方法：“ログイン名とパスワードを設定する（SMB のみ）”（P.138））
7	パスワードの確認入力	パスワードを再入力します。
8	共有名	[コンピューター (SMB)] の場合のみ Windows の場合は、スキャンデータを保存するための共有フォルダー名を入力します。 Mac OS X の場合は、スキャンデータを保存するためのフォルダー名を入力します。入力できるフォルダ名は 32 文字以内の英数記号です。
9	サーバーパス	入力できるサーバーパスは 96 文字以内の英数記号です。 [コンピューター (SMB)] の場合 サブフォルダーを作成せずに直接共有フォルダーにスキャンデータを保存する場合は、空欄にしておきます。 共有フォルダー内に作成したフォルダーにスキャンデータを保存する場合は、パスを次のように入力します。 例：共有フォルダー名：“MyShare”、第 2 階層フォルダー名：“MyPic”、第 3 階層フォルダー名：“John” ディレクトリー内は “MyShare\MyPic\John” となります。  この場合、次の項目を入力します。 サーバーパス：\MyPic\John [サーバー (FTP)] の場合 スキャンデータを保存するサーバーパスを入力します。

設定を行ったら、“スキャンデータをネットワークに転送する”（P.145）に進んでください。

宛先表ツールを使用する

次の手順は Windows 7 を例にしています。

- 1 [スタート]>[すべてのプログラム]>[Fuji Xerox]>[DocuCentre SC2021]>[宛先表ツール] をクリックします。

[宛先表ツールの起動] ウィンドウが表示されます。

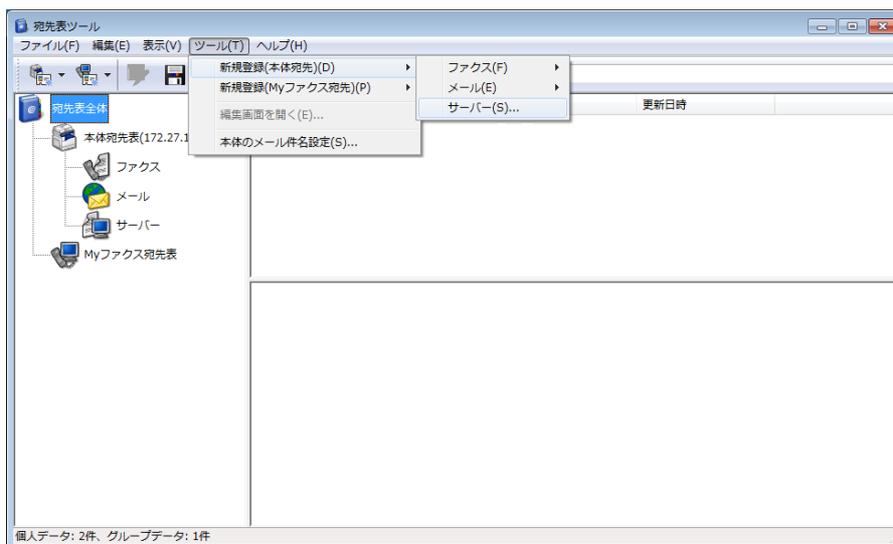
補足 ・[宛先表ツール] ウィンドウが表示される場合、手順 4 に進んでください。

- 2 [USB 接続] または [ネットワーク接続] を選択します。

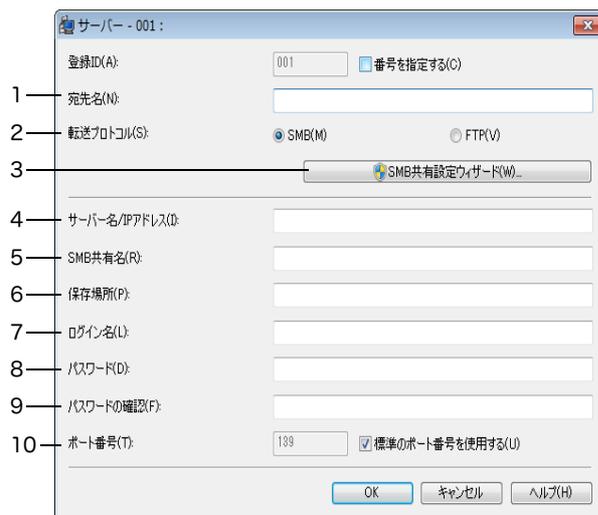
- 3 [OK] をクリックします。

補足 ・[ネットワーク接続] を選択した場合は、IP アドレスを入力するか、ネットワークから検索して本機を選択し、[OK] をクリックします。

4 [ツール] > [新規登録 (本体宛先)] > [サーバー] をクリックします。



[サーバー] ダイアログボックスが表示されます。



次の情報を入力してください。

1	宛先名	宛先表に表示させる名前を入力します。
2	転送プロトコル	お使いのコンピューターの共有フォルダーに文書を保存する場合、[コンピューター (SMB)] を選択します。 FTP サーバーをお使いの場合は、[サーバー (FTP)] を選択します。
3	SMB 共有設定 ウィザード	このボタンをクリックすると、ウィザード画面が表示されます。 ウィザードでの手順が完了したら、[サーバー] の設定が適用されます。

4	サーバー名 /IP アドレス	共有しているコンピューターまたはFTPサーバーの、サーバー名またはIPアドレスを入力します。 例： • [コンピューター (SMB)] の場合： サーバー名：myhost IPアドレス：192.168.1.100 • [サーバー (FTP)] の場合： サーバー名：myhost.example.com (myhost：ホスト名、example.com：ドメイン名) IPアドレス：192.168.1.100
5	SMB 共有名	共有フォルダー名を入力します。SMB の場合のみです。
6	保存場所	[コンピューター (SMB)] の場合 サブフォルダーを作成せずに直接共有フォルダーにスキャンデータを保存する場合は、空欄にしておきます。 共有フォルダー内に作成したフォルダーにスキャンデータを保存する場合は、パスを次のように入力します。 例：共有フォルダー名："MyShare"、第2階層フォルダー名："MyPic"、第3階層フォルダー名："John" ディレクトリ内は "MyShare\MyPic\John" となります。  この場合、次の項目を入力します。 パス：\MyPic\John [サーバー (FTP)] の場合 スキャンデータを保存するパスを入力します。
7	ログイン名	お使いのコンピューターの共有フォルダーまたはFTPサーバーへのアクセス権のあるユーザーアカウント名を入力します。
8	パスワード	上記のユーザーアカウント名に対応するパスワードを入力します。 補足 ・空のパスワードでは、ネットワークスキャン (サーバー/コンピューター) 機能が有効になりません。有効なパスワードが設定されていることを確認してください。(ログインアカウントへのパスワード追加方法："ログイン名とパスワードを設定する (SMB のみ)" (P.138))
9	パスワードの確認	パスワードを再入力します。
10	ポート番号	ポート番号を入力します。番号が不明な場合、初期値 (SMB：139、FTP：21) を入力してください。

設定を行ったら、"スキャンデータをネットワークに転送する" (P.145) に進んでください。

スキャンデータをネットワークに転送する

- 1 原稿をセットします。
- 2 <メニュー>ボタンを押します。
- 3 [スキャナー] を選択します。
- 4 [ネットワーク送信] を選択します。
- 5  を選択し、送信アドレスを選択します。

- 6 [OK] を選択します。
- 7 [スキャナー (ネットワーク)]、[画質調整]、[オプション] タブ上で、[カラーモード]、[解像度]、[両面原稿送り]、[ファイル形式]などを設定します。詳しくは、"ファイル形式" (P.188) を参照してください。
- 8 <スタート>ボタンを押して、スキャンデータの送信を開始します。

メールにスキャンデータを添付する

本機から、スキャンデータを添付したメールを送信する方法は、次のとおりです。

- CentreWare Internet Services から、アドレス帳を設定します。詳しくは、"新しいメールアドレスを登録する" (P.147) を参照してください。

メール設定を行う

- 1 CentreWare Internet Services から、[プロパティ] をクリックします。
- 2 [メール] をクリックします。



*: 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

- 3 次のようにメール設定をします。

[SMTP サーバーアドレス]: メールサーバーの IP アドレスを入力します。

[送信時の認証方式]: [無効] に指定して、メールサーバーを利用可能にします。

補足 ・016-506 や 016-764 などのエラーメッセージが表示された場合、サーバー管理者に [送信時の認証方式] の設定についてお問い合わせください。

- 4 [新しい設定を適用する] をクリックします。

新しいメールアドレスを登録する

次の手順は Windows 7 を例にしています。

補足 ・宛先表ツールから宛先を登録することもできます。詳細は、宛先表ツールのヘルプを参照してください。

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、< Enter > キーを押します。

本機のウェブページが表示されます。

補足 ・本機の IP アドレス確認方法: "本機の IP アドレスの確認" (P.216)

3 [宛先表] タブをクリックします。

ユーザー名とパスワードの入力を求められたら、正しいユーザー名とパスワードを入力します。



4 [メールアドレス] をクリックします。

5 未使用の番号を選択して、[新規登録] をクリックします。

[メールアドレスの登録] ページが表示されます。

6 [名前] 欄に名前を、[アドレス] 欄にメールアドレスを入力します。

補足 ・ [名前] 欄には、英数字（半角）および記号（半角）で入力してください。日本語には対応していません。



7 [新しい設定を適用する] ボタンをクリックします。

メールにスキャンデータを添付する

- 1 原稿をセットします。
- 2 <メニュー>ボタンを押します。
- 3 [メール送信]を選択します。
- 4 次から宛先を設定し、[OK]を選択します。
 - [宛先追加]: メールアドレスを直接入力します。
 - [宛先表]: アドレス帳の種類を次から選択します。
 - [機器の宛先表 - 宛先]: アドレス帳に登録されているメールアドレスを選択します。
 - [機器の宛先表 - 宛先グループ]: アドレス帳に登録されているメールアドレスのグループを選択します。
 - [ネットワークの宛先表を検索]: LDAP サーバーのアドレス帳からメールアドレスを検索します。
- 5 [画質調整]、[オプション] タブ上で、[カラーモード]、[解像度]、[両面原稿送り]、[ファイル形式]などを設定します。詳しくは、"ファイル形式" (P.188) を参照してください。
 - 補足
 - ・操作パネルで [宛先表] を選択するには、あらかじめメールアドレスを登録する必要があります。
 - ・LDAP サーバーの宛先表を使用している場合、[サーバーのメール宛先表検索] を [有効] に設定する必要があります。詳しくは、"サーバーのメール宛先表検索" (P.176) を参照してください。
- 6 <スタート>ボタンを押して、メールを送信します。

スキャン中の操作

実行中のジョブのキャンセルや、実行待ちのジョブの確認、キャンセルができます。

実行中のジョブをキャンセルする

実行中のジョブをキャンセルする方法は、次のとおりです。

■ 本機での操作

- 1 <ストップ>ボタンを押します。



■ コンピューターでの操作

- 1 スキャン中に画面に表示される [削除] を選択します。

ジョブの状態を確認する

実行中のジョブおよび終了したジョブの状態を確認できます。

補足 ・実行中のジョブをキャンセルすることができます。
ジョブ画面での操作：" 実行中のジョブをキャンセルする " (P.222)

- 1 <ジョブ確認>ボタンを押します。



- 2 ジョブの状態を確認します。

スキャナーの詳細設定

スキャナーの詳細機能について説明します。

設定値："スキャン設定" (P.188)

- メール送信

タブ	設定項目	目的	参照ページ
画質調整	カラーモード	スキャンモードをカラーモード、白黒モード、グレースケールモードから選択します。	P.189
	解像度	スキャン画像の読み取り解像度を調整します。	P.189
	濃度調整	コントラストを調節して、スキャン画像の濃度を変更します。	P.190
	シャープネス	シャープさを調節して、スキャン画像の輪郭を強調またはぼかします。	P.190
	コントラスト	色の量を調整して、コントラストを原稿よりも強くまたは弱くします。	P.191
	地色除去	文字を見やすくするため、スキャン画像の背景にある地色を除去します。	P.191
オプション	両面原稿送り	両面スキャンを設定します。	P.190
	ファイル形式	出力フォーマットを設定します。	P.188
	原稿サイズ	原稿サイズの初期値を設定します。	P.189
	わく消し	スキャン画像の上下の余白を設定します。	P.191
	ファイル名	ファイル名の詳細を設定します。	P.191

- ネットワーク送信

タブ	設定項目	目的	参照ページ
スキャナー (ネットワーク)	カラーモード	スキャンモードをカラーモード、白黒モード、グレースケールモードから選択します。	P.189
	解像度	スキャン画像の読み取り解像度を調整します。	P.189
	ファイル形式	出力フォーマットを設定します。	P.188
	両面原稿送り	両面スキャンを設定します。	P.190
画質調整	濃度調整	コントラストを調節して、スキャン画像の濃度を変更します。	P.190
	シャープネス	シャープさを調節して、スキャン画像の輪郭を強調またはぼかします。	P.190
	コントラスト	色の量を調整して、コントラストを原稿よりも強くまたは弱くします。	P.191
	地色除去	文字を見やすくするため、スキャン画像の背景にある地色を除去します。	P.191

タブ	設定項目	目的	参照 ページ
オプション	原稿サイズ	原稿サイズの初期値を設定します。	P.189
	わく消し	スキャン画像の上下の余白を設定します。	P.191
	ファイル名	ファイル名の詳細を設定します。	P.191
	フォルダーを作成	スキャン画像を保存するとき、フォルダーを作成するかどうかを設定します。	P.192

補足 ・変更項目と変更方法："スキャン設定" (P.188)

8 プリント機能

この章では、プリントドライバーを使用して、プリントする方法について説明します。

- プリントドライバーの主なプリント機能 154
- プリントする 155
- プリント中の操作 156

プリントドライバーの主なプリント機能

プリントドライバーの主なプリント機能について紹介します。プリントドライバーを利用するには、プリントドライバーをインストールする必要があります。

プリントドライバーの設定方法："プリントドライバーをインストールする" (P.44)

- 補足
- ・プリント機能については、プリントドライバー画面の [ヘルプ] をクリックして表示されるヘルプを参照してください。
 - ・[オプション] タブの [プロパティ] 画面で、装着しているオプションの情報をプリントドライバーに読み込まないと、使用できない機能があります。使用できない機能は、表示されません。
- オプション情報の設定方法："オプション品の構成などを設定する" (P.58)

■まとめて1枚 (N アップ)

1枚の用紙に、複数のページを割り付けてプリントします。

■片面 / 両面プリント

用紙の両面にプリントします。

■ポスター

1ページ分のプリントデータを指定したサイズに拡大してから、複数枚の用紙に分割してプリントします。大型ポスターなどを作成するときに使用します。

■製本

正しいページ順の冊子になるように、両面プリントとページ配分を組み合わせるとプリントします。

■スタンプ

プリントデータに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせてプリントします。

■混在原稿

縦、横が混在する原稿、または異なる用紙サイズのページが混在する原稿をプリントします。

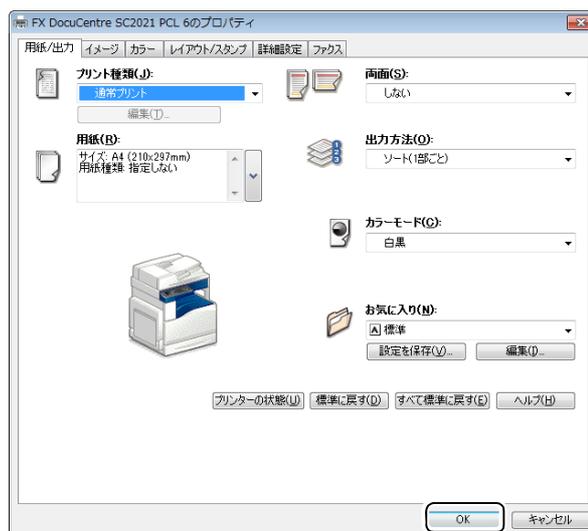
プリントする

プリントの手順について説明します。

プリントの手順はお使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトウェアのマニュアルを参照してください。

ここでは、[FX DocuCentre SC2021] プリントドライバーの画面で説明します。

- 1 アプリケーションソフトウェアの [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
- 2 [FX DocuCentre SC2021 PCL 6] を選択します。
- 3 必要に応じて、[プロパティ] をクリックして各項目を設定します。
 補足 ・プリント機能については、プリントドライバー画面の [ヘルプ] をクリックして表示されるヘルプを参照してください。
- 4 [OK] をクリックします。



- 5 [印刷] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

プリント中の操作

プリント中のジョブをキャンセルすることができます。

プリントジョブをキャンセルする

プリント中のジョブをキャンセルする方法は、次のとおりです。

■ 本機

- 1 <ストップ>ボタンを押すか、タッチパネル上で [削除] を選択します。



■ コンピューター

- 1 タスクバーのプリンターアイコン  をダブルクリックします。
- 2 キャンセルしたい文書を選択し、< Delete >キーを押します。
文書が表示されない場合、本機からキャンセルしてください。

9 仕様設定

各機能には、工場出荷時の値（初期値）が設定されていますが、使用環境に合わせて設定値を変更できます。設定値の変更は、【仕様設定】から行います。

補足 ・お使いの機種によっては表示されない設定があります。関連するオプションを取り付けると確認できるようになります。詳しくは、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

この章では、設定値を変更できる機能について説明します。

- 本機のメニューを理解する 158
- 自動階調補正 199
- パネルロック機能 201
- コピー、ファクス、スキャンへのアクセスを制限する 205
- 節電設定を設定する 208
- ファクスの送受信中に他の機能を使用する 210
- 工場出荷時の設定にリセットする 211

本機のメニューを理解する

本機の [管理者設定] へのアクセスを制限することができます。これにより、管理者が設定したユーザー向け初期値を、他のユーザーが操作パネルを使用して変更するのを防ぐことができます。

ただし、プリントジョブについては、プリントドライバーを使用することにより、初期値を個別に変更することができます。

レポート / リスト

[レポート / リスト] メニューで、各種レポートとリストを印刷できます。

補足 ・* : Model-CPFS およびファクスキットが装着されている Model-CPS でのみ印刷することができます。

システム設定リスト

現在のユーザー初期値、装着済みオプション、メモリー容量を印刷します。

パネル設定リスト

操作パネルメニューのすべての設定を印刷します。

PCL フォントリスト

利用できる PCL フォントのサンプルを印刷します。

ジョブ履歴レポート

プリント、コピー、ファクス、スキャンのジョブ履歴を印刷します。最新の 20 件のジョブが印刷されます。

エラー履歴レポート

紙詰まりや、重大なエラーの履歴を印刷します。

集計管理レポート

合計印刷枚数のレポートを印刷します。

プロトコルモニターレポート

最後の FAX 通信のプロトコル情報を印刷します。

ファクス宛先表 *

ファクス宛先表情報として保存されている、ファクスの宛先を印刷します。

メール宛先表リスト

メール宛先表リスト情報として保存されているメールアドレスを印刷します。

サーバー宛先表リスト

サーバー宛先表リスト情報として保存されているサーバーアドレスを印刷します。

ファクス通信管理レポート *

直近に送受信したファクスのレポートを印刷します。

ファクス蓄積文書リスト*

実行待ちファクスジョブの状態を印刷します。

メーター

コピーした文書や、受信したファクス文書を含めた合計印刷枚数を確認します。

メーター 1	モノクロ出力の合計ページ数が表示されます。
メーター 2	通常は使用しません。
メーター 3	カラー出力の合計ページ数が表示されます。

管理者設定

[管理者設定] メニューで、本機の様々な機能の設定をします。

ファクス宛先表

[ファクス宛先表] メニューで、単局とグループの設定をします。

■ 短縮ダイヤル

頻繁に利用する電話番号を 200 件まで保存できます。

■ 宛先グループ

ファクス送付先のグループを作成し、2桁のダイヤルコードとして登録します。ダイヤルコードは6グループまで登録できます。

PCL 設定

[PCL 設定] メニューを使用して、PCL エミュレーションのプリント言語を使用したジョブに適用される設定を変更します。

補足 ・太字は工場出荷時の設定です。

■ トレイ選択

用紙トレイの初期値を指定します。

自動
トレイ 5 (手差し)
トレイ 1
トレイ 2*

*:[トレイ 2] は、1トレイモジュール (オプション) が装着されている場合のみ、選択可能です。

■ 出力用紙サイズ

用紙サイズの初期値を指定します。

ミリメートル系

<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)
<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)

<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)			
<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)			
<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)			
<input type="checkbox"/> 十六開 (195 × 270 mm)			
<input type="checkbox"/> (11 × 17")			
<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)			
<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")			
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)			
ユーザー定義サイズ	長さ (x)	297 mm	ユーザー定義サイズ用紙の長さを指定します。
		98 ~ 432 mm	
	幅 (y)	210 mm	ユーザー定義サイズ用紙の幅を指定します。
		89 ~ 297 mm	

インチ系

<input type="checkbox"/> (11 × 17")			
<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)			
<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")			
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)			
<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)			
<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)			
<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)			
<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)			
<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)			
<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)			
<input type="checkbox"/> 十六開 (195 × 270 mm)			
ユーザー定義サイズ	長さ (x)	11.7 インチ	ユーザー定義サイズ用紙の長さを指定します。
		3.9 ~ 17.0 インチ	
	幅 (y)	8.3 インチ	ユーザー定義サイズ用紙の幅を指定します。
		3.5 ~ 11.7 インチ	

- 補足
- ・[ユーザー定義サイズ] を用紙サイズとして選択する場合は、用紙の長さ と幅を入力してください。
 - ・非定形サイズの封筒を使用する場合は、フラップ部を除いた封筒の長さを [ユーザー定義サイズ] に入力してください。

■ 原稿の向き

文字や画像の向きを指定します。

たて原稿
よこ原稿

■ 片面 / 両面プリント

用紙の両面印刷の設定をします。

片面	-	片面にのみ印刷します。
両面	短辺 / 長辺とじ	長辺とじ
		短辺とじ
		長辺折りで両面印刷します。
		短辺折りで両面印刷します。

■ デフォルトフォント

本機に登録されたフォントから、初期値のフォントを指定します。

CG Times	LetterGothic	CourierPS
CG Times It	LetterGothic It	CourierPS Ob
CG Times Bd	LetterGothic Bd	CourierPS Bd
CG Times BdIt	Albertus Md	CourierPS BdOb
Univers Md	Albertus XBd	SymbolPS
Univers MdIt	Clarendon Cd	Palatino Roman
Univers Bd	Coronet	Palatino It
Univers BdIt	Marigold	Palatino Bd
Univers MdCd	Arial	Palatino BdIt
Univers MdCdIt	Arial It	ITCBookman Lt
Univers BdCd	Arial Bd	ITCBookman LtIt
Univers BdCdIt	Arial BdIt	ITCBookmanDm
AntiqueOlv	Times New	ITCBookmanDm It
AntiqueOlv It	Times New It	HelveticaNr
AntiqueOlv Bd	Times New Bd	HelveticaNr Ob
CG Omega	Times New BdIt	HelveticaNr Bd
CG Omega It	Symbol	HelveticaNrBdOb
CG Omega Bd	Wingdings	N C Schbk Roman
CG Omega BdIt	Line Printer	N C Schbk It
GaramondAntiqua	Times Roman	N C Schbk Bd
Garamond Krsv	Times It	N C Schbk BdIt
Garamond Hlb	Times Bd	ITC A G Go Bk
GaramondKrsvHlb	Times BdIt	ITC A G Go BkOb
Courier	Helvetica	ITC A G Go Dm
Courier It	Helvetica Ob	ITC A G Go DmOb
Courier Bd	Helvetica Bd	ZapfC MdIt
Courier BdIt	Helvetica BdOb	ZapfDingbats

■ デフォルトシンボル

指定されたフォントに対し、シンボルセットを指定します。

ROMAN-8	WIN L1	ISO-6
ISO L1	WIN L2	ISO-11
ISO L2	WIN L5	ISO-15
ISO L5	DESKTOP	ISO-17
ISO L6	PS TEXT	ISO-21
PC-8	MC TEXT	ISO-60
PC-8 DN	MS PUB	ISO-69
PC-775	MATH-8	WIN 3.0
PC-850	PS MATH	WINBALT
PC-852	PI FONT	SYMBOL
PC-1004	LEGAL	WINGDINGS
PC-8 TK	ISO-4	DNGBTSMS

■ フォントサイズ

フォントサイズを、4.00 ポイントから 50.00 ポイントの間で設定します。工場出荷時は 12.00 ポイントに設定されています。

■ フォントピッチサイズ

フォントピッチを、6.00 ポイントから 24.00 ポイントの間で設定します。工場出荷時は 10.00 ポイントに設定されています。

■ フォント行数

ページ内の行数を設定します。

64* (mm 系) / 60* (inch 系)	値を 1 刻みで設定します。
5-128	

[フォント行数] メニューと [原稿の向き] メニューの設定により、各行間のスペース量（垂直行間）が設定されます。

詳しくは、" 原稿の向き " (P.161) を参照してください。

■ プリント部数

プリント部数の初期値を、1 から 999 の範囲で設定します。初期値は 1 に設定されています。（プリントドライバーで、特定のジョブの印刷部数を設定します。プリントドライバーで設定した値は、操作パネルで設定した値よりも常に優先されます。）

■ イメージエンハンス

イメージエンハンス機能を使用するかどうかを設定します。黒と白の境界をスムーズにし、ギザギザを減らして、印刷品質を向上させます。

しない	イメージエンハンス機能を無効にします。
する	イメージエンハンス機能を有効にします。

■ Hex Dump

プリントジョブの問題の原因を絞り込むのに役立ちます。[Hex Dump] を選択すると、本機に送信されたすべてのデータが 16 進法の文字表示で印刷されます。制御コードは実行されません。

無効	Hex Dump 機能を無効にします。
有効	Hex Dump 機能を有効にします。

■ トナー節約

トナー節約で印刷することにより、トナーを節約します。印刷品質は低下します。

しない	トナー節約を無効にします。
する	トナー節約を有効にします。

■ 行末処理

行末処理コマンドを追加します。

しない	行末処理コマンドは追加されません。 CR=CR、LF=LF、FF=FF
LF を追加	LF コマンドが追加されます。 CR=CR-LF、LF=LF、FF=FF
CR を追加	CR コマンドが追加されます。 CR=CR、LF=CR-LF、FF=CR-LF
CR-XX	CR コマンドと LF コマンドが追加されます。 CR=CR-LF、LF=CR-LF、FF=CR-LF

■ カラーモード

カラーモードをカラーか白黒から選択します。この設定は、プリントモードを指定していないプリントジョブに適用されます。

白黒	白黒モードで印刷します。
カラー	カラーモードで印刷します。

■ 白紙節約

フォームフィードコードのみを含んだ白紙ページを無視するかどうかを設定します。

しない	白紙節約機能を無効にします。
する	白紙節約機能を有効にします。

有線ネットワーク

ネットワークから本機へ送信されたジョブについての設定を変更します。

補足 ・太字は工場出荷時の設定です。

■ Ethernet

ネットワーク設定の確認や変更を行います。

• IP 動作モード

IP モードを設定します。

デュアルスタック	IPv4 と IPv6 の両方を使用し、IP アドレスを設定します。
IPv4	IPv4 を使用し、IP アドレスを設定します。

IPv6	IPv6 を使用し、IP アドレスを設定します。
------	--------------------------

• TCP/IP 設定

TCP/IP 設定をします。

IP アドレスの取得方法	DHCP/AutoIP	IP アドレスを自動で設定します。 「169.254.1.0」から 「169.254.254.255」の範囲で、ネットワーク上で使用されていない数値を IP アドレスとしてランダムに設定します。サブネットマスクは「255.255.0.0」に設定されます。
	BOOTP	IP アドレスを、BOOTP を使用して設定します。
	RARP	IP アドレスを、RARP を使用して設定します。
	DHCP	IP アドレスを、DHCP を使用して設定します。
	直接入力	IP アドレスを操作パネルから手動で設定したい場合に使用します。
IP アドレス	IP アドレスを手動で設定する場合、IP アドレスは「nnn.nnn.nnn.nnn」の形式で本機に割り当てられます。 「nnn.nnn.nnn.nnn」内の、ピリオドで区切られたそれぞれの区分は、0～254 の範囲内の数値です。127 と、224～254 の範囲内の数値は、ゲートウェイアドレスの一つ目の区分には使用できません。	
サブネットマスク	IP アドレスを手動で設定する場合、サブネットマスクは「nnn.nnn.nnn.nnn」の形式で割り当てられます。 「nnn.nnn.nnn.nnn」内の、ピリオドで区切られたそれぞれの区分は、0～255 の範囲内の数値です。「255.255.255.255」はサブネットマスクとして指定できません。	
ゲートウェイアドレス	IP アドレスを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスは「nnn.nnn.nnn.nnn」の形式で割り当てられます。 「nnn.nnn.nnn.nnn」内の、ピリオドで区切られたそれぞれの数値は、0～254 の範囲内の数値です。127 と、224～254 の範囲内の数値はゲートウェイアドレスの一つ目の区分には使用できません。	

• IPsec

補足 ・IPsec 機能は、CentreWare Internet Services で IPsec が有効化されている場合のみ利用できます。

IPsec を無効にします。

無効	IPsec を無効にします。
----	----------------

• 通信速度

補足 ・通信速度機能は、本機がネットワークで接続されている場合のみ利用できます。

Ethernet の通信速度と通信方式の設定をします。本機の電源を切り、再度電源を入れた後に変更が反映されます。

自動	Ethernet の設定を自動で検知します。
10BASE-T (半二重)	10BASE-T 半二重通信に設定します。
10BASE-T (全二重)	10BASE-T 全二重通信に設定します。
100BASE-TX (半二重)	100BASE-TX 半二重通信に設定します。
100BASE-TX (全二重)	100BASE-TX 全二重通信に設定します。

■プロトコル設定

各プロトコルを有効または無効にします。本機の電源を切り、再度電源を入れた後に変更が反映されます。

LPD	無効	Line Printer Daemon (LPD) ポートを無効にします。
	有効	LPD ポートを有効にします。
Port9100	無効	Port9100 ポートを無効にします。
	有効	Port9100 ポートを有効にします。
FTP	無効	FTP ポートを無効にします。
	有効	FTP ポートを有効にします。
IPP	無効	IPP ポートを無効にします。
	有効	IPP ポートを有効にします。
WSD プリント	無効	WSD プリントを無効にします。
	有効	WSD プリントを有効にします。
WSD スキャン	無効	WSD スキャンを無効にします。
	有効	WSD スキャンを有効にします。
SNMP UDP	無効	Simple Network Management Protocol (SNMP) UDP ポートを無効にします。
	有効	SNMP UDP ポートを有効にします。
StatusMessenger	無効	StatusMessenger 機能を無効にします。
	有効	StatusMessenger 機能を有効にします。
InternetServices	無効	本機に搭載された CentreWare Internet Services へのアクセスを無効にします。
	有効	本機に搭載された CentreWare Internet Services へのアクセスを有効にします。
Bonjour (mDNS)	無効	Bonjour (mDNS) を無効にします。
	有効	Bonjour (mDNS) を有効にします。
Telnet	無効	Telnet を無効にします。
	有効	Telnet を有効にします。
宛先表の一括登録	無効	宛先表の一括登録を無効にします。
	有効	宛先表の一括登録を有効にします。
HTTP-SSL/TLS*	無効	HTTP-SSL/TLS を無効にします。
	有効	HTTP-SSL/TLS を有効にします。

*:[HTTP-SSL/TLS] は、CentreWare Internet Services を使用して証明書が作成された場合のみ利用できます。証明書の作成については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

注記 ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はおお客様の負担になりますのでご了承ください。

補足 ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

■ 詳細設定

ネットワークの詳細設定をします。

• 受付 IP アドレス制限

補足 ・受付 IP アドレス制限機能は、[プロトコル設定] で [LPD] または [Port9100] 有効に設定した場合のみ利用できます。

特定の IP アドレスからネットワーク経由で受信したデータをブロックします。IP アドレスは、5 個まで設定できます。本機の電源を切り、再度電源を入れた後に変更が反映されます。

1～5の値	IP アドレス	IP アドレスを設定します。	
	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	
	制限内容	設定しない	受付 IP アドレス制限機能を無効にします。
		許可	指定した IP アドレスからのアクセスを許可します。
禁止		指定した IP アドレスからのアクセスを拒否します。	

• 802.1x

補足 ・802.1x 機能は、本機が LAN ケーブルで接続されていて、CentreWare Internet Services で 802.1x 認証が有効になっている場合のみ利用できます。802.1x の設定については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

注記 ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はおお客様の負担になりますのでご了承ください。

802.1x 認証を無効にします。本機の電源を切り、再度電源を入れた後に変更が反映されます。

無効	802.1x を無効にします。
----	-----------------

■ ネットワーク設定の初期化

不揮発性メモリー (NVM) に保存されたネットワークデータを初期化します。本機能を実行し、本機を再起動すると、すべてのネットワーク設定が初期値にリセットされます。

初期化	NVM に保存されたネットワークデータを初期化します。
-----	-----------------------------

■ 証明書をすべて削除

すべての証明書を消去します。

ファクス設定

基本的なファクス設定をします。

補足 ・太字は工場出荷時の設定です。

■ ファクス回線設定

ファクス回線の基本的な設定をします。

• ファクス番号

ファクスのヘッダーに印刷される本機のファクス番号を設定します。

• 発信元名

ファクスのヘッダーに印刷される、発信元名を確認します。発信元名の設定は、CentreWare Internet Services から行ってください。

- 補足 ・発信元名は、CentreWare Internet Services から以下の手順で入力してください。
 [プロパティ] タブをクリック>左フレームにある [FAX] の [FAX 設定] をクリック> [発信元名] に入力
- ・[発信元名] には、JIS X 0201 (英数字 (半角) と記号 (半角) のみ) および JIS X 0208 に対応する文字を入力できます。詳細は、"入力できる文字一覧" (P.290) を参照してください。
 - ・[発信元名] に入力できる文字は、23 バイト (例: 漢字、ひらがな、カタカナでは 7 文字) までです。
 - ・CentreWare Internet Services については、"CentreWare Internet Services を利用する" (P.42) を参照してください。

• 回線種別

回線種別の初期値を選択します。

- 補足 ・回線についての注意 / 制限は、"ファクス機能使用上の注意 / 制限" (P.287) を参照してください。

PSTN	PSTN を使用します。
PBX	PBX を使用します。

• ラインモニター音

接続が完了するまでに内蔵スピーカーから流れる、ラインモニター音のボリュームを設定します。

なし	ラインモニター音を無効にします。
小	ラインモニター音を最小にします。
中	ラインモニター音を中間に設定します。
大	ラインモニター音を最大に設定します。

• 外付け電話フック検出レベル

電話回線を使用していない場合の、外付け電話のフック検出レベルを設定します。

低	検出レベルを低に設定します。
中	検出レベルを中に設定します。
高	検出レベルを高に設定します。

■ 受信設定

受信するファクスに関する設定をします。

- 受信モード

ファクスの受信モードの初期値を設定します。

手動受信	自動ファクス受信が無効になります。外付け電話の受話器をとり、リモート受信コードを押すか、[オンフック]の[手動受信]を選択し（受信機から音声あるいはファクス受信音が聞こえます）、<スタート>ボタンを押すことにより、ファクスを受信できます。[手動受信]の詳細な情報については、"外付け電話を使用して手動受信する" (P.122) を参照してください。
自動受信ファクス	ファクスを自動で受信します。
自動受信電話 / ファクス	本機にファクスが送信された場合、外付け電話が [自動切換え時間 (電話 / ファクス)] で設定された時間鳴ります。その後、本機が自動的にファクスを受信します。ファクス以外の着信があった場合は、本機の内蔵スピーカーがピープ音を発生し、着信がファクスではなく音声通話であることを知らせます。
自動受信留守電 / ファクス	本機が、留守番電話機などと電話回線を共有する場合に使用します。本機がファクス信号を監視し、ファクス受信音を感知した場合にファクスを受信します。

- 呼び出し音

[受信モード]で[自動受信電話 / ファクス]が選択された状態で、通常の音声着信があった場合に、内蔵スピーカーから流れる着信音のボリュームを設定します。

なし	着信音を無効にします。
小	着信音を最小にします。
中	着信音を中間に設定します。
大	着信音を最大に設定します。

- 自動受信設定

自動ファクス受信の設定をします。

自動受信ファクス	0	着信後、本機がファクス受信モードに移行するまでの時間を設定します。数値は1秒刻みで設定します。
	0-255	
自動受信電話 / ファクス	6	外付け電話に着信後、本機がファクス受信モードに移行するまでの時間を設定します。数値は1秒刻みで設定します。
	0-255	
自動受信留守電 / ファクス	21	外付けの留守番電話に着信後、本機がファクス受信モードに移行するまでの時間を設定します。数値は1秒刻みで設定します。
	0-255	

- 受信制限

ファクス宛先表リストに登録されているファクス番号からのファクスのみを受信し、ファクス宛先表リストに登録されていないファクス番号からのファクスを拒否します。

しない	登録されていないファクス番号からのファクスも受信します。
する	登録されていないファクス番号からのファクスを受信しません。

• **セキュリティー受信**

補足 ・セキュリティー受信機能は、[パネルロック設定] で [有効] が選択されている場合のみ利用できます。

ファクス受信文書印刷時にパスワードの入力を要求するかどうかを設定します。また、パスワードの設定や変更を行います。

セキュリティー受信設定	無効	ファクスの受信にパスワードを要求しません。
	有効	ファクスの受信にパスワードを要求します。
パスワードを変更*	0000-9999	ファクスの受信に使用するパスワードの設定や変更を行います。

*:本機能は、[セキュリティー受信設定] で [有効] が選択されている場合のみ利用できます。

• **ファクス受信転送設定**

補足 ・[プリントしてメール送信] 機能は、Eメール情報と転送先のメールアドレスが登録されている場合のみ利用できます。Eメールについての詳細は、"メール設定を行う" (P.147) を参照してください。また、Eメールの転送アドレスについては CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

・[サーバーに転送] と [プリントしてサーバーに転送] 機能は、共有フォルダーとサーバーの情報にサーバーに転送設定に登録されている場合のみ、ご利用できます。サーバー上の共有フォルダーについての詳細な情報は、"ネットワーク上でスキャン機能を使用する" (P.137) を参照してください。サーバーに転送設定についての詳細な情報は、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

注記 ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

受信したファクスを、指定した宛先に転送するかどうかを設定します。

転送しない		ファクスを転送しません。
転送のみ		受信したファクスを、指定した宛先に転送します。転送中にエラーが起きた場合は、ファクスを印刷します。
プリントして転送	-	受信したファクスを印刷し、かつ指定した宛先に転送します。
	転送番号	受信したファクスの転送先ファクス番号を指定します。
プリントしてメール送信		受信したファクスを印刷し、かつ指定したメールアドレスに転送します。
サーバーに転送		受信したファクスを、指定したサーバーに転送します。
プリントしてサーバーに転送		受信したファクスを印刷し、かつ指定したサーバーに転送します。

• **最大受信サイズ**

受信するファクスのサイズ (幅) を制限します。

自動	適切な用紙サイズを選択して印刷します。
A4	A4 サイズ (幅 210 mm) に制限します。
A4/B4	A4 サイズ (幅 210 mm) と B4 サイズ (幅 257 mm) に制限します。

A4/B4/A3	A4 サイズ (幅 210 mm) と B4 サイズ (幅 257 mm) と A3 サイズ (幅 297 mm) に制限します。
----------	---

- 両面プリント

受信したファクスの両面印刷の設定をします。

しない	両面印刷しません。
する	両面印刷します。

- リモート受信

外付け電話でリモート受信コードを入力することにより、ファクスを受信します。

しない		リモート受信コードによるファクスを受信しません。
する	-	外付け電話でリモート受信コードを押して、ファクスを受信します。
	リモート受信トーン	リモート受信を開始するためのトーンを 2 桁で設定します。

- 自動縮小受信

ファクスされたページが、受信側で用紙に収まらない場合の設定をします。

しない (切り捨て)	用紙に収まらない画像や文字列は、印刷せずに切り捨てます。
しない (改ページ)	用紙に収まらない場合、一定以上の長さの場合に、改ページして複数ページに印刷することがあります。
する	適切な用紙に収まるように、ページを縮小して印刷します。ただし、一定以上の長さの場合には、改ページされることがあります。

■ 送信設定

ファクスの送信に関する設定をします。

- リダイヤル設定

ファクスの自動リダイヤルの設定をします。

リダイヤル回数	3	送信先のファクス番号が通話中の場合に、リダイヤルする回数を設定します。0 を設定した場合、リダイヤルしません。数値は 1 刻みで設定します。
	0-9	
リダイヤル間隔	1	リダイヤルの間隔を設定します。数値は 1 分刻みで設定します。
	1-15	
通信間隔	8	再送信の間隔を設定します。数値は 1 秒刻みで設定します。
	3-255	

- ダイヤル種別

ダイヤル種別を選択します。

PB	トーンダイヤルを使用します。
----	----------------

DP (10PPS)	DP (10PPS) (ダイヤルパルス、1 秒間あたり 10 パルス) をダイヤルタイプとして設定します。
DP (20PPS)	DP (20PPS) (ダイヤルパルス、1 秒間あたり 20 パルス) をダイヤルタイプとして設定します。

- **プレフィックスダイヤル**

プレフィックスダイヤル番号を設定するかどうかを選択します。

付けない	プレフィックスダイヤル番号を設定しません。
付ける	プレフィックスダイヤル番号を設定します。

- **送信シート**

ファクスに表紙を付けるかどうかを設定します。

付けない	ファクスに表紙を付けません。
付ける	ファクスに表紙を付けます。

- **発信元記録**

送信者の情報をファクスのヘッダーに印刷します。

付けない	送信者の情報をファクスのヘッダーに印刷しません。
付ける	送信者の情報をファクスのヘッダーに印刷します。

- **ECM**

Error Correction Mode (ECM) を有効または無効に設定します。ECM を使用するには、相手機も ECM に対応している必要があります。

しない	ECM を無効にします。
する	ECM を有効にします。

- **通信速度**

ファクスのモデム速度を調整します。

2.4 Kbps
4.8 Kbps
9.6 Kbps
14.4 Kbps
33.6 Kbps

- **手動送信時の番号表示**

ファクスを手動で送信する場合に、ファクスの送信画面に受信者のファクス番号を表示するかどうかを設定します。

しない	ファクス番号を表示しません。
する	ファクス番号を表示します。

- **ファクスレポート**

ファクスレポートの設定をします。

- **ファクス通信管理レポート**

ファクスの送受信を 50 件行うごとに、ファクス通信管理レポートを自動で印刷するかどうかを設定します。

自動プリント	ファクス通信管理レポートを自動で印刷します。
プリントしない	ファクス通信管理レポートを自動で印刷しません。

- **モニターレポート**

ファクス送信後、送信結果を印刷するかどうかを設定します。

常にプリント	ファクスを送信する度に送信レポートを印刷します。
エラー時にプリント	エラーが発生したときのみ、送信レポートを印刷します。
プリントしない	送信レポートを印刷しません。

- **同報レポート**

ファクスを複数の宛先に送信後、送信結果を印刷するかどうかを設定します。

常にプリント	ファクスを複数の宛先に送信する度に送信レポートを印刷します。
エラー時にプリント	エラーが発生したときのみ、送信レポートを印刷します。
プリントしない	送信レポートを印刷しません。

- **プロトコルモニターレポート**

通信エラーの原因の特定に役立つ、プロトコルモニターレポートを印刷するかどうかを設定します。

常にプリント	ファクスを送信する度にプロトコルモニターレポートを印刷します。
エラー時にプリント	エラーが発生したときのみ、プロトコルモニターレポートを印刷します。
プリントしない	プロトコルモニターレポートを印刷しません。

システム設定

本機のさまざまな設定を行うことができます。

補足 ・太字は工場出荷時の設定です。

- **一般**

本機の一般的な設定をします。

- **節電設定**

節電モードに移行するまでの時間を設定します。

低電力モード移行時間	1 分	本機がジョブを完了してから低電力モードに移行するまでの時間を設定します。
	1 ~ 150 分	

スリープモード移行時間	0分	本機が低電力モードに移行してからスリープモードに移行するまでの時間を設定します。たとえば、[低電力モード移行時間]を1分、[スリープモード移行時間]を2分に設定すると、低電力モードに入ってから2分後（ジョブ完了から3分後）にスリープモードに移行します。
	0～60分	

[低電力モード移行時間]を1分に設定すると、本機はジョブ完了から1分後に節電モードに移行します。電力は節約できますが、ウォームアップ・タイムが増えます。

本機を日常的に使用する場合は、より長い時間を設定してください。これにより、ウォームアップ・タイムを抑え、本機をすぐに使用できるようになります。

本機がコンピューターからデータを受信したり、相手機からファクスを受信した場合は、節電モードからスタンバイモードに復帰します。このとき、タッチパネルは消灯したままです。操作パネルの<節電>ボタンを押すことで、タッチパネルが点灯します。

• 時刻設定

日時の表示形式を設定します。

タイムゾーン			タイムゾーンを設定します。
日付	-		[形式]設定に応じ、日付を設定します。
	形式	YYYY / MM / DD	日付の表示形式を設定します。
		DD / MM / YYYY	
MM / DD / YYYY			
時刻	-		時刻を設定します。
	形式	12時間	時刻を12時間形式で表示します。
		24時間	時刻を24時間形式で表示します。

• ミリ / インチ切替

操作パネルで表示される数値の単位の初期値を設定します。

ミリメートル (mm)	ミリメートルを初期値として設定します。
インチ (")	インチを初期値として設定します。

• 原稿サイズ検知切替

一般的なサイズの原稿を使用する場合や、本機が原稿サイズを検知するよう設定されている場合に、自動検知される用紙サイズを設定します。

補足 ・本設定は、原稿送り装置からスキャンした際にのみ適用されます。

原稿サイズ設定	AB系(八開/十六開)	AB系(八開/十六開)の原稿が自動検知されます。
	インチ系	inch系の原稿が自動検知されます。

原稿サイズ切り替え 1	8.5 × 13"	8.5 × 13" を、自動検知される原稿サイズとして設定します。
	8.5 × 14"	8.5 × 14" を、自動検知される原稿サイズとして設定します。
原稿サイズ切り替え 2	B5	B5 を、自動検知される原稿サイズとして設定します。
	十六開	十六開を、自動検知される原稿サイズとして設定します。

- **画面輝度調整**

操作パネルの輝度を調整します。

5	輝度を 10 段階で設定します。10 が最も明るくなります。
1-10	

- **通知音**

操作音や警告メッセージの表示音を設定します。

パネル正常入力音	なし	操作が正しいときに音を発しません。
	小	操作が正しいときに音を発します。
	中	
	大	
パネル異常入力音	なし	操作を誤ったときに音を発しません。
	小	操作を誤ったときに音を発します。
	中	
	大	
準備完了音	なし	本機がジョブの処理を行える状態になったときに音を発しません。
	小	本機がジョブの処理を行える状態になったときに音を発します。
	中	
	大	
コピー正常終了音	なし	コピーが完了したときに音を発しません。
	小	コピーが完了したときに音を発します。
	中	
	大	
その他の正常終了音	なし	コピー以外のジョブが完了したときに音を発しません。
	小	コピー以外のジョブが完了したときに音を発します。
	中	
	大	

異常終了音	なし	ジョブが異常終了したときに音を発しません。
	小	ジョブが異常終了したときに音を発します。
	中	
	大	
警告音	なし	エラーが発生したときに音を発しません。
	小	エラーが発生したときに音を発します。
	中	
	大	
用紙切れ警告音	なし	用紙切れが発生したときに音を発しません。
	小	用紙切れが発生したときに音を発します。
	中	
	大	
トナー残量警告音	なし	トナー残量が少ないときに音を発しません。
	小	トナー残量が少ないときに音を発します。
	中	
	大	
オートクリア警告音	なし	本機がオートクリアを行う 5 秒前に音を発しません。
	小	本機がオートクリアを行う 5 秒前に音を発します。
	中	
	大	
すべての通知音	なし	すべての警告音を無効にします。
	小	すべての警告音量を一括で設定します。
	中	
	大	

• トナー残量警告メッセージ

トナー残量が少ない場合に、警告メッセージを表示するかどうかを設定します。

しない	警告メッセージを表示しません。
する	警告メッセージを表示します。

• オフフックでの節電解除

外付け電話の受話器を取ったときに、低電力モードまたはスリープモードから復帰するかどうかを設定します。

しない	復帰しません。
する	復帰します。

- ジョブ履歴レポート

20 ジョブごとに、ジョブ履歴レポートを自動的に印刷します。

しない	印刷しません。
する	印刷します。

ジョブ履歴レポートは、[レポート / リスト] メニューから印刷することもできます。

- サーバーのファクス宛先表検索

電話番号を、LDAP サーバー用のアドレス帳から検索するかどうかを設定します。

しない	検索しません。
する	検索します。

- サーバーのメール宛先表検索

E メールアドレスを、LDAP サーバー用のアドレス帳から検索するかどうかを設定します。

しない	検索しません。
する	検索します。

- 送信メールの最大サイズ

Eメールの最大容量を設定します。

送信メールの最大サイズ	2048 KB
	50-16384 KB

- タイマー

タイマーの設定をします。

- オートクリア移行時間

コピー、スキャン、ファクス、Eメール、およびプリントの設定が一定時間行われなかった場合、設定を初期設定にリセットし、スタンバイモードに移行します。

45 秒
1 分
2 分
3 分
4 分

- エラージョブの自動解除

異常停止したジョブを本機がキャンセルするまでの待機時間を設定します。待機時間を過ぎると、プリントジョブはキャンセルされます。

しない	エラージョブの自動解除を無効にします。	
する	60 秒	異常停止したジョブを本機がキャンセルするまでの待機時間を設定します。
	3 ~ 300 秒	

■ 出力設定

本機からの出力に関する設定をします。

• 出力用紙サイズの初期値

用紙サイズの初期値を指定します。

A4
8.5 × 11

• ID プリント

ユーザー ID が印刷される場所を設定します。

しない	印刷しません。
左上	ページの左上に印刷します。
右上	ページの右上に印刷します。
左下	ページの左下に印刷します。
右下	ページの右下に印刷します。

補足 ・DL サイズの用紙に印刷する場合、ユーザー ID の一部が正しく印刷されないことがあります。

• テキストプリント

本機が対応していない PDL データを受信した場合、テキストとして出力するかどうかを設定します。テキストは A4 またはレターサイズで印刷されます。

しない	受信したデータを印刷しません。
する	受信したデータをテキストとして印刷します。

• バナーシート出力

補足 ・バナーシート出力機能は、本機に 1 トレイモジュール (オプション) が装着されている場合のみ利用できます。

バナーシートの位置と、バナーシートをセットする用紙トレイを設定します。

挿入位置	挿入しない	バナーシートを印刷しません。
	先頭	各ジョブの 1 ページ目より前に挿入します。
	最終	各ジョブの最終ページの後に挿入します。
	先頭と最終	各ジョブの 1 ページ目より前と、最終ページの後に挿入します。
用紙トレイ選択	トレイ 5 (手差し)	バナーシートをトレイ 5 (手差し) にセットします。
	トレイ 1	バナーシートをトレイ 1 にセットします。
	トレイ 2	バナーシートをトレイ 2 にセットします。

• 用紙の置き換え

指定した用紙トレイ内の用紙サイズが、ジョブの用紙サイズ設定と異なる場合に、他のサイズの用紙を使用するかどうかを設定します。

しない	用紙サイズの変更を行いません。
-----	-----------------

より大きいサイズ	ジョブの用紙サイズより大きいサイズの用紙を代用します。大きいサイズの用紙がない場合、一番近いサイズの用紙を代用します。
近いサイズ	一番近いサイズの用紙を代用します。
トレイ 5 (手差し)	トレイ 5 (手差し) の用紙を代用します。

- **レターヘッド両面プリント**

レターヘッドを使用する場合に、両面に印刷するかどうかを設定します。

しない	両面に印刷しません。
する	両面に印刷します。

- **レポート両面プリント**

レポートを用紙の両面に印刷するかどうかを設定します。

片面	片面にのみ印刷します。
両面	両面に印刷します。

- **コピー集計管理**

使用できるコピー機能を、ユーザー認証でユーザーごとに制限するかどうかを設定します。

しない	制限しません。
する	制限します。

- **プリント集計管理**

使用できるプリント機能を、ユーザー認証でユーザーごとに制限するかどうかを設定します。

しない	制限しません。
する	制限します。

- **未認証ユーザーのプリント**

認証情報なしでデータの印刷を許可するかどうかを設定します。

禁止	アカウントのないユーザによる印刷を許可しません。
許可	アカウントのないユーザによる印刷を許可します。

- **強制白黒プリント**

カラーで印刷するよう設定されたプリントジョブを白黒印刷するかどうかを設定します。

しない	カラー印刷します。
する	白黒印刷します。

メンテナンス

NV (不揮発性) メモリーの初期化、普通紙の品質設定、セキュリティー設定を行うことができます。

補足 ・太字は工場出荷時の設定です。

■用紙種類調整

用紙種類を設定します。

普通紙	薄め
	厚め
ラベル紙	薄め
	厚め

■1次転写電圧オフセット調整

ゴーストが発生した場合に調整します。(ゴーストは、前のページや印刷中のページの内容の一部が現れる現象です。)

0	ゴーストがかすかに現れる場合、数値を下げてください。
(うすく) -5->+5 (こく)	

■2次転写電圧オフセット調整

用紙タイプごとに、転写電圧を設定します。

工場出荷時の設定では、すべての用紙タイプで最適な出力ができるとは限りません。出力結果に斑点がある場合は、電圧を上げてください。出力結果に白点がある場合は、電圧を下げてください。

補足 ・本設定の設定値によって印刷品質が変化します。

普通紙 (60-90 g/m ²)	0
	(うすく) -5->+10 (こく)
上質紙 (90-105 g/m ²)	0
	(うすく) -5->+10 (こく)
再生紙 (60-89 g/m ²)	0
	(うすく) -5->+10 (こく)
厚紙 1 (106-169 g/m ²)	0
	(うすく) -5->+10 (こく)
厚紙 2 (170-256 g/m ²)	0
	(うすく) -5->+10 (こく)
コート紙 1 (106-169 g/m ²)	0
	(うすく) -5->+10 (こく)
コート紙 2 (170-256 g/m ²)	0
	(うすく) -5->+10 (こく)
ラベル紙 (106-256 g/m ²)	0
	(うすく) -5->+10 (こく)
はがき	0
	(うすく) -5->+10 (こく)
封筒	0
	(うすく) -5->+10 (こく)

■ アライメント調整

印字位置の調整を行います。

リード / サイドレジ調整	トレイ 5 (手差し)	リードレジ (X)	0.0 mm -2.0->2.0mm	
		サイドレジ (Y)	0.0 mm -2.0->2.0mm	
	トレイ 1	リードレジ (X)	0.0 mm -2.0->2.0mm	
		サイドレジ (Y)	0.0 mm -2.0->2.0mm	
	トレイ 2*	リードレジ (X)	0.0 mm -2.0->2.0mm	
		サイドレジ (Y)	0.0 mm -2.0->2.0mm	
	両面ユニット	リードレジ (X)	0.0 mm -2.0->2.0mm	
		サイドレジ (Y)	0.0 mm -2.0->2.0mm	
	直角度調整	直角度		0.0 mm -1.0->1.0mm

*:[トレイ 2] は、1トレイモジュール (オプション) が装着されている場合のみ、選択可能です。

■ 自動レジ調整

色の位置合わせを行います。

■ 濃度補正

濃度補正を行います。

■ NVM の初期化

システムパラメーター、ファクスのアドレス帳、スキャンのアドレス帳が記憶されている不揮発性 (NV) メモリーを初期化します。本機能を実行し本機を再起動すると、メニューのパラメーターやデータが工場出荷時の設定に初期化されます (ネットワーク関連のパラメーターを除く)。

ファクス設定	初期化	アドレス帳の電話番号を初期化します。
スキャン設定	初期化	アドレス帳の、Eメールとサーバーアドレスを初期化します。
システム設定	初期化	システムパラメーターを初期化します。

■ プリント用カウンターの初期化

本機のプリントメーターを初期化します。プリントメーターを初期化すると、カウントが「0」になります。

初期化	プリントメーターを初期化します。
-----	------------------

■ カスタムトナーモード

通常使用しません。工場出荷時設定（オフ）のままご使用ください。契約形態によっては使用する場合があります。

■ 高地使用設定

本機を設置する場所の高度を設定します。

本機が使用されている場所の高度を入力することで、調整が行われます。

補足 ・ 高度調整を正しく行わないと、印刷品質の低下や、トナー残量の誤表示などの問題が発生するおそれがあります。

0 m	本機を設置する場所の高度を設定します。
1000 m	
2000 m	
3000 m	
4000 m	
5000 m	

■ ジョブ履歴の初期化

ジョブ履歴をすべてクリアします。

■ タッチパネル補正

タッチパネルの補正を行います。

セキュリティ設定

パスワードを設定して、メニューへのアクセスを制限します。これにより、設定が誤って変更されてしまうことを防ぎます。

補足 ・ 太字は工場出荷時の設定です。

■ パネルロック

[管理者設定] へのアクセスを、パスワードで制限します。また、パスワードの設定や変更を行います。

詳しくは、" パネルロック機能 " (P.201) を参照してください。

パネルロック設定	無効	[管理者設定] のパスワード保護を無効にします。
	有効	[管理者設定] のパスワード保護を有効にします。
パスワードの変更*	0000-9999	[管理者設定] へのアクセスに使用するパスワードの設定や変更を行います。

*:本機能は、[パネルロック設定] で [有効] が選択されている場合のみ利用できます。

■ サービスロック

補足 ・ サービスロック機能は、[パネルロック設定] で [有効] が選択されている場合のみ利用できます。

詳細について: " コピー、ファクス、スキャンへのアクセスを制限する " (P.205)

各サービスを有効または無効にしたり、パスワードを設定したりします。

コピー	有効	コピーサービスを有効にします。
	パスワードでロック	コピーサービスを有効にしますが、サービスを使用するときにパスワードを要求します。
	カラーのみロック	カラーのコピーサービスを使用するときにパスワードを要求します。
	無効	コピーサービスを無効にします。
メール送信	有効	Eメールサービスを有効にします。
	パスワードでロック	Eメールサービスを有効にしますが、サービスを使用するときにパスワードを要求します。
	無効	Eメールサービスを無効にします。
ファクス	有効	ファクスサービスを有効にします。
	パスワードでロック	ファクスサービスを有効にしますが、ファクスを送信するときにパスワードを要求します（ファクスを受信するときは、パスワードは不要です）。
	無効	ファクスサービスを無効にします（本機のファクス送受信機能が無効になります）。
ダイレクトファクス	許可	ダイレクトファクスサービスを有効にします。
	禁止	ダイレクトファクスサービスを無効にします。
スキャナー（ネットワーク転送）	有効	スキャナー（ネットワーク転送）サービスを有効にします。
	パスワードでロック	スキャナー（ネットワーク転送）サービスを有効にしますが、サービスを使用するときにパスワードを要求します。
	無効	スキャナー（ネットワーク転送）サービスを無効にします。
スキャナー（WSD送信）*	有効	スキャナー（WSD送信）サービスを有効にします。
	パスワードでロック	スキャナー（WSD送信）サービスを有効にしますが、サービスを使用する際にパスワードを要求します。
	無効	スキャナー（WSD送信）サービスを無効にします。
PC スキャン	有効	PC スキャンサービスを有効にします。
	パスワードでロック	PC スキャンサービスを無効にします。
	無効	PC スキャンサービスを無効にします。
ID カードコピー	有効	ID カードコピーサービスを有効にします。
	無効	ID カードコピーサービスを無効にします。

*:「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

■ スキャナー（メール送信）送信者編集

メール送信先機能を使用する場合、データを編集可能とするかどうかを設定します。

無効	編集を無効にします。
有効	編集を有効にします。

■ 送信時宛先確認

補足 ・ [送信時宛先確認] メニューにて [送信時宛先確認] を選択した場合、宛先はアドレス帳からのみ選択できます。アドレスやファクス番号を直接入力することはできません。

ファクスまたはスキャン送信の前に宛先を確認するかどうかを設定します。

確認しない	ジョブを送信する前に、宛先の確認画面を表示しません。
確認する	ジョブを送信する前に、宛先の確認画面を表示します。

■ メール送信宛先制限

補足 ・ CentreWare Internet Services の SMTP メール送信宛先制限からドメインを設定します。

E メールを指定のドメインにのみ送るかどうかを設定します。

しない	メール送信宛先制限を無効にします。
する	指定のドメインにのみ Eメールの送信を許可します。

■ ソフトウェアダウンロード

ファームウェアアップデートのダウンロードを有効または無効にします。

禁止	無効にします。
許可	有効にします。

■ ネットワーク情報表示設定

メニュー画面のメッセージフィールドに、ネットワーク情報を表示するかどうかを設定します。

IPv4 アドレス	メニュー画面に、本機の IPv4 アドレスを表示します。
ホスト名	メニュー画面に、本機のホスト名を表示します。
表示しない	メニュー画面に、ネットワーク情報を表示しません。

■ 認証失敗回数

補足 ・ 認証失敗回数機能は、[パネルロック設定] で [有効] が選択されている場合のみ利用できます。

[管理者設定] と [レポート / リスト] メニューに管理者としてログインする場合の、パスワード入力回数の上限を設定します。

設定しない		管理者としてログインする際、パスワードの入力試行回数の上限を設定しません。
設定する	5	管理者としてログインする際、パスワードの入力試行回数の上限を設定します。
	1-10	

初期値設定

[初期値設定] メニューでは、コピー、スキャン、ファクスの初期値を設定します。

コピー設定

コピーメニューの初期値を設定します。

補足 ・太字は工場出荷時の設定です。

■ カラーモード

カラー印刷か白黒印刷かを選択します。

フルカラー	カラーモードでコピーします。
白黒	白黒モードでコピーします。

■ トレイ選択

用紙トレイを選択します。

自動	用紙トレイを自動的に選択します。
トレイ 5 (手差し)	トレイ 5 (手差し) から給紙します。
トレイ 1	トレイ 1 から給紙します。
トレイ 2*	トレイ 2 から給紙します。

*:[トレイ 2] は、1トレイモジュール (オプション) が装着されている場合のみ、選択可能です。

■ 仕分け

コピージョブをソートするための設定をします。

自動	コピージョブの出力モードを自動で決定します。
ソート (1 部ごと)	コピージョブをソートします。
スタック (ページごと)	コピージョブをソートしません。

■ 倍率選択

コピーの縮小 / 拡大率の初期値を設定します。

ミリメートル系

100%
自動 %
50% A3 → A5
70% A3 → A4、B4 → B5
81% B4 → A4、B5 → A5
86% A3 → B4、A4 → B5
115% B4 → A3、B5 → A4
122% A4 → B4、A5 → B5
141% A4 → A3、B5 → B4
200% A5 → A3

インチ系

100%
自動%
64% 8.5 × 11" → 5.5 × 8.5"
70% A3 → A4、B4 → B5
78% 8.5 × 14" → 8.5 × 11"
94% A3 → 11 × 17"、A4 → 8.5 × 11"
129% 8.5 × 11" → 8.5 × 14"
141% A4 → A3、B5 → B4
180% 4 × 6" → 8.5 × 11"
200% A5 → A3

- 補足
- ・数字ボタンを使い、25%から400%の間で倍率を直接入力することも可能です。また、[] または [] で拡大率を増減することもできます（1%刻み）。
 - ・本機能は、[まとめて1枚] で [しない] が選択されている場合のみ利用できます。

■原稿サイズ

原稿サイズの初期値を指定します。

ミリメートル系

自動
<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)
<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (297 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (257 × 182 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)
<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (270 × 195 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (195 × 270 mm)
<input type="checkbox"/> (11 × 17")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)
<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)

インチ系

自動
<input type="checkbox"/> (11 × 17")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)

<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)
<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)
<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (297 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (257 × 182 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)
<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (270 × 195 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (195 × 270 mm)

■ 原稿の画質

コピー画質を選択します。

文字 / 写真	文字と写真が混在した原稿に適しています。
文字	テキストを含む原稿に適しています。
写真	写真を含む原稿に適しています。

■ 濃度調整

コピー濃度レベルの初期値を設定します。

こく +3	原稿よりも濃い濃度でコピーします。淡い色の原稿や、薄い鉛筆で書かれた原稿などに適しています。
こく +2	
こく +1	
ふつう	標準的な原稿に適しています。
うすく +1	原稿よりも薄い濃度でコピーします。濃い色の原稿に適しています。
うすく +2	
うすく +3	

■ シャープネス

シャープネスの初期値を設定します。

つよく	原稿よりもシャープな画質でコピーします。
ふつう	画質を変えずにコピーします。
よわく	原稿よりもソフトな画質でコピーします。

■ 彩度

彩度の初期値を設定します。

つよく	原稿より色の鮮やかさの度合いを強くしてコピーします。
ふつう	画質を変えずにコピーします。

よわく	原稿より色の鮮やかさの度合いを弱くしてコピーします。
-----	----------------------------

■地色除去

原稿の地色を除去し、文字を見やすくするための設定をします。

しない	地色を除去しません。
する	地色を除去します。

■地色除去レベル

地色除去のレベルを設定します。

ふつう	[ふつう] に設定します。
ややつよく	[ややつよく] に設定します。
つよく	[つよく] に設定します。

■カラーバランス

カラーバランスの初期値を、-3 から +3 の間で設定します。

イエロー	低濃度	0	低濃度のイエローのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	
	中濃度	0	中濃度のイエローのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	
	高濃度	0	高濃度のイエローのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	
マゼンタ	低濃度	0	低濃度のマゼンタのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	
	中濃度	0	中濃度のマゼンタのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	
	高濃度	0	高濃度のマゼンタのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	
シアン	低濃度	0	低濃度のシアンのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	
	中濃度	0	中濃度のシアンのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	
	高濃度	0	高濃度のシアンのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	
ブラック	低濃度	0	低濃度のブラックのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	
	中濃度	0	中濃度のブラックのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	
	高濃度	0	高濃度のブラックのカラーバランスを調整します。
		-3 -> +3	

■両面 / 片面選択

両面コピーの設定をします。

片面 -> 片面			片面原稿を用紙の片面にコピーします。
片面 -> 両面	-		片面原稿を用紙の両面にコピーします。
	とじ方向	長辺とじ	長辺とじで両面コピーします。
		短辺とじ	短辺とじで両面コピーします。
両面 -> 片面	-		両面原稿を用紙の片面にコピーします。
	とじ方向	長辺とじ	長辺とじで両面コピーします。
		短辺とじ	短辺とじで両面コピーします。
両面 -> 両面	-		両面原稿を用紙の両面にコピーします。
	とじ方向	長辺とじ	長辺とじで両面コピーします。
		短辺とじ	短辺とじで両面コピーします。

■まとめて1枚

2 ページ分の原稿を、1 ページにまとめてコピーするための設定をします。

しない	まとめて1枚を行いません。
2 アップ	2 ページ分の原稿を、1 ページにまとめてコピーします。

■わく消し

上下の余白を設定します。

上下	2 mm (0.1 インチ)	値を 1 mm (0.1 インチ) 刻みで設定します。
	0-50 mm (0.0-2.0 インチ)	
左右	2 mm (0.1 インチ)	値を 1 mm (0.1 インチ) 刻みで設定します。
	0-50 mm (0.0-2.0 インチ)	
中央	0 mm (0.0 インチ)	値を 1 mm (0.1 インチ) 刻みで設定します。
	0-50 mm (0.0-2.0 インチ)	

スキャン設定

[スキャン] メニューと [E メール] メニューの初期値を変更します。

補足 ・太字は工場出荷時の設定です。

■ファイル形式

スキャンデータのファイル形式を設定します。

PDF
マルチページ TIFF
TIFF (ページごとに1ファイル)
JPEG (ページごとに1ファイル)
XDW

■ カラーモード

スキャンするときの色設定を、カラー、白黒、グレースケールから選択します。

補足 ・[カラーモード] で [白黒] を選択した場合は、[ファイル形式] で [JPEG] を選択できません。

カラー	カラーでスキャンします。
白黒	白黒でスキャンします。
グレースケール	グレースケールでスキャンします。

■ 解像度

スキャン解像度の初期値を設定します。

200 dpi
300 dpi
400 dpi
600 dpi

補足 ・[カラーモード] で [カラー] を選択した場合は、[600 dpi] は選択できません。

■ 原稿サイズ

原稿サイズの初期値を指定します。

ミリメートル系

自動
<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)
<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (297 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (257 × 182 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)
<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (270 × 195 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (195 × 270 mm)
<input type="checkbox"/> (11 × 17")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)
<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)

インチ系

自動
<input type="checkbox"/> (11 × 17")

<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)
<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)
<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)
<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (297 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (257 × 182 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)
<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (270 × 195 mm)
<input type="checkbox"/> 十六開 (195 × 270 mm)

■ 両面原稿送り

両面スキャンを設定します。

片面			原稿の片面をスキャンします。
両面	とじ方向 *	長辺とじ	長辺とじで両面スキャンします。
		短辺とじ	短辺とじで両面スキャンします。

*: [スキャン設定] メニューで、[両面スキャン] が [両面] に設定されている場合のみ利用できます。

■ 濃度調整

スキャン濃度の初期値を設定します。

こく +3	原稿よりも濃い濃度でスキャンします。淡い色の原稿や、薄い鉛筆で書かれた薄い原稿などに適しています。
こく +2	
こく +1	
ふつう	標準的な原稿に適しています。
うすく +1	原稿よりも薄い濃度でスキャンします。濃い色の原稿に適しています。
うすく +2	
うすく +3	

■ シャープネス

シャープネスの初期値を設定します。

つよく	原稿よりもシャープな画質でスキャンします。
ふつう	画質を変えずにスキャンします。
よわく	原稿よりもソフトな画質でスキャンします。

■ コントラスト

色の量を調整して、コントラストを原稿よりも強くまたは弱くします。

つよく	コントラストを原稿よりも強くします。
ふつう	画質を変更しません。
よわく	コントラストを原稿よりも弱くします。

■ 地色除去

スキャンデータの地色を除去します。

しない	地色を除去しません。
する	地色を除去します。

■ 地色除去レベル

文字を見やすくするため、スキャン画像の背景にある地色を除去します。

ふつう	[ふつう] に設定します。
ややつよく	[ややつよく] に設定します。
つよく	[つよく] に設定します。

■ わく消し

上下の余白を設定します。

上下	2 mm (0.1 インチ)	値を 1 mm (0.1 インチ) 刻みで設定します。
	0-50 mm (0.0-2.0 インチ)	
左右	2 mm (0.1 インチ)	値を 1 mm (0.1 インチ) 刻みで設定します。
	0-50 mm (0.0-2.0 インチ)	
中央	0 mm (0.0 インチ)	値を 1 mm (0.1 インチ) 刻みで設定します。
	0-50 mm (0.0-2.0 インチ)	

■ TIFF ファイル形式

TIFF ファイル形式の初期値を設定します。

TIFF V6	TIFF V6 に設定します。
TTN2	TTN2 に設定します。

■ 画質 / ファイルサイズ

画質 / ファイルサイズを設定します。

低画質 / 小さく	[低画質 / 小さく] に設定します。
標準画質 / ふつう	[標準画質 / ふつう] に設定します。
高画質 / 大きく	[高画質 / 大きく] に設定します。

■ ファイル名

ファイル名に接頭辞や拡張子を付けるかどうかを設定します。

自動	接頭辞や拡張子を付けません。
----	----------------

プレフィックスを付ける	接頭辞を付けます。
サフィックスを付ける	拡張子を付けます。

■ フォルダーを作成

スキャンデータを保存するときに、フォルダーを作成するかどうかを設定します。

しない	フォルダーを作成しません。
する	フォルダーを作成します。

ファクス設定

[ファクス]メニューの初期値を設定します。

補足 ・太字は工場出荷時の設定です。

■ 送信画質

スキャン解像度を設定し、出力品質を向上させるための設定をします。

標準画質	文字が標準サイズの原稿に適しています。
高画質	小さな文字や細かい図がある原稿に適しています。
超高画質	非常に細かい文字や画像のある原稿に適しています。相手機が超高画質モードに対応している場合のみ有効です。補足をご確認ください。
写真	写真画像のある原稿に適しています。

補足 ・超高画質モードでファクスを送信すると、相手機は最高解像度で受信します。

■ 両面原稿送り

両面スキャンを設定します。

片面			原稿の片面をスキャンします。
両面	とじ方向*	長辺とじ	長辺とじで両面スキャンします。
		短辺とじ	短辺とじで両面スキャンします。

*: [スキャン設定]メニューで、[両面スキャン]が[両面プリント]に設定されている場合のみ利用できます。

■ 濃度調整

スキャン濃度の初期値を設定します。

こく +3	淡い色の原稿や、薄い鉛筆で書かれた原稿などに適しています。
こく +2	
こく +1	
ふつう	標準的な原稿に適しています。
うすく +1	濃い色の原稿に適しています。
うすく +2	
うすく +3	

■ 読み取りサイズ

原稿サイズの初期値を指定します。

ミリメートル系

自動
<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)
<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)
<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)
<input type="checkbox"/> (11 × 17")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)
<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)

インチ系

自動
<input type="checkbox"/> (11 × 17")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)
<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")
<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)
<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)
<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)
<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)
<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)
<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)
<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)

■時刻指定通信

指定した時間にファクスを送信することができます。いったん [時刻指定送信] モードを設定すると、送信ファクス文書はメモリーに保存され、指定した時刻にまとめて送信されます。[時刻指定送信] モードでのファクス送信が完了すると、メモリー内のデータは消去されます。

21:00/9:00 PM	ファクス送信を開始する時刻を設定します。
0:00 - 23:59 /	
1:00 - 12:59 AM/PM	

補足 ・19 件までの予約ジョブを本機に保存できます。

トレイ管理

トレイにセットする用紙の設定をします。

補足 ・太字は工場出荷時の設定です。

トレイ設定

用紙トレイの設定をします。

■トレイ 5 (手差し)

トレイ 5 (手差し) にセットする用紙の設定をします。

設定画面を表示する	チェックを入れると、用紙をトレイ 5 (手差し) にセットしたときに、用紙の種類とサイズの入力を求めるメッセージが表示されます。工場出荷時の設定はオン (チェックあり) です。		
ドライバーの設定に従う	チェックを入れると、プリントドライバーで設定された用紙の種類とサイズを使用します。工場出荷時の設定はオン (チェックあり) です。		
サイズ (mm 系)	<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)		
	<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)		
	<input type="checkbox"/> A4 (297 × 210 mm)		
	<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)		
	<input type="checkbox"/> B5 (257 × 182 mm)		
	<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)		
	<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)		
	<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)		
	<input type="checkbox"/> 十六開 (270 × 195 mm)		
	<input type="checkbox"/> 十六開 (195 × 270 mm)		
	<input type="checkbox"/> (11 × 17")		
	<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)		
	<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")		
	<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)		
	<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)		
	ユーザー定義サイズ	長さ (x)	210 mm 98 ~ 432 mm
幅 (y)		297 mm 89 ~ 297 mm	

サイズ (インチ系)	<input type="checkbox"/> (11 × 17")			
	<input type="checkbox"/> 8.5 × 14" (リーガル)			
	<input type="checkbox"/> (8.5 × 13")			
	<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)			
	<input type="checkbox"/> 8.5 × 11" (レター)			
	<input type="checkbox"/> A3 (297 × 420 mm)			
	<input type="checkbox"/> B4 (257 × 364 mm)			
	<input type="checkbox"/> A4 (297 × 210 mm)			
	<input type="checkbox"/> A4 (210 × 297 mm)			
	<input type="checkbox"/> B5 (257 × 182 mm)			
	<input type="checkbox"/> B5 (182 × 257 mm)			
	<input type="checkbox"/> A5 (148 × 210 mm)			
	<input type="checkbox"/> 八開 (270 × 390 mm)			
	<input type="checkbox"/> 十六開 (270 × 195 mm)			
	<input type="checkbox"/> 十六開 (195 × 270 mm)			
	ユーザー定義サイズ	長さ (x)	8.3 インチ	ユーザー定義サイズの長さを設定します。
			3.9-17.0"	
幅 (y)		11.7 インチ	ユーザー定義サイズの幅を設定します。	
		3.5-11.7"		

用紙の種類	普通紙 (60-90 g/m ²)
	普通紙 (うら面)
	上質紙 (90-105 g/m ²)
	上質紙 (うら面)
	再生紙 (60-89 g/m ²)
	再生紙 (うら面)
	穴あき紙 (60-89 g/m ²)
	レターヘッド (60-89 g/m ²)
	厚紙 1 (106-169 g/m ²)
	厚紙 1 (うら面)
	厚紙 2 (170-256 g/m ²)
	厚紙 2 (うら面)
	コート紙 1 (106-169 g/m ²)
	コート紙 1 (うら面)
	コート紙 2 (170-256 g/m ²)
	コート紙 2 (うら面)
	ラベル紙 (106-256 g/m ²)
	プレプリント紙 (60-89 g/m ²)
	色紙 (60-89 g/m ²)
	はがき
はがき (うら面)	
封筒	

■トレイ 1

トレイ 1 にセットする用紙の設定をします。

設定画面を表示する	チェックを入れると、用紙をトレイ 1 にセットしたときに、用紙の種類とサイズの入力を求めるメッセージが表示されます。工場出荷時の設定はオン (チェックあり) です。
用紙の種類	普通紙 (60-90 g/m ²)
	普通紙 (うら面)
	再生紙 (60-89 g/m ²)
	再生紙 (うら面)
	穴あき紙 (60-89 g/m ²)
	レターヘッド (60-89 g/m ²)
	プレプリント紙 (60-89 g/m ²)
	色紙 (60-89 g/m ²)

■トレイ 2

補足 ・トレイ 2 は、1 トレイモジュール (オプション) が装着されている場合のみ、選択可能です。

トレイ 2 にセットする用紙の設定をします。

設定画面を表示する	チェックを入れると、用紙をトレイ 2 にセットしたときに、用紙の種類とサイズの入力を求めるメッセージが表示されます。工場出荷時の設定はオン(チェックあり)です。		
用紙サイズ	自動検知		
	ユーザー定義サイズ	長さ (x)	210 mm (8.3 インチ) 182 ~ 432 mm (7.2-17.0 インチ)
		幅 (y)	297 mm (11.7 インチ) 140 ~ 297 mm (5.5-11.7 インチ)
			ユーザー定義サイズの長さを設定します。
			ユーザー定義サイズの幅を設定します。
用紙の種類	普通紙 (60-90 g/m ²)		
	普通紙 (うら面)		
	上質紙 (90-105 g/m ²)		
	上質紙 (うら面)		
	再生紙 (60-89 g/m ²)		
	再生紙 (うら面)		
	穴あき紙 (60-89 g/m ²)		
	レターヘッド (60-89 g/m ²)		
	厚紙 1 (106-169 g/m ²)		
	厚紙 1 (うら面)		
	厚紙 2 (170-256 g/m ²)		
	厚紙 2 (うら面)		
	コート紙 1 (106-169 g/m ²)		
	コート紙 1 (うら面)		
	コート紙 2 (170-256 g/m ²)		
	コート紙 2 (うら面)		
	ラベル紙 (106-256 g/m ²)		
	プレプリント紙 (60-89 g/m ²)		
	色紙 (60-89 g/m ²)		

補足 ・非定形サイズの封筒を使用する場合は、フラップ部を除いた封筒のサイズを [ユーザー定義サイズ] に入力してください。

トレイの優先順位

自動トレイ選択時の、用紙トレイの優先順位を設定します。複数の用紙トレイに同じサイズと種類の用紙がセットされている場合は、この優先順位によって用紙トレイが選択されます。

1 番目	トレイ 5 (手差し)	トレイ 5 (手差し) を第 1 優先に設定します。
	トレイ 1	トレイ 1 を第 1 優先に設定します。
	トレイ 2	トレイ 2 を第 1 優先に設定します。
2 番目	トレイ 5 (手差し)	トレイ 5 (手差し) を第 2 優先に設定します。
	トレイ 1	トレイ 1 を第 2 優先に設定します。
	トレイ 2	トレイ 2 を第 2 優先に設定します。
3 番目	トレイ 5 (手差し)	トレイ 5 (手差し) を第 3 優先に設定します。
	トレイ 1	トレイ 1 を第 3 優先に設定します。
	トレイ 2	トレイ 2 を第 3 優先に設定します。

補足

- ・ [トレイ 2] と [3 番目] は、1 トレイモジュール (オプション) が装着されている場合のみ、選択可能です。
- ・ いったん選択すると、用紙トレイ名は優先順位メニューに表示されません。

言語設定

言語切替

補足

- ・ 太字は工場出荷時の設定です。

操作パネルで表示言語を設定します。

日本語
English

キーボードレイアウト

操作パネルでキーボードのレイアウトを設定します。

QWERTY
AZERTY
QWERTZ

自動階調補正

コピーやプリントの濃度や色味の再現性が悪くなった場合に、自動階調補正をします。

コピージョブで、[カラーモード] が [白黒] に設定されている場合、自動階調補正は適用されません。

- 補足
- ・自動階調補正中は、プリントジョブの受信、ファクスの送受信、ネットワーク経由でのデータの送受信は行えません。また、節電モードに移行することもできません。
 - ・自動階調補正を定期的実施しているにもかかわらず、濃度や色に問題がある場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。

1 <機械確認> ボタンを押します。



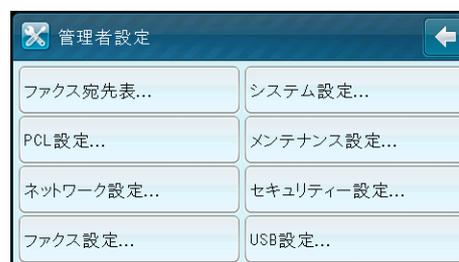
2 [仕様設定] タブを選択します。



3 [管理者設定] を選択します。



4 [システム設定] を選択します。



5 [自動階調補正] を選択します。

6 [適用範囲] を選択します。

7 [コピー/プリント]、[コピー]、[プリント]のいずれかを選択し、[OK]を押します。

補足 ・[なし]は、過去に行った自動階調補正を適用しない場合などに選択します。通常は使用しません。

8 [開始]を選択します。

9 [はい(再起動)]を選択します。

10 [トレイ選択]を選択します。

11 使用するトレイを選択します。

補足 ・A3、A4 たて置き、11 × 17"、8.5 × 11" たて置きのいずれかの用紙がセットされたトレイを選択します。

12 [開始]を選択します。

補足 ・階調補正シートがプリントされます。

13 画面に従って、階調補正シートをセットします。

補足 ・階調補正シートのマゼンタ色のパッチ(上下端にある四角形)が原稿ガラスの左側になるようにセットします。

補足 ・階調補正シートの上に白紙を5枚以上重ねて、原稿カバーを閉じます。

14 [開始]を選択します。

15 [はい(再起動)]を選択します。

パネルロック機能

[管理者設定] へのアクセスをパスワードで制限して、第三者が変更することを防止する機能です。ただし、プリントドライバーを使用して個々のプリントジョブの設定をすることは可能です。

パネルロックを有効にする

- 1 <機械確認> ボタンを押します。



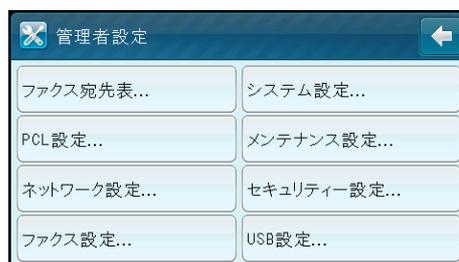
- 2 [仕様設定] タブを選択します。



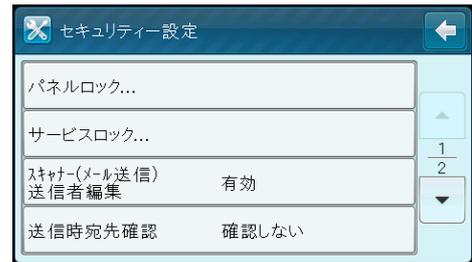
- 3 [管理者設定] を選択します。



- 4 [セキュリティー設定] を選択します。



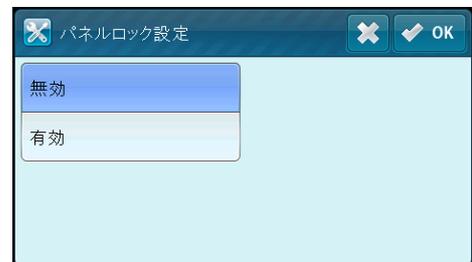
5 [パネルロック] を選択します。



6 [パネルロック設定] を選択します。



7 [有効] を選択し、[OK] を選択します。



8 新しいパスワードを入力し、[OK] を選択します。

補足

- ・工場出荷時のパスワードは 0000 です。
- ・パスワードは忘れないように注意してください。次のような手順によりパスワードをリセットできますが、アドレス帳の設定が初期化されます。
 - 本機の電源を切り、<機械確認>ボタンを押しながら、電源を入れます。
- ・[パネルロック設定] が [有効] の状態でパスワードを変更する場合は、手順 1～3 を実施してください。現在のパスワードを入力し、[OK] を選択します。手順 4～5 を実施してください。[パスワードの変更] を選択し、現在のパスワードを入力して、[OK] を選択します。手順 8～9 を実施してください。パスワードが変更されます。



9 新しいパスワードを再度入力し、[OK] を選択します。



パネルロックを無効にする

補足 ・サービスロックを設定している場合は、パネルロックを無効にすることはできません。パネルロックを無効にする場合は、サービスロックを有効に設定してください。

- 1 <機械確認>ボタンを押します。



- 2 [仕様設定] タブを選択します。



- 3 [管理者設定] を選択します。

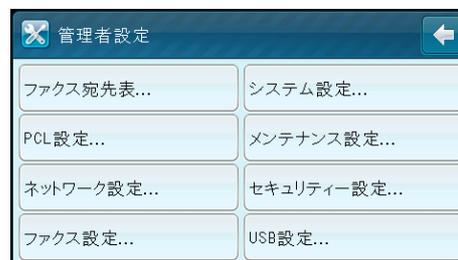


- 4 パスワードを入力し、[OK] を選択します。

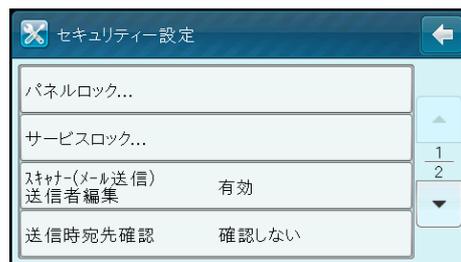
補足 ・工場出荷時のパスワードは 0000 です。



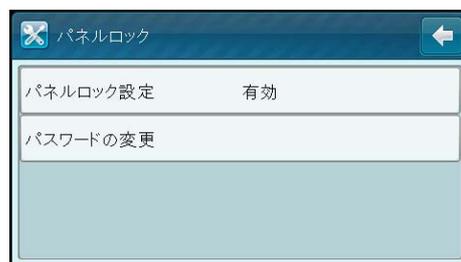
- 5 [セキュリティ設定] を選択します。



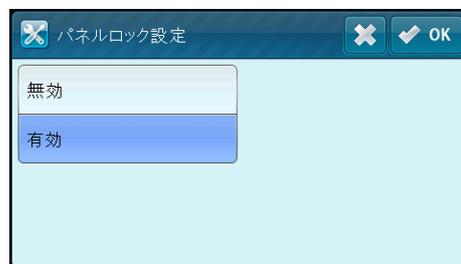
6 [パネルロック] を選択します。



7 [パネルロック設定] を選択します。



8 [無効] を選択し、[OK] を選択します。



9 現在のパスワードを入力し、[OK] を選択します。



コピー、ファクス、スキャンへのアクセスを制限する

ファクスロックを例に、制限を有効または無効にする手順を説明します。コピーロックやスキャンロックも同様の手順です。

補足 ・この機能は、コピー集計管理機能と併用することはできません。

- 1 <機械確認>ボタンを押します。



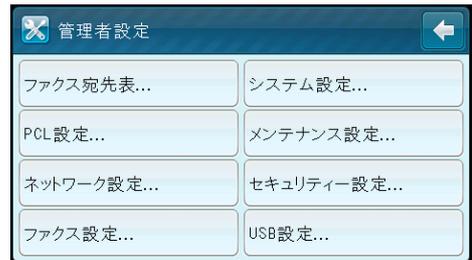
- 2 [仕様設定] タブを選択します。



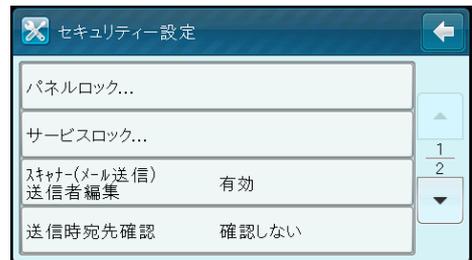
- 3 [管理者設定] を選択します。



- 4 [セキュリティー設定] を選択します。



- 5 [パネルロック] を選択します。



6 [パネルロック設定] を選択します。



7 [有効] を選択し、[OK] を選択します。



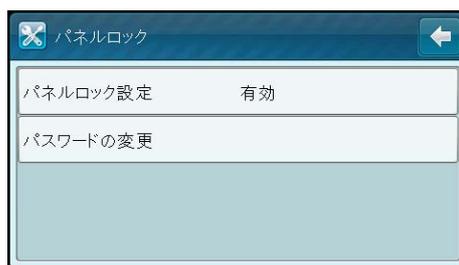
8 数字ボタンで新しいパスワードを入力し、[OK] を選択します。



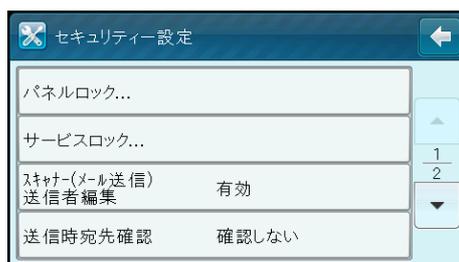
9 パスワードを再度入力し、[OK] を選択します。
補足 ・工場出荷時のパスワードは 0000 です。



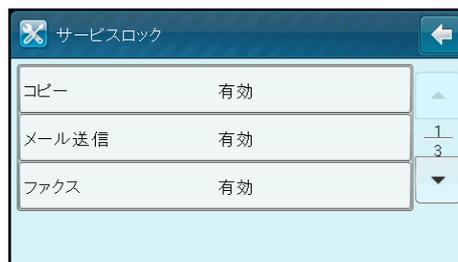
10 [←] を一度選択します。



11 [サービスロック] を選択します。



12 [ファクス] を選択します。



- 有効：機能が使える状態
- パスワードでロック：機能が使える状態（パスワード入力が必要）
- カラーのみロック（コピーロックでのみ利用できます。）：機能が使える状態（パスワード入力が必要）
- 無効：機能が使えない状態（機能非表示）



13 制限する項目を選択し、[OK] を選択します。

節電設定を設定する

本機の節電モードを設定できます。指定した時間が経過すると、本機が節電モードに移行します。

補足 ・ [パネルロック設定] が [有効] に設定されている場合は、[管理者設定] メニューを選択するときに4桁のパスワードを入力する必要があります。

- 1 <機械確認> ボタンを押します。



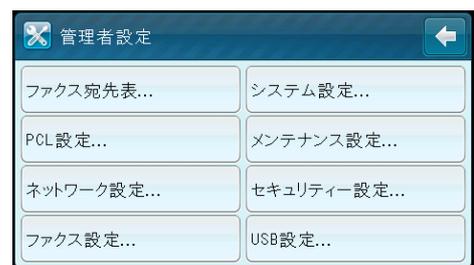
- 2 [仕様設定] タブを選択します。



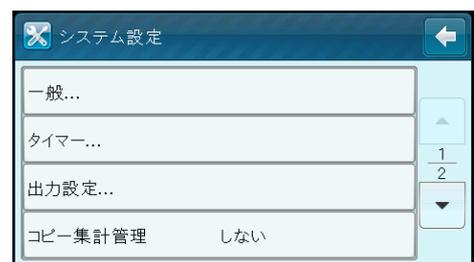
- 3 [管理者設定] を選択します。



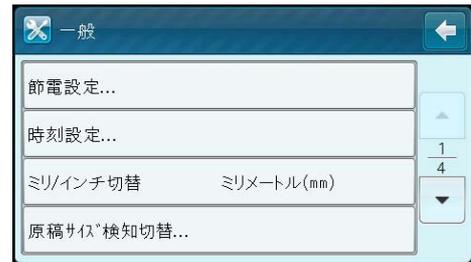
- 4 [システム設定] を選択します。



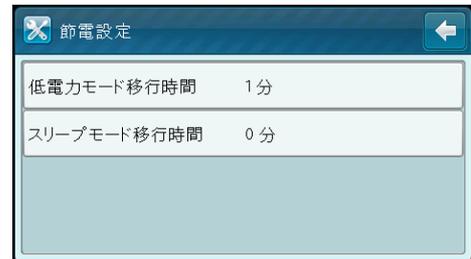
- 5 [一般] を選択します。



6 [節電設定] を選択します。

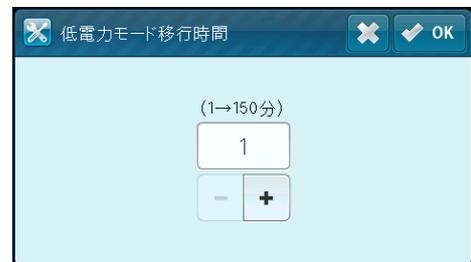


7 [低電力モード移行時間] か [スリープモード移行時間] を選択します。



8 [-] [+] または数字ボタンで移行時間を入力し、[OK] を選択します。

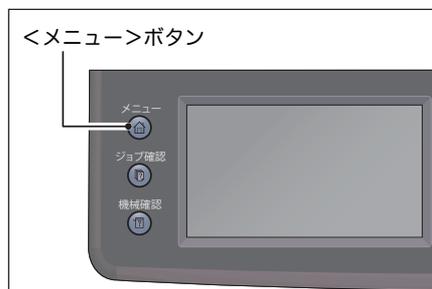
[低電力モード移行時間] は 1 ~ 150 分、[スリープモード移行時間] は 0 ~ 60 分の範囲で設定できます。



ファクスの送受信中に他の機能を使用する

ファクス送受信中に、他のジョブを開始することができます。メニュー画面を表示し、コピーやスキャンなどの機能に切り替えます。

- 1 ファクス送受信中に、<メニュー>ボタンを押します。



- 2 [コピー]または[スキャン]メニューを選択します。
- 3 コピーまたはスキャン機能の設定をして、<スタート>ボタンを押します。

工場出荷時の設定にリセットする

ネットワーク以外の設定や登録した情報（アドレス帳など）を初期化します。

- 1 <機械確認>ボタンを押します。



- 2 [仕様設定] タブを選択します。



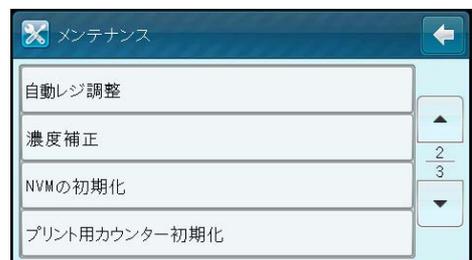
- 3 [管理者設定] を選択します。



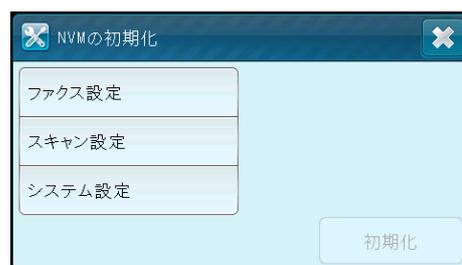
- 4 [メンテナンス] を選択します。



- 5 [NVMの初期化] を選択します。



6 初期化したい設定を選択します。



7 [初期化] を選択します。
本機が再起動し、設定が適用されます。



10 機械確認

この章では、本機の基本情報や状態を確認する方法について説明します。

補足 ・お使いの機種によっては確認できない項目があります。関連するオプションを取り付けると確認できるようになります。詳しくは、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

- 消耗品確認 214
- 表示言語の選択 215
- 本機の IP アドレスの確認 216
- メーター確認 217
- レポート / リストの印刷 218

消耗品確認

機械確認画面では、トナーカートリッジやドラムカートリッジなどの消耗品の状態を確認できます。

確認方法は、次のとおりです。

- 1 <機械確認>ボタンを押します。



- 2 [消耗品] タブを選択します。

■ 消耗品

トナーカートリッジやその他の消耗品の状態を表示します。

- [K]
ブラックトナーの残量の割合を表示します。
- [C]
シアントトナーの残量の割合を表示します。
- [M]
マゼンタトナーの残量の割合を表示します。
- [Y]
イエロートナーの残量の割合を表示します。
- [その他の消耗品]
ドラムカートリッジ、トナー回収ボトル、転写ベルト、第2バイアス転写ロール、定着ユニット、現像器ユニットの状態を示します。

表示言語の選択

日本語、または英語の 2 言語から、操作パネルに表示する言語を選択することができます。

選択方法は、次のとおりです。

- 1 <機械確認> ボタンを押します。



- 2 [仕様設定] タブを選択します。



- 3 [言語設定] を選択します。



- 4 [言語切替] を選択します。



- 5 表示言語を選択します。



- 6 [OK] を選択します。

本機の IP アドレスの確認

本機の IPv6 アドレスまたは IPv4 アドレスを表示することができます。

- 1 <機械確認> ボタンを押します。



- 2 [この複合機について] を選択します。



- 3 [ネットワーク] タブを選択します。



- 4 本機の IP アドレスが表示されます。



メーター確認

プリントされた用紙の累計面数を確認できます（コピー文書とファクス受信文書の枚数を含む）。

項目	内容
メーター 1	モノクロ出力の合計ページ数が表示されます。
メーター 2	通常は使用しません。
メーター 3	カラー出力の合計ページ数が表示されます。

注記

- ・カラーモードが【フルカラー】に設定されていると、白黒原稿をコピーするときでも、カラー出力としてメーターにカウントされます。
- ・自動両面原稿送り装置から、白黒原稿とカラー原稿を一度に読み込んでコピーするときは、読み込み時のカラーモードに従ってメーターにカウントされます。たとえば、カラーモードが【フルカラー】に設定されていると、読み込んだ原稿すべてがカラー出力としてカウントされます。

メーター画面を確認する手順は、次のとおりです。

- 1 <機械確認>ボタンを押します。



- 2 [メーター] を選択します。



レポート / リストの印刷

本機では、次のレポート / リストを印刷することができます。

* : Model-CPFS およびファクスキットが装着されている Model-CPS でのみ印刷することができます。

レポート / リスト	目的
システム設定リスト	現在のユーザー初期値、装着済みオプション、メモリー容量を印刷します。
パネル設定リスト	操作パネルメニューのすべての設定を印刷します。
PCL フォントリスト	利用できる PCL フォントのサンプルを印刷します。
ジョブ履歴レポート	プリント、コピー、ファクス、スキャンのジョブ履歴を印刷します。最新の 20 件のジョブが印刷されます。
エラー履歴レポート	紙詰まりや、重大なエラーの履歴を印刷します。
集計管理レポート	合計印刷枚数のレポートを印刷します。
プロトコルモニターレポート*	最後の FAX 通信のプロトコル情報を印刷します。
ファクス宛先表*	ファクス宛先表情報として保存されている、ファクスの宛先を印刷します。
メール宛先表リスト	メール宛先表リスト情報として保存されているメールアドレスを印刷します。
サーバー宛先表リスト	サーバー宛先表リスト情報として保存されているサーバーアドレスを印刷します。
ファクス通信管理レポート*	直近に送受信したファクスのレポートを印刷します。
ファクス蓄積文書リスト*	実行待ちファクスジョブの状態を印刷します。

印刷方法は、次のとおりです。

- 1 <機械確認> ボタンを押します。



2 [レポート / リスト] を選択します。



3 印刷したいレポート、またはリストを選択して、[プリント] を選択します。

補足 ・プリントをキャンセルするには<ストップ>ボタンを押します。

11 ジョブ確認

この章では、実行中 / 実行待ちのジョブを確認したり、キャンセルしたりする操作について説明します。

補足 ・ Model-CPFS およびファクスキットが装着されている Model-CPS でのみ表示される設定があります。詳しくは、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

- 実行中 / 実行待ちのジョブを確認する..... 222

実行中 / 実行待ちのジョブを確認する

確認できる実行中のジョブと実行待ちのジョブは、次のとおりです。

- 印刷、スキャン、ファクスの実行中のジョブ
- 印刷待ちのジョブ
- ファクス送信待ちのジョブ

補足 ・完了したジョブは、表示されません。

- 1 <ジョブ確認>ボタンを押します。



- 2 ジョブを確認します。

ファクス送信予約のジョブを確認する

ファクスの送信予約がある場合は、[ファクス送信 (待機中 - 送信)] を選択して確認できます。

- 1 <ジョブ確認>ボタンを押します。
- 2 [ファクス送信 (待機中 - 送信)] を選択します。

実行中のジョブをキャンセルする

- 1 <ジョブ確認>ボタンを押します。
- 2 実行中のジョブを選択します。



- 3 [削除] を選択します。

注記

- ・ジョブの処理状況によっては、キャンセルできない場合があります。
- ・ローカルプリンターとして使用している場合、実行中のプリントジョブによっては、キャンセルに時間がかかることがあります。



実行待ちのファクスジョブをキャンセルする

- 1 <ジョブ確認>ボタンを押します。
- 2 [ファクス送信 (待機中 - 送信)] を選択します。
- 3 送信予約のジョブを選択します。
- 4 [削除] を選択します。
注記 ・ジョブの処理状況によっては、キャンセルできない場合があります。

12 日常の管理

この章では、消耗品の交換、本機の清掃、本機の点検方法について説明します。

- 消耗品を交換する 226
- 本機を清掃する 233
- 本機を点検する 238

消耗品を交換する

本機には、消耗品、および定期交換部品が用意されています。本機に適した規格で作られていますので、次の消耗品 / 定期交換部品の使用をおすすめします。

消耗品 / 定期交換品の種類	商品コード	形態
トナーカートリッジ K	CT202400	1 個 / 1 箱
トナーカートリッジ C	CT202401	1 個 / 1 箱
トナーカートリッジ M	CT202402	1 個 / 1 箱
トナーカートリッジ Y	CT202403	1 個 / 1 箱
トナー回収ボトル	CWAA0869	1 個 / 1 箱

補足

- ・消耗品 / 定期交換部品は、予備を用意することをお勧めします。
- ・契約方法によっては、注文するトナーが異なることがあります。詳しくは、弊社の営業担当者または販売店にお問い合わせください。

△ 警告

- ・床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- ・トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは、必ず弊社の営業担当者または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。
- ・トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、必ず弊社の営業担当者または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。

△注意

- ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
- トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

■ 消耗品 / 定期交換部品の取り扱いについて

- 消耗品 / 定期交換部品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- 消耗品 / 定期交換部品は、使用するまでは開封しないで、次のような場所を避けて保管してください。
 - 高温多湿の場所
 - 火気がある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - ほこりが多い場所
- 消耗品 / 定期交換部品を使用するときは、取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。取り扱い上の注意は、消耗品 / 定期交換部品に同梱されているか、消耗品 / 定期交換部品の箱や容器に記載されています。
- 消耗品 / 定期交換部品は、予備を用意することをお勧めします。
- 消耗品 / 定期交換部品を発注するときは、商品コードを確認のうえ、弊社の商品センターまたは販売店にご注文ください。
- 弊社が推奨していない消耗品 / 定期交換部品を使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨する消耗品 / 定期交換部品をご使用ください。

■ 使用済み消耗品の回収

回収されたトナーカートリッジおよびトナー回収ボトルは、環境保護・資源有効活用のため、リサイクルしています。不要となりましたトナーカートリッジおよびトナー回収ボトルは適切な処置が必要です。必ず弊社または販売店へお渡してください。

■ 消耗品の状態確認

消耗品の状態は、[消耗品] 画面で参照できます。
 詳細について：" 消耗品確認 " (P.214)

トナーカートリッジを交換する

トナーの残量によって、次のようなメッセージが操作パネルのタッチパネルに表示されます。メッセージに従って、処置してください。

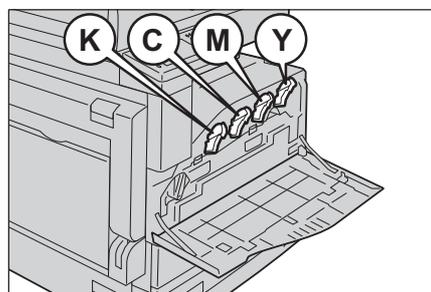
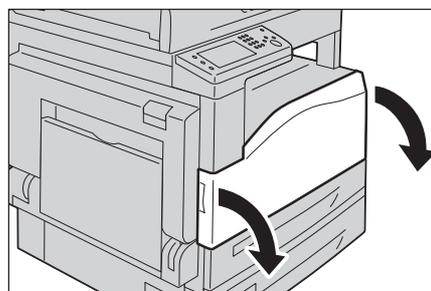
メッセージ	プリントできる残りページ数*	状態 / 処置
トナーを準備してください。[Y]	2,000 ページ (K)、 1,600 ページ (C/M/ Y)	トナーの残量が少なくなっています。新しいトナーカートリッジを用意してください。
トナー交換 フロントカバーを開けてください。 トナーカートリッジイエロー [Y] を交換してください。	—	トナーカートリッジが空です。新しいトナーカートリッジと交換してください。

補足 ・上記のメッセージは、イエロートナーが対象の場合です。対象となるトナーの色によってメッセージは変わります。

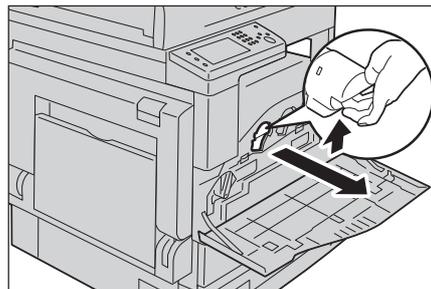
*:プリントできる残りページ数は、プリント環境、原稿の内容、電源を入/切する頻度によって異なります。

注記 ・使用済みのトナーを床やテーブルに置くと、トナーがこぼれることがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。
 ・一度取り外したトナーカートリッジは、再度使用しないでください。プリントの品質が悪くなるおそれがあります。
 ・使用済みのトナーカートリッジを振ったり叩いたりしないでください。残っているトナーが飛び散ることがあります。
 ・トナーカートリッジは開封後一年以内に使い切ることをお勧めします。
 ・弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジをご使用ください。

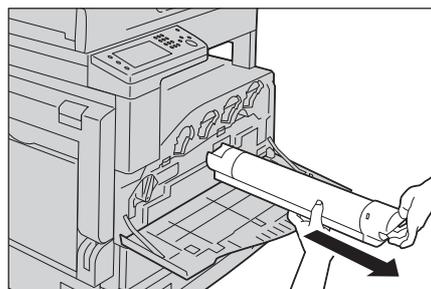
- 1 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。



- 2 トナーカートリッジの取っ手を、少し上に持ち上げます。



- 3 トナーカートリッジを静かに手前へと引き、取り出します。



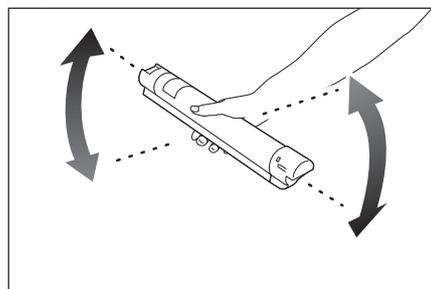
⚠ 警告

トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があります。火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは、必ず弊社の営業担当者または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。

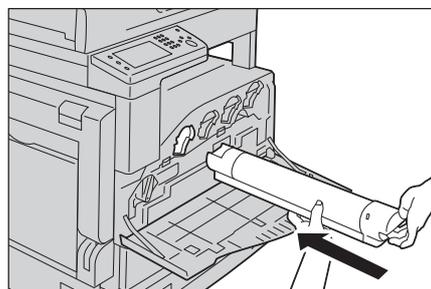
注記 ・トナーカートリッジはゆっくりと取り出してください。トナーが飛び散ることがあります。
 ・使用済みのトナーカートリッジは、弊社の営業担当者または販売店にお渡しください。

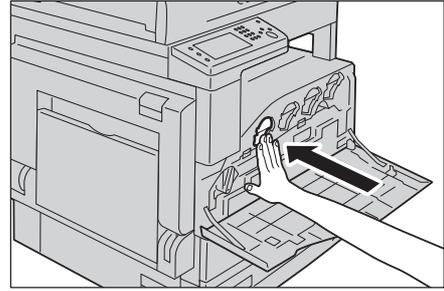
- 4 新しいトナーカートリッジを用意し、図のように軽く 10 回上下左右に振ります。

注記 ・シャッター部に触れないでください。



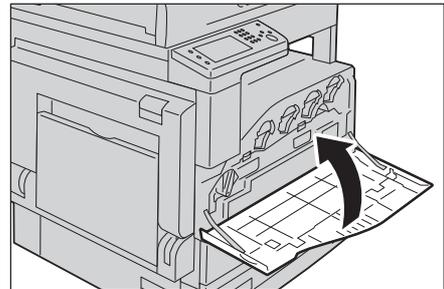
- 5 トナーカートリッジの矢印 (↑) 部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込みます。





6 フロントカバーを閉じます。

補足 ・フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。



トナー回収ボトルを交換する [R5]

トナー回収ボトルには、使用済みのトナーが入っています。トナー回収ボトルの状態によって、次のようなメッセージがタッチパネルに表示されます。メッセージに従ってください。

メッセージ	プリントできる残りページ数*	状態 / 処置
トナー回収ボトルを準備してください。	1000 ページ	トナー回収ボトルが寿命に近づいています。新しいトナー回収ボトルを用意してください。

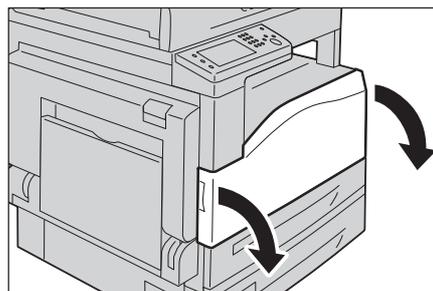
*:プリントできる残りページ数は、プリント環境、原稿の内容、電源を入/切する頻度によって異なります。

⚠ 警告

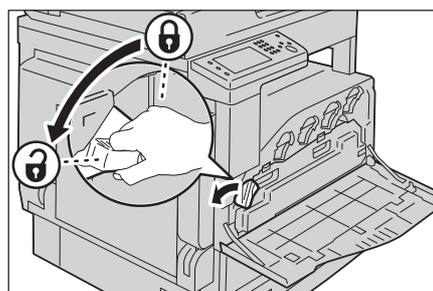
- ・床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- ・トナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、必ず弊社の営業担当者または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。

注記 ・トナー回収ボトルの裏側にあるグレーのスポンジ（5つ）には触らないでください。トナーで手が汚れるおそれがあります。
 ・トナー回収ボトルを交換するとき、トナーがこぼれ、床が汚れるおそれがあります。あらかじめ紙を敷くことをお勧めします。
 ・使用済みのトナー回収ボトルを正しく処分する必要があります。使用済みのトナー回収ボトルは、弊社カスタマーコンタクトセンターに返却してください。
 ・弊社が推奨していないトナー回収ボトルを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナー回収ボトルをご使用ください。

- 1 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

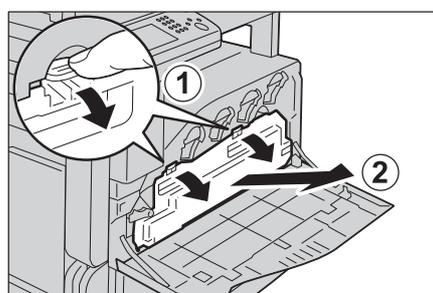


- 2 ロックレバーを反時計回りに回します。

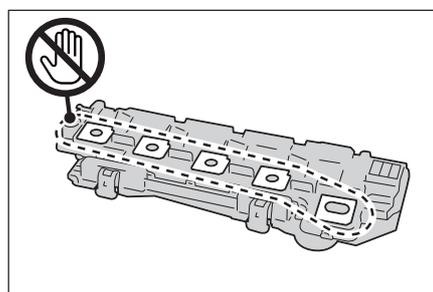


- 3 トナー回収ボトルのロックを解除し、使用済みのトナーがこぼれないように、垂直にした状態で引き出します。

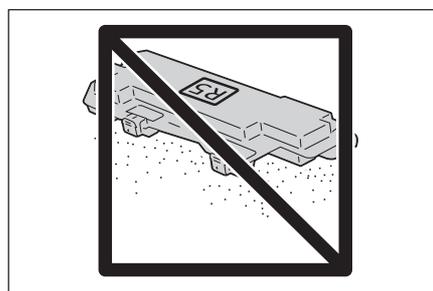
補足 ・取り外すときは、トナー回収ボトルを落とさないように注意してください。



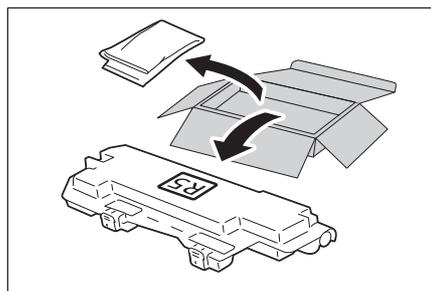
・取り外した後は、図で示している箇所には触れないでください。トナーによって手が汚れたり、しみがつくことがあります。



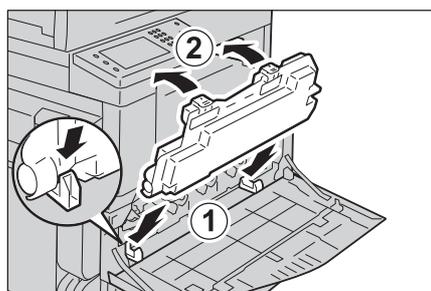
注記 ・トナー回収ボトルを図のように置かないでください。故障やトナーが飛び散る原因になります。



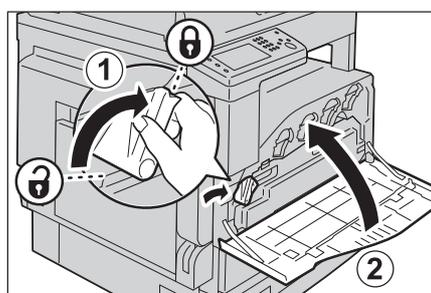
4 新しいトナー回収ボトルを用意します。



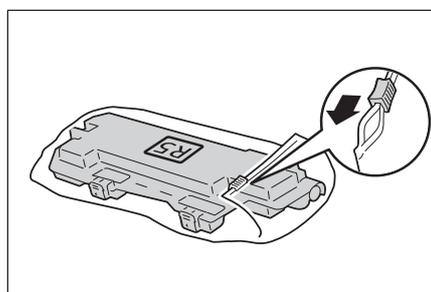
5 新しいトナー回収ボトルを入れ、ロックします。



6 ロックレバーを時計回りに回し、フロントカバーを閉じます。

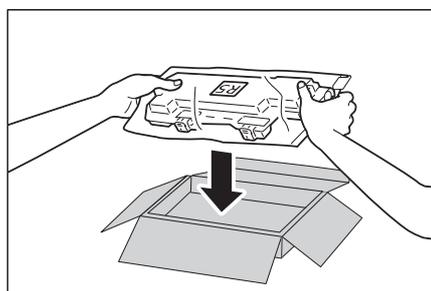


7 付属のプラスチック袋に使用済みのトナー回収ボトルを入れます。



8 使用済みのトナー回収ボトルを、両手でしっかり持って、空き箱へ入れます。

注記 ・使用済みのトナー回収ボトルは、弊社カスタマーコンタクトセンターに返却してください。



ドラムカートリッジを交換する

操作パネルに「ドラムカートリッジを今すぐ交換してください。」というメッセージが表示されたら、ドラムカートリッジの交換が必要です。弊社の営業担当者または販売店にお問い合わせください。

本機を清掃する

ここでは、本体外部、原稿カバー、原稿送り装置、原稿ガラスなどの清掃方法を説明します。

⚠警告

機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

⚠注意

機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

本体外部の清掃

本体外部の清掃について説明します。

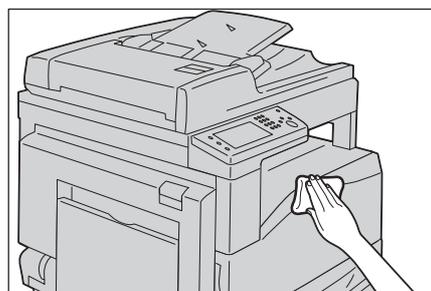
注記 ・ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
 ・水でぬらしすぎると、機械が故障したり、コピー、ファクス、スキャンするときに原稿が破れたりするおそれがあります。

- 1 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側をふきます。

注記 ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

補足 ・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。

- 2 柔らかい布で、水分をふき取ります。



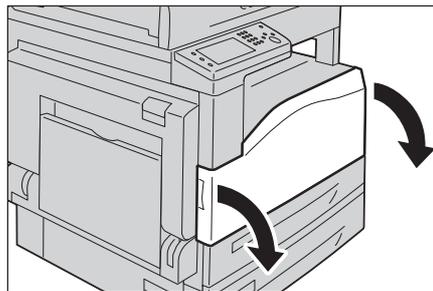
本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃

本体内部（LED プリントヘッド部）の清掃について説明します。

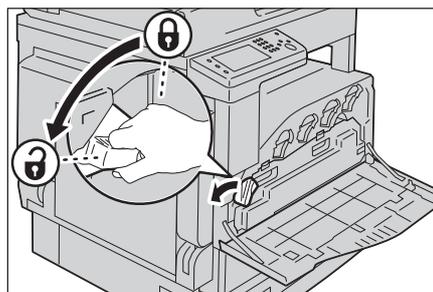
LED プリントヘッド部の清掃は、通常、トナー回収ボトルの交換時に行います。ただし、コピーやプリントに白筋や色筋がでるなど画質に影響がある場合は、LED プリントヘッド部を清掃してください。

注記 ・定期清掃はトナー回収ボトル交換時に行います。

- 1 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

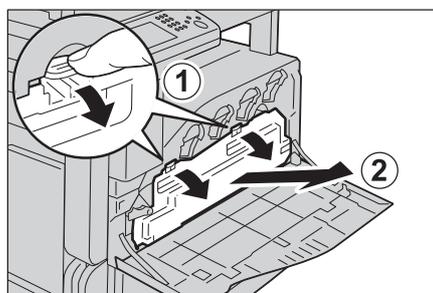


- 2 ロックレバーを反時計回りに回します。

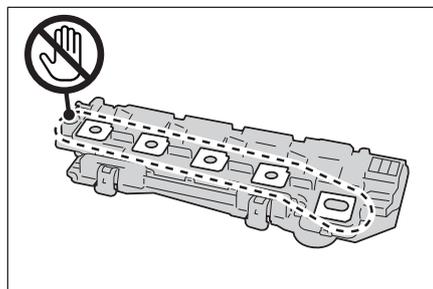


- 3 トナー回収ボトルのロックを解除し、使用済みのトナーがこぼれないように、垂直にした状態で引き出します。

補足 ・取り外すときは、落とさないように注意してください。



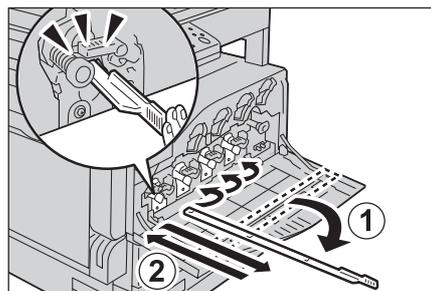
・取り外した後は、図で示している箇所には触れないでください。トナーによって手が汚れたり、しみがつくことがあります。



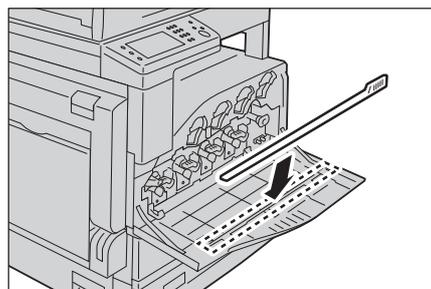
注記 ・トナー回収ボトルを図のように置かないでください。故障やトナーが飛び散る原因になります。



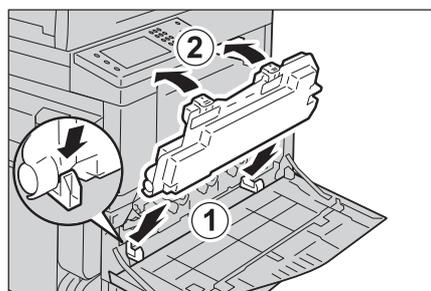
- 4 フロントカバー裏側から清掃棒を取り外し、各 LED プリントヘッドを清掃します。
清掃棒を各スロットの奥に突き当たるまで差し込み、ゆっくりと引き出します。



- 5 清掃棒をフロントカバー裏側に戻します。

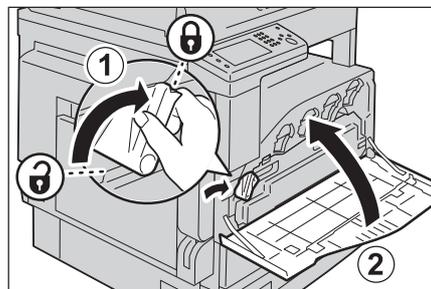


- 6 新しいトナー回収ボトルを入れ、ロックします。



- 7 ロックレバーを時計回りに回し、フロントカバーを閉じます。

補足 ・フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。



タッチパネルの清掃

タッチパネルの清掃方法について説明します。

- 1 中性洗剤やアルコールで軽く湿らせた柔らかい布を使い、液晶画面のみをふきます。

注記 ・中性洗剤または、アルコールを布に染み込ませる量は、液垂れしない程度にしてください。染み込ませる量が多すぎた場合は軽く絞ってから拭いてください。
・ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。



- ・パネル部分を強い力でふくと損傷のおそれがあります。軽くふいてください。

原稿カバー、原稿ガラスの清掃

原稿カバー、原稿ガラスが汚れていると、コピー、ファクス、スキャンデータに汚れが出たり、原稿サイズを正しく検知しないことがあります。

いつもきれいなコピーなどをするために、1か月に1回をめぐりに清掃してください。

- 注記
- ・ベンジンやシンナーなどの薬品類は使用しないでください。プラスチック製品の塗装、コーティングなどを傷めることがあります。
 - ・水でぬらしすぎると、機械が故障したり、コピー、ファクス、スキャンするときに原稿が破れたりするおそれがあります。

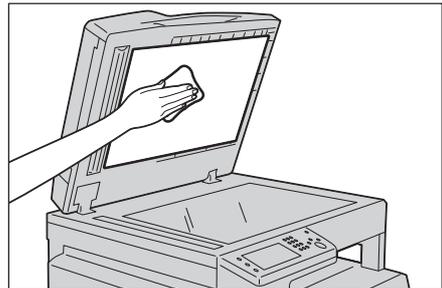
- 1** 水で湿らせた柔らかい布で、原稿カバーの汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。

注記

- ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

補足

- ・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。



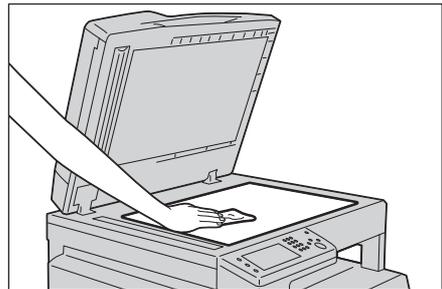
- 2** 水で湿らせた柔らかい布で、原稿ガラスの汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。

注記

- ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

補足

- ・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。



原稿押さえ部、原稿読み取りガラスの清掃

原稿送り装置の原稿押さえ部、原稿読み取りガラスが汚れていると、コピー、ファクス、スキャンデータに汚れが出たり、原稿サイズを正しく検知しないことがあります。

いつもきれいなコピーなどをするために、1か月に1回をめぐりに清掃してください。

- 注記
- ・ベンジンやシンナーなどの薬品類は使用しないでください。プラスチック製品の塗装、コーティングなどを傷めることがあります。
 - ・水でぬらしすぎると、機械が故障したり、コピー、スキャンするときに原稿が破れたりするおそれがあります。

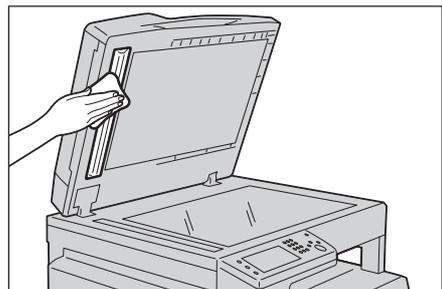
- 1** 水で湿らせた柔らかい布で、原稿押さえ部の汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。

注記

- ・フィルムは破損しやすいので、強く押しすぎないでください。
- ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

補足

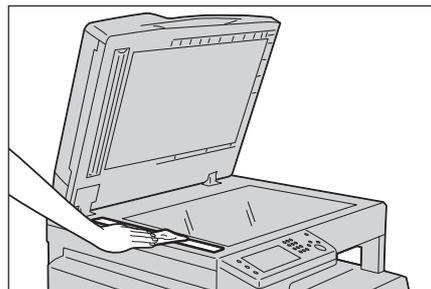
- ・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。



- 2 水で湿らせた柔らかい布で、原稿読み取りガラスの汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。

注記 ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

補足 ・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。



原稿送り装置のローラー部の清掃

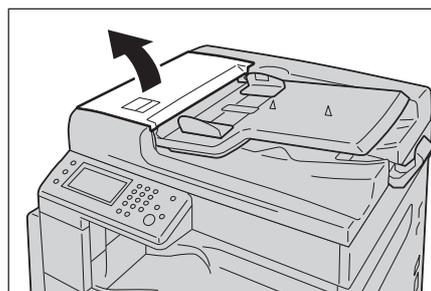
原稿送り装置のローラーが汚れていると、コピー、ファクス、スキャンデータに汚れが出たり、原稿づまりの原因になることがあります。

いつもきれいなコピーなどをするために、1か月に1回をめぐりに清掃してください。

注記 ・ベンジンやシンナーなどの薬品類は使用しないでください。プラスチック製品の塗装、コーティングなどを傷めることがあります。
 ・水でぬらしすぎると、機械が故障したり、コピー、ファクス、スキャンするときに原稿が破れたりするおそれがあります。

- 1 原稿送り装置の左側カバーの取っ手を引き上げて、止まるところまで開けます。

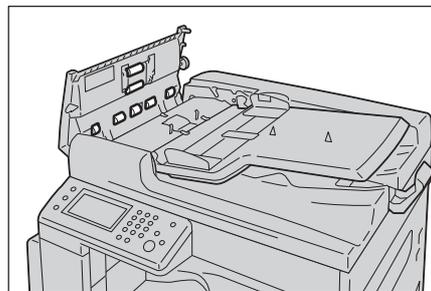
補足 ・カバーを十分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。



- 2 ローラーを回しながら、少し水で湿らせた柔らかい布で清掃します。

注記 ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
 ・布は水滴が落ちない程度に固く絞ってご使用ください。内部に水滴が落ちると、誤動作を起こす場合があります。

補足 ・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。



- 3 原稿送り装置の左側カバーを「カチッ」と音がするまで閉じ、カバーの手前や奥に浮きが無いことを確認します。

本機を点検する

ここでは CentreWare Internet Services、または StatusMessenger を利用して本機の状態を確認する方法について説明します。

CentreWare Internet Services を利用して機械の点検を行う

TCP/IP 環境に本機がある場合、CentreWare Internet Services を利用して、機械の点検、消耗品の残量、セットされた用紙の量を確認できます。CentreWare Internet Services を利用して本機の設定を確認することもできます。

補足 ・ローカルプリンターとして使用している場合、CentreWare Internet Services は利用できません。

CentreWare Internet Services を起動する

CentreWare Internet Services の起動方法は、次のとおりです。

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、< Enter > キーを押します。

CentreWare Internet Services の画面が表示されます。

CentreWare Internet Services の各画面上で設定できる項目の詳細については、[ヘルプ] をクリックし、オンラインヘルプを表示してください。

注記 ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

StatusMessenger

メールの送受信が可能なネットワーク環境で使用している場合は、指定されたメールアドレスに、次の情報を記載したメールを本機から送信することができます。

- ・ ネットワーク設定と本機の状態
- ・ 本機に生じたエラー

メール環境を設定する

CentreWare Internet Services を起動して、[プロパティ] タブからお使いのメール環境に応じて次の設定を確認します。各画面で設定を確認してから [新しい設定を適用する] をクリックし、本機を再起動します。詳しくは、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

注記 ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

項目	設定項目	内容
StatusMessenger	送信先メールアドレス	本機の状態変化やエラー報告などを送るメールアドレスを設定します。
	送信する通知項目	メールで送信する項目を設定します。
ポート起動	StatusMessenger	[起動] を選択します。

項目	設定項目	内容
プロトコル設定> メール	本体メールアドレス、SMTP サーバーアドレス、SMTP サーバーポート番号、送信時の認証方式、ログイン名、パスワード、SMTP サーバーとの接続状態、POP3 サーバーアドレス、POP3 サーバーポート番号、ログイン名、パスワード、POP3 サーバー受信間隔、APOP 設定、POP3 サーバーとの接続状態	メールの送受信に関する正しい設定をします。
	受信許可メールアドレス	情報の確認や、メールアドレスの設定を変更するための許可を設定するとき、メールの受信が許可されているメールアドレスを入力します。メールアドレスが入力されていないと、本機はすべてのユーザーからのメールを受信します。
	StatusMessenger 用パスワード	本機に接続するためのパスワード（読み取り専用、読み書き可能）を設定するとき、[パスワード] 欄にパスワードを入力します。

本機の状態をメールで確認する

本機の状態を確認するメールを送信するときの注意事項について説明します。

- 本機の状態を確認するときや設定を変更するときは、メールに任意の件名を指定することができます。
- メール本文を作成するには次のコマンドを使用します。

■ メール本文に使用できるコマンド

次のルールに従ってコマンドを使用します。

- すべてのコマンドの先頭に「#」をつけ、#パスワード コマンドを指定します。
- 「#」がついていないコマンドは無効になります。
- 各行に1つのコマンドを打ち、それぞれのコマンド、パラメーターをスペース、またはタブで分けます。

1 通のメール内に同じコマンドを2回以上入力すると、2回目以降のコマンドは無効になります。

コマンド	パラメーター	内容
#Password	Password	読み取り専用パスワードが設定されているときは、メールの冒頭にこのコマンドを使用します。パスワードが設定されていない場合は、このコマンドを省略できます。

コマンド	パラメーター	内容
#NetworkInfo	-	ネットワーク設定リストの情報を確認したいときに設定します。
#Status	-	本機の状態を確認したいときに設定します。

■ コマンドの例

- 読み取り専用パスワードが「ronly」で、本機の状態を確認する場合：

#Password ronly

#Status

#NetworkInfo

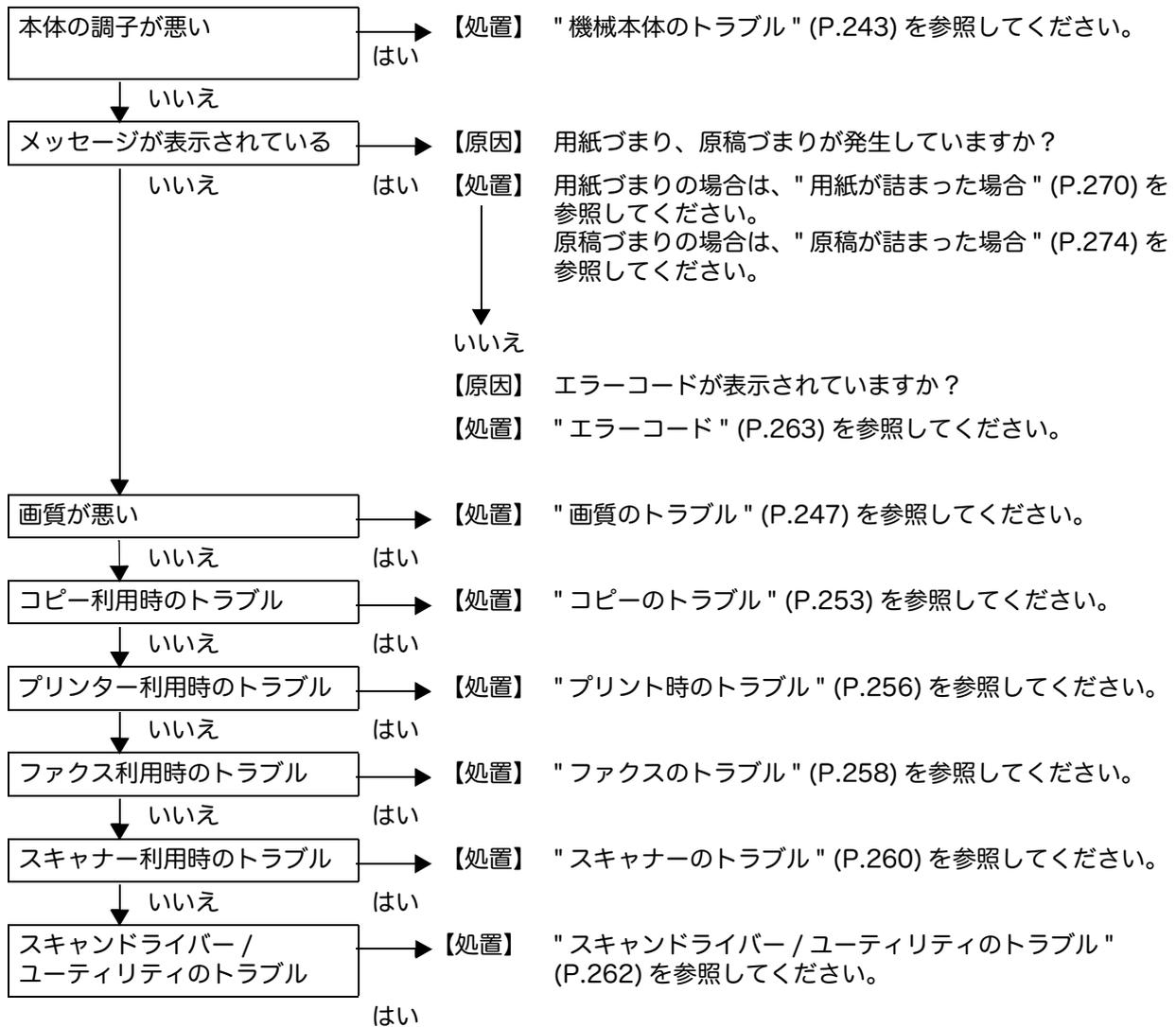
13 トラブル対処

この章では、本機に何らかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。

- トラブルと思ったら 242
- 機械本体のトラブル 243
- 画質のトラブル 247
- コピーのトラブル 253
- プリント時のトラブル 256
- ファクスのトラブル 258
- スキャナーのトラブル 260
- スキャンドライバー / ユーティリティのトラブル 262
- エラーコード 263
- 用紙が詰まった場合 270
- 原稿が詰まった場合 274
- ヘルプを利用する 276

トラブルと思ったら

ここでは、本機に何らかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。
トラブルが発生した場合は、次の流れに従って処置してください。



上記の手順を行ってもエラーが消えない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。

機械本体のトラブル

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認してください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない 本機が動作しない（画面に表示がなく、ボタンも反応しない）	電源を入れましたか？	電源を入れてください。 詳細について："電源について" (P.52)
	電源コードがコンセントに差し込まれていますか？	電源をいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源を入れてください。
	本機側の電源コードが抜けていませんか？	
	コンセントに問題はありますか？	他の電化製品をコンセントに差し込み、電力が供給されるか確かめてください。
<エラー>ランプが点滅している	本機のシステムや付属機器にトラブルが発生しているおそれがあります。	電源を切って、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。
<エラー>ランプが点灯している	用紙づまり、原稿づまりが発生していませんか？	つまった用紙や原稿を取り除いてください。 詳細について："用紙が詰まった場合" (P.270) 詳細について："原稿が詰まった場合" (P.274)
	本機のフロントカバーやそのほかのカバーが開いていませんか？	表示されているエラーコードに従って処置してください。 詳細について："エラーコード" (P.263)
タッチパネルが暗い	<節電>ボタンが点灯していませんか？	節電モードに入っています。操作パネルの<節電>ボタンを押して、節電モードを解除してください。
プリントできない、またはコピーできない	タッチパネルにエラーコードが表示されていませんか？	表示されているエラーコードに従って処置してください。 詳細について："エラーコード" (P.263)
	電源コードのコネクターが抜けていませんか？	電源をいったん切り、電源コードを確実にコンセントに差し込んでください。そのあと、電源を入れてください。
プリントを指示したのにプリントを開始しない	インターフェイスクーブルが抜けていませんか？	インターフェイスクーブルの接続を確認してください。 詳細について："インターフェイスクーブル" (P.36)
	コンピューター側の環境が正しく設定されていますか？	プリントドライバーの設定など、コンピューター側の環境を確認してください。
	使用するポートが[有効]に設定されていますか？	使用するポートの状態を確認し、[有効]に設定してください。 詳細について："使用するポートを起動する" (P.41)

症 状	原 因	処 置
トレイ 5 (手差し) にプリントを指示したのにプリントされない	指定したサイズ of 用紙がセットされていますか？	表示されたエラーコードに従って、正しいサイズの用紙をセットして、もう一度プリントを指示してください。 詳細について："エラーコード" (P.263) 詳細について："トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする" (P.68)
印字品質がよくない	画質のトラブルが発生しているおそれがあります。	後述の「画質のトラブル」を参照して処置してください。 詳細について："画質のトラブル" (P.247)
用紙トレイの出し入れができない	プリント中にカバーを開けたり、電源を切ったりしませんでしたか？	無理に用紙トレイを出し入れしないで、電源を切ってください。数秒後、電源を入れてください。本機がデータを受信できる状態になったら、用紙トレイの出し入れをしてください。
指定されたサイズでコピーできない	原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？	原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。 詳細について："原稿カバー、原稿ガラスの清掃" (P.236)
	OHP フィルムなどの透過度が高い原稿ですか？	原稿ガラスに原稿をセットし、その上に白紙を載せてコピーしてください。
	原稿は正しい位置にセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)
	原稿は正しくセットされていますか？	
	原稿送り装置の原稿ガイドは正しい位置にセットされていますか？	原稿ガイドを正しくセットしてください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)
	原稿が折れていませんか？	原稿をのばして正しくセットし直してください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)

症 状	原 因	処 置
用紙づまり、紙しわが頻繁に発生する	用紙が用紙トレイに正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。 詳細について："トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする" (P.67)
	用紙トレイは正しくセットされていますか？	用紙トレイを、止まるところまでしっかりと押し込んで、正しくセットしてください。 詳細について："トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする" (P.67)
	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙と交換してください。
	用紙がカールしていませんか？	用紙トレイ内の用紙をうら返すか、新しい用紙と交換してください。
	用紙と用紙トレイは正しく設定されていますか？	セットしている用紙に合わせて、正しく設定してください。 詳細について："トレイ 1、トレイ 2 の用紙サイズを変更する" (P.70)
	機械の内部に詰まった用紙や紙片が残っていたり、異物が入っていませんか？	機械のカバーを開けるか、用紙トレイを引き出して、紙片や異物を取り除いてください。 詳細について："用紙が詰まった場合" (P.270)
	規格外の用紙が用紙トレイにセットされていませんか？	本機の仕様に合う用紙と交換してください。 詳細について："用紙について" (P.62)
	用紙トレイ内の用紙上限線を超えて、用紙をセットしていませんか？	用紙トレイ内の用紙上限線を超えないように、用紙をセットしてください。 詳細について："トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする" (P.67)
	用紙ガイドが正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットして、用紙ガイドを用紙に合わせてください。 詳細について："トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする" (P.67) 詳細について："トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする" (P.68)
用紙がきれいに裁断されていますか？	用紙の種類によっては、きれいに裁断されていない場合があります。よくさばいてから用紙をセットしてください。	
原稿を原稿送り装置に送り込めない	原稿が小さくありませんか？	原稿送り装置にセットできる原稿の最小サイズは A5□ です。
トレイ 5 (手差し) に用紙をセットしてスタートボタンを押すとエラーコードが表示される	トレイ 5 (手差し) の用紙ガイドの位置を確認してください。	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 詳細について："エラーコード" (P.263) 詳細について："トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする" (P.68)

症 状	原 因	処 置
原稿が頻繁に詰まる	適切な原稿を使用していますか？	原稿送り装置に適した原稿を正しくセットしてください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)
	変形原稿や名刺、OHPフィルム、薄い原稿を使用していますか？	
	付せん紙やクリップ、セロハンテープなどを原稿につけたままにしていますか？	付せん紙やクリップ、セロハンテープなどを取り除いてからコピーしてください。
	原稿ガイドは正しい位置にセットされていますか？	原稿ガイドの位置を調整してください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)
	原稿の一部が破れて、原稿送り装置に紙片が残っていませんか？	原稿送り装置の上カバーを開けて確認してください。 詳細について："原稿が詰まった場合" (P.274)
原稿の端が折れる	原稿がカールしていませんか？	原稿のカールを直してから、セットしてください。

画質のトラブル

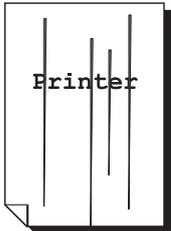
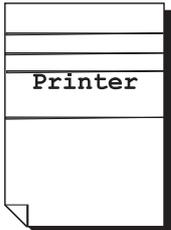
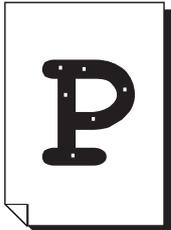
プリント結果の画質が悪い場合は、次の表から最も近いと思われる症状を選び、処置してください。

該当する処置をしても画質が改善されない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。

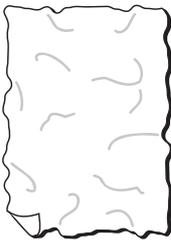
症 状	原 因	処 置
コピーが汚れている	原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？	原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。 詳細について："原稿カバー、原稿ガラスの清掃" (P.236)
	原稿が OHP フィルムなどの透過度の高いものではありませんか？	透過度の高い原稿では、原稿カバーの汚れがコピーに写ります。原稿の上に白紙を載せてコピーしてください。
	原稿がカラーペーパー、ざら紙、青焼きなどではありませんか？	コピー濃度を調整するか、背景にある地色を除去してコピーしてください。 詳細について："濃度調整" (P.89) 詳細について："地色除去" (P.187)
	原稿が光沢のある印画紙ではありませんか？	光沢のある印画紙は、原稿ガラスに張り付きやすく、影が汚れのようにコピーされることがあります。OHP フィルムなどの透明フィルムを原稿の下に敷いてコピーしてください。
コピーに黒筋が入る	原稿送り装置の原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを清掃してください。 詳細について："原稿押さえ部、原稿読み取りガラスの清掃" (P.236)
コピーが濃すぎる	コピー濃度が濃く設定されていませんか？	コピー濃度を調整してください。 詳細について："濃度調整" (P.89)
コピーが薄すぎる	原稿の濃度が薄くありませんか？	
	コピー濃度が薄く設定されていませんか？	
コピーがわずかにずれる	用紙がずれていたり、用紙の先端が用紙トレイの角から離れていませんか？	用紙を正しくセットして、用紙ガイドを用紙に合わせてください。 詳細について："トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする" (P.67) 詳細について："トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする" (P.68)

症 状	原 因	処 置
コピーがずれたり、曲がっている	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)
	用紙が用紙トレイに正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。 詳細について："トレイ1、トレイ2に用紙をセットする" (P.67)
	トレイ5（手差し）の用紙ガイドが用紙に触れるようにセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。 詳細について："トレイ5（手差し）に用紙をセットする" (P.68)
	原稿送り装置の原稿ガイドがずれていませんか？	原稿を正しくセットして、原稿ガイドを原稿の端に当ててください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)
	用紙トレイが確実にセットされていますか？	用紙トレイを確実に奥まで押し込んで、正しくセットしてください。 詳細について："トレイ1、トレイ2に用紙をセットする" (P.67)
	-	印字位置の調整をしてください。 詳細について："アライメント調整" (P.180)
コピーが部分的に写らない	用紙が湿気を含んでいませんか？	用紙が湿気を含んでいると、コピーが部分的に写らなかったり、不鮮明になります。未開封の用紙と交換してください。
	折りめやしわが入った用紙が用紙トレイに入っていますか？	不良用紙を取り除くか、未開封の用紙と交換してください。
	原稿が貼り合わせ原稿や折り込みの原稿ではありませんか？	貼り合わせたのりの部分や、折りの部分などが、原稿ガラスに密着していないことが考えられます。原稿の上に白紙の束などを重ねて、原稿ガラスに密着させるようにしてください。
コピーに縞模様が写る	原稿の拡大コピーの倍率が大きすぎませんか？	拡大コピーをすると、倍率によっては縞模様が発生します。コピーの倍率を調整してください。 詳細について："倍率選択" (P.87)
プリントがうすい（かすれる、不鮮明）	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。弊社の営業担当者または販売店にお問い合わせください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 詳細について："トナーカートリッジを交換する" (P.228)



症 状	原 因	処 置
黒点がプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。弊社の営業担当者または販売店にお問い合わせください。
黒線または色線がプリントされる  	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。弊社の営業担当者または販売店にお問い合わせください。
	原稿読み取りガラスが汚れています。	原稿読み取りガラスを清掃してください。詳細について："原稿押さえ部、原稿読み取りガラスの清掃" (P.236)
等間隔に汚れが付着する  	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚プリントしてください。
黒くぬりつぶされた部分に白点が現れる 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。弊社の営業担当者または販売店にお問い合わせください。
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。

症 状	原 因	処 置
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。
用紙全体が黒くプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。弊社の営業担当者または販売店にお問い合わせください。
	高圧電源の故障が考えられます。	弊社のカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。
何もプリントされない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています (重送)。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 詳細について: "トナーカートリッジを交換する" (P.228)
	電源または高圧電源の故障が考えられます。	弊社のカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。
白抜けや白筋または色筋が出る 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。

症 状	原 因	処 置
全体がうっすらとプリントされる 	トレイ 5 (手差し) を使用してプリントした場合、プリントドライバーで指定した用紙サイズと実際にセットされている用紙の種類とサイズが異なります。	トレイ 5 (手差し) に、正しい種類とサイズ of 用紙をセットしてください。 詳細について: "トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする" (P.68)
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。
用紙にしわが付く 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。
	用紙の継ぎ足しをしています。	新しい用紙と交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。	新しい用紙と交換してください。
	用紙の継ぎ足しをしています。	
	用紙が湿気を含んでいます。	
たて長に白抜けまたは色抜けする 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。弊社の営業担当者または販売店にお問い合わせください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 詳細について: "トナーカートリッジを交換する" (P.228)
斜めにプリントされる 	用紙トレイの用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。	たてよこの用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 詳細について: "トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする" (P.67) 詳細について: "トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする" (P.68)

症 状	原 因	処 置
色ずれが発生する	色ずれは、本機を設置したり部品を取り外すことで発生します。	色の位置合わせをしてください。 詳細について："自動レジ調整" (P.180)

コピーのトラブル

コピー機能利用時のトラブル処置方法について説明します。

コピーできない

コピーできない場合の処置方法について説明します。

症 状	原 因	処 置
原稿送り装置から原稿をうまく送り込めない	原稿のサイズが小さすぎる。	原稿送り装置にセットできる原稿の最小サイズは A5□ です。
	適切な原稿を使用していない。	変形原稿、名刺、OHP フィルム、薄い原稿は原稿送り装置では使用できません。また、付せん、クリップ、セロハンテープを付けた原稿も使用できません。 詳細について："用紙について" (P.62)
	原稿ガイドの位置がずれている。	原稿サイズに合わせて、原稿ガイドを正しくセットしてください。
	原稿の一部が破れて、原稿送り装置に紙片が残っている。	原稿送り装置の上カバーを開けて、紙片を取り除いてください。 詳細について："原稿が詰まった場合" (P.274)
	サイズが異なる原稿をセットしている。	サイズが異なる原稿をセットすることはできません。

思ったとおりのコピー結果にならない

コピー結果が予想と違う結果になる場合の対処方法について説明します。

症 状	原 因	処 置
コピーが汚れている	原稿カバー、または原稿ガラスが汚れている。	原稿カバー、または原稿ガラスを清掃してください。 詳細について："原稿カバー、原稿ガラスの清掃" (P.236)
	OHP フィルムなどの透過度の高い原稿を使用している。	透過度の高い原稿では、原稿カバーの汚れがコピーに写ります。原稿の上に白紙を載せてコピーしてください。
	カラーペーパー、ざら紙、青焼きなどを原稿として使用している。	紙の地色がコピーに写ります。コピー濃度を調整するか、画質を調整するか、地色除去を指定してコピーしてください。
	光沢のある印画紙を使用している。	光沢のある印画紙は、原稿ガラスに張り付きやすく、影が汚れのようにコピーされることがあります。OHP フィルムなどの透明フィルムを原稿の下に敷いてコピーしてください。

症 状	原 因	処 置
コピーが濃すぎる、または薄すぎる	コピー濃度の調整があっていない。	コピー濃度を調整してください。 詳細について："濃度調整" (P.89)
	原稿の濃度が薄い。	コピー濃度を調整してください。 詳細について："濃度調整" (P.89)
	原稿に適切な画質設定がされていない。	黒い文字のコピー濃度が薄すぎる場合、 [原稿の画質]を[文字]に設定してください。 詳細について："原稿の画質" (P.90)
コピーがわずかにずれる	用紙トレイにセットされた用紙がずれている。	用紙をそろえて、用紙の先端を用紙トレイの手前の角に合わせてセットしてください。
コピーが部分的に写らない	用紙が湿気を含んでいる。	用紙が湿気を含んでいると、コピーが部分的に写らなかったり、不鮮明になります。未開封の用紙と交換してください。
	折りめやしわが入った用紙が用紙トレイに入っている。	不良用紙を取り除くか、未開封の用紙と交換してください。
	原稿が貼り合わせてあるか、折り込まれている。	貼り合わせたのりの部分や、折りの部分が、原稿ガラスに密着していないことが考えられます。原稿の上に白紙の束などを重ねて、原稿ガラスに密着させるようにしてください。
コピーに縞模様が写る	原稿の拡大倍率が大きすぎる。	拡大コピーをすると、倍率によっては縞模様が発生します。コピーの倍率を調整してください。 詳細について："倍率選択" (P.87)
コピーがずれたり、曲がって写っている	原稿が正しくセットされていない。	原稿を正しくセットしてください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)
	原稿送り装置の用紙ガイドがずれている。	用紙を正しくセットしてください。
	用紙トレイが確実にセットされていない。	用紙トレイを確実に奥まで押し込んで、正しくセットしてください。
	トレイ5(手差し)の原稿ガイドがずれている。	原稿を正しくセットして、原稿ガイドを原稿の端に当ててください。
	原稿のサイズが合っていない。	原稿サイズを正しく設定してください。 詳細について："原稿サイズ" (P.93)
	用紙のサイズが合っていない。	用紙サイズを正しく設定してください。 詳細について："用紙サイズを変更する" (P.70)

症 状	原 因	処 置
希望のサイズに コピーされない	原稿カバー、または原稿ガラスが汚れている。	原稿カバー、または原稿ガラスを清掃してください。 詳細について："原稿カバー、原稿ガラスの清掃" (P.236)
	OHP フィルムなどの透過度の高い原稿を使用している。	原稿の上に白紙を載せてコピーしてください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)
	原稿がずれている。	原稿を正しくセットしてください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)
	原稿送り装置の原稿ガイドがずれている。	原稿を正しくセットして、原稿ガイドを原稿の端に当ててください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)
	原稿が折れ曲がっている。	原稿をのばして正しくセットし直してください。 詳細について："原稿をセットする" (P.76)
コピーの端が切れる	印刷可能エリアを超えている原稿を使用している。	倍率を調整して、少し小さめにコピーしてください。

プリント時のトラブル

プリントできない

プリントできない場合の処置方法について説明します。

症 状	原 因	処 置
プリンターアイコンにデータが残っている	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。 詳細について："電源について" (P.52)
	コンピューターのケーブルが外れている。	コンピューターのケーブルを接続してください。
	本機のケーブルが外れている。	本機のケーブルを接続してください。 詳細について："インターフェースケーブル" (P.36)
	本機でエラーが発生している。	エラーの内容を確認して対処してください。
	コンピューターと本機間のネットワークが正常ではない。	ネットワーク管理者に相談してください。
	ポートが起動していない。	利用しているポートを起動してください。 詳細について："使用するポートを起動する" (P.41)
	本機が複数のコンピューターと接続している。	しばらく待ってから、再度プリントしてください。
データは本機に送られている	用紙が入っていない。	用紙を補給してください。
	指定したサイズ用の紙がない。	指定したサイズの用紙をセットしてください。 詳細について："用紙をセットする" (P.67)
	本機でエラーが発生している。	エラーの内容を確認して対処してください。
	ジョブの実行が一時的に停止されている。	画面でジョブをキャンセルするかどうかを指定してください。

13 思ったとおりのプリント結果にならない

プリント結果が予想と違う結果になる場合の処置方法について説明します。

症 状	原 因	処 置
異なった用紙サイズでプリントされる	指定された用紙トレイに異なったサイズの用紙がセットされている。	用紙トレイにセットされた用紙のサイズを変えてください。もしくは、プリントオプションで、指定の用紙がセットされた用紙トレイを使用するように設定してください。
用紙の端にある画像が欠ける	本機の印字可能エリアを超えている。	本機の印刷エリアで余白を拡張するか、倍率を指定して印刷してください。

症 状	原 因	処 置
プリントオプションで指定した内容が無効になる	他機種のパリントドライバーを使用している。	本機のパリントドライバーをインストールしてください。
	オプションが本機に装着されていません。	本機に装着されているオプションを確認して、パリントドライバーのオプション構成を再度設定してください。 詳細について：オプション品の構成などを設定する (P.56)
本機に付属のパリントドライバーが、コンピューターで使われていない (他社のパリントドライバーが使われている)。	コンピューターのパリントドライバーが、本機に同梱されているものかどうか確認する。	コンピューターで本機に付属のパリントドライバーを選択してください。パリントドライバーがリストにない場合は、パリントドライバーをインストールし、選択してください。他社のパリントドライバーを使用すると動作が保証されないのので、注意してください。

ファクスのトラブル

ファクスのトラブルの処置方法について説明します。

症 状	処 置
ダイヤルトーンがない	電話回線が正しく接続されているか確認してください。
	別の電話機を電話用のソケットに差し込み、使えるかどうか確認してください。
メモリーに保存されている電話番号へ正しくダイヤルできない	メモリーに電話番号が正しく保存されているか確認してください。
	宛先表をプリントしてください。
原稿を読み込めない	原稿にしわがないか、また正しくセットされているか確認します。原稿サイズが正しいか、また厚すぎたり薄すぎたりしないか確認してください。
	原稿送り装置の上カバーがしっかりと閉じているか確認してください。
ファクスが自動的に受信されない	電話回線が正しく接続されているか確認してください。
	ファクスモードが選択されているか確認してください。
	用紙トレイに用紙がセットされているか確認してください。
	画面に [ファクスメモリー空き容量不足] と表示されるか確認してください。
	次の設定を、30 秒など短い間隔にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動受信ファクス • 自動受信電話 / ファクス • 自動受信留守電 / ファクス
本機がファクスを送信しない	画面にファクス送信中であることを示すメッセージが表示されるか確認してください。
	送信したファクスが届くか、受信側のファクス機を確認してください。
	[PB]、[DP (10PPS)]、[DP (20PPS)] の [ダイヤル種別] を確認してください。
	原稿が原稿送り装置、または原稿ガラスにセットされているか確認してください。
	原稿を保存するための容量が不足している可能性があります。画面に [ファクスメモリー空き容量不足] というメッセージが表示されているか、ジョブ履歴レポートに 017-970、033-787、033-788 というエラーが記録されていないか確認してください。 その場合は、次のことを試してみてください。 <ul style="list-style-type: none"> • 送信画質を標準にする • 1度に送信する枚数を減らす • 受信済みのファクスがある場合は、その印刷が終わるまで待つ • 送信待ちのファクスが送信終わるまで待つ

症 状	処 置
受信したファクスに空白部分がある、または受信したファクスの品質が低い	適当な原稿のコピーをとり、本機が正しく動作しているか確認してください。
	トナーカートリッジが空になっていたら、トナーカートリッジを交換してください。
	ファクスモデムの速度を遅くしてください。
	本機にファクスを送信しているファクス機に問題がある可能性があります。
受信したファクスの一部の文字が伸びてしまっている	本機にファクスを送信しているファクス機に、一時的に紙づまりが発生している可能性があります。
送信した原稿に線が入っている	原稿ガラス、原稿読み取りガラスの表面が汚れていたら、汚れをふきとってください。 詳細について："本機を清掃する" (P.233)
番号はダイヤルできるが、接続できない	相手側のファクス機の電源が入っていない、用紙が切れている、または着信に応じられない可能性があります。相手側に問題の解決を依頼してください。
メモリーに原稿が保存されていない	原稿を保存するための容量が不足している可能性があります。画面に [ファクスメモリー空き容量不足] というメッセージが表示される場合、不要な原稿をメモリーから削除し、再度原稿を保存するか、実行中のジョブが完了するのを待ってください (例：ファクスの送受信)。
各ページ、または他のページ下部に空白があり、ページ上部にはテキストが少しある	ユーザーオプション設定で誤った用紙設定を選択した可能性があります。 詳細について："用紙について" (P.62)
本機がファクスを送受信しない	[PB]、[DP (10PPS)]、[DP (20PPS)] の [ダイヤル種別] を確認してください。
	ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	電話回線が電話応答装置やコンピューターなどの機器を介して本機に接続されている場合は、それらの機器を介さず、本機に直接接続してください。
ファクスの送受信時にエラーがよく発生する	<機械確認> → [仕様設定] → [管理者設定] → [ファクス設定] → [送信設定] → [通信速度] で、モデムの速度を落としてください。
ファクスを受信するが、プリントしない	トナー残量を確認してください。
	用紙トレイに用紙がセットされているか確認してください。
	[ファクス受信転送設定] が [転送しない] に設定されていることを確認してください。
	[受信制限] が [しない] に設定されていることを確認してください。
	[セキュリティ受信設定] が [無効] に設定されていることを確認してください。
	[NVMの初期化] を実行してください。

スキャナーのトラブル

スキャナー機能利用時のトラブル処置方法について説明します。
本機でスキャンできない場合の処置方法について説明します。

症 状	処 置
スキャナーが動作しない	スキャンする原稿の向きが、次のように正しくセットされているか確認してください。 原稿ガラス：下向き 原稿送り装置：上向き
	スキャンする原稿を保存するための容量が不足している可能性があります。プレビュー機能が使用できるか試してください。または、スキャンの解像度を下げてください。
	USB ケーブル、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	USB ケーブル、ネットワークケーブルに問題がないか、確認してください。問題がある場合は、交換してください。
	スキャナーが正しく設定されているか確認します。お使いのソフトウェアで、スキャンされたデータが正しいポートへ送信されているかどうかを確認してください。
スキャンが非常に遅い	メール、スキャナー（ネットワーク）機能を使用すると、写真のスキャンは、文字より時間がかかります。
	スキャンモードでは、スキャンされた画像を分析、再現するのに大きな容量が必要なため、通信速度が遅くなります。
	高画質でスキャンすると、低画質でスキャンするときよりも時間がかかります。
原稿送り装置で原稿送りに失敗したり、原稿が重なって送られたりする	原稿送り装置のローラー部が正しく装着されているか確認してください。
	原稿の用紙種類が本機の設定に適合しているか確認してください。
	原稿が正しく原稿送り装置にセットされているか確認してください。
	原稿ガイドが正しく調整されているか確認してください。
	原稿枚数が原稿送り装置の容量を超えていないか確認してください。
	原稿がカールしていないか確認してください。
	原稿をよくさばいてから原稿送り装置にセットしてください。
原稿送り装置からスキャンすると、スキャンされたデータに縦の線が表れる	原稿読み取りガラスを清掃してください。 詳細について："本機を清掃する" (P.233)
	清掃棒を使用し、機械を清掃してください。 詳細について："本機を清掃する" (P.233)
原稿ガラスでスキャンすると、同じ位置によごれが現れる	原稿ガラスを清掃してください。 詳細について："本機を清掃する" (P.233)
画像の向きが斜めになる	原稿送り装置、原稿ガラスに原稿がまっすぐにセットされているか確認してください。

症 状	処 置
原稿送り装置からスキャンすると、スキャンされたデータに斜線が現れる	原稿が分厚い場合、原稿ガラスからスキャンしてください。
コンピューター画面に表示されるメッセージ： ・ 望んだ H/W モードを設定できません。 ・ ポートは他のプログラムによって使用されています。 ・ ポートが無効です。 ・ スキャナーはデータを受信中、またはプリント中です。実行中のジョブが完了してから、再試行してください。 ・ 無効な操作 ・ スキャンに失敗しました。	コピー中、プリント中のジョブがある可能性があります。実行中のジョブが完了してから、再試行してください。
	選択したポートは現在使用中です。コンピューターを再起動し、再試行してください。
	ケーブルが正しく接続されていないか、電源が切れている可能性があります。
	スキャンドライバーがインストールされていないか、正しい動作環境が構築されていない可能性があります。
	ポートが正しく接続され、電源が入っていることを確認してください。そのあと、コンピューターを再起動してください。
	USB ケーブル、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
スキャナー（メール送信）、スキャナー（ネットワーク）機能を使用しているときに、指定した宛先に正しくスキャンデータを転送できない	CentreWare Internet Services で、次の設定が正しいか確認してください。 ■ スキャナー（ネットワーク） [宛先表] → [サーバーアドレス] → [サーバータイプ アドレスの確認 / 変更] の次の設定を確認します。 ・ サーバーアドレス ・ ログイン名 ・ ログインパスワード ・ 共有名([サーバータイプ]がSMBに設定されているときのみ表示される) ・ サーバー パス ■ スキャナー（メール送信） [宛先表] → [メールアドレス] の次の設定を確認してください。 ・ アドレス

スキャンドライバー / ユーティリティのトラブル

スキャンドライバー / ユーティリティのトラブルの処置方法について説明します。

症 状	処 置
宛先表データを本機から宛先表ツールに読み込めない	USB ケーブル、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	機械の電源が入っているか確認してください。
	コンピューターにスキャンドライバーがインストールされていることを確認してください（本機が USB ケーブルで接続されているとき、宛先表ツールはスキャンドライバーを介して電話帳データを復元します）。
TWAIN ドライバーが本機に接続できない	USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	本機の電源が入っているか確認してください。機械の電源が入っている場合、電源スイッチを切り、そのあと電源を入れて本機を再起動させてください。
	スキャンソフトウェアが起動中の場合、一度ソフトウェアを閉じ、再起動してからやり直してください。

エラーコード

ここでは、エラーコードについて説明します。

プリントが正常に終了しなかったり、本機が故障したりした場合は、エラーメッセージとエラーコード (xxx-xxx) がタッチパネルに表示されます。

次の表でエラーコードを参照し、問題を解決してください。

注記 ・エラーコードが表示されたときは、本機内に残っているプリントデータや、本機のメモリーに蓄えられた情報は保証されません。

次の表に記載のないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても問題を解決できない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

エラーコード	処 置
005-942	原稿サイズが正しく検知されませんでした。原稿送り装置の原稿をセットし直してから、<スタート>ボタンを押してください。 補足 ・非定型サイズの原稿をセットする場合は、[原稿サイズ]で原稿サイズを設定してください。選択した原稿サイズによっては、原稿が用紙に収まらなかったり、原稿の周りの影が写り込む場合があります。
016-503	[閉じる]を選択し、SMTPサーバーとDNSサーバーがCentreWare Internet Servicesで正しく設定されているか確認してください。
016-504	[閉じる]を選択し、POP3サーバーとDNSサーバーがCentreWare Internet Servicesで正しく設定されているか確認してください。
016-505	[閉じる]を選択し、POP3サーバーで使用されるユーザー名とパスワードがCentreWare Internet Servicesで正しく設定されているか確認してください。
016-506	[閉じる]を選択し、SMTPサーバーとPOP3サーバーがCentreWare Internet Servicesで設定されているか確認してください。
016-507	[閉じる]を選択し、SMTPサーバーで使用されるユーザー名とパスワードがCentreWare Internet Servicesで正しく設定されているか確認してください。
016-520 016-521	システム管理者に相談してください。
016-570 016-571 016-572 016-573 016-718 016-720	[閉じる]を選択してください。
016-737 016-741 016-742 016-743 016-744 016-745	本機の電源を切り、タッチパネルに何も表示されていないことを確認してから、本機の電源を入れてください。それでも解決しない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。
016-746	[閉じる]を選択してください。
016-757 016-758 016-759	サーバー管理者に相談してください。

エラーコード	処 置
016-764 016-765 016-766	[閉じる]を選択し、SMTP サーバー管理者に相談してください。
016-767 016-768	[閉じる]を選択し、メールアドレスを確認し、再度スキャンしてください。
016-786 016-790	[閉じる]を選択し、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。ネットワークケーブルに問題がなければ、サーバー管理者に相談してください。
016-799 016-921	[閉じる]を選択してください。
016-985 016-986	[閉じる]を選択し、解像度を低くするか、スキャンデータのファイルフォーマットを変え、再度スキャンしてください。
017-971 017-972 017-973 017-974 017-975 017-976 017-977 017-978 017-979 017-980 017-986 017-987 017-988 017-989	[閉じる]を選択してください。
031-521	[閉じる]を選択してください。ログインが可能なコンピューターについては、システム管理者に確認してください。
031-522	[閉じる]を選択し、ログイン名（ドメイン名とユーザー名）、およびパスワードが正しいかどうか確認してください。
031-523	[閉じる]を選択し、指定した共有名を確認してください。
031-524	[閉じる]を選択し、一度にサーバーを利用できる人数が上限に達していないか確認してください。
031-525	[閉じる]を選択し、指定されたユーザーが保存先でファイルの読み込みや書き込みができるかどうか確認してください。
031-526	[閉じる]を選択し、DNS 接続を確認するか、転送先のサーバーが DNS で登録されているか確認してください。
031-527	[閉じる]を選択し、DNS アドレスを設定するか、転送先のサーバーアドレスを IP アドレスとして登録してください。
031-528	[閉じる]を選択してください。 本機と転送先の SMB サーバーとが、ネットワークを介して通信されているかどうか確認してください。例えば、次のような項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ネットワークケーブルの接続 • TCP/IP 設定 • ポート 137 (UDP)、138 (UDP)、および 139 (TCP) における通信 サブネットを越えて通信を行うには、WINS サーバーの設定を確認し、サーバー名が正しく解決できるか確認してください。

エラーコード	処 置
031-529	[閉じる]を選択し、パスワードが正しいか確認してください。
031-530	[閉じる]を選択し、保存先が正しいか確認してください。指定した保存先が DFS 設定であることと、他のサーバーと接続されていることを確認してください。リンクされたサーバー、共有名、保存先を直接指定してください。
031-531	[閉じる]を選択し、指定したフォルダーのアクセス許可を確認してください。
031-532	[閉じる]を選択し、ファイル名、または転送先のフォルダー名を短くしてください。
031-533	[閉じる]を選択し、次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 指定した名前のファイルを保存場所に格納できる 指定したファイル名が他のユーザーに使用されていない 指定した名前と同名のファイルやフォルダーは存在しない
031-534	[閉じる]を選択し、次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 指定した名前のファイルを保存場所に格納できる 指定した名前と同名のファイルやフォルダーは存在しない
031-535 031-536	[閉じる]を選択し、指定した保存先のファイルを他のユーザーが使用していないか確認してください。
031-537	[閉じる]を選択し、保存先に空きがあるか確認してください。
031-539	[閉じる]を選択し、サーバー名が正しいか確認してください。
031-540	[閉じる]を選択し、ドメイン名が正しいか確認してください。
031-541	[閉じる]を選択し、ログイン名（ユーザー名）が正しいか確認してください。
031-542	[閉じる]を選択し、しばらく待ってから、操作をやり直してください。それでも解決しない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。
031-543	[閉じる]を選択してください。ログインできる時間については、システム管理者に確認してください。
031-544	[閉じる]を選択してください。パスワードの使用期間については、システム管理者に確認してください。
031-545	[閉じる]を選択してください。パスワード変更が必要かどうかについては、システム管理者に確認してください。
031-546	[閉じる]を選択してください。ユーザー設定については、システム担当者に確認してください。
031-547	[閉じる]を選択してください。ユーザーのロックアウト状況については、システム担当者に確認してください。
031-548	[閉じる]を選択してください。ユーザーの使用期間については、システム管理者に確認してください。
031-549	[閉じる]を選択し、サーバーセキュリティ設定で、パスワードがないユーザーのアクセス許可を確認してください。
031-550	[閉じる]を選択し、ファイルを追加するアクセス権を確認してください。サーバーが SMB 追加コマンドに対応しているか確認してください。
031-551	[閉じる]を選択し、ファイルの名前を変更するアクセス権を確認してください。サーバーが SMB 改名コマンドに対応しているか確認してください。
031-552	[閉じる]を選択し、ファイル名が重複する場合、「キャンセル」以外に設定するか、ファイル名を変更するか、ファイルを削除してください。

エラーコード	処 置
031-574	[閉じる]を選択し、DNS 接続を確認するか、転送先のサーバーが DNS で登録されているか確認してください。
031-575	[閉じる]を選択し、DNS アドレスを設定するか、転送先のサーバーアドレスを IP アドレスとして登録してください。
031-576	[閉じる]を選択し、サーバーの IP アドレスが正しいか、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
031-578	[閉じる]を選択し、ログイン名（ユーザー名）、およびパスワードが正しいかどうか確認してください。
031-579	[閉じる]を選択し、保存先が正しいか確認してください。
031-580	[閉じる]を選択し、サーバーアクセス権を確認してください。
031-581	[閉じる]を選択し、ファイル名、または転送先のフォルダー名を短くしてください。
031-582	[閉じる]を選択し、指定した名前のファイルを保存先に格納できるか確認してください。保存先に空きがあるか確認してください。
031-584	[閉じる]を選択し、指定した名前のファイルを保存先に格納できるか確認してください。指定した名前と同名のファイルやフォルダーがすでに存在していないか確認してください。
031-585 031-587	[閉じる]を選択し、サーバーアクセス権を確認してください。
031-588	[閉じる]を選択し、保存先に空きがあるか確認してください。
031-590	[閉じる]を選択してください。ファイル名が重複する場合、「キャンセル」以外に設定するか、ファイル名を変更するか、ファイルを削除してください。
031-594 031-595	[閉じる]を選択し、同じ操作をもう一度行ってください。それでも解決しない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。
031-598	[閉じる]を選択し、ファイルの追加アクセス権、および FTP 追加権に対応しているか確認してください。
031-599	[閉じる]を選択し、ファイル名を変更するアクセス権を確認してください。サーバーが FTP 名前変更コマンドに対応しているか確認してください。
033-500 033-501 033-502 033-503 033-510 033-511 033-512	[閉じる]を選択してください。
033-513	[閉じる]を選択し、次のことを試してください。 <ul style="list-style-type: none"> 受信したファクスをプリントするか、送信されるまで待つ Secure Receive 機能を使い、保存されているファクスジョブをプリントする セキュリティー受信機能の詳細について："セキュリティ受信" (P.169)

エラーコード	処 置
033-514 033-515 033-516 033-517 033-518 033-519 033-520 033-521 033-522 033-523 033-524 033-525 033-526 033-573 033-751 033-752 033-753 033-754 033-755 033-756 033-757 033-758 033-759 033-760 033-761	[閉じる]を選択してください。
033-762	[閉じる]を選択してください。ブロックしている番号からのファクスを拒否しました。 詳細について："受信制限" (P.168)
033-763 033-764 033-765 033-766 033-767 033-768 033-769 033-770 033-771 033-772 033-773 033-774 033-775 033-776 033-777 033-779 033-782 033-784 033-786 033-787	[閉じる]を選択してください。

エラーコード	処 置
017-970 033-788	原稿を保存するための容量が不足しました。 [閉じる] を選択し、次のことを試してください。 <ul style="list-style-type: none"> 送信画質を標準にする 1度に送信する枚数を減らす 受信したファクスを削除するか、送信が完了するまで待つ セキュリティー受信機能を使用している場合、保存されているファクスジョブをプリントする セキュリティー受信機能の詳細について："セキュリティー受信" (P.169)
033-789 033-790 033-791 033-799 034-508	[閉じる] を選択してください。
034-515	[閉じる] を選択し、次のことを試してください。 <ul style="list-style-type: none"> 再度同じ操作をする 本機と相手機のメモリー容量を確認する
034-791	[閉じる] を選択し、次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 電話回線が正しく接続されているか ダイヤル種別設定 相手機がファクスを受信できるか ダイヤル種別設定："ダイヤル種別" (P.170)
034-799	[閉じる] を選択し、本機が再起動するのを待ってください。
035-701	[閉じる] を選択し、次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 相手機の状態 ダイヤル種別設定 ダイヤル種別設定："ダイヤル種別" (P.170)
035-702 035-704 035-705 035-706	[閉じる] を選択してください。
035-708	[閉じる] を選択し、次のことを試してください。 <ul style="list-style-type: none"> 再度同じ操作をする モデムの速度を落とす モデムの速度："通信速度" (P.171)
035-709 035-710 035-716	[閉じる] を選択してください。
035-717	[閉じる] を選択し、モデムの速度を落としてください。 モデムの速度："通信速度" (P.171)
035-718	[閉じる] を選択し、相手機の状態を確認してください。
035-720	[閉じる] を選択し、相手機の対応機能を確認してください。
035-728 035-729 035-730 035-737 035-739 035-740 035-742 035-746 035-779	[閉じる] を選択してください。

エラーコード	処 置
035-781	[閉じる]を選択し、相手機が話し中でないか確認してください。
035-792 035-793	[閉じる]を選択してください。
062-956	原稿サイズが正しく検知されませんでした。原稿ガラスの原稿をセットし直してから、<スタート>ボタンを押してください。 補足 ・非定型サイズの原稿をセットする場合は、[原稿サイズ]で原稿サイズを設定してください。選択した原稿サイズによっては、原稿が用紙に収まらなかったり、原稿の周りの影が写り込む場合があります。
116-721 116-722	[閉じる]を選択してください。
118-390	本機が対応していない機器が装着されています。機器を取り外し、本機を再起動してください。

用紙が詰まった場合

ここでは、紙づまりの処置方法について説明します。

詰まった用紙が破れないように、ゆっくりと取り除いてください。機械には紙片を残さないでください。

⚠ 警告

トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。

特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

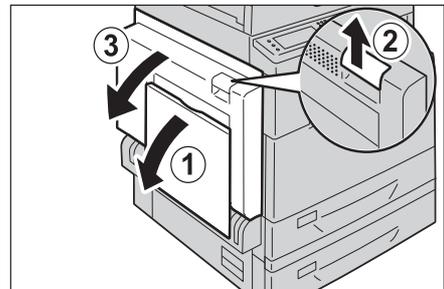
注記 ・工具などを使用して詰まった用紙を取り除かないでください。機械を傷つけることがあります。

左側面上部カバー [A] での紙づまり

本機の左側面上部カバー [A] 内の紙づまりの処置方法について説明します。

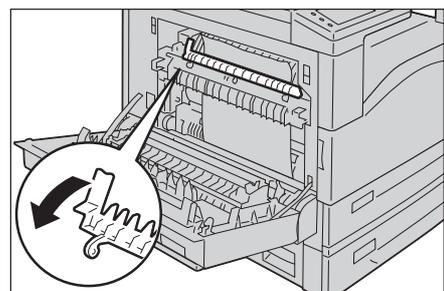
注記 ・用紙を取り除くとき、左側面上部カバー [A] の内部にある本体側の転写ベルト（黒いフィルム状のベルト）に画像が付いていることがあります。この転写ベルトには、触れないでください。画質に影響をおよぼしたり、転写ベルトが損傷して交換が必要になることがあります。

- 1 トレイ 5（手差し）(①) を開きます。次に、リリースレバー (②) を上げながら左上カバー (③) をゆっくりと開きます。

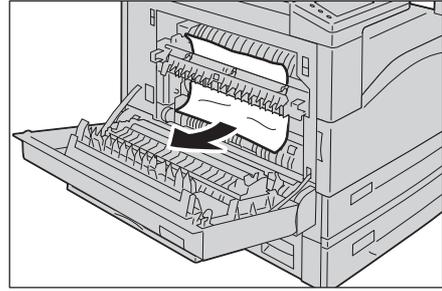


■ 定着部付近で紙づまりが起きている場合

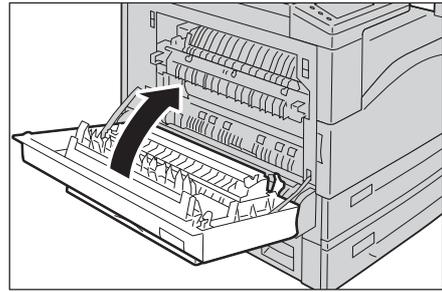
- 1) ハンドル [A1] を下へ引きます。



- 2) 詰まっている用紙を取り除きます。
 補足 ・機械の中に紙片を残さないでください。

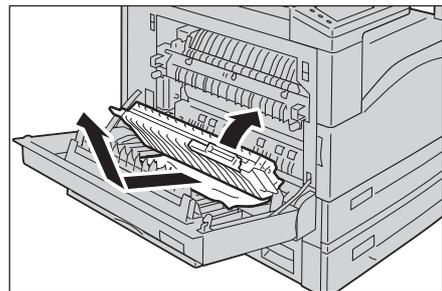


- 3) ハンドル [A1] を元の位置に戻します。
 4) 左上カバーの中央部を押して、ゆっくりと閉じ、トレイ 5 (手差し) を持ち上げます。

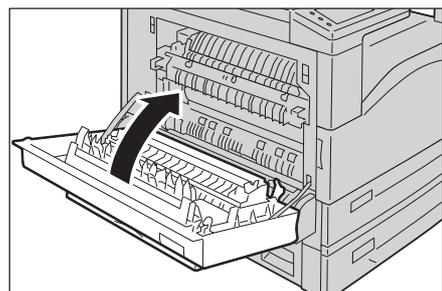


■ 左側面上部カバー [A] 内で紙づまりが発生した場合

- 1) 紙づまりが右図の位置で発生した場合、ハンドル [A2] を持ち上げ、詰まった用紙を上方向に引きながら取り除きます。



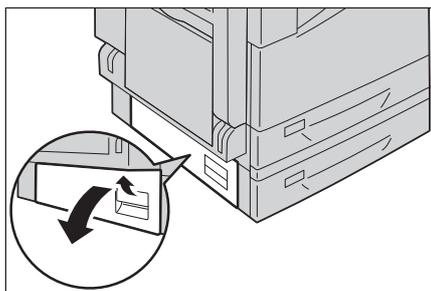
- 2) ハンドル [A2] を元の位置に戻します。
 3) 左側面上部カバー [A] の中央部を押して、ゆっくりと閉じ、トレイ 5 (手差し) を持ち上げます。



左側面下部カバー [B] での紙づまり

本機の左側面下部カバー [B] 内の紙づまりの処置方法について説明します。

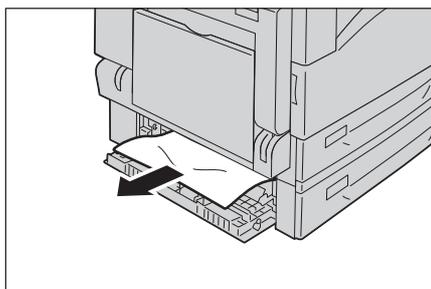
- 1 リリースレバーを引き、左側面下部カバー [B] をゆっくりと開けます。



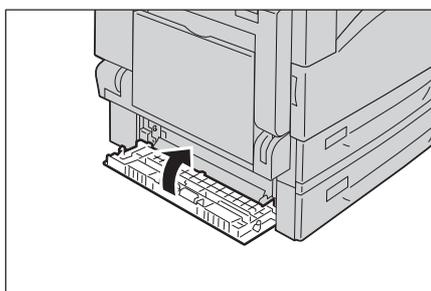
- 2 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・上部の見えにくい位置に用紙が詰まっている場合があります。よく確認してください。
- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



- 3 左側面下部カバー [B] をゆっくりと閉じます。



トレイ 1、トレイ 2 での紙づまり

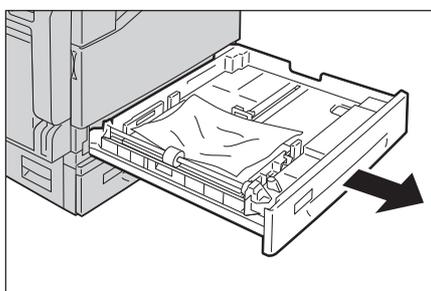
トレイ 1、トレイ 2 の紙づまりの処置方法について説明します。

- 1 次の説明を参照して、詰まった用紙を取り除きます。
- ・トレイ 1: "左側面上部カバー [A] での紙づまり" (P.270)
 - ・トレイ 2 (オプション): "左側面下部カバー [B] での紙づまり" (P.271)

- 2 詰まっている用紙を取り除けない場合、用紙トレイを引き出します。

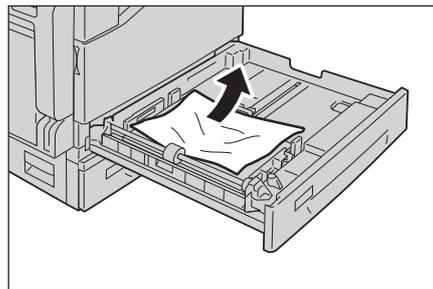
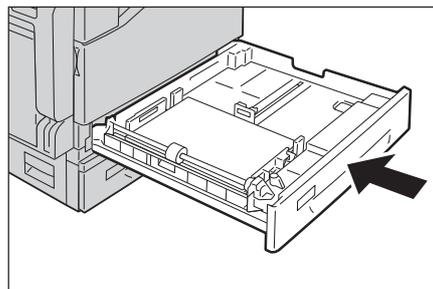
注記

- ・紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認せずに用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、タッチパネルで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。



3 詰まっている用紙を取り除きます。

補足 ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

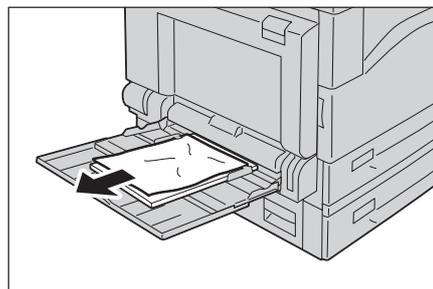
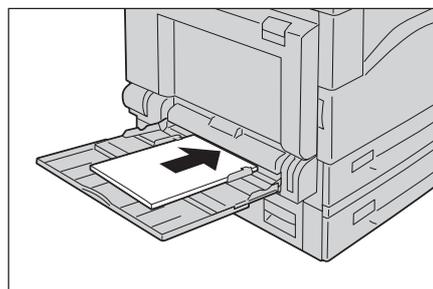
**4** 用紙トレイが止まるまで静かに押し込みます。**トレイ 5 (手差し) での紙づまり**

トレイ 5 (手差し) で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1 トレイ 5 (手差し) の奥 (用紙の差し込み口付近) を確認し、詰まっている用紙を取り除きます。

注記 ・用紙を複数枚セットした場合は、いったんすべての用紙を取り出してください。

補足 ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

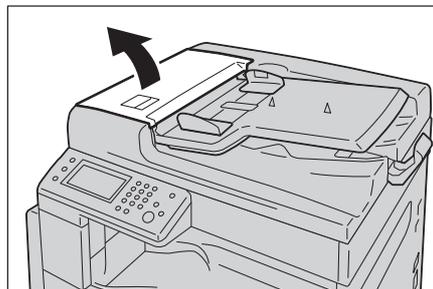
**2** 用紙を複数枚セットしていた場合、取り出しておいた用紙の四隅をそろえます。**3** プリントしたい面を下にして、用紙先端を差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

原稿が詰まった場合

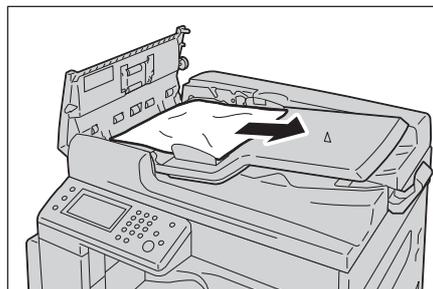
原稿送り装置の紙づまりの処置方法は、次のとおりです。

- 1 原稿送り装置の上カバーの取っ手を引き上げて、止まる場所まで開けます。

補足 ・カバーを十分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。



- 2 原稿が引き込み部にはさまっていない場合は、そのまま原稿を取り除きます。

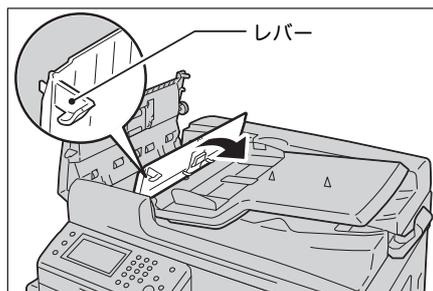


- 3 メッセージにノブを回す指示がある場合は、ノブを回して、上側に原稿を送り出して取り除きます。

注記 ・原稿がはさまっている場合は、直接引き抜かないでください。原稿が破れるおそれがあります。



- 4 メッセージに内カバーを開ける指示がある場合は、レバーを持ち上げて内カバーを開けます。



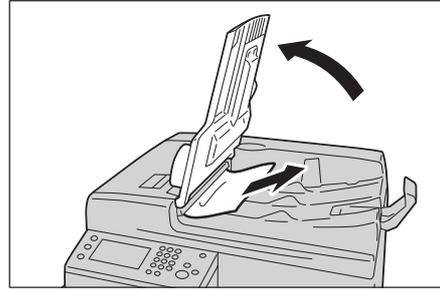
- 5 ノブを回して原稿を上側に送り出し、取り除きます。

補足 ・原稿がはさまっている場合は、直接引き抜かないでください。原稿が破れるおそれがあります。



- 6 原稿送り装置の内カバーを閉じます。

- 7 原稿送り装置の上カバーを「カチッ」と音がするまで閉じ、カバーの手前や奥に浮きがないことを確認します。
- 8 原稿が見つからない場合は、原稿送り装置を静かに持ち上げます。原稿があれば取り出し、原稿送り装置を閉じます。
- 9 手順8で原稿が見つからない場合は、原稿送りトレイを持ち上げて、原稿を取り除きます。



- 10 原稿送りトレイを静かに戻します。
- 11 原稿に破れ、しわ、折れ目がないか確認し、原稿を再度セットします。

詰まった原稿を取り除いたあと、次の対応をします。

コピー：

スキャンしていない原稿（詰まったページを含む）をセットします。

スキャン（メール / PC（ネットワーク））：

全ての原稿を再度セットします。

スキャンした原稿が既に送信されている場合、スキャンしていない原稿（詰まったページを含む）を再度セットします。

スキャン（TWAIN/WIA（Windows Imaging Acquisition））：

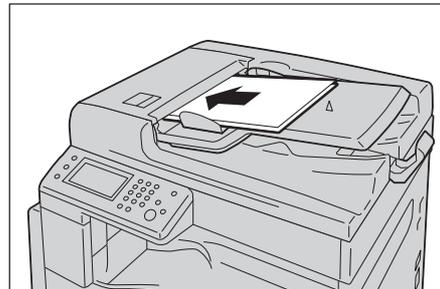
スキャンしていない原稿（詰まったページを含む）をセットします。

ファクス：

全ての原稿を再度セットします。

補足 ・原稿に破れ、しわ、折れがあると、原稿づまりや原稿破損の原因になります。このような場合は、原稿を原稿ガラスに直接セットして使用してください。

- 12 スタートを押してジョブを完了します。



ヘルプを利用する

弊社では、印刷品質を維持していただくために、自動診断ツールを作成しています。

操作パネルのメッセージ

操作パネルには、お知らせやトラブルシューティングが表示されます。エラーが起きたり、警告状態となったとき、操作パネルにメッセージを表示して、問題をお知らせします。

詳しくは、「エラーコード」(P.263)を参照してください。

製品情報を取得する

最新のプリントドライバーを取得する

最新のプリントドライバーは、弊社 Web サイトからダウンロードすることができます。

次の手順は PCL 6 を例にしています。

補足 ・通信料は、お客様のご負担となります。

- 1 プリントドライバーの [プリンターのプロパティ] ダイアログボックスで、[プリンター構成] タブを選択し、[バージョン情報] をクリックし、現在のプリントドライバーのバージョンを確認します。
- 2 [Fuji Xerox ホームページ] をクリックします。
Web ブラウザーが立ち上がり、弊社 Web サイトが表示されます。
- 3 Web サイト内の指示に従って、適切なプリントドライバーをダウンロードします。

補足 ・プリントドライバーダウンロードサービスページの URL :
<http://www.fujixerox.co.jp/download/>
・プリントドライバーの機能については、プリントドライバーのヘルプを参照してください。

14付録

この章では、本機の主な仕様、オプション製品、注意 / 制限事項について説明します。

- 主な仕様.....278
- プリント可能領域284
- オプション製品一覧.....285
- 注意 / 制限事項について286
- 保守サービスについて.....289
- 入力できる文字一覧.....290

主な仕様

本機の主な仕様を記載します。製品の仕様、および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■基本機能 / コピー機能

形式	デスクトップ
メモリー容量	512MB
ハードディスク容量	-
カラー対応	フルカラー
読み取り解像度	600 × 600dpi
書き込み解像度	1,200 × 2,400dpi
階調 / 表現色	各色 256 階調 (1,670 万色)
ウォームアップ・タイム	41 秒以下 (室温 20℃)
原稿サイズ	シート、ブック共に最大 297 × 432mm (A3、11 × 17")
用紙サイズ	最大： A3、11 × 17" 最小： 用紙トレイ 1：A5 用紙トレイ 2 (オプション)：A5 用紙トレイ 5 (手差し)：A5 (非定型サイズ：89 × 98mm) 画像欠け幅：先端 / 後端 / 右 / 左 5.5mm 以内
用紙坪量	用紙トレイ 1：60 ~ 90 g/m ² 用紙トレイ 2 (オプション)：60 ~ 256 g/m ² 用紙トレイ 5 (手差し)：60 ~ 216 g/m ² 注記 ・当社推奨用紙の使用をお勧めします。使用条件によっては正しく印刷できない場合があります。
ファーストコピー・タイム	<原稿ガラス> モノクロ： 8.6 秒 (A4□ / モノクロ優先モード時) カラー： 10.8 秒 (A4□ / カラー優先モード時) 注記 ・本機の設定によっては、値が異なる場合があります。 <原稿送り装置> モノクロ： 10.6 秒 (A4□ / モノクロ優先モード時) カラー： 13.6 秒 (A4□ / カラー優先モード時) 注記 ・本機の設定によっては、値が異なる場合があります。
複写倍率	等倍 1:1 ± 0.7% 固定倍率 50%、70%、81%、86%、115%、122%、141%、200% 任意倍率 25 ~ 400% (1% きざみ)

連続複写速度	<p>用紙トレイ 1：連続片面コピー / 等倍時</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>モノクロ</td> <td>カラー</td> </tr> <tr> <td>A4□ :</td> <td>20 枚 / 分</td> <td>20 枚 / 分</td> </tr> <tr> <td>B5□/B5□/A4□/B4/A3 :</td> <td>12 枚 / 分</td> <td>12 枚 / 分</td> </tr> </table> <p>用紙トレイ 1：連続両面コピー / 等倍時</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>モノクロ</td> <td>カラー</td> </tr> <tr> <td>A4□ :</td> <td>20 ページ / 分</td> <td>20 ページ / 分</td> </tr> <tr> <td>B5□/B5□/A4□/B4/A3 :</td> <td>12 ページ / 分</td> <td>12 ページ / 分</td> </tr> </table> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画質調整のため速度が低下することがあります。 ・用紙坪量によっては生産性が落ちることがあります。 		モノクロ	カラー	A4□ :	20 枚 / 分	20 枚 / 分	B5□/B5□/A4□/B4/A3 :	12 枚 / 分	12 枚 / 分		モノクロ	カラー	A4□ :	20 ページ / 分	20 ページ / 分	B5□/B5□/A4□/B4/A3 :	12 ページ / 分	12 ページ / 分
	モノクロ	カラー																	
A4□ :	20 枚 / 分	20 枚 / 分																	
B5□/B5□/A4□/B4/A3 :	12 枚 / 分	12 枚 / 分																	
	モノクロ	カラー																	
A4□ :	20 ページ / 分	20 ページ / 分																	
B5□/B5□/A4□/B4/A3 :	12 ページ / 分	12 ページ / 分																	
給紙方式 / 給紙容量	<p>標準： 用紙トレイ 1 (280 枚 *) + 用紙トレイ 5 (手差し) (100 枚 *)</p> <p>オプション：560 枚 * (1 トレイモジュール)</p> <p>最大給紙容量：940 枚 * (標準 + 1 トレイモジュール)</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・*: 弊社 P 紙の場合 																		
連続複写枚数	999 枚																		
出力トレイ容量	<p>250 枚 (A4□)</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社 P 紙の場合 																		
電源	AC100V ± 10%、11A、50/60Hz ± 3%																		
最大消費電力	<p>1.1kW 以下</p> <p>低電力モード時：49W 以下</p> <p>スリープモード時：1.2W 以下</p>																		
エネルギー消費効率	<p>69kWh/年 区分：複合機 a</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた複写機・複合機別の測定方法による数値です。 																		
大きさ	幅 595 × 奥行 586 × 高さ 634mm																		
質量	<p>49kg</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トナーカートリッジは含まれていません。 																		
機械占有寸法	<p>幅 972 × 奥行 586mm</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙トレイ 5 (手差し) を最大に伸ばしたときの数値です。 																		

■ プリント機能

形式	内蔵型
プリントサイズ	基本機能 / コピー機能に準ずる
連続プリント速度	<p>基本機能 / コピー機能に準ずる</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画質調整のため速度が低下する場合があります。 ・ドキュメントによってはプリント速度が低下する場合があります。
書き込み解像度	1,200 × 2,400dpi、600 × 600dpi
ページ記述言語	PCL6/5c、HBPL* ¹
対応プロトコル	ネットワーク接続：TCP/IP (lpd、IPP/IPPS、Port9100、WSD* ²)

対応 OS	Windows Server 2003 (32 ビット) Windows Server 2003 (64 ビット) Windows Vista (32 ビット) Windows Vista (64 ビット) Windows Server 2008 (32 ビット) Windows Server 2008 (64 ビット) Windows Server 2008 R2 (64 ビット) Windows 7 (32 ビット) Windows 7 (64 ビット) Windows 8 (32 ビット) Windows 8 (64 ビット) Windows Server 2012 (64 ビット) Windows Server 2012 R2 (64 ビット) Windows 8.1 (32 ビット) Windows 8.1 (64 ビット) Mac OS X 10.5 Leopard Mac OS X 10.6 Snow Leopard Mac OS X 10.7 Lion OS X 10.8 Mountain Lion OS X 10.9 Maverick OS X 10.10 Yosemite 注記 ・最新の対応 OS については、当社公式サイトをご覧ください。
内蔵フォント	欧文 81 書体、シンボル 36 セット
インターフェイス	Ethernet 100BASE-TX/10BASE-T、USB 2.0

*1 : DocuCentre SC2021 専用です。

*2 : 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

■ スキャン機能 (USB 接続)

形式	カラースキャナー	
原稿サイズ	基本機能 / コピー機能に準ずる	
読み取り解像度	TWAIN	モノクロ 2 値 / グレースケール : 600 × 600 dpi、400 × 400 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi、150 × 150 dpi カラー : 400 × 400 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi、150 × 150 dpi
	WIA	カラー、モノクロ 2 値 / グレースケール : 400 × 400 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi、150 × 150 dpi
インターフェイス	USB2.0	
PC 保存 (TWAIN / WIA : USB)	ドライバー	TWAIN / WIA
	ドライバー対応 OS	Windows Server 2003 (32 ビット) Windows Vista (32 ビット) Windows Server 2008 (32 ビット) Windows 7 (32 ビット) Windows 8 (32 ビット) Windows 8.1 (32 ビット) Windows Server 2003 (64 ビット) Windows Vista (64 ビット) Windows Server 2008 (64 ビット) Windows Server 2008 R2 (64 ビット) Windows 7 (64 ビット) Windows 8 (64 ビット) Windows Server 2012 (64 ビット) Windows 8.1 (64 ビット) Windows Server 2012 R2 (64 ビット) 注記 ・最新の対応 OS については、当社公式サイトをご覧ください。

■ スキャン機能 (ネットワーク接続)

形式	カラーキャナー	
原稿サイズ	基本機能 / コピー機能に準ずる	
読み取り解像度	モノクロ 2 値 / グレースケール : 600 × 600 dpi、400 × 400 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi カラー : 400 × 400 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi	
原稿読み取り速度 *1	モノクロ : 24 枚 / 分 カラー : 19 枚 / 分 [当社標準原稿 (A4□、200dpi)]	
インターフェイス	Ethernet 100BASE-TX / 10BASE-T	
PC 保存	対応プロトコル	TCP/IP (SMB、FTP、WSD*2)
	対応 OS	Windows Server 2003 (32 ビット) Windows Vista (32 ビット) Windows Server 2008 (32 ビット) Windows 7 (32 ビット) Windows 8 (32 ビット) Windows 8.1 (32 ビット) Windows Server 2003 (64 ビット) Windows Vista (64 ビット) Windows Server 2008 (64 ビット) Windows Server 2008 R2 (64 ビット) Windows 7 (64 ビット) Windows 8 (64 ビット) Windows Server 2012 (64 ビット) Windows 8.1 (64 ビット) Windows Server 2012 R2 (64 ビット) Mac OS X 10.5 Leopard Mac OS X 10.6 Snow Leopard Mac OS X 10.7 Lion OS X 10.8 Mountain Lion OS X 10.9 Maverick OS X 10.10 Yosemite 注記 ・最新の対応 OS については、当社公式サイトをご覧ください。
	出力フォーマット	モノクロ 2 値 : TIFF、DocuWorks 文書、PDF グレースケール / フルカラー : TIFF、JPEG、DocuWorks 文書、PDF
メール送信	対応プロトコル	TCP/IP (SMTP)
	出力フォーマット	モノクロ 2 値 : TIFF、DocuWorks 文書、PDF グレースケール / フルカラー : TIFF、JPEG、DocuWorks 文書、PDF

*1 : 原稿によって読み取り速度は異なります。

*2 : Windows Server 2003 (32 ビット)、Windows Server 2003 (64 ビット)、Mac OS X、OS X には対応していません。

■ ファクス機能 (オプション)

送信原稿サイズ	最大 : A3、11 × 17"
記録紙サイズ	最大 : A3、11 × 17"、最小 : A4、8.5 × 11" (レター)

電送時間	3 秒以下 注記 ・A4 判 700 字程度の原稿を、標準画質 (8 × 3.85 本/mm)、高速モード (28.8kbps 以上: JBIG) で送信する場合の時間で、画像情報のみの送信時間で、通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
通信モード	ITU-T G3
走査線密度	標準: 8 × 3.85 本/mm、200 × 100dpi 高画質: 8 × 7.7 本/mm、200 × 200dpi 超高画質 (400dpi): 16 × 15.4 本/mm、400 × 400dpi
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信速度	G3: 33.6/31.2/28.8/26.4/24.0/21.6/19.2/16.8/14.4/12.0/9.6/7.2/4.8/2.4kbps
適用回線	加入電話回線、PBX、最大 1 ポート (G3-1 ポート)

Model-CPFS は、ファクスキットを標準で装着しています。

■ダイレクトファクス機能 (オプション)

送信原稿サイズ	A3、B4、A4
送信画質	ファクス機能の走査線密度に準ずる
通信速度	ファクス機能に準ずる
適用回線	ファクス機能に準ずる
対応 OS	Windows Server 2003 (32 ビット) Windows Server 2003 (64 ビット) Windows Vista (32 ビット) Windows Vista (64 ビット) Windows Server 2008 (32 ビット) Windows Server 2008 (64 ビット) Windows Server 2008 R2 (64 ビット) Windows 7 (32 ビット) Windows 7 (64 ビット) Windows 8 (32 ビット) Windows 8 (64 ビット) Windows Server 2012 (64 ビット) Windows Server 2012 R2 (64 ビット) Windows 8.1 (32 ビット) Windows 8.1 (64 ビット) 注記 ・最新の対応 OS については、当社公式サイトをご覧ください。

Model-CPFS は、ファクスキットを標準で装着しています。

■両面出力機能

自動両面可能用紙サイズ	基本機能 / コピー機能に準ずる
用紙坪量	60 ~ 169 g/m ²

■自動 (両面) 原稿送り装置

原稿送り装置の種類	自動両面原稿送り装置
原稿サイズ / 用紙坪量	最大: A3、11 × 17"、最小: A5 (非定型サイズ: 125 × 125mm)、38 ~ 128 g/m ² (両面時: 50 ~ 128 g/m ²)

原稿積載枚数	110 枚 注記 ・弊社 P 紙を使用する場合の枚数です。
原稿交換速度	モノクロ： 20 枚 / 分 (A4□、片面時) カラー： 18 枚 / 分* (A4□、片面時)

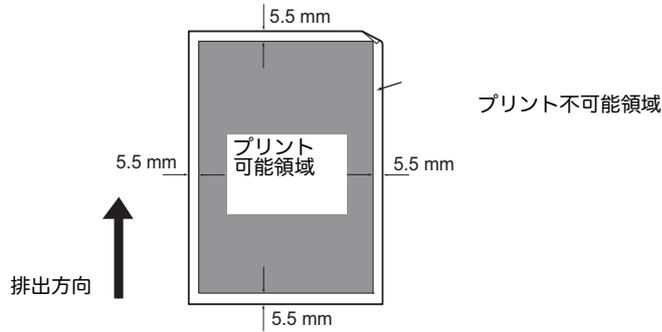
*:写真モード時は 16 枚 / 分です。

■ 1 トレイモジュール (オプション)

用紙サイズ	基本機能 / コピー機能に準ずる
用紙坪量	60 ~ 256 g/m ²
トレイ容量	560 枚 × 1 トレイ 注記 ・弊社 P 紙を使用する場合の枚数です。
大きさ	幅 541 × 奥行 586 × 高さ 113mm
質量	11kg

プリント可能領域

印字できる領域は、標準で用紙の上下左右の端から 5.5mm を除いた領域です。なお、実際の印字領域は、各プリンター（プロッター）や制御言語によって異なることがあります。



オプション製品一覧

次の表には、利用可能なオプション製品が記載されています。購入方法につきましては、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

製品名	内容
ファクスキット	ファクス機能を追加します。
1トレイモジュール	560枚の用紙をセットできるトレイです（弊社P紙使用時）。
スタンド（専用キャビネット）	収納用のキャビネットです。1トレイモジュール装着時に追加できます。

- 補足
- ・Model-CPFSは、ファクスキットを標準で装着しています。
 - ・オプション製品は予告なく変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 - ・最新の情報につきましては、弊社のカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

注意 / 制限事項について

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

本機使用上の注意 / 制限

■ 電源を切るときのご注意

電源スイッチを切ったあとも、しばらくの間は本機内部で電源を切るための処理が行われています。電源を切ったあと、画面表示が消える前に電源スイッチを入れても、すぐには起動しません。再度電源を入れる場合は、操作画面の表示が消えたことを確認してから電源スイッチを入れてください。

■ 本体の設置 / 移動について

- 本機を移動する場合は、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
- 本機の作動中に衝撃を与えないでください。
- 原稿カバーを閉じるとき、指をはさまないように注意してください。
- 本機のファンの吸排出口の近くには物を置かないでください。

■ 文字コードについて

コンピューターからデータを転送するとき、ファイル名に本機が対応していない文字を含む場合があります。このとき、これらの文字が正しく表示されないことがあります。

■ ハードディスクについて

本製品には、ハードディスクを装着できません。

■ ジョブ履歴レポートについて

出力ファイル名に英数字以外の文字が含まれるとき、これらの文字はジョブ履歴レポートに正しく表示されないことがあります。

■ 原稿送り装置について

スリープモード時は、原稿送り装置にセットされた原稿は認識されません。

■ 用紙の設定について

トレイで紙づまりが発生する場合、トレイの用紙枚数を減らしてください。

■ 管理について

ユーザー制限はコピーやプリントのジョブにのみ有効です。スキャンやファクスのジョブは管理しません。

■ <データ>ランプ

本機が低電力モードに入ると、受信したファクス、または保留中のファクスのジョブが残っていても、<データ>ランプは消灯します。

■ 画質について

- [カラーモード]の初期設定が[白黒]に設定されているとき、本機の電源を入れてから最初に行うカラー印刷は、色濃度がやや劣化する場合があります。

- ドラムカートリッジ、またはトナーカートリッジが交換された直後は、画質がよくなる場合があります。また、トナーカートリッジの残量が少ないと、画質がよくなる場合があります。

コピー機能使用上の注意 / 制限

■ ID カードコピーについて

次の場合を除き、セットされた ID カードの両面を、用紙の片面にコピーできます。

- ID カードが ID カードコピー機能で印刷可能なサイズよりも大きい場合、イメージの一部が欠けることがあります。
- わく消しにより ID カードの端が欠けることがあります。

■ メモリー容量について

ソート機能を使用してコピーするときに本機のメモリー容量が不十分な場合、スキャンされた原稿データのみを出力します。

■ 画質について

本機は、CIS センサーで原稿を読み取ります。CIS センサーには、構造上読み取れない画素があり、次のような原稿では、縦方向の線が約 18mm の間隔で現れることがあります。

- 濃度が均一な原稿
- グラデーションのある原稿
- 周期的な細かい線の繰り返しがある原稿

このようなときは、シャープネスを [よわく] に設定するか、原稿の画質を [写真] に設定して、画質を調整してください。

ファクス機能使用上の注意 / 制限

- 本製品は、ISDN 回線での通信には対応していません。
- 本製品は、以下のサービスには対応していません。
 - ナンバー・ディスプレイ
 - なりわけサービス
- 本製品は、NTT のアナログ回線規格に準拠しています。IP 電話回線 (050 番号 IP 電話) や、構内 IP 電話回線、IP セントレックス等には対応していません。また、光回線 (OAB ~ J 番号 IP 電話) は、固定電話に近い回線品質と安定性が確保されており、ターミナルアダプタ等でアナログ回線に変換されたものは本製品に接続可能ですが、ファクス通信を正常に行うためには、装置の設定変更が必要になることがあります。
- 本機でファクス通信できるのは、次の通信網です。
 - 公衆電話回線網 (PSTN)
 - PBX

補足

- すべてのサービスを保証するものではありません。
- 構内交換機などを使用する PBX 回線では、さまざまな呼出信号などを利用した機能が提供されています。本機はそれらすべての通信を保証するものではありません。
- なりわけサービスを契約されている場合は、回線種別を PBX に設定してください。
- ナンバー・ディスプレイとなりわけサービスの両方を契約されている場合は、使用できません。

- ・発信元名には、JIS X 0201（英数字（半角）と記号（半角）のみ）および JIS X 0208 に対応する文字を入力できます。詳細は、「入力できる文字一覧」(P.290)を参照してください。
- ・発信元名に入力できる文字は、23 バイト（例：漢字、ひらがな、カタカナでは 7 文字）までです。

スキャン機能使用上の注意 / 制限

ここでは、スキャン機能を使用するときの注意、制限事項について説明します。スキャンドライバーの注意、制限事項については、本機に付属されているソフトウェア / 製品マニュアルの CD-ROM にある「Readme」の情報を参照してください。

■ アドレス帳について

本機は SSL に対応していないため、ネットワーク上でメールアドレスが傍受されるおそれがあります。これを防止するため、CentreWare Internet Services を利用してアドレスを登録するときは、Ethernet クロスケーブルの使用をおすすめします。

プリント機能使用上の注意 / 制限

■ メーターのカウントについて

次の場合に、印刷されたページの数にメーターでカウントされます。

- ・両面印刷をする場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。
- ・プリントドライバーが空白ページをスキップするよう設定されていても、白色の文字、改行、スペースを含むページはプリントされることがあります。

■ Mac OS 使用時の用紙の向きについて

Mac OS X を使用するとき、原稿にあるイメージの向きに関わらず用紙を横方向にセットしてください。

■ 画質について

画質がよくない場合、プリントドライバーの画質設定を変更することで改善されることがあります。

■ カラートナーの消費について

- ・プリントドライバーのカラーモードを [カラー (自動判別)] に設定した場合、白黒文書をプリントしたときでも、カラートナーが消費されることがあります。
- ・全体的に濃度の高いカラー画像を連続でプリントした場合、トナーが残っていても、トナーカートリッジの交換をうながすメッセージが表示されることがあります。このようなときは、本機のフロントカバーを開閉し、メッセージが表示されるか再確認してください。

保守サービスについて

本機を安心してお使いいただくために、トータルサービス契約とスポット保守サービス方式の2種類の保守サービス方式があります。

トータルサービス契約

■ 機械の修理と点検、トナーカートリッジの交換

機械が故障した場合は、お客様の要請によりカスタマーエンジニアが訪問し、修理をします。また、必要に応じて故障箇所以外の点検・調整やトナーカートリッジの交換を実施します。

■ 定期的な消耗品の配送

機械を正常な状態で使用していただくために必要なトナーカートリッジなどの消耗品（用紙は除く）を、定期的にお届けします。

ただし、地域により、または一部の消耗品については、定期配送を行わない場合があります。詳細は営業担当者へお問い合わせください。

■ 部品の交換

修理や点検で部品の交換が必要な場合に交換します。

契約が終了した場合は、すべての消耗品は弊社または販売店がパッケージごと回収します。

スポット保守

保守サービスとトナーカートリッジおよび消耗品類の供給を、お客様の要請のつど、弊社営業時間内に有料でお引き受けする方式です。

補修用性能部品の保有期間について

弊社は機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しています。

入力できる文字一覧

本機では、次の文字を入力できます。

- ファクスの宛先名：JIS X 0201（英数字（半角）と記号（半角）のみ）に対応する文字
- ファクスの発信元名：JIS X 0201（英数字（半角）と記号（半角）のみ）および JIS X 0208 に対応する文字

補足 ・表中、左および上の英数字は、日本語（JIS）の文字コードに対応しています。

JIS X 0201（英数字（半角）と記号（半角）のみ）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20		!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[¥]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

JIS X 0208

2120	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2130	ˆ	—	、	。、	、	・	・	：	；	？	！	”	°	’	、	..
2140	˘	—	—	、	、	、	、	、	、	、	、	○	—	—	—	/
2150	{	}	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	+	—	±	×
2160	÷	=	≠	<	>	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	’	”	℃	¥
2170	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	
2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	≡	
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	J	K	L	M	N	O
2340	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	Z	k	l	m	n	o
2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	j	k	l	m	n	o
2360	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	お	か	が	き	ぎ
2420		あ	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く
2430	ぐ	け	げ	こ	こ	さ	さ	し	し	す	ず	せ	げ	そ	ぞ	た
2440	だ	ち	ち	っ	っ	づ	づ	で	で	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
2450	ば	ば	ひ	び	び	ふ	ふ	へ	へ	べ	り	ほ	ぼ	ぼ	ま	み
2460	む	め	も	ゃ	ゃ	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520		ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
2530	ダ	ケ	ゲ	コ	ゴ	ウ	ザ	エ	ジ	オ	ズ	カ	ガ	キ	ギ	ク
2540	ダ	チ	チ	ッ	ツ	ツ	テ	デ	ト	ド	ナ	セ	ネ	ネ	ノ	ハ
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ポ	ポ	マ	ミ
2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	レ	リ	ル	ロ	ロ	ワ	ワ
2570	キ	エ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ									
2620		A	B	Г	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O
2630	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720		A	B	B	Г	Д	E	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2740	Ю	Я														
2750		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														
3020		亞	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥
3030	旭	葦	芦	鮪	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	粟
3040	夷	裕	安	庵	按	暗	案	閭	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	困
3050	萎	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	稻	茨	謂	違	遣	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	忝	溢	逸
3070		院	芋	鱒	允	印	咽	員	因	引	引	飲	淫	胤	蔭	
3120	確	曰	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	迂	迂	雨	閨	窺	云	丑
3130	雲	往	渦	噓	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	運
3140	穎	英	洞	噓	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	穎
3150	園	堰	衞	詠	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	園
3160	艷	苑	衞	詠	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	艷
3220		押	旺	遠	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	
3230	屋	憶	臆	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	億
3240	伽	何	佳	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	何
3250	火	過	禍	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	火
3260	迦	會	霞	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	迦
3270	介	魁	解	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	介
3320		咳	晦	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	
3330	外	柿	害	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	外
3340	垣	角	赫	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	垣
3350	覺	棍	赫	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	覺
3360	檀	棍	赫	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	檀
3370	叶	棍	赫	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	叶
3420		粥	刈	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	
3430	完	官	寬	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	完
3440	汗	漢	寬	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	汗
3450	莞	觀	寬	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	莞
3460	巖	玩	寬	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	巖
3470	基	奇	嬉	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	基
3520		機	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	
3530	軌	輝	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	軌
3540	祇	義	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	祇
3550	黍	却	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	黍
3560	朽	求	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	朽
3570	巨	拒	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	巨
3620		供	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	
3630	疆	怯	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	疆
3640	鏡	響	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	鏡
3650	勤	均	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	勤
3660	謹	近	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	謹
3670	駒	具	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	駒
3720		掘	歸	橫	韻	鬱	蔚	宇	姥	浦	浦	瓜	洩	窺	云	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3730	薰	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系
3750	經	繼	繫	野	荃	荆	蚩	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	擊	激	隙	析	傑	欠	詣	潔	穴	頸	血	訣	月	鯨
3770	俟	倦	健	兼	券	劍	喧	圜	決	嫌	建	結	懸	拳	捲	鯨
3820	鍵	檢	榷	牽	犬	獻	研	硯	堅	臬	肩	憲	謙	賢	軒	鯨
3830	言	險	頭	駿	餒	元	原	幻	堅	臬	減	見	玄	現	絃	鯨
3840	湖	諺	限	乎	個	古	呼	姑	絹	臬	己	源	弧	戸	故	鯨
3850	伍	狐	糊	袴	股	胡	菰	誇	絹	臬	鈷	庫	顧	鼓	五	鯨
3860	乞	午	吳	吾	娛	後	御	梧	綉	臬	瑚	雇	語	誤	向	鯨
3870		鯉	交	佻	侯	候	倖	公	綉	臬	効	碁	厚	口	庚	鯨
3920	弘	后	喉	坑	垢	好	孔	宏	綉	臬	巧	巷	幸	広	江	鯨
3930	浩	恒	慌	抗	拘	控	攻	晃	綉	臬	杭	校	梗	考	肯	鯨
3940	腔	港	溝	甲	皇	硬	講	紅	綉	臬	絞	綱	耕	鋼	閤	鯨
3950	項	膏	航	荒	行	衡	号	紅	綉	臬	濠	鉞	轟	趨	克	鯨
3960	告	香	高	鴻	剛	劫	獄	濠	綉	臬	忽	豪	骨	狃	込	鯨
3970		国	穀	酷	困	黑	墾	婚	綉	臬	昏	惚	根	狃	混	鯨
3A20	紺	良	頃	今	佐	又	墾	婚	綉	臬	查	昆	根	砂	詐	鯨
3A30	綵	坐	魂	些	債	催	墾	婚	綉	臬	妻	沙	根	才	詐	鯨
3A40	歲	濟	座	挫	犀	碎	墾	婚	綉	臬	菜	宰	根	際	採	鯨
3A50	材	罪	災	采	坂	阪	墾	婚	綉	臬	崎	裁	根	鷺	劑	鯨
3A60	咋	擇	財	冚	柵	窄	策	婚	綉	臬	嵯	埼	根	載	作	鯨
3B20		察	昨	朔	柵	札	殺	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	碇	刷	鯨
3B30	三	傘	拶	撮	慘	撒	散	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	匙	皿	鯨
3B40	酸	餐	參	山	殘	仕	仔	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	鑄	贖	鯨
3B50	姉	姿	斬	暫	市	師	志	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	士	鯨
3B60	死	氏	子	屍	私	糸	紙	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	枝	鯨
3B70	諮	資	獅	祉	飼	齒	事	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	試	鯨
3C20		次	賜	雌	爾	重	痔	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	時	鯨
3C30	式	識	滋	治	軸	禿	零	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	夕	鯨
3C40	疾	質	鳴	竺	篠	者	柴	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	湿	鯨
3C50	斜	煮	実	部	者	謝	車	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	捨	鯨
3C60	酌	積	社	紗	寂	弱	惹	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	灼	鯨
3C70	腫	趣	錫	若	儒	受	惹	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	珠	鯨
3D20		宗	酒	首	修	愁	拾	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	周	鯨
3D30	衆	襲	就	州	輯	週	拾	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	舟	鯨
3D40	柔	汁	警	蹴	縱	重	首	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	從	鯨
3D50	出	術	洪	獸	峻	春	銃	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	塾	鯨
3D60	準	潤	述	俊	峻	遵	瞬	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	殉	鯨
3D70	署	書	盾	純	巡	助	醇	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	庶	鯨
3E20		勝	匠	諸	召	承	叙	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	償	鯨
3E30	尚	庄	匠	床	召	承	叙	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	小	鯨
3E40	樟	樵	匠	床	召	承	叙	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	松	鯨
3E50	笑	粧	匠	床	召	承	叙	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	稱	鯨
3E60	鉦	粧	匠	床	召	承	叙	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	賞	鯨
3E70	情	擾	匠	床	召	承	叙	婚	綉	臬	嵯	埼	骨	纂	娘	鯨

0	3F20	侵真刃厨随	F
	3F30	政誠析設戰	
	3F40	鮮楚創搔聰	
	3F50	俗多堆貸啄	
	3F60	誰耽地蓄衷	
	3F70	眺朕摑吊弟	
	4020	哲顛渡冬棟	
	4030	働匿屈鈍楠	
	4040		
	4050		
	4060		
	4070		
	4120		
	4130		
	4140		
	4150		
	4160		
	4170		
	4220		
	4230		
	4240		
	4250		
	4260		
	4270		
	4320		
	4330		
	4340		
	4350		
	4360		
	4370		
	4420		
	4430		
	4440		
	4450		
	4460		
	4470		
	4520		
	4530		
	4540		
	4550		
	4560		
	4570		
	4620		
	4630		
	4640		
	4650		
	4660		
1		信疹仁凶錘裾成西昔折川線閃曾僧挿綜憎速他体袋卓只樽綻知筑虫寵町直柸爪廷通溺転杜党拷到鬪鴉椴曇南	E
2		伸中人酢錐雀性製斥摂尖箭銃會鼠掃総増足遜驛苔瀧蛸鱈筆值竹注喋牒抄塚紬庭蹄鏑貼斗倒桃統騰峠突吞嚼	D
3		尻深震須醉頗征声戚接専穿錢措遡搜糟像測村駄腿滝胤狸端談畜柱凋潮勅通孀底諦適甜徒怒東糖頭銅凸頓繩	C
4		辱浸針諏遂菅姓聖惜拙宣旋遷岨阻想窓騷束損陀胎鷹茸谷短男築昼兆朝烏痛壺帝訂笛纏屠奴搭筒陶道橡遁馴	B
5		蝕榛進筍衰相勢精席切占煽選塑訴惣相霜捉尊椿滯題諾棚炭段馳抽丁暢頂鎚坪定艇的添妬土投答鎧萄析豚楮	A
6		食森辛靱翠杉制盛隻碩千煎踐噌蘇匝瘦鎗息孫舵泰醒濁汕湛檀遲忠貯挑長追潰堤締滴店塗度悼等透胴詭沌鍋	9
7		触晋身陣粹据凄生脆蹟先潜賤糲組層争遭即存柁替第鐸豎淡暖蜘蛛宙著懲銚槌椿呈程敵展堵努嶋瘡踏腫毒惇灘	8
8		色新診迅睡難是牲稅跡仙染詮膳素宋燥送則揃打戴大託巽歎断致仲苧微跳椎鏢貞禎擢天吐砺島痘踏腫毒惇灘	7
9		職振親訊炊趨畝清斉赤蟬洗薦繕粗爽漕走側其情態台琢脱且彈置中猪彫超墜綴剝碇摘填兎砥宕当豆洞篤屯謎	6
0		織慎薪腎水枢瀨正静責舌浅船禅租奏槽装促袖妥怠代濯奪探壇稚着豬張謀津蔦偵汀泥典電鍍套燈騰撞禿噸難	5
1		燭心芯尽推数世栖青脊絶泉舛全祖壯槍藻造卒墮待鯛沢辰担団痴嫡禱弔調陳辻停梯鼎鉄田都塘灯討懂督瀨屈	4
2		殖審臣甚帥嵩寸棲醒績雪梅腺然礎喪巢蒼贈統唾帶黨拓達坦鍛池茶駐庁蝶鎮柘低提釘迭澱途塔涛藤導特酉乍	3
3		植寝紳尋垂崇摺晴逝籍説栓羨漸疎倉曹葬蔵族詫岱隊扱但嘆誕智室鑄帳腸賃漬亭挺鄭轍殿賭唐湯蕩蕩堂澆寅内	2
4		拭娠秦壬吹髓澄星請積節撰織善疏叢早荘臈賊汰耐逮托叩单蛋恥秩耐帖脹珍佃鶴抵邸撤伝菟刀淘董同徳苦那	1
5		唇神塵逗瑞	0

0	軟	難	汝	二	尼	式	迹	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4670	軟	難	汝	二	尼	式	迹	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4720	念	如	尿	韭	任	妊	忍	句	脈	肉	虹	廿	日	乳	入	年
4730	農	撿	撻	燃	粘	妊	迺	認	濡	襴	祢	寧	葱	猫	熱	臘
4740	俳	視	蚤	巴	把	乃	播	之	楚	囊	惱	濃	納	能	芭	馬
4750	煤	靡	拜	排	敗	播	杯	杷	波	派	琶	破	婆	罵	媒	梅
4760	柏	煤	狼	買	壳	杯	賠	粕	背	肺	輩	配	倍	培	博	拍
4770	醜	泊	白	箔	箸	賠	船	筭	背	秤	矧	萩	伯	剥	麥	癸
4820	叛	函	箱	裕	箸	船	肇	拔	蠅	漠	爆	阜	莫	駁	澆	反
4830	采	髮	白	罰	拔	肇	筏	板	蠅	肌	焮	隼	八	鉢	半	範
4840	彼	帆	箱	罰	板	筏	汜	挽	蠅	鳩	蛤	隼	伴	判	販	庇
4850	詖	煩	白	斑	挽	汜	晚	披	嘶	鳩	蚌	隼	般	落	妃	被
4860	詖	費	煩	飯	披	晚	斐	飛	犯	班	蛭	毘	卑	否	肥	這
4870	詖	鼻	煩	批	飛	斐	樋	匹	疲	蕃	砒	毘	緋	罷	美	豹
4920	檢	鼻	煩	非	匹	樋	疋	百	尾	皮	批	弼	毘	眉	筆	貧
4930	廟	姬	煩	稗	百	疋	繆	苗	膝	微	肘	瓢	毘	畢	評	敷
4940	賓	描	煩	紐	苗	繆	錨	不	標	菱	漂	彬	毘	表	瀕	撫
4950	斧	頻	煩	秒	符	錨	付	符	標	菱	品	布	毘	兵	扶	撫
4960	武	普	煩	瓶	符	付	腐	部	標	水	富	赴	毘	怖	服	撫
4970	武	舞	煩	父	覆	腐	封	覆	標	富	賦	副	毘	幅	噴	撫
4A20	憤	福	煩	蕪	粉	封	淵	粉	標	富	伏	併	毘	吻	幣	撫
4A30	弊	扮	煩	復	閉	淵	糞	閉	標	丙	物	碧	毘	壩	蔑	撫
4A40	偏	柄	煩	蔽	編	糞	陛	編	標	癩	丙	甸	毘	警	舖	撫
4A50	圓	變	煩	篇	補	陛	辺	補	標	勉	甸	甸	毘	保	菩	撫
4A60	圓	捕	煩	甫	奉	辺	輔	奉	標	募	甸	甸	毘	簿	朋	撫
4A70	俸	包	煩	報	砲	輔	寶	砲	標	募	甸	甸	毘	方	邦	撫
4B20	飽	法	煩	烹	亡	寶	縫	亡	標	蓬	甸	甸	毘	豐	望	撫
4B30	棒	鳳	煩	乏	膨	縫	傍	膨	標	帽	甸	甸	毘	暴	卜	撫
4B40	撲	冒	煩	肪	穆	傍	謀	穆	標	防	甸	甸	毘	僕	凡	撫
4B50	摩	朴	煩	陸	埋	謀	卸	埋	標	堀	甸	甸	毘	翻	滿	撫
4B60	鱒	磨	煩	麻	又	卸	妹	又	標	哩	甸	甸	毘	枕	脈	撫
4B70	耗	樹	煩	亦	未	妹	妹	未	標	幌	甸	甸	毘	慢	名	撫
4C20	明	漫	煩	蔓	夢	妹	無	夢	標	襪	甸	甸	毘	稔	摸	撫
4C30	茂	民	煩	眠	鳴	無	姪	鳴	標	繭	甸	甸	毘	冥	勿	撫
4C40	尤	盟	煩	迷	猛	姪	盲	猛	標	綿	甸	甸	毘	奎	野	撫
4C50	矢	妄	煩	孟	問	盲	悶	問	標	綿	甸	甸	毘	耶	愈	撫
4C60	涌	戾	煩	刼	藥	悶	悶	藥	標	木	甸	甸	毘	油	愈	撫
4C70	涌	厄	煩	役	佑	悶	優	佑	標	冶	甸	甸	毘	有	愈	撫
4D20	訃	諭	煩	輸	由	優	裕	由	標	悠	甸	甸	毘	予	愈	撫
4D30	訃	猶	煩	猷	備	裕	妖	備	標	雄	甸	甸	毘	樣	愈	撫
4D40	訃	輿	煩	預	羊	妖	容	羊	標	擁	甸	甸	毘	慾	愈	撫
4D50	訃	輿	煩	窰	翼	容	蓉	翼	標	暹	甸	甸	毘	緒	愈	撫
4D60	訃	輿	煩	窰	欄	蓉	羅	欄	標	履	甸	甸	毘	理	愈	撫
4D70	訃	輿	煩	窰	裡	羅	藍	裡	標	履	甸	甸	毘	劉	愈	撫
4E20	琉	輿	煩	窰	裡	藍	離	裡	標	履	甸	甸	毘	僚	愈	撫
4E30	寮	輿	煩	窰	裡	離	離	裡	標	履	甸	甸	毘	僚	愈	撫
4E40	寮	輿	煩	窰	裡	離	離	裡	標	履	甸	甸	毘	僚	愈	撫
4E50	寮	輿	煩	窰	裡	離	離	裡	標	履	甸	甸	毘	僚	愈	撫

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4E60	類齡	令曆蓮榔倭灣	伶歷連浪和碗	例列鍊漏話腕	冷劣呂牢歪	勵烈魯狼賄	嶺裂櫓籠脇	伶廉炉老惑	玲恋賂聾粹	礼憐路蠟鷺	苓漣露郎互	鈴煉勞六亘	隸簾婁麓鱈	零練廊祿詫	靈聯弄肋藁	麗
4E70																朗錄厥
4F20	樓論碗															
4F30																
4F40																
4F50																
4F60																
4F70																
5020		式	丐	丕	个	卍	、	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事
5030	舒	式	丐	丕	个	卍	、	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事
5040	仃	式	丐	丕	个	卍	、	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事
5050	仃	式	丐	丕	个	卍	、	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事
5060	仃	式	丐	丕	个	卍	、	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事
5070	仃	式	丐	丕	个	卍	、	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事
5120	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼
5130	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼
5140	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼
5150	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼
5160	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼
5170	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼
5220	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5230	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5240	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5250	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5260	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5270	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5320	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5330	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5340	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5350	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5360	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5370	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5420	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5430	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5440	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5450	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5460	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5470	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
5520	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑
5530	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑
5540	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑
5550	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑
5560	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑
5570	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑
5620	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
5630	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
5640	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5E40	淦	涸	洧	淬	淞	淌	淨	淒	浙	淺	淙	淤	漉	淪	淮	渭
5E50	湮	洧	渙	浞	淞	渾	渣	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
5E60	滿	滄	游	浹	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
5E70	漚	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
5F20		滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
5F30	澎	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
5F40	濱	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
5F50	瀾	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
5F60	烙	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
5F70	煩	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6020		滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6030	棧	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6040	狎	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6050	猥	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6060	玳	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6070	瑁	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6120		滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6130	蕘	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6140	畧	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6150	痲	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6160	痲	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6170	痲	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6220		滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6230	鞞	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6240	眇	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6250	辜	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6260	磊	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6270	碯	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6320		滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6330	祕	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6340	柁	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6350	稗	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6360	穽	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6370	竦	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6420		滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6430	箇	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6440	箒	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6450	箒	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6460	箒	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6470	粽	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6520		滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6530	絨	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6540	絨	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6550	縵	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6560	縵	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6570	縵	滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯
6620		滄	溟	澗	淞	渾	混	湫	淝	涼	湫	渟	漉	渺	酒	潯

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6E20		遏	遐	遑	迨	迨	迨	逾	適	邁	遞	遨	遞	遶	隨	遲
6E30	避	遠	邁	邀	邊	邊	邊	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨
6E40	鄒	鄙	鄒	鄰	酹	醞	醞	酹	酹	酹	酹	酹	酹	酹	酹	酹
6E50	醫	醯	醢	醢	醢	醢	醢	醢	醢	醢	醢	醢	醢	醢	醢	醢
6E60	釵	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿
6E70	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿
6F20	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿	鈿
6F30	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
6F40	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
6F50	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
6F60	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
6F70	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
7020		陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝
7030	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸
7040	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸
7050	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸
7060	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸
7070	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸
7120		頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤
7130	舖	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑
7140	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑
7150	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁
7160	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁
7170	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁
7220		魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄
7230	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄
7240	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
7250	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
7260	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
7270	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
7320		鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
7330	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
7340	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
7350	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
7360	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
7370	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

索引

数字	N
1 トレイモジュール285	NVM の初期化 180
1 トレイモジュール.....48	
1 次転写電圧オフセット調整 179	P
802.1x.....166	PCL フォントリスト 158, 218
B	PCL 設定 159
Bonjour41	PC 保存 280, 281
	Port9100.....41
C	S
CentreWare Internet Services..... 141	SNMP41
	SNTP41
E	StatusMessenger 41, 238
ECM 171	
Ethernet 163	T
Ethernet インターフェイスでの接続 36	TCP/IP..... 164
	Telnet41
F	TEL コネクター49
FTP41	TIFF ファイル形式 191
	TWAIN..... 135
H	U
Hex Dump 163	USB インターフェイスコネクター49
	USB インターフェイスでの接続36
I	W
ID カードコピー83	WIA ドライバー 135
ID プリント..... 177	WSD スキャン 41, 134
IPP.....41	WSD プリント41
IPsec 164	
IP アドレス (IPv4)..... 38	あ
IP アドレス (IPv6)..... 39	宛先表ツール 44, 143
IP 動作モード 163	宛先表の一括登録.....41
	新しいメールアドレスを登録する..... 147
L	アライメント調整..... 180
LINE49	アンインストール.....45
LPD41	

イーサネットインターフェイスコネクタ	49
イメージエンハンス	162
インターフェイス	280, 281
インターフェイスケーブル	36
受付 IP アドレス制限	166
内カバー	51
ウォームアップ・タイム	278
延長トレイ	68
エネルギー消費効率	279
エラーコード	263
エラージョブの自動解除	176
エラーランプ	54
エラー履歴レポート	158, 218
オートクリア移行時間	176
オプション製品一覧	285
オフフックでの節電解除	175
オンフック	107

か

解像度	189
回線種別	167
階調	278
各部の名称と働き	48
管理者設定	159
書き込み解像度	278, 279
片面 / 両面プリント	161
画質 / ファイルサイズ	191
画質のトラブル	247
画面輝度調整	174
カスタムトナーモード	181
カラーバランス	187
カラーモード	86, 163, 184, 189
機械確認ボタン	54
機械占有寸法	279
機械本体のトラブル	243
記録紙サイズ	281
給紙容量	279
強制白黒プリント	178
行未処理	163
クリアボタン	54
グループ	159
原稿ガイド	51, 77, 99, 131
原稿カバー	48
原稿ガラス	48, 77, 99, 132
原稿サイズ	185, 189, 278, 280, 281, 282

原稿の画質	90, 186
原稿の向き	161
原稿受けストッパー	51, 77, 99, 131
原稿受けトレイ	51
原稿積載枚数	283
原稿送りトレイ	51
原稿送り装置	76, 98, 130
原稿読み取りガラス	51
原稿読み取り速度	281
言語切替	198
言語設定	198
工場出荷設定にリセットする	211
高地使用設定	181
コピー、ファクス、スキャンへの アクセスを制限する	205
コピーできない	253
コピーのトラブル	253
コピーの詳細設定	85
コピー集計管理	178
コピー設定	184
コントラスト	191
コンピューターヘスキャンを送信する	134
コンピューターモデム	127

さ

彩度	91, 186
サーバーのファクス宛先表検索	176
サーバーのメール宛先表検索	176
サーバー宛先表リスト	158, 218
サービスロック	181
仕分け	184
使用できない用紙	65
使用できる用紙の種類	63
使用可能な文字	57
質量	279
手動送信	111
手動送信時の番号表示	171
集計管理レポート	158, 218
出力トレイ容量	279
出力設定	177
出力用紙サイズ	159
出力用紙サイズの初期値	177
初期値設定	184
消費電力	279
消耗品を交換する	226

詳細設定	166
時刻を指定してファクスを送信する	118
時刻指定通信	108, 193
時刻設定	173
自動トレイ選択について	67
自動レジ調整	180
自動階調補正	199
自動受信ファクス	122
自動受信設定	168
自動受信電話	122
自動縮小受信	170
自動両面可能用紙サイズ	282
自動両面原稿送り装置	51, 282
受信モード	122, 168
受信制限	168
受信設定	167
準標準紙	63
システム設定リスト	158, 218
シャープネス	90, 186, 190
ジョブをキャンセルする	150
ジョブ確認ボタン	54, 222
ジョブ履歴の初期化	181
ジョブ履歴レポート	158, 176, 218
数字ボタン	54
数字ボタンを使用する	57
スキャナー（メール送信）送信者編集	183
スキャナーのトラブル	260
スキャナーの詳細設定	151
スキャンデータをネットワークに転送する	145
スキャンドライバーをインストールする	44
スキャン設定	188
スキャン中の操作	150
スタートボタン	54
スタンド（専用キャビネット）	285
ストップボタン	54
スリープモード	53
節電ボタン	54
節電モードから復帰する	53
節電モードについて	53
節電設定	172, 208
セキュリティー受信	169
セキュリティー設定	181
外付け電話	122
外付け電話フック検出レベル	167
操作パネル	48
操作パネルからスキャンする	134

操作パネルについて	54
走査線密度	282
送信シート	110, 171
送信メールの最大サイズ	176
送信画質	106, 192, 282
送信原稿サイズ	281, 282
送信時宛先確認	183
ソフトウェアダウンロード	183

た

対応 OS	280
対応プロトコル	279
短縮ダイヤル	159
タイマー	176
ダイヤル種別	170
ダイレクトファクス	120
タッチパネル	54
タッチパネル補正	181
たて原稿	161
注意 / 制限事項について	286
地色除去	92, 187, 191
地色除去レベル	187, 191
通信モード	282
通信速度	164, 171, 282
通知音	174
低電力モード	53
定着ユニット	50
適用可能紙	64
適用回線	282
電源	279
電源コードコネクタ	49
電源スイッチ	49
電源について	52
電源を切る	52
電源を入れる	52
電送時間	282
データランプ	54
テキストプリント	177
デフォルトシンボル	162
デフォルトフォント	161
同報レポート	172
トナーカートリッジ	50
トナーカートリッジを交換する	228
トナー残量警告メッセージ	175
トナー節約	163

ドライバーから送信する (ダイレクトファクス)	120
トラブルと思ったら	242
トラブル対処	241
ドラムカートリッジを交換する	233
トレイ 1	48
トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする	67
トレイ 2	48, 196
トレイ 5 (手差し)	48, 194
トレイの優先順位	198
トレイ管理	193
トレイ設定	194
トレイ選択	86, 159, 184
トレイ容量	283

な

入力した数字を変更する	57
認証失敗回数	183
ネットワーク環境を設定する	38
ネットワーク上でスキャン機能を使用する	137
ネットワーク情報表示設定	183
ネットワーク設定の初期化	166
濃度調整	89, 106, 186, 190, 192
濃度補正	180

は

排出トレイ	48
白紙節約	163
発信元記録	171
発信元名	167
倍率選択	87, 184
ハードディスク容量	278
バナーシート出力	177
パネルロック	181
パネルロックを無効にする	203
パネルロックを有効にする	201
パネルロック機能	201
パネル設定リスト	158, 218
左側カバー	51
左側面下部カバー B	48
左側面上部カバー A	48
標準紙	63
符号化方式	282
複写倍率	278

ファーストコピー・タイム	278
ファイル形式	188
ファイル名	191
ファクスキット	285
ファクスのトラブル	258
ファクスの詳細設定	105
ファクスを受信する	122
ファクス宛先表	158, 159, 218
ファクス回線設定	167
ファクス受信転送設定	169
ファクス設定	167, 192
ファクス蓄積文書リスト	159, 218
ファクス通信管理レポート	127, 158, 172, 218
ファクス番号	167
フォルダーを作成	192
フォントサイズ	162
フォントピッチサイズ	162
フォント行数	162
プリンターのトラブル	256
プリントサイズ	279
プリントする	155
プリントできない	256
プリントドライバーをインストールする	44
プリント可能領域	284
プリント集計管理	178
プリント部数	162
プリント用カウンターの初期化	180
プレフィックスダイヤル	171
プロトコルモニターレポート	158, 172, 218
フロントカバー	48
ページ記述言語	279
本機を清掃する	233
本機を点検する	238
ポーリング受信	109

ま

まとめて 1 枚	95, 188
未認証ユーザーのプリント	178
ミリ / インチ切替	173
メーター	159
メーター確認	217
メールにスキャンデータを添付する	147
メールにスキャンファイルを添付する	149
メール宛先表リスト	158, 218
メール送信	281

メール送信宛先制限	183
メモリー	123
メモリー容量	278
メンテナンス	178
モニターレポート	172

や

有線ネットワーク	163
ユーザー制限	56
呼び出し音	168
読み取りサイズ	107
読み取り解像度	278, 280, 281
用紙が詰まった場合	270
用紙サイズ	70, 278, 283
用紙サイズ合わせガイド	69
用紙について	62
用紙の置き換え	177
用紙の保管と取り扱い	65
用紙をセットする	67
用紙種類調整	179
用紙上限線	68, 69
用紙坪量	278, 282

よこ原稿	161
------------	-----

ら

ライセンスについて	26
ラインモニター音	167
両面 / 片面選択	89, 188
両面プリント	170
両面原稿送り	107, 190, 192
両面出力ユニット	282
リセットボタン	54
リダイヤル / ポーズボタン	54
リダイヤル設定	170
リモート受信	170
連続プリント速度	279
連続複写枚数	279
レターヘッド両面プリント	178
レポート / リスト	158, 218
レポート両面プリント	178

わ

わく消し	96, 188, 191
------------	--------------

「困った！」が 解決しないときは



保守・操作・修理（内容・期間・費用など）のお問い合わせ、消耗品のご注文は、カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

電話番号は、本体に貼付のカードやシールに書かれています。

受付時間 土曜、日曜、祝日を除く **9時～17時30分**（一部の地域では異なります）

電話番号 本体の **貼付カード** をご確認ください。

カードの例 ①

保守・操作の問い合わせ
(テレフォンセンター)
TEL.
FAX.
用紙・消耗品のご用命
TEL.
お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種
機種 No.
メーター連絡票に記載されている機種コード
FUJI XEROX

保守・操作の問い合わせ (テレフォンセンター)
TEL.
FAX.
用紙・消耗品のご用命 (商品センター)
TEL.
お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種 機種 No.
メーター連絡票に記載されている機種コード S-3064

ここに書いてあります

電話番号

カードの例 ②



- カードは、名刺くらいの大きさです。
- 色やイメージが、イラストと異なる場合もあります。
- 問い合わせ先がわからない場合は、お客様相談センターで電話番号を確認してください。

ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター 0120-27-4100

土、日、祝日および弊社指定休業日を除く 9時～12時、13時～17時 けません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

商品全般に関する情報

ホームページアドレス [URL http://www.fujixerox.co.jp/](http://www.fujixerox.co.jp/)

● 本機を廃棄する場合は、弊社の営業担当者にご連絡ください。

● フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。

● 商品全般に関する情報、最新ソフトウェアなどを提供しています。

DocuCentre SC2021

ユーザズガイド

著作者 - 富士ゼロックス株式会社

発行者 - 富士ゼロックス株式会社

発行年月 - 2015年3月 第1版

(帳票 No:ME7269J1-2)